

平成30年度・平成31年度（令和元年度）

各種報告書

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

目 次

- 1 . 日臨技組織強化のための理事構成等の見直しについて（答申）・・・・・・・・・1

- 2 . 臨床検査あり方推進ワーキンググループ「将来へ向けての臨床検査技師のあり方」提言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

- 3 . 臨床検査技師による認知症医療推進のためのアンケート
 調査結果からみる一考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

- 4 . 令和元年度 会員施設実態調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65

- 5 . 令和元年度 会員意識調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・170

平成 30 年 10 月 30 日

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
代表理事 会長 宮島喜文 様

定款・諸規程改定委員会

委員長	上原 昭浩
副委員長	竹浦 久司
委員	横地 常広
	長沢 光章
	梶山 広美
	滝野 寿
	深澤 恵治
	丸田 秀夫
	佐藤 元恭
	神山 清志
担当理事	竹浦 久司
事務局	篠崎 隆男

日臨技組織強化のための理事構成等の見直しについて(答申)

定款・諸規程改定委員会は、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会代表理事会長の諮問に基づき、日臨技組織強化のための理事構成等の見直しを検討することとした。

臨床検査技師並びに臨床検査関係団体を取り巻く環境は、医療技術の高度化並びに少子高齢化社会の到来や、団塊世代が75歳を迎えることにより医療や介護の需要が増大する2025年問題、それに伴う国の医療提供体制の見直し等が挙げられる。このような環境に的確に対処する対策の一つに都道府県ごとに策定された地域医療構想がある。日臨技と都道府県技師会は今まで以上に連携を密にし、国並びに都道府県毎の諸問題を早期に把握、先取りした対策を講じることが全国の会員にとっても重要な課題である。

全国の会員の声の日臨技の組織運営に反映されるよう、組織強化体制を整備する必要があることから、各 47 都道府県から1名以上の理事が選出されることを含む、理事の選出方法・構成の見直し、また、これに関連する支部組織・構成員の見直し等、喫緊の課題と考える下記事項について答申する。

1. 理事構成の変更

定款第 24 条(種類及び定数)で、理事 3 名以上 30 名以内とされており、理事が選出されていない都道府県が存在している。従って、全国的諸問題の早期把握並びに全会員の声を組織運営に反映させる体制とすることが必要であり、現行体制を理事 3 名以上 56 名以内に変更する。

(内訳)

- ・理事の選出方法は、各支部管轄の全 47 都道府県からの役員(会長相当職が望ましい)各 1 名の推薦とする。
- ・現行同様、会長候補者選挙当選者 1 名及び会長候補者選挙当選者の推薦者 8 名以内とする。

このことで、意思決定を行う理事会が理事の人数が増えるため形骸化してしまう可能性もあるので、法的に可能とはいえ、ガバナンスの問題もあることから、形骸化した理事会にならないよう、理事会運営の方策を検討すること。

また、Web 会議の拡大や理事会の開催回数の調整、支部関連会議体(全国幹事連絡会議等)の調整など、理事数の増加によるコスト(旅費交通費)増加の抑制を検討する。

2. 支部組織・構成員の見直し

理事選出・構成の変更の答申により、支部運営規程第 5 条(支部幹事の定数及び選任)の支部幹事の選任を見直し、支部幹事は理事が担うこととする。

これに伴い、組織運営規程第 10 章諸会議についても見直しを行う必要がある。

また、本見直しにより、各支部の理事数に差が出てくることや、会員数の地域格差に伴う理事構成について検討する。

3. 日臨技入会のみ会員(都道府県技師会には入会してなく、日臨技のみに入会している会員)の見直し

日臨技と都道府県技師会は法律上別組織であるが、臨床検査技師のための事業・施策に日臨技と都道府県技師会が一体的に実施することで、その効果を発揮するものとする。すなわち、両技師会は表裏一体と考える。このことから、日臨技会員については、都道府県技師会に所属していることを条件に会員とすることが望ましい。

このことで、現在の「日臨技入会のみ会員」については、都道府県技師会への入会を勧奨する。また、何らかの緩和措置を設けられるか検討する。

4. 執行理事会議の業務範囲明確化の提言

執行理事は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 1 項 2 号の規定に基づき選定されており、執行理事の組織体については、組織運営規程第 7 章において、理事会と明確に区分するため執行理事会議とされている。

同章規定には、執行理事は定款に定められた事業を会長の指示に基づいて分担執行するとされているが、執行理事会議の業務範囲等が明記されておらず、理事会との間における権限の明確化が必要である。

このことについては、理事会の権限を侵害しないよう、法律の専門家の助言を求める等、慎重に検討すること。

5. その他の提言

今般の日臨技組織強化のための理事構成等の見直しについて、会長より諮問を受け、定款・諸規程を確認するにあたり、定款及び諸規程において修正すべき箇所が見受けられ、また、定款・諸規程間において齟齬が生じている箇所もあることから、定款及び諸規程の見直しを提言する。

●関連会議の開催

平成 30 年 8 月 11 日	定款・諸規程改定委員会の事前打合せ
平成 30 年 9 月 27 日	第 1 回 定款・諸規程改定 WG
平成 30 年 10 月 10 日	定款・諸規程改定 WG 打合せ
平成 30 年 10 月 26 日	第 1 回 定款・諸規程改定委員会

平成31年3月31日

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長 宮島 喜文 様

臨床検査技師あり方推進ワーキンググループ

リーダー 丸田 秀夫

メンバー 横地 常広

長沢 光章

梶山 広美

滝野 寿

千葉 正志

西浦 明彦

片山 博徳

竹浦 久司

白波瀬浩幸

高村 好実

直田健太郎

担当理事 深澤 恵治

「将来へ向けての臨床検査技師のあり方」～提言～

はじめに

急速に少子高齢化に向けて進展する我が国は、団塊の世代（昭和22～24年に出生）が後期高齢者（75歳）となる2025年に照準を合わせた社会保障制度改革が進められている。また、高齢者人口がピークを迎える2040年には人口構成が激変することが予測されており、特に生産人口（15～65歳）の減少が加速して高齢者人口が4000万人とピークに達し、総人口の3分の1を超えると推計されている。行政や医師会を含む各種の医療団体では2040年を見据え、医療・介護サービスのあり方の検討が進められている。

このような背景を踏まえて各医療機関は新たな取り組みを模索している。我々臨床検査技師が国民にとって不可欠な職種として存続するためには何が必要なのであろうか？「臨床検査技師あり方推進ワーキンググループ」では医療の高度化、複雑化さらに情報通信技術（ICT：Information and Communication Technology）、人工知能（AI：Artificial Intelligence）等々の最新テクノロジーの医療への活用などを鑑み、臨床検査技師が将来へ向けて対応すべき課題として以下の3つのテーマを挙げ、提言書として取りまとめたので報告する。

検討テーマ

その1：AIと臨床検査技師なども含め10年後以上未来の臨床検査技師像を探る

その2：予防医学と臨床検査技師のあり方

その3：医療におけるコーディネーターとしての臨床検査技師の位置づけ

その1、A I と臨床検査技師なども含め10年後以上未来の臨床検査技師像を探る

提言の概要

科学技術の発達や労働人口の減少により、医療、検査分野でもロボットや「人工知能（A I）」が内蔵した医療機器、検査機器の開発が進むが、これは時代が求めている潮流である。

これに対して、臨床検査技師は臨床の場においては、ロボットや「人工知能（A I）」を管理する。道具として使う。お互い不足する能力を補完し合うことを目指し、国民により良い医療の提供を目指す体制を構築する。

提言に対する説明

団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年には、国内の就業者が1285万人減と予想される中で65歳以上が約4,000万人とピークに達し、労働現役世代の減少が最大の課題となる。20年後に直面する労働人口減少という大きなリスクは、首都圏の急速な高齢化と医療・介護分野の危機到来、深刻な実労働者の不足となること等が挙げられている。労働人口の減少を補うためには、女性や高齢者の社会参加の推進や外国人労働者の確保とさらなる活用などにとどまらず、ロボットや人工知能（A I : Artificial Intelligence）などのテクノロジーの活用による労働の自動化を進めることで、労働の生産性を高めると共に、働き方や生活スタイルを大きく変化させていくことが重要となっている。

これまで、臨床検査分野には様々な新技術が導入されてきた。その先駆けとしては、臨床化学検査分野で手動的測定により行っていた検査項目が生化学自動分析装置で測定できるようになり、血液検査分野では顕微鏡を用いて血球をカウントする方法から血球数計測以外の多項目をも同時に測定し、白血球分類まで行えるようになった。今後さらなる技術革新により、様々な検査領域において簡便で高精度の測定系が開発され臨床現場に導入されるはずである。

現在、「第4次産業革命」と呼ぶべき変革（イノベーション）が進行しており、その中核となっている技術が「人工知能（A I）」である。保健医療分野におけるA I活用のメリットは、患者・国民だけでなく、医療・介護従事者や産業界にも及ぶ。A Iは高度で洗練されたソフトウェアシステムで、コンピューターが人間の知性や意思決定を補助するものと考えられる。その中でも医療の分野では人間の知識トレーニングや情報の有効性検証、継続的な学習の実施に大量の検査データが使用されている。医療の分野での活用範囲としては、カルテ、検診・健診の電子記録、医学研究、臨床検査結果、各種診断情報等である。その中で最もA Iの導入が早いとされている臨床検査領域では、臨床検査技師の役割は何かを真剣に模索することが急務と考えられる。

このような状況で今後の想定されるA Iの機能・活用方法から将来の臨床検査室の状況を描いてみると、以下の項が挙げられる。

① マニュアル作業がオートメーション化される

A I 臨床検査室では、細かく煩雑な人為的作業は大きく削減される。臨床検査の工程全般のプロセスは効率が上がり、様々な意思決定も迅速に行えるようになる。臨床検査技師

はオートメーション作業を管理するA Iの管理が業務になる。

② デジタル化による情報の流れの自動化

ルールに基づいたプログラミングにより、臨床検査室内の人による作業と意思決定が置き換えられ、ワークフローは加速化しエラーが低減される。手書きの結果報告や手作業による編集をデジタル編集に変え、即時に医師に転送できるようになる。文書の間違い等は常にピックアップされ、人がA Iで動かされることもある。

③ 臨床検査のリーダーらが見るA Iの近未来

臨床検査業務でのA I活用は、患者ケアのパス、病変の検出や診断、慢性疾患の予防などへも波及し、今よりもさらに改善される。

④ 主流になっていくA I

A Iは学習と改善を繰り返しながら、患者以外とのやり取りも処理できるようになり、患者ケアの流れのすべてが変革する。つまり、EHR (Electronic Health Record) の確認から検査の発注、診断情報や症状、リスクプロファイルや人口統計までを統合し、診断と治療のオプションを推奨することができる。

A Iの普及は当然の流れであり、医療の現場は急速に様変わりしていくことが予想されるが、それらに柔軟に対応し、自らの立ち位置を確立し、医療の現場で不可欠な存在となる必要がある。そのための方策として、臨床検査技師がA Iの示した結果を理解し、それを分かりやすく患者に伝えるなどの取り組みが「A Iを利用する」ことに繋がると考える。臨床検査の専門性を活かしつつ、A I技術やICT技術と医師そして患者間を橋渡しする業務、ここに着目していくことで到達する未来がみえてくる。また、A Iを有効に機能させるためにはベースとなる様々な医療情報の精度・品質の確保も重要であり、A Iへインプットする臨床検査情報の品質確保は当然臨床検査技師が担う業務となる。

A Iの普及により、医療現場の労働環境は大きく変化すると予想される。これまで臨床検査技師が行ってきた業務は、今後はA Iが的確に正確に判断し、実践してくれる時代となる。そこで懸念されているのが「A Iが普及すると我々の職種がなくなる」といった意見であるが、A Iはあくまで「道具」であり「道具」には必ず「使う人」が必要となる。つまりA Iは我々にとって仕事を奪う「脅威」ではなく、人間と「共存」していく存在となっていくと予想する。実際の医療現場では患者を中心としての業務であり、複雑な表現を交えたコミュニケーションが必要であるが、臨床検査技師がこれからのA I時代を生き残るためにはA Iを活用できる人材の育成を急ぎ、A Iと共に「コミュニケーション力」を磨き患者の近い場所で業務を実践し、他医療職に信頼される職種になっていくことが必要と考える。

その2、予防医学と臨床検査技師のあり方

提言の概要

臨床検査技師は、医師が行なうあらゆる疾病診断のための臨床検査値を提供する唯一の

医療技術者であり、提供した臨床検査値での診断は医業であり医師のみしか認められていないが、臨床検査値と当疾病・病態との関連性についての理解は、他の医療技術者に比べて優位な存在である。

このことから、臨床医学の領域に限らず、生活指導、予防医学に関連するあらゆる領域において活躍できる考えることから、制度設計に取り組むべきである。

提言に対する説明

現状の臨床検査技師の多くが勤務している環境は臨床医学と考えられる。臨床医学は予防医学と異なり、健康障害の原因を特定し、それを取り除き治療することである。一方、診断学では一次予防、二次予防などの予防医学との連携が不可欠とされている。臨床分野では予防的活動を行うことが可能であり、予防医学の重要性から現在では医師の予防医学教育が進んでいる。同時に、予防医学の領域の拡大に伴いメディカルスタッフの役割分担の重要性も認識されつつある。予防医学の実践活動は医師、歯科医師の他に薬剤師、保健師・看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士等の医療職種の協力活動による展開が進められてきた。しかし、臨床検査技師はこの領域に十分に認知されているとは言い難い現状がある。国内の人材育成は全国の大学医学部および医科大学に衛生学、公衆衛生学の講座を設置して予防医学に関する教育が実施されているにも関わらず、臨床検査分野ではそれらに対応出来ているとはいえない状況である。

臨床医学の学会を中心に専門医、認定医、指導医の形で専門医制度が整備されつつあるが、公衆衛生あるいは予防医学に関する研修の必要性を認識し、その内容について検討することも必要であるようである。また、予防医学分野では一部の学会を除き、各学会が人材養成にどのように関わるべきなのか十分に検討されていない。関連学会が医師だけでなく予防医学に関わる幅広い人材養成にどう取り組んで行くべきか模索する時期と捉えるべきである。臨床医学の各領域においては予防医学教育の拡充を検討する必要がある。臨床検査技師、看護師等の大学における人材育成教育が急がれる。そのうえで、臨床検査分野の立ち位置も明確化しなければならない。

予防医学には、一次予防（疾病の予防。健康への啓発、健康増進、特殊予防（教育、予防接種など））と二次予防（重症化の防止。疾病の早期発見と早期措置、適切な医療と診療対策（健康診断など））と三次予防（疾病が発症した後、必要な治療を受け、機能の維持・回復を図ること）がある。

一次予防は、健康な人が病気になる前の段階の予防で、臨床検査技師が大きく係るところであり生活習慣の検査や改善指導を通じて寄与できる。また、治療において検査値が基準値範囲内になるようにコントロールして病気になる前に予防することも可能となり、国民に対して予防に関する教育も推進できる。

二次予防は、発生した疾病に対して自覚症状が出る前に疾病を発見し、早期に治療しようとするものである。その早期発見のために各種の健康診断が実施されている。ここでも臨床

検査が利用され、多くの臨床検査技師が活躍しているところである。

三次予防は主に医療における診療により、病気の進展を防いだり、合併症の発生を防いだりするものである。ここでの臨床検査は治療の経過観察や投薬などのモニタリングなどが想定される。人口の高齢化や社会環境の変化に伴い、脳血管疾患・心臓疾患・呼吸器疾患など基礎疾患を有する人々が病院から在宅などで疾病管理を行うことが想定され、居宅での疾病管理にはある程度の臨床検査を用いて適切に行われなければならない。現状では臨床検査技師の存在は希薄なものは否めないが、地域包括ケアシステムを上手に利用し臨床検査技師による居宅での疾病管理（三次予防）は政府の方針に沿った内容であると考えている。

以上のような国民に寄り添った検査や検査説明だけではなく、一次、二次さらには三次を合わせた総合健診システムを構築ができるのは、検査の専門家である臨床検査技師にできることである。また、予防医学においては、膨大な受診者データを有しており、AI を用いて解析することにより、疾病の早期発見や治療経過の観察、合併症の防止に貢献すると考える。超高齢社会が始まった現在、高齢先進国に生きる私たちは、健康維持に努め、さまざまな疾患と立ち向かい高齢期でも健康で、自立して、社会に貢献できること、新たなサクセスフル・エイジング（幸せに、より良く老いる）のモデルやシステムの構築と実践を行い、それを世界に発信できることを期待したい。当然その中には臨床検査技師が加わり一次・二次・三次の予防医学へ寄与もできる。すべての国民が健康に関心を持ち、病気にならないように臨床検査技師ができることを創造し、医療費の削減につながる仕事ができる臨床検査技師、国民（患者）中心に仕事ができる臨床検査技師になることが重要である、それらを担う人材の育成も重要な課題である。

その3、医療におけるコーディネーターとしての臨床検査技師の位置づけ

提言の概要

臨床検査技師は、医師が行なうあらゆる疾病診断のための臨床検査値を提供する唯一の医療技術者であり、提供した臨床検査値での診断は医業であり医師のみしか認められていないが、臨床検査値と当疾病・病態との関連性についての理解は、他の医療技術者に比べて優位な存在である。

このことから、臨床医学の領域に限らず、生活指導、予防医学に関連するあらゆる領域においても、コーディネーターとして活躍できる考えることから、制度設計に取り組むべきである。

提言に対する説明

現在、臨床検査技師がコーディネーターの名称を用いて活動出来ている分野は、治験コーディネーター（CRC : Clinical Research Coordinator）やPOC（Point Of Care）コーディネーター等がある。

CRC は治験責任医師又は治験分担医師の指導の下、治験業務に協力する者で、主に看護師、薬剤師、臨床検査技師などが担当している。業務範囲としてはインフォームド・コンセント

取得補助、治験のスケジュール管理、治験中の患者のサポート、症例報告書作成補助、関係各部署のスタッフに対する連絡、調整などである。

POC コーディネーターの役割は、操作マニュアルやトレーニング事項の作成と記録、機器・試薬の添付文書など書類の管理、各部門における責任者の把握、測定現場での操作手順の確立、測定現場と検査室への連絡、使用者の教育などである。

これらの他に生活習慣病や糖尿病をはじめとする慢性的な疾患の患者管理のためのコーディネーターも重要視されている。患者管理において臨床検査は重要なメルクマークであり、臨床検査技師の関与が不可欠と考える。上記のほか、臨床検査技師に期待されるコーディネーター業務について以下5つの可能性を考察してみる。

一つ目は、検体検査の精度の確保に関する医療法等の一部改正に伴い、臨床検査技師が、作業手順書や日誌・台帳の作成・運用管理を任されるなど法改正への体制整備において、検査室が管理する領域を超え施設全体の検体検査に関連する運営・管理のコーディネートができることである。

二つ目は、臨床検査技師は、がんゲノム医療の実用化に必要な医療従事者として、がんのゲノム医療に関する遺伝子関連検査に精通し、患者・家族への説明、多職種との連携、意思決定支援等を担うことができ、がんゲノム医療コーディネーター業務ができることである。平成30年より厚生労働省主導で人材の育成が進められており、臨床検査技師をはじめ看護師、薬剤師が対象職種となり、がんゲノム医療中核拠点病院やがんゲノム医療連携病院に配置が求められている。業務内容の多くの部分は臨床検査技師の専門性が発揮できる遺伝子関連検査に関するものであり、多くの臨床検査技師の関与が望まれる。

三つ目は、各医療職種の役割分担をコーディネートできることである。たとえば多職種業務推進コーディネーター（仮称）である。働き方改革の検討の中で、医師・看護師の負担軽減を目的とする医療職の働き方や仕事の割り振りを臨床検査技師がコーディネートすることも十分に可能である。診療放射線技師や病院薬剤師と比較し、臨床検査技師は医療・疾病に関連する豊富な知識と技術を活用することにより、患者・病院双方に有益となる。

四つ目は、臨床検査技師は、現状のレベルにおいて一定以上の検査データ管理が可能である。また、検査領域を超え、医療事故防止・削減に向けて、病院・施設全体のロジック構築に有効なツールをコーディネートできる力がある。検体検査のデータ解析において、設定された解析ロジックに基づき、臨床検査システムから受信した検査オーダー・検査結果をリアルタイム自動解析する診断支援において、検査ロジックに従ってフォローすることで、臨床検査技師は今後さらなる進化ができる。

五つ目は、在宅医療において、検体採取やPOCT 検体検査、ポータブル超音波、心電図なども使いこなせる臨床検査技師は、どのような医療スタッフをどの患者宅に派遣することで、よりよい医療を提供できるのかをコーディネートすることが可能となる。在宅医療において診療の効率化、医師の業務軽減、看護師や関連するメディカルスタッフが単独で在宅を訪問するシステムが一般化するところに臨床検査技師も含まれることによりコーディネー

ターの役割を發揮し在宅での活躍が期待される。

臨床検査技師がコーディネーターとして関与した事例の一端として以下の事例を把握している

- ◆院内における多職種の研修事業（診療支援研究会）
- ◆在宅医療における多職種研修事業（医師、薬剤師、ケアマネ、行政、介護福祉士、作業療法士など）
- ◆地域の医療施設の地域講演事業への臨床検査技師の参入
- ◆地域企業とのコラボレーションによる社会貢献活動等活動
- ◆職域を跨いだ研修事業（コメディカル統合研修会）
- ◆平成31年度開催を目指し、勇美財団助成金の申請（2回目）を行った。（事業は技師会ではなく南予プロジェクト、代表高村）①. 顔の見える多職種連携研修会 ②. 看取りの経験報告研修会（いずれも愛媛2市3町での研修会開催予定）、などがある。

このような事例をコーディネーターとすることは、最初にコーディネーターの概念やフレームを作らなければならない。それはフィールドが広すぎる場合は意見が右往左往するからである。そしてコーディネーターのカテゴリーを明示することが必要である。

社会においては、いずれの仕事に関してもコーディネートを行う仕事は、個々のキャリアに裏付けされた知識やコミュニケーション能力を持ち、ネットワークの良い人材が適していることが多く、その業務を行うためには、総合的な人間力や特定の分野に特化した人材を意識的に育成する環境が必要である。

コーディネーター業務を臨床検査の実務と並行して行う業務に位置づけるのか、コーディネーター専任とする仕事として位置づけるのかを考えると、臨床検査現場にしながらコーディネーター業務の兼務は難しいかもしれない。専任のコーディネーターとして活躍できる臨床検査技師を育成することを主眼に置いて、専任のコーディネーターである臨床検査技師が、コーディネーター業務に役立てるために臨床検査現場で研修して実務も学ぶ、そういった位置づけと関係性が理想である。

結びに

以上 3 つのテーマについて現状と今後の課題についてまとめた。それら以外についても多くの論点があるが、今後折に触れ整理していきたい。

旧来、臨床検査技師の主要な業務の場は、中央化された検査室内での測定業務が中心であり、日々検査室へ提出される多量の検体を迅速に測定し、精度の高い検査結果を報告することに多くの労力を投入してきた。そのような中、2025 年問題をはじめ、医療を取り巻く環境の変化によりチーム医療の必要性が明確化され、臨床検査技師も医療職種の一員としてチーム医療への参画が不可欠となった。本来のチーム医療は患者本位、患者中心の医療を提供することが求められている。医師の働き方改革に伴うタスクシフトなど医療を取り巻く環境の変化だけでなく、臨床検査技師による真のチーム医療推進のためには、従来から当会が目指している患者に寄り添う臨床検査技師の創造が不可欠であると考え。さらに将来を見据えると、技術革新により自動化、ロボット化が加速し、従来の臨床検査業務の多くは人手を不要とする時代が到来すると予測されている。2018 年 11 月、政府は、AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システムの研究開発計画を始動させた。その中には、患者の負担軽減・がん等の再発の超早期診断につながる AI 技術を応用した血液等の超精密検査を中心とする、患者生体情報等に基づく AI 技術を応用した診断、モニタリング及び治療（治療薬含む。）選択等支援システム（センサー、検査機器等の開発、活用含む。）の開発が含まれている。

未来を見据え、臨床検査技師が医療の中で必要不可欠な職種としてあり続けるためには、時勢に合わせ社会のニーズに柔軟に対応し、常に新たな活路へ向け挑戦し続ける気概と勇気が不可欠であると考え。今回の提言がその一助となることを願い結びとする。

臨床検査技師による認知症医療推進のための

アンケート調査結果から見る一考察

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会

認知症ワーキンググループ

令和2年3月31日

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長 宮島喜文 様

認知症ワーキンググループ

委員長 宮原 祥子

委員 山本 幸治

高村 好実

河月 稔

担当理事 深澤 恵治

担当事務局 内海万紀幸

臨床検査技師による認知症医療推進のための

アンケート調査結果から見る一考察

日本は他の国の類を見ない速度で高齢化が進んでいる。厚生労働省の発表では2025年に日本の高齢者人口は3,500万人に達すると言う試算を打ち出している。もちろん高齢者が多くなるに比例して、認知症の患者も増加すると予想し2025年には約800万人の認知症患者を抱え、さらに軽度認知症患者(MCI)を含めると約1,300万人(国民の9人に一人)の認知症関連患者を抱える、認知症大国となることも予想しているところである。そのように2025年問題への対応により激変する医療情勢の中で、我々臨床検査技師がメディカルスタッフとして確固たる立場を堅持するためには、チーム医療へ積極的参画が不可欠である。旧来からのICT、NST、糖尿病療養指導等の業務に加え、病棟さらに在宅の場でのチーム医療への関与が求められ、日本臨床衛生検査技師会(以下日臨技)でもチーム医療への参画推進のための法・制度の整備、事業展開を進めている。臨床検査技師の認知症医療への取り組みも同様の位置づけとして、認定認知症領域検査技師制度や認知症モデル県、臨床検査技師による神経心理検査推進事業などが立ち上がり、認知症に対応できる人材の育成が始まっているところである。今回は2017年度～2018年度の間に開催していた神経心理学的検査講習会(AおよびB講習会)に関して、神経心理学的検査の手法を習得した会員が現在実際にどのような業務を行っているか調査し、この調査結果をもとに臨床検査技師として認知症医療へ参入していく方策について若干の知見を得たのでここに報告する。

ワーキングの開催

- 1 第1回WG: 令和元年6月21日(金) 日臨技会館 第3会議室
- 2 第2回WG: 令和元年9月21日(金) 日臨技会館 第3会議室

目 次

- I 神経心理学的検査に関するアンケート（結果と考察）

- II 今後の認知症領域への活動に関するアンケート（結果と考察）

- III 本報告書のまとめ（提言）
 - 1. 考察
 - （1）臨床検査技師が市民に向けて実施できること
 - （2）臨床検査技師の認知症講習会のカリキュラム案について
 - （3）臨床検査技師会による認知症学術団体とのコラボについて

 - 2. まとめと提言

 - 3. おわりに

別 添（参考資料）

- ① 資料 1（Web アンケート調査の内容）
- ② 補足表 1～4（アンケートの自由記述回答）
- ③ 資料 2 および 3（講習会開催例）

I 神経心理学的検査に関するアンケート（結果と考察）

1. アンケートの目的

2017年度～2018年度の間に開催していた神経心理学的検査講習会（AおよびB講習会）に関して、神経心理学的検査の手法を習得した会員が現在実際にどのような業務を行っているか調査し、この調査結果をもとに臨床検査技師として認知症医療へ参入していく方策について検討し日臨技としての事業展開につなげていくことを目的とする。

2. 調査対象および方法

（1）対象者

2017年度～2018年度に行った認知症対応力向上研修会 A 講習・B 講習を受講した会員 977名に対して、令和元年 7月 8日～26日までの間に日臨技ホームページ上で Web を利用したアンケート調査を行った（別添の資料 1）。ただし、高知県で開催された B 講習受講者 13名に関しては、受講登録の際に日臨技 HP を使用せずに行っていたため案内をメールすることができず、アンケートを実施してもらうことができなかった。したがって、実際のアンケート対象者は 964名であった。

（2）アンケート項目

性別、年代、役職、自施設の規模、所属技師数、担当中の検査部門、認知症に関する保有資格、加入学会、自施設において主に認知症を診察している診療科、受講した講習（AおよびB講習会）、講習を受講した最も大きな理由、臨床検査技師が実施している神経心理学的検査の現状と今後の予定、神経心理学的検査を実施している場合はその項目、神経心理学的検査を実施する予定がない場合はその要因を調査した。

3. 集計結果

（1）回答者

認知症対応力向上研修会 A 講習・B 講習を受講したアンケート調査対象 964名に対して、総回答者数は 355名であり、回答率は 36.83%だった。尚、全ての項目について回答していない者が 26名いたため、解析には 329名（男性：84名、女性：245名）の回答データを用いた。解析に用いた 329名の年代、役職、自施設の規模、所属技師数、担当中の検査部門、受講した講習、受講した理由についての回答を表 1 に示す。また、認知症に関する保有資格としては認定認知症領域検査技師 122名、認知症予防専門士 3名、加入学会は日本認知症予防学会 107名、日本神経学会 6名、日本認知症学会 1名、主に認知症を診察している診療科は脳神経内科 113名、精神科 60名、脳神経外科 35名、老年科 11名であった。

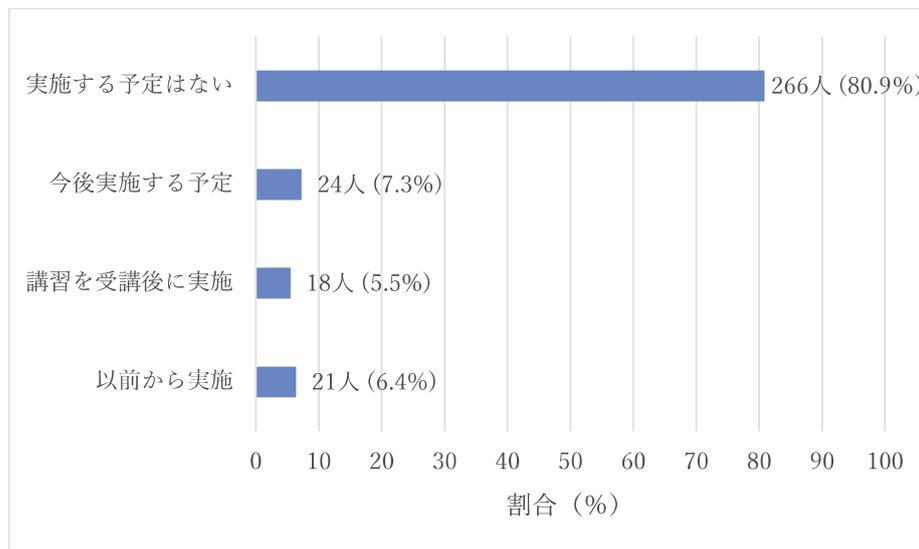
【 表 1. 解析対象者の背景情報 】

	解析対象者 (n=329)	
	人数 (人)	割合 (%)
年代		
21～30 歳	18	5.5
31～40 歳	45	13.7
41～50 歳	98	29.8
51～60 歳	150	45.6
61～65 歳	18	5.5
役職		
部長相当職 (部長・医療技術部長)	7	2.1
管理 相当職 (技師長・課長・職長)	61	18.5
准管理 (相当職・副技師長・課長補佐)	26	7.9
係長相当 (職主任・係長)	86	26.1
一般職 (常勤：正社員)	127	38.6
一般職 (非常勤：アルバイト・パート)	17	5.2
その他 (上記以外)	5	1.5
自施設の規模		
19 床以下	34	10.3
20 床～199 床	95	28.9
200 床～499 床	131	39.8
500 床以上	69	21.0
所属技師数		
1～5 名	91	27.7
6～10 名	48	14.6
11～20 名	54	16.4
21～30 名	48	14.6
31 名以上	88	26.7
担当中の検査部門		
検体検査	77	23.4
生理検査	93	28.3
全般	111	33.7
その他	48	14.6
受講した講習		
講習会 A	32	9.7
講習会 B	297	90.3
受講した理由		
興味があった	222	67.5
仕事上で必要であった	15	4.6
資格が取りたかった	60	18.2
他者 (上司等) の指示や勧め	18	5.5
その他	14	4.3

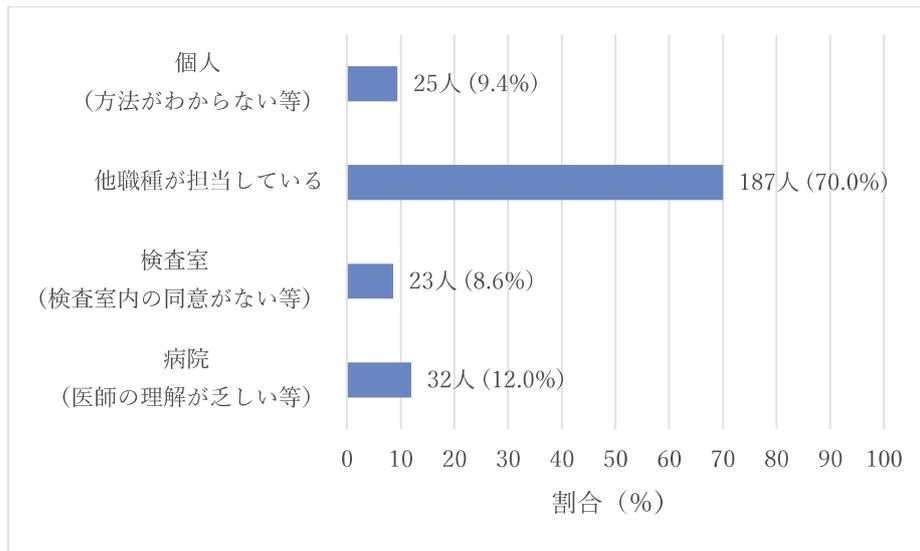
(2) 講習会受講後の神経心理学的検査の実施状況

講習会前から実施していると回答した人は 21 名 (6.4%)、講習を受講後に実施するようになったと回答した人は 18 名 (5.5%)、今後実施する予定があると回答した人は 24 名 (7.3%)、実施する予定はないと回答した人は 266 名 (80.9%) だった (図 1)。実施する予定はない要因としては、病院 (医師の理解が乏しい等) と回答された人は 32 人 (12.0%)、検査室 (検査室内の同意がない等) と回答された人が 23 人 (8.6%)、他職種が担当していると回答された人が 186 人 (69.9%)、個人 (実施する方法がわからない等) と回答された人が 25 人 (9.4%) だった (図 2)。

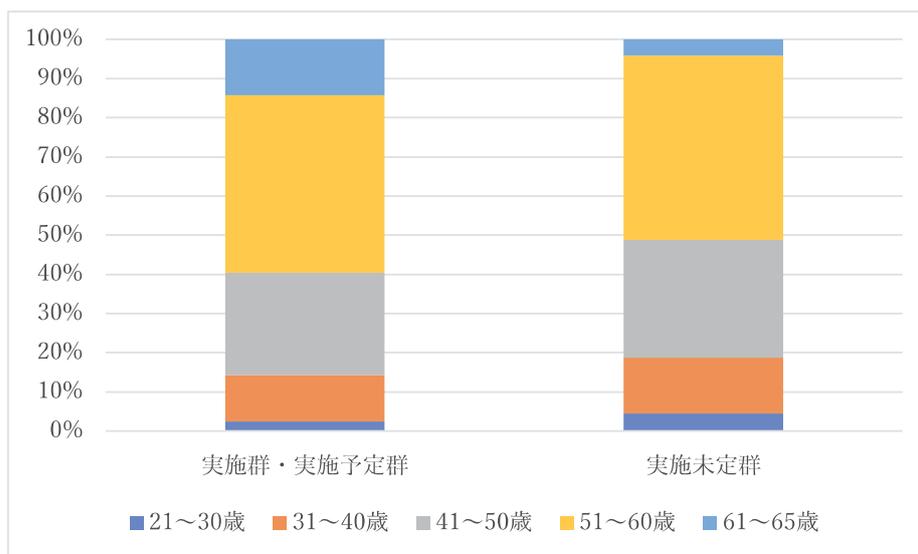
次に講習受講後に実施するようになったと回答した人および実施する予定があると回答した人を合わせた群と実施する予定はないと回答した人の群のアンケート調査結果の比較を行った。年齢、役職、認定認知症領域検査技師の資格の有無、主に認知症を診察している診療科は 2 群間でアンケートの回答結果に統計学的な差は認めなかった (図 3~6)。一方、所属技師数、担当中の検査部門、自施設の規模、受講した理由については 2 群間でアンケートの回答結果に有意差を認めた。所属技師数に関しては、実施群・実施予定群で 1~10 名の施設が多かった (図 7)。担当中の検査部門に関しては、実施群・実施予定群で検査全般を担当していると回答した人が多かった (図 8)。自施設の規模については、実施群・実施予定群で 20 床~199 床と回答した人が多かった (図 9) 受講した理由については、実施群・実施予定群で工作上必要であったと回答した人が多かった (図 10)。



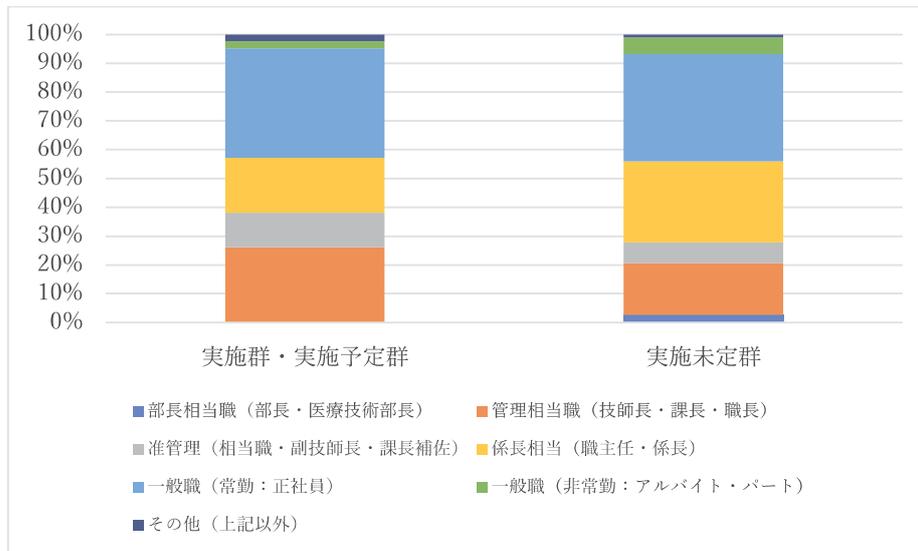
【 図 1. 神経心理学的検査の実施状況 】



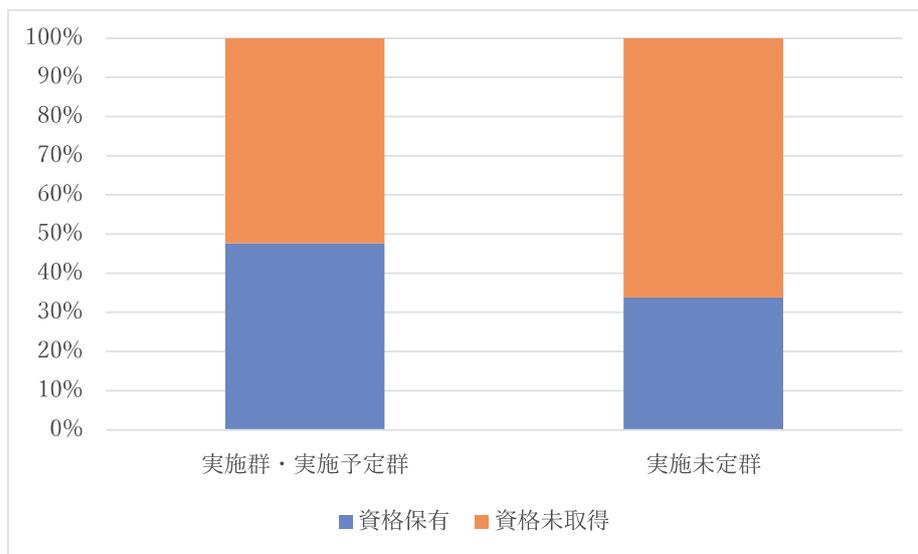
【 図 2. 神経心理学的検査を実施する予定がない要因 】



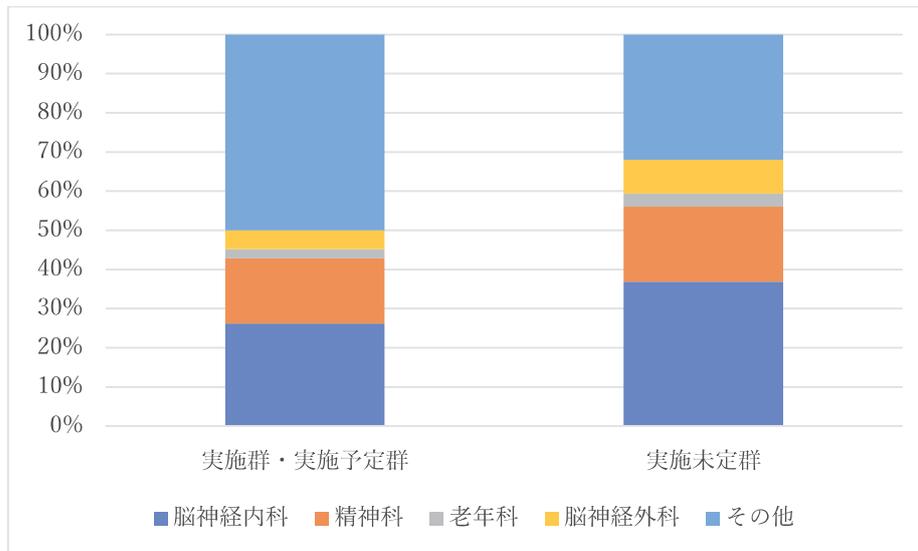
【 図 3. 実施群・実施予定群と実施未定群の年齢の比較 (統計: Fisher's exact test, p=0.832) 】



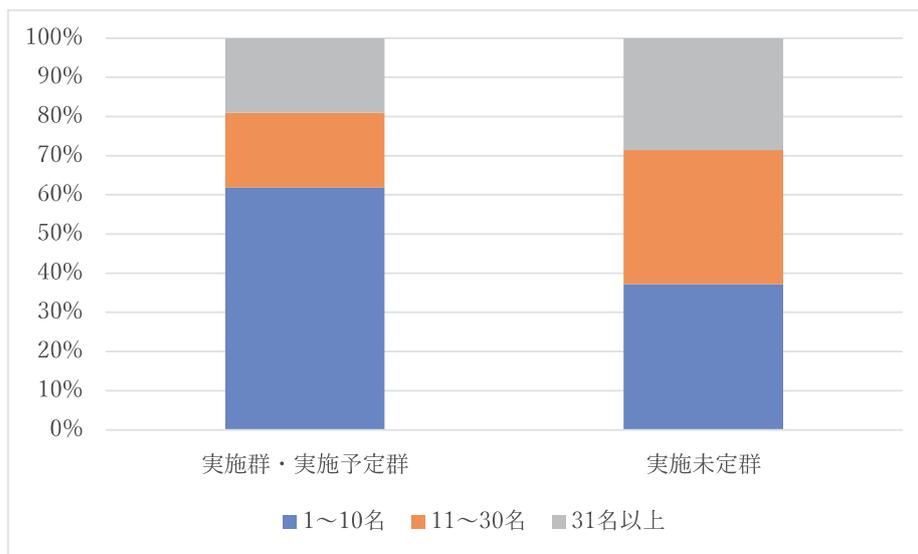
【 図 4. 実施群・実施予定群と実施未定群の役職の比較 (統計: Fisher's exact test, p=0.431) 】



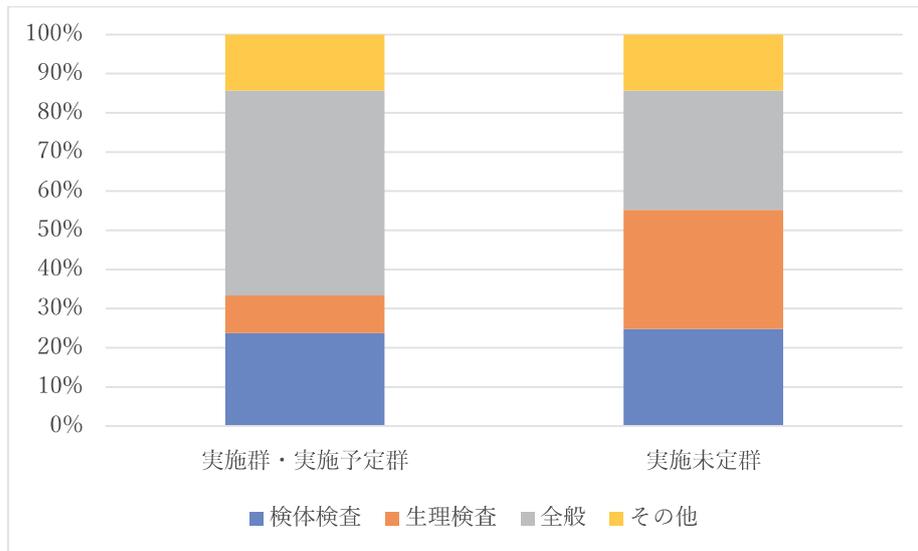
【 図 5. 実施群・実施予定群と実施未定群の認定認知症領域検査技師の資格の有無の比較 (統計: Fisher's exact test, p=0.087) 】



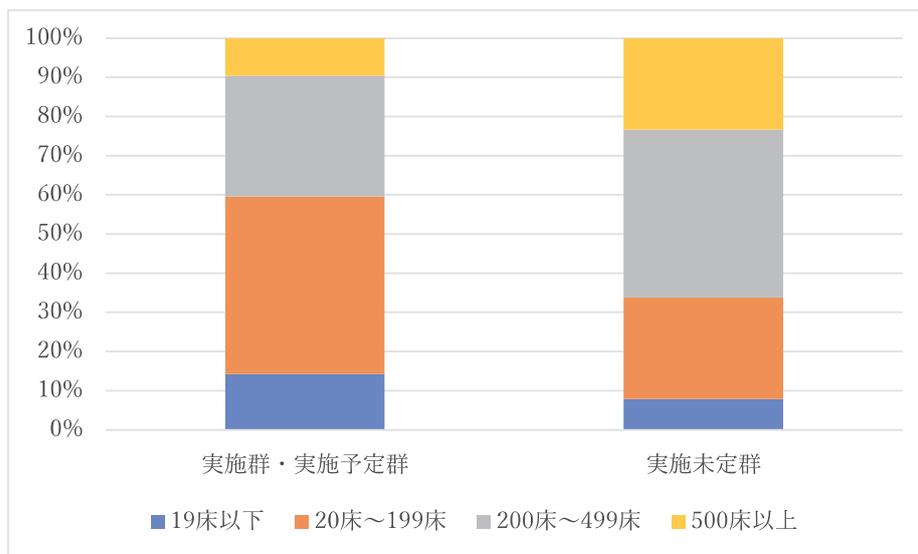
【 図 6. 実施群・実施予定群と実施未定群の主に認知症を診察している診療科の比較（統計：Fisher's exact test, $p=0.280$ ）】



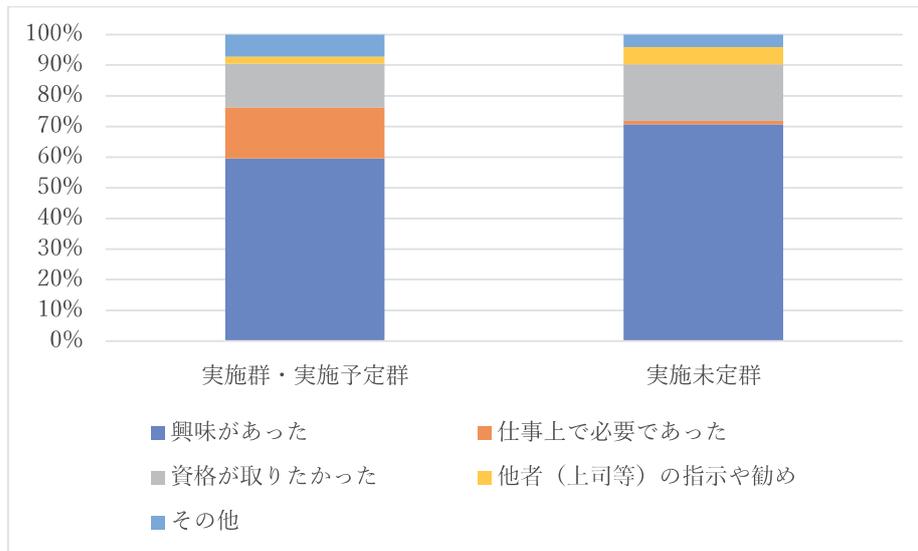
【 図 7. 実施群・実施予定群と実施未定群の所属技師数の比較（統計：Fisher's exact test, $p=0.012$ ）】



【 図 8. 実施群・実施予定群と実施未定群の担当中の検査部門の比較（統計：Fisher's exact test, p=0.009） 】



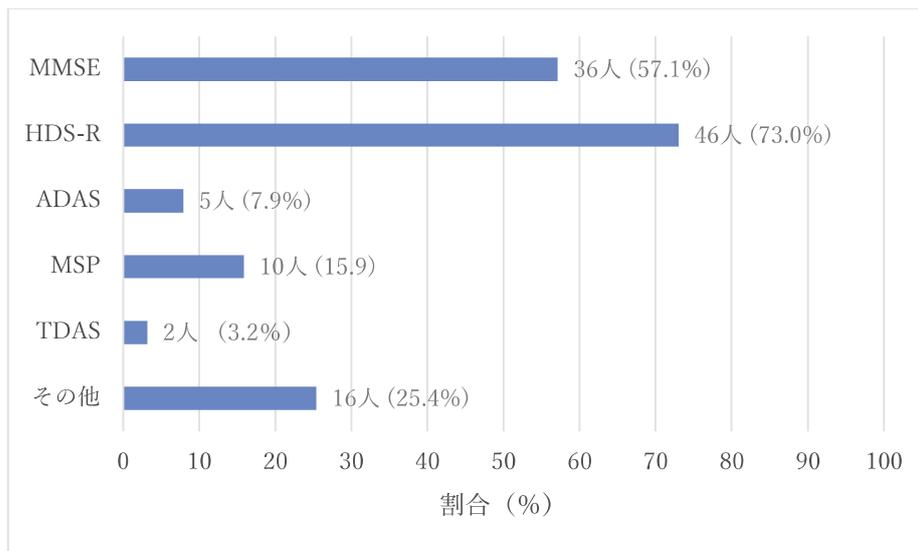
【 図 9. 実施群・実施予定群と実施未定群の自施設の規模の比較（統計：Fisher's exact test, p=0.009） 】



【 図 10. 実施群・実施予定群と実施未定群の受講理由の比較 (統計 : Fisher's exact test, $p < 0.001$) 】

(3) 神経心理学的検査の実施項目

神経心理学的検査を実施しているあるいは実施予定と回答した 63 名 (講習会前から実施 : 21 名、講習を受講後に実施 : 18 名、今後実施する予定がある : 24 名) の神経心理学的検査の実施項目について検討を行った。実施項目に MMSE をあげた人は 36 名 (57.1%)、HDS-R をあげた人は 46 名 (73.0%)、ADAS をあげた人は 5 名 (7.9%)、MSP をあげた人は 10 名 (15.9%)、TDAS をあげた人は 2 名 (3.2%) だった (図 11)。その他として多かった項目は、MoCA-J をあげた人が 7 名、FAB をあげた人が 4 名、CDT をあげた人が 3 名、GDS をあげた人が 3 名、かなひろいテストをあげた人が 3 名であった。



【 図 11. 神経心理学的検査の実施項目 (複数回答可) 】

4. 「神経心理学的検査に関するアンケート」の考察

講習の受講理由としては興味があったと回答した人が多く、一定の関心ある講習であったと思われ、さらに講習の波及効果として、講習後に神経心理学的検査を実施するようになった、あるいは実施予定と回答した人は全体の 12.8%であった。今回のアンケートより、講習を受講した後に神経心理学的検査を実施することになった、あるいは今後実施する予定があると回答された人は、施設の規模としては 20 床～199 床で、臨床検査技師数は 1～10 名で、検査全般を担当しているという傾向が示唆された。また、仕事上で必要であったために講習を受講した人は必然的にその後、神経心理学的検査を実施しているという結果であった。今回のアンケート結果では、年齢、役職、認定認知症領域検査技師の資格の有無は神経心理学的検査を新たに行っていくうえで重要な因子ではなかった。年齢や役職の階級が高い人、認定認知症領域検査技師の資格を保有している人の方が周囲への影響力があるため、神経心理学的検査の実施に有利であると考えられるが、大きな要因にはなっていない。一方、今後も神経心理学的検査を臨床検査技師が行う予定はないと回答された人の多くは、他の職種の人が既に担当しているということを要因に挙げていた。例えば、大きな病院では他の職種の人員も豊富であるため既に他の職種が行うことで運営体制が確立されているために、新たな参画に苦慮していると考えられた。

実施している神経心理学的検査の項目としては、MMSE や HDS-R といった認知症のスクリーニング検査が多かった。臨床検査技師に求められている役割としては特殊検査ではなく簡易に実施できるスクリーニング検査であると考えられた。今後、各都道府県で神経心理学的検査の講習を実施する際は MMSE、HDS-R に加えて MoCA-J、FAB、CDT、GDS、かなひろいテスト等の簡易検査に焦点を当てた内容を取り上げていくことが現場のニーズに合った臨床検査技師の育成に繋がると思われた。

以上のことより、比較的小規模病院では、神経心理学的検査を実施するようになった人が多く、講習を受講することで病院内でも臨床検査技師が認知症の検査に関する知識や技術を持っていることを周知してもらいやすいと思われた。一方で比較的規模が大きな病院では、既に神経心理学的検査の実施体制が構築されていることが多く、新たに臨床検査技師が参画していくにはそのメリットや他の職種へのアプローチの方法等を考える必要がある。2018 年 9 月 22 日に開催された第 8 回日本認知症予防学会学術集会の予防学会・日臨技合同シンポジウムで越谷市立病院（発表当時の許可病床数 481 床）の渋谷賢一技師が、新たに臨床検査技師が神経心理学的検査を行うようになったことを報告しており、その背景には作業療法士が神経心理学的検査を担当していたが患者数が増えたことに伴う検査件数の増加や新規検査の導入、認知症疾患に関する治験の参加等により体制を見直す必要が議論され、臨床検査技師も神経心理学的検査を担当するようになったとのことであった。他にも新規参画事例はたくさんあると思われるため、日臨技としては、臨床検査技師が神経心理学的検査を行うメリットや他の職種が既に神経心理学的検査を担当している場合のアプローチの方法等の事例を集積して会員に提供することで、認知症領域での臨床検査技師の活躍

の場を増やしていくように働きかけることが大事であるとする。また、臨床検査技師が神経心理学的検査を新たに行うにはスクリーニング検査である MMSE や HDS-R について習得し、問題なく行えることが新規参入の第一歩であるとともに他の職種に求められている役割だと推測された。

Ⅱ 今後の認知症領域への活動に関するアンケート（結果と考察）

1. アンケートの目的

この調査結果をもとに臨床検査技師として認知症医療へ参入していく方策について検討し日臨技としての事業展開につなげていくことを目的とする。

2. 調査対象および方法

(1) 対象者

2017年度～2018年度に行った認知症対応力向上研修会 A 講習・B 講習を受講した会員 977名に対して、令和元年 7 月 8 日～26 日までの間に日臨技ホームページ上で Web を利用したアンケート調査を行った（別添の資料 1）。ただし、高知県で開催された B 講習受講者 13 名に関しては、受講登録の際に日臨技 HP を使用せずに行っていたため案内をメールすることができず、アンケートを実施してもらうことができなかった。したがって、実際のアンケート対象者は 964 名であった。

(2) アンケート項目

技師会が会員に向けて今後行っていくべきこと、臨床検査技師が市民に向けて認知症領域で実施できること、今後の認知症領域での活動に関する日臨技への要望、検査の現場における認知症患者への対応について、苦労したこと、困ったことを調査した。

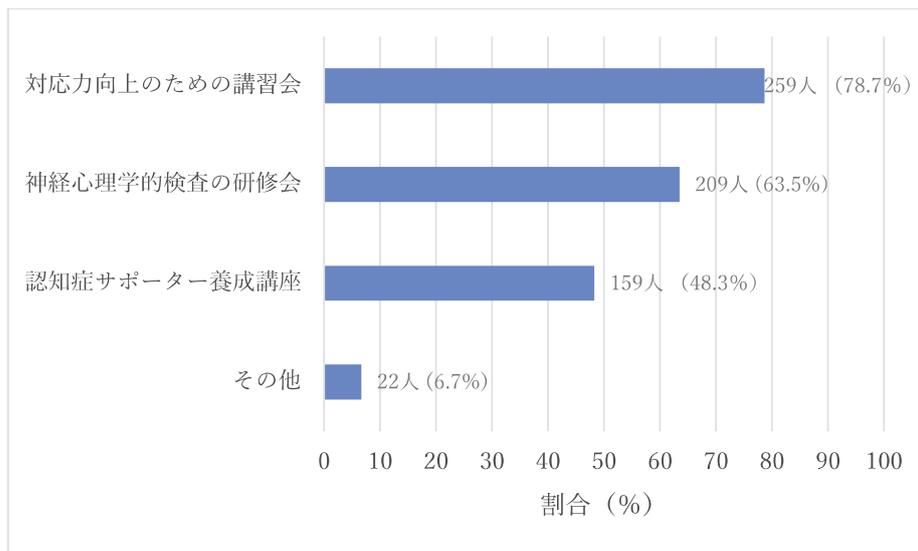
3. 集計結果

(1) 回答者

認知症対応力向上研修会 A 講習・B 講習を受講したアンケート調査対象 964 名に対して、総回答者数は 355 名であり、回答率は 36.83%だった。尚、全ての項目について回答していない者が 26 名いたため、解析には 329 名（男性：84 名、女性：245 名）の回答データを用いた。

(2) 技師会が会員に向けて今後行っていくべきこと

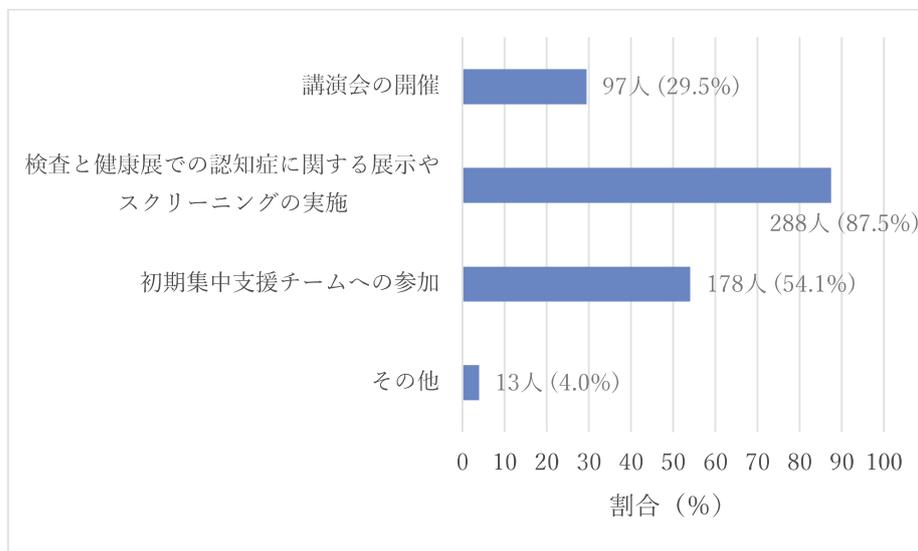
329 名のアンケートの回答結果は、認知症対応力向上のための講習会と回答した人は 259 名、神経心理学的検査の研修会と回答した人は 209 名、認知症サポーター養成講座と回答した人は 159 名、特に必要なしと回答した人は 7 名であった（図 1）。その他としては、別添の補足表 1 のとおりであった。



【 図 1. 技師会が会員に向けて今後行っていくべきこと（複数回答可） 】

（3）臨床検査技師が市民に向けて認知症領域で実施できること

329 名のアンケートの回答結果は、講演会の開催と回答した人は 97 名、検査と健康展での認知症に関する展示やスクリーニングの実施と回答した人は 288 名、市町村の初期集中支援チームへの参加と回答した人は 178 名であった（図 2）。その他としては、別添の補足表 2 のとおりであった。

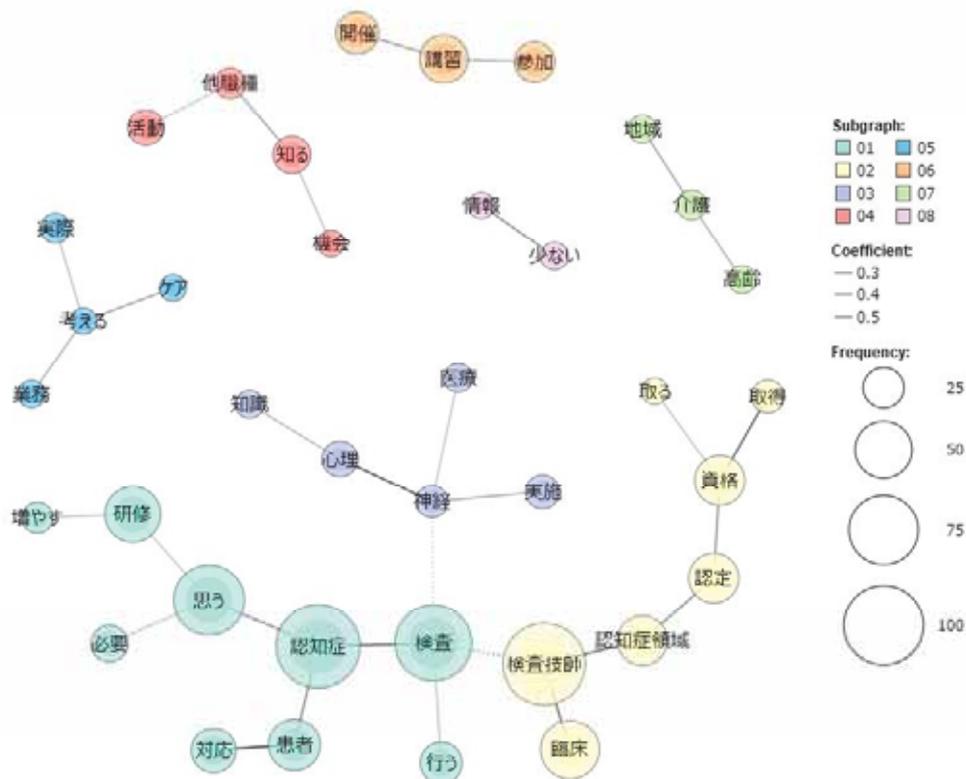


【 図 2. 臨床検査技師が市民に向けて認知症領域で実施できること（複数回答可） 】

（4）今後の認知症領域での活動に関する日臨技への要望

329 名のアンケート調査回答者のうち、137 名より要望があった（別添の補足表 3）。単語の出現頻度や相関関係を評価するために KH Coder（Ver. 3）による共起ネットワーク分

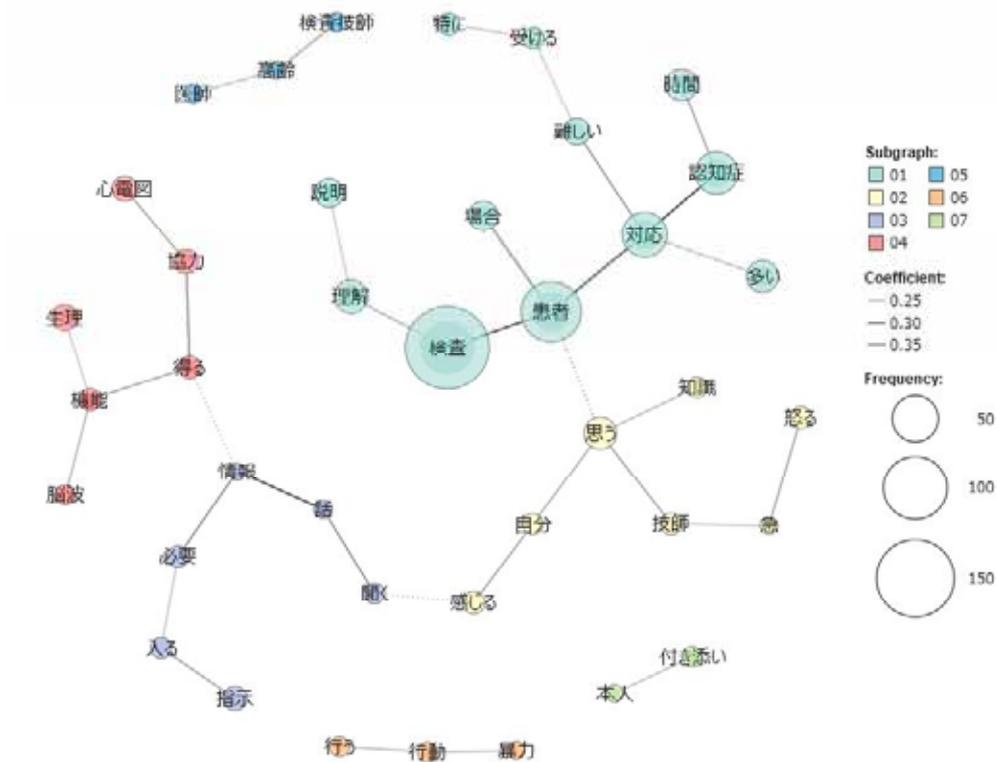
析を行った結果を図3に示す。日臨技への要望としては、①認知症患者への対応力の向上、②認定認知症領域検査技師の活路を見出す、③神経心理学的検査の推進、④他の職種との関りの増加、⑤認知症のケア（チーム）への参画、⑥講習会の開催回数の増加、⑦地域高齢者のサービス提供体制の理解を推進、⑧情報の発信、の8つに大きく分類できた。



【 図 3. 日臨技への要望についての共起ネットワーク（指定条件：出現数が 10 以上の単語、Jaccard 係数が 0.2 以上、サブグラフ検出 (modularity)、単語が分割されていた検査技師、認知症領域、認知症、日臨技、他職種は固有名詞コードを設定) 】

(5) 検査の現場における認知症患者への対応について、苦労したこと、困ったこと

329 名のアンケート調査回答者のうち、109 名より意見があった（別添の補足表 4）。単語の出現頻度や相関関係を評価するために KH Coder (Ver. 3) による共起ネットワーク分析を行った結果を図 4 に示す。苦慮したこととしては、①対応に時間がかかってしまう、②うまく対応するための知識不足、③指示が理解してもらえない、④生理検査で協力が得られない、⑤認知症でなくてもみられる難聴や理解力低下等の高齢者の症状、⑥暴力的な行動、⑦付き添い者の協力が必要であった、の 7 つに大きく分類できた。



【 図 4. 認知症患者への対応について、苦労したこと、困ったことについての共起ネットワーク（指定条件：出現数が 6 以上の単語、Jaccard 係数が 0.2 以上、サブグラフ検出（modularity）、単語が分割されていた検査技師、認知症領域、認知症、日臨技、他職種は固有名詞コードを設定） 】

4. 「認知症領域への活動に関するアンケート」の考察

臨床検査技師が検査室から病棟、在宅等の臨床現場へと活躍の場を広げている中で、認知症症状をもつ方と接する機会は増えており、また一般病院でも採血・生理検査の現場で対応に難渋するケースは今後も増加が予想され、アンケートからも日臨技として会員に向けた対応力向上のための研修活動を継続的に行ってほしいとの要望がされている。さらに地域に目を向けた活動も重要であり、地域包括ケアシステム等の理解を促す研修も必要になってくると考える。

一方、日臨技が学会認定資格として認定認知症領域検査技師制度を運営していることや、臨床検査技師が認知症の知識や認知症に関連する検査を行う技術を持っていることを他の職種に対して発信してほしいという意見も多かった。他団体との関りとしては、日本認知症予防学会とは連携が取れているが、それ以外の団体とは連携が十分に取れていないのが現状であると思われる。日本認知症予防学会と連携が取れている要因としては、臨床検査技師

が認知症領域に参画していくことに対して浦上克哉理事長が理解を示していることがあげられる。浦上理事長のお力添えをいただきながら、日本認知症予防学会を通じて医師への情報発信を行っていくことができるかを検討する価値はあると思われる。さらに、今後を考えると浦上理事長以外の医師とも連携を深めていく必要があると考える。その他にも看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、公認心理師等のメディカルスタッフとの連携は極めて重要であり、チーム医療の一員として他の職種と協力して認知症医療に貢献していくことが求められる。これまでの活動事例を紹介し、認定認知症領域検査技師の活動を知ってもらい、そのうえで認知症医療における臨床検査技師の価値を判断してもらうことが大事であると考え。制度的な紹介だけでなく、これまでの具体的な活動事例を紹介しないと、ある程度確立されている認知症医療への参画は困難を極める。認定認知症領域検査技師に学会発表、論文発表、講演会等の活動事例を募集し、そのデータをもって他団体との公開講座やシンポジウム等を行うことで、認知症領域における臨床検査技師の存在価値を理解してもらえるようになる可能性があると思われる。各都道府県の臨床検査技師会に認知症に関する多職種連携の公開講座やシンポジウムを企画していただくように協力を依頼することも一つの手法であると考え。また、募集した事例は認定資格の利活用事例集としてまとめていき、会員に情報提供を行うことで、さらなる事例の蓄積が期待される。具体的な活躍の場がなければ認定資格を取得するメリットが薄いというご意見もあるが、認定資格を活用して自分で活路を見出し活躍されている認定技師も増えてきている。一人でも多くの人に認定資格を取得していただき、少しずつ事例を集めることが認知症領域における臨床検査技師の有用性を理解していただくことに繋がると考える。

Ⅲ 本報告書のまとめ（提言）

1. 考察

（1）臨床検査技師が市民に向けて実施できること

認知症対策としてまず臨床検査技師が考えることを以下に分けて考えてみる。

- ① 市民は何を望んでいるのか？
- ② 検査を通して何ができるか？
- ③ 検査を通さずに何ができるか？

まず、市民は認知症対応として多くのことを知りたいと思っていることは確かである。しかし、臨床検査技師だからという視点で何か特別なものを望んでいるわけではない。また、医療を担う関係者たちも臨床検査技師だからという視点で我々にニーズを求めてきているわけでもない。そのような中で、私たち臨床検査技師が市民に提供できることを考える場合、“臨床検査技師だからできる”というスタンスと、“臨床検査技師の資格は関係ない”という両面の視座を持って考える必要がある。その二つの中で、今回答えを求めるのは“臨床検査技師だからできる”という視点からとする。

まず、臨床検査技師は検査に精通しているため、検査を通して認知症患者の知識についての発信と普及ができる。それと同時に、早期であれば検査をする事によって認知症にならなくて済むケースがある事を知ってもらうこともできる。この目的達成のための方法は公開講座や公民館などでの講習会がある。また、企業単位や学校単位、友人単位などその講習会の設定は数多くある。この時に市民が得られるメリットは、認知症患者に対する自己の偏見と社会の認識のギャップに気づくこと、認知症のタイプを知りその症状の違いや対応の仕方を知ることである。この時に最大効果を得る方法は、公開講座の基本ともいえるより回数をごこなすことである。このツールを使う際の条件は担当者に「行動力」が必要なことである。誰も講習会などセットをしてはくれないし、企業や学校や友人などから講習の依頼などが来ることもない。ましてや都道府県技師会が認知症対策に理解を示したうえで、小規模な単位で繰り返す単一の講習会に多くの予算をつぎ込めるはずもない。そこで自分たちが別の形での講習会を実施する機会を作る必要がある。また、その際の経費については、費用をかけずに開催するか他の団体や事業者を持ってもらうことが必要となる。必要経費はまず聴衆を集めることから始まるので広告費用を考慮すると思わぬ出費がかさむことも多々ある。このように講習会を開催し継続するには、企画者や実務者に「行動力」と「ボランティア精神」があり、それに加えて「地域のコミュニティ能力」があれば可能となると考えられる。

次に、臨床検査技師としてのイベントへの参加がある。企業や病院、地域における健康フェスタなどに検査を行うために参加することである。その際にできる検査は、タッチパネルでの物忘れテストや HDS-R や MMSE などの神経心理学的検査を行うことである。実際に参加者に実施することは準備さえできれば簡単なことではあるが、効果が得られるのはそ

の後のことである。このようなイベントをして参加者が感じることは“テストをしてもらった”ということだけであり、私も認知症のことをもっと知りたいとか、ほかの人に薦めたいとかいうような、“それ以上の効果”はあまり期待できない。しかし、そのテストを“意義あるもの”にすることもやり方によっては可能である。その方法は、実施した結果によって認知機能低下なしの方とありの方に振り分け、認知機能の低下が認められる方を地域の行政に紹介するフローを設定しておくことである。最終的なステークホルダーである市民の本来のメリットは、その検査で自分や周囲の人、家族に異見が見つかったときに、“異常であることを知る”、“行政にお世話になる”、“病気が進行しないようにする”ということである。そこまでの流れができて初めて“市民に向けて実施できること”の目的が叶うと考える。さて、このフローを作るためには多くの要素が考えられる。まず検査を受ける市民がこのフローの意味を理解し受け入れてもらえるようにすることが必要である。つまり紹介を嫌がることを避ける方法や理解を得られる方法が必要なのである。次に行政である。イベントに参加して協業しても自治体によって対応力に差が出ている。自治体の包括支援センター職員や委託業者のレベルや、かかりつけ医の所属する医師会などのバックグラウンドの状況を考えながらフローの有益性を説明し受け入れてもらう必要がある。このように街に出ていきイベントを通して市民にできることを行うときに必要なことは、市民や家族、地域に対しどのような最大効果を得るスキームを導入するかということである。そのためそこに関与する臨床検査技師は「企画力」が必要であり、また市民、患者、行政に対する「交渉力」と「行動力」が重要となる。

市民のみならず地域において、認知症対応に必要な人材が臨床検査技師であるということの意味づけることは困難であるが、臨床検査技師としてのスタンスの中で、市民に対して何が提供できるかということ考えた時にはこのようなことが考えられる。これを空論にさせないためには行動をすることである。自分を行動に動かすのは“思い”であり自身が置かれている環境ではないことも理解すべきである。最終的なニーズに応える「行動」をしなければ臨床検査技師以外が行っても変わりはない。

(2) 臨床検査技師の認知症講習会のカリキュラム案について

日臨技主催の認知症講習会の多くは交通アクセスの良い都市部で開催していることが多く、地方在住者にとっては参加が困難であるという意見や、さらに単位を取得できる機会を増やしてほしいとの要望があった。日臨技主催の講習会を多少増やただけでは会員の要望に応えることは難しく、今後は各都道府県の臨床検査技師会主催で定期的に講習会を開催していただくことが会員のためにも今後の認定認知症領域検査技師制度の発展のためにも望ましいと考えた。講習会や講演会の内容は各都道府県臨床検査技師会に所属している認定認知症領域検査技師を中心に検討していただきたいが、認定技師数は地域差があり、人員を確保できず十分に検討を行えない都道府県もあることが予想された。したがって、各都道府県でのプログラム策定の参考にしていただけるように講習会のカリキュラム案を別添

の資料 2 のとおり作成した。認知症領域で臨床検査技師が活動・活躍していることについて他者の認知度の低さがアンケートの回答で指摘されており、多職種で講習会を開催することで臨床検査技師も認知症領域へ参画していることのアピールに繋がると考えた。さらに、これから認知症について学ぶ人でも理解できる難易度の易しい内容に設定することで、認知症に興味を持つ臨床検査技師の増加に繋げることも視野に入れて考案した。また、難航が予想される講師の選定については、他学会との連携等により日臨技から各都道府県の講師を務めていただける医師、放射線技師、薬剤師、看護師等を紹介できる体制を構築しておき、都道府県臨床検査技師会から依頼があれば対応できるようにする予定である。一方、難易度の高い専門的な講習会は、その時々ホットトピックスや受講者のニーズを考慮して決定する必要があるため、日臨技から統一的な案は示さず、基本的に各都道府県臨床検査技師会が主体となって検討していただきたいと考えている。ただし、専門的な内容の講習会についても地方開催のニーズが増えてくると思われるため、必要に応じて日臨技の認定認知症領域検査技師制度関連の WG が窓口となり内容や講師に関する相談を受け付ける等の体制を構築し、多数の講習会が開催されるように日臨技として協力していくことを検討する予定である。また、臨床検査技師等の専門職向けの講習会のみならず一般住民向けの講演会を開催し、広く臨床検査技師の活動をアピールすることや認知症の啓発を行うことも重要であると考え、講演会のカリキュラム案を別添の資料 3 の通り作成した。最終的に講習会や講演会を開催するか否かは都道府県臨床検査技師会の判断に委ねられるが、必要に応じてさらなる日臨技の協力体制を構築して都道府県臨床検査技師会主催の講習会や講演会を増やすことで、地方で単位が取得できる場面の拡充、他者への認知症領域における臨床検査技師の活動の周知、さらには一般住民への講演会による認知症の啓発を通じた社会貢献に繋がることが期待される。

(3) 臨床検査技師会による認知症学術団体とのコラボについて

増え行く認知症患者への対策として臨床検査技師の対応力向上への取り組みは始まったばかりである。2011年4月に鳥取大学医学部の浦上克哉教授を初代理事長とする日本認知症予防学会が立ち上がり、臨床検査技師を含む認知症に関わる全ての職種による取り組みを考える場が作られ、私たち臨床検査技師もその一員として活躍しつつある。もちろん今回のアンケート結果からはその団体だけでなく他の多くの認知症に関連する学術団体とも連携をするべきであるのご意見もいただいた。今後は日本老年医学会や認知症学会などとも連携を図り、認知症医療に臨床検査技師も少なからず関与していることをアピールすることを考えている。認知症は介護を含む全ての医療従事者が協力しながら取り組むべきであり病棟・クリニックなどの医療機関や在宅などで活躍する一定以上の認定認知症領域検査技師の創出が認知症の早期発見・早期治療に役立つことは明白である。昨年12月25日の閣議において、今後の認知症対策が次のように閣議決定された。平成27年に制定された認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン：平成29年改定）の進捗状況の報告から一層

の取り組みを強化し、厚生労働省が中心的役割を担い、引き続き「共生」を重視しながら「予防」の取組も強化し推し進めるといものである。このことは、認知症患者やそれを取り巻く医療者・家族を含めた介護者が、より良い医療を選択できるような地域の構築だけでなく、認知症の発症予防について啓発や、地域において適切な体操などのエクササイズなどを提供する場の構築などが考えられているようである。現在は厚生労働省内において認知症に係る企業や有識者と厚労省の関係者とで、度重なる検討会を経て関係行政機構からの施策を取りまとめて大綱定し、政府へ方針として予算請求に反映させるとのことで、今後ともより一層注意深く情報を入手していただきたいと考えている。

いずれにしても認知症への対策は「共生」「予防」も含め多職種で取り組まなければ解決できない。その意味でも認知症医療は多職種で討論できる環境を構築しなければならないと考えている。今後も様々な医療職種と語り合える学会や学術集会などに私たち臨床検査技師を参加させ、一層知識の醸成をさせていきたいと考えている。

2. まとめと提言

今回の調査は、日臨技が開催した神経心理学的検査講習会を受講した会員が、受講によって認知症医療へどのように参入しているか、また現在どのような要望があるかを知り今後の日臨技の事業展開のための資料とする事を目的とした。アンケート調査の中で、42人(12.8%)において、講習会の後、神経心理学的検査を開始もしくは開始予定であったことは収穫である。現在すでに検査を行っている施設はともかく、新規に神経心理学的検査を開始する施設は臨床検査技師も名乗りを上げ、積極的に取り組むことは可能である。認知症領域に踏み出している会員の多くは小規模施設において少人数で頑張っている会員であり、在宅医療においても先頭を走る彼らの役に立つ内容は日臨技の取り組むべき事業として大切にしていくべきものである。今後は、個々の貴重な取り組みをまとめ、提示できるような報告書の作成を行うことで、対応を模索している会員や管理者への情報提供に繋げていくことも重要である。さらに、アンケートの回答には、他の職種や認知症関連学会との協同をとおした活動に関する要望があり、それらを踏まえて認知症ワーキングでは、今回の調査結果から導き出された以下の3つの考察を総括する。

(1) 臨床検査技師が市民に向けて実施できること

臨床検査技師による認知症領域での活動を認知症予防につなげるには、一般市民に対し早期発見のメリットを伝え、検査と健康展のような場面で行うスクリーニングの神経心理学的検査によって発見した方々を行政のサービスや専門医療機関への受診につなげていける力をもつ事が重要である。

予防啓発活動に積極的に参加していくために、医師やその他メディカルスタッフとの連携を深め、認定認知症領域検査技師の存在をアピールし、公開講演の開催や検査と健康展でのスクリーニングなどの市民に向けた啓発活動や、愛媛県のような地域包括ケアシステム

への参画等の活動を継続していくことが必要である。各都道府県臨床検査技師会において活動の内容は異なっても、予防に関する啓発活動を他職種や行政に見える形で継続していただくように働きかけていくべきである。認知症に関する多職種連携の公開講座やシンポジウムを企画していただくように協力を依頼することも一つの手法であると考え、各都道府県臨床検査技師会には認定を取得した技師の協力を得ながら活動を広げていっていただくように働きかけたい。

(2) 臨床検査技師の認知症講習会のカリキュラム案について

認知症患者が増え続けている現状において、会員の中にも数年前には認知症領域への参画を必要と考えていなかった方々がこの領域に興味を持ち、業務として取り組む事を考え始める時、認定認知症領域検査技師の資格と関連する研修会が必ず役に立つ。認知症に関する企画を全国学会や支部学会等で計画するとともに、講習会を各都道府県の臨床検査技師会主催で開催していただくように働きかけ、有資格者へのケアを行うとともに新たに認定資格を取得しようとする会員に対しても、資格取得のメリットを打ち出せるような施策を継続していきたい。それらの企画の中で、今回のアンケートで神経心理学検査を開始したと報告して下さった会員には、ぜひ取り組みについての報告や講師を務めていただき、対応を模索している会員の助けとなっていただきたいと考える。

神経心理学的検査に関する講習会については、2017年度～2018年度に認知症対応力向上研修会 B 講習として各都道府県臨床検査技師会主催で開催している実績があるため、会員のニーズに応じて今後も継続していただきたいと考えている。今後、臨床検査技師が神経心理学的検査を実施していくには、病院、施設での理解と現場が必要としている検査内容に対応することが近道であると考えられる。他職種の理解を得るためには検査部門の管理者の協力が不可欠であり、各施設の管理者に、この活動に協力してもらえるように要請を行っていくことも必要であると考ええる。

(3) 臨床検査技師会による認知症学術団体とのコラボについて

現在、日本認知症予防学会とは連携が取れているが、それ以外の団体とは連携が十分に取れていないのが現状である。認知症関連学術団体に会員が広く参加し、有益な情報を得ることが出来るよう、各団体に働きかけ、共同シンポジウムの企画や我々が行っている研修会への講師派遣や後援等を求めていきたい。これにより広く臨床検査技師の活動をアピールし、会員が最新の知見を得る機会を増やし、また様々な学会で会員が演題発表を行う機会を増やしていくことを日臨技としてバックアップすることが出来るのではないかと考える。

3. おわりに

自由記載の中に書かれた意見の中で、認知症という一疾患に特化した認定資格を臨床検査技師の未来につながる資格として有資格者を更に増やし、有効に活用する場の提供を求

める意見が多くみられた。日臨技に求められる事業は多く、時代とともに重点課題として取り組む内容は変化していくが、進み続けるに高齢化を考えると、認知症に対するアプローチは重点とはならなくとも継続が求められる。専門的な知識と経験を積み上げるとともに、会員に向け認知症患者対応力の向上を目指した研修も継続していかねばならない。また前述のように認定を取得した技師の多くは、自らの知識や経験を駆使して活躍ができる場所を求めている。そのためには日臨技としては自らの意志で活動に取り組む会員をさらに増やし、認定を取得することのメリットを示すことが出来るよう活動していきたい。このためには各都道府県の臨床検査技師会には、是非とも各県に所属する認定認知症領域検査技師の活用を促し、認知症施策に取り組んでいただくことをお願いして今回の提言としたい。

別添 資料 1 (Web アンケート調査の内容)

Web アンケート調査の内容

Web 上で質問に対して選択肢から選んでもらう、あるいは自由記載にて回答を取得した。

【 背景情報に関する質問 】

1. 性別

- 男性
- 女性

2. 年代

- 20 歳以下
- 21～25 歳
- 26～30 歳
- 31～35 歳
- 36～40 歳
- 41～45 歳
- 46～50 歳
- 51～55 歳
- 56～60 歳
- 61～65 歳
- 66～70 歳
- 71 歳以上

3. 役職

- 部長相当職（部長・医療技術部長）
- 管理 相当職（技師長・課長・職長）
- 准管理（相当職・副技師長・課長補佐）
- 係長相当（職主任・係長）
- 一般職（常勤：正社員）
- 一般職（非常勤：アルバイト・パート）
- その他（上記以外）

4. 自施設の規模

- 19 床以下
- 20 床～199 床
- 200 床～499 床
- 500 床以上

5. 所属技師数

- 1～5 名
- 6～10 名
- 11～20 名
- 21～30 名
- 31 名以上

6. 担当中の検査部門

- 検体検査
- 生理検査
- 全般
- その他

7. 認知症に関する保有資格

- 認定認知症領域検査技師
- 認知症予防専門士
- その他
- 持っていない

8. 加入学会（複数回答可）

- 日本認知症予防学会
- 日本老年精神医学会
- 日本認知症学会
- 日本認知症ケア学会
- 日本神経学会
- その他認知症関連学会
- 特になし

9. 自施設で主に認知症を診察している診療科

- 脳神経内科
- 精神科
- 老年科
- 脳神経外科
- その他

【 神経心理学的検査に関する質問 】

1. 受講した講習

- 平成 29 年 4 月 8～9 日 米子開催 認知症対応力向上講習会（講習会 A）
- 都道府県で開催した認知症対応力向上講習会（講習会 B）

2. 受講した最も大きな理由

- 興味があった
- 仕事上で必要であった
- 資格が取りたかった
- 他者（上司等）の指示や勧め
- その他

3. 所属施設における臨床検査技師が実施している神経心理学的検査の現状と、今後の予定

- 以前から実施している
- 講習を受けてから実施している
- 今後実施する予定がある
- 実施する予定はない

4-1. 3の質問で「実施している」と回答した方のみ：実施している検査（複数回答可）

- MMSE
- HDS-R
- ADAS
- もの忘れ相談プログラム
- TDAS
- その他

4-2. 3の質問で「今後実施する予定がある」と回答した方のみ：実施予定の検査（複数回答可）

- MMSE
- HDS-R
- ADAS
- もの忘れ相談プログラム
- TDAS
- その他

4-3. 3の質問で「実施する予定はない」と回答した方のみ：実施する予定がないと回答した最も大きな要因

- 病院（医師の理解が乏しい 等）
- 検査室（検査室内の同意がない 等）
- 他職種が担当している
- 個人（実施する方法がわからない 等）

【 今後の認知症領域への活動に関する質問 】

1. 技師会が会員に向けて今後行っていくべきこと（複数回答可）

- 認知症対応力向上のための講習会
- 神経心理学的検査の研修会
- 認知症サポーター養成講座
- その他
- 特に必要なし

2. 臨床検査技師が市民に向けて認知症領域で実施できること（複数回答可）

- 講演会の開催
- 検査と健康展での認知症に関する展示やスクリーニングの実施
- 市町村の初期集中支援チームへの参加
- その他

3. 今後の認知症領域での活動に関する日臨技への要望（自由記載）

4. 検査の現場における認知症患者への対応について、苦勞したこと、困ったこと（自由記載）

別添 補足表 1～4 (アンケートの自由記述回答)

【 補足表 1. 技師会が会員に向けて今後行っていくべきこと（その他の回答） 】

	自由記述回答
1	実際の現場で求められる技師の働きに関する講演会
2	運転免許更新時の認知症検査
3	認知症に関する啓蒙活動
4	嗅覚検査
5	臨床検査技師が認知症検査を行っていることを広く医師や看護師にアピールしていくことが必要だと考えます。まだまだ認知症対応での検査技師の認知度がなく、今後チーム医療への参画が必須だと思います。
6	認定認知症の資格を取った後に病院で活躍できるよう、どのように院内に働きかけ、活躍の場を臨床へもっていくのかなど、具体的な働きかけを指導してもらえるといいと思います
7	認定資格取得の意義と、臨床検査技師の関わり方の必要性について
8	認知症領域に関与する必要性を認識することができるような研修会（地域包括ケアシステムや多職種連携等の内容）
9	認知症疾患の理解、認知症等各疾患持っている高齢者、精神疾患を患っている若年層、体の不自由な若年層から高齢者への対応。介護初任者研修に対応するような移動・移乗の講習。
10	認知症基礎・一般知識、各検査と認知症の関連、施設(福祉)と医療の溝(隙間)を埋めるためにできること、目の前の患者の対応（カンファォータブル・ケア、ユマニチュード等）
11	認知症の知識や検査に対する意識改善、検査技師がなぜ認知症検査に係わるべきか、院内外での取り組み方についての講習会など
12	認知症の現在、未来など展望を含めての啓蒙活動。認定認知症領域検査技師の活動を広げる動き。認定のステップアップ（1級2級・・・）していくしくみの構築
13	認知症と検査技師の関わり方について、知識を深める必要があると思う
14	地域での認知症の啓蒙活動
15	診療科への強い働きかけ
16	疾患や検査に対する知識向上の講習会
17	資格更新に必要な単位取得のための講習会
18	広報を兼ねたアンケート調査（病院長、事務局長、看護師長宛て）技師の実施について知っているか、需要はあるかなど。
19	研修会の回数や開催地を多くして欲しい／興味ある検査技師も行きやすい環境の研修会にして欲しい
20	啓蒙活動していく人材づくり
21	医師が加入する学会へのアピール
22	MRI等の画像検査知識が得られる研修会

※ 回答欄の内容は、回答者が記載したままを掲載

【 補足表 2. 臨床検査技師が市民に向けて認知症領域で実施できること（その他の回答） 】

	自由記述回答
1	検査のみで他職種と連携をとるのには限界があると思うので、もっと検査だけでなく予防に関するアドバイスやケアに関するアドバイスまで発言できるような立場にならないと介入していくのは難しいと思いました
2	特定健診などを利用して、認知症検査を市町村へアピールしたい
3	検査説明のような認知相談、地域へ出向いての座談会参加、認知サポーターとしての活動など
4	地域の傾聴ボランティア講習会に参加したら、介護福祉関係者、自治体、ボランティア団体にこの制度があることを知ってもらった。
5	地域や市民の研修会・イベント等、多数ある地域の活動に参加させていただくところから始める（技師会も個人も）
6	認知症カフェなどへの講演、啓蒙活動
7	認知症領域の診療科を持たない病院であるが故、日常業務で関わる方々に考慮しなければならない
8	ドックや検診での啓蒙
9	臨床検査科において、認知症患者の検査を実施する上での知識向上にむけた啓蒙活動
10	人間ドックで認知症チェックや検査を追加。
11	いろんな現場（病院での検査をはじめ免許更新やその他認知症検査が必要とされる場所）での検査技師による検査実施
12	警察署や自動車学校での認知能力検査
13	2の検査と健康展のみでの市民へのアピールは不足と感じ、3の市町村のような公的機関のイベントにも参加し存在を示すべきだと考える

※ 回答欄の内容は、回答者が記載したままを掲載

【 補足表 3. 今後の認知症領域での活動に関する日臨技への要望 】

	自由記述回答
1	連続して講習会の開催を希望します。
2	臨床心理士など専門職種がいる施設では、神経心理学的検査の実施はまかせればいいし、いない施設では、ぜひ臨床検査技師の職域をひろげて行ってほしいので、日臨技としてそのサポートをして欲しい。
3	臨床検査技師も認知症領域に携わっていることを、他職種の医療従事者に知ってもらえるような啓蒙活動を行って欲しいです。
4	臨床検査技師の業務として認められる認知症に関する検査項目を実施する。
5	臨床検査技師が認知症領域の検査に参加できることを医師・他職種が知らない。行政も知らないので多くの壁がある。
6	臨床検査技師が認知症領域の検査に関われることを積極的に広報してほしい
7	<p>有資格者となってみても現状は無資格者との差異が認められない。</p> <p>従って、法的な資格の整備に注力して頂きたい。もちろん法的整備となると他職種（作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士等）との兼ね合いが大変でしょうが。</p> <p>また認知症領域の認定ではあるが、臨床検査技師の認知症に対する本来の業務として、認知症予防を主に考える。これは制度施行に当たり、その目的に記されている通りである。</p> <p>従って認知症のケアに関し当然ながら知識として必要ではあるが、業務とする場合、介護福祉士やヘルパー資格があり、その土俵に入り込むのではなく予防の観点から認定資格保有臨床検査技師でしかできない業務（例えば管理栄養士が行う食事指導同様、予防指導など）を法的に整備して頂きたい。</p> <p>また運転免許試験場の高齢者認知症チェック資格など臨床検査技師の業務独占とすることができれば、今後の検査技師の業務拡大と需要に対応・貢献できると思われる。</p> <p>深澤理事にもよろしくお伝えください。</p>
8	保険点数加算
9	<p>米子で毎年開催している講習会を、時には違う場所で行ってほしい。</p> <p>資格を維持するための点数が取りにくい環境だと思う。</p>
10	<p>病院長、事務局長、看護師長向けの広報活動をして頂きたいと思います。大変かとは思いますが、個々の活動では限界があり継続的なものになりにくいと感じています。</p>
11	<p>病院、臨床側へのアピールができるような特色を出して行ってほしい</p> <p>また、講習会を継続して、受講者を増やして行ってほしい</p>
12	<p>徘徊や易怒性、不潔行為等は、テレビ等で目にする事があるので普段認知症の方と接する機会がない方でも周知されているかと思いますが、服やシーツ等の異食行為がある事まではあまり知られていない様に思います。実際の症例と対応等をもう少し情報として発信して欲しいと思います。</p>
13	年に数回、スキルアップ研修を望みます。
14	認定認知症領域検査技師の資格を取得するための研修会を地方でもっと行ってほしい。
15	認定認知症領域検査技師の資格を取得しても実施可能なことが明確ではない為、臨床側にアピ

	ールしにくいのが現状です。
16	認定認知症領域検査技師の資格を取ったが、自分自身は病院に手を挙げてやらせてくださいと言える自信もなく、講習会 B を一度受けただけで実践できるかも不安である。 今後も日臨技の認知症講習会に参加し知識を深めたい。
17	認定認知症検査技師の資格更新のための講習会を地方でも開催して欲しいです。講習会に参加のための、会費や交通費が高額になります。よろしくをお願いします。
18	認定資格試験を受ける為の生涯教育等の点数取得が厳しすぎる
19	認定資格をどうしたらとれるか理解できていない。ホームページをよくみればいいのですか？
20	認定試験の為の講習会の回数を増やして欲しいです
21	認定技師が検査を実施する事で、診療報酬が発生するような働きかけをしてほしい
22	認定を受けるために必要な点数が取得しにくい、遠方が多いことなどから 興味があっても、なかなか受講できないスタッフも多い。 開催場所や、頻度を増やして欲しい。
23	認知症領域検査士のための単位が取得できる研修を、年に 1 回は各都道府県で開催してほしい。
24	認知症領域検査技師や臨床検査技師が参画することによって、保険点数付与されるものを作って欲しい。
25	認知症領域検査技師の資格を取ったものに、神経心理検査のスクリーニングを出来る能力があるという認定が欲しい。
26	認知症領域での検査技師の必要性をアピールして欲しい
27	認知症領域での検査や説明など、臨床検査技師でなければ、の方が、という理由がいまいちアピールにかけると思う。他職種が行っているところに他職種や医師や看護師など検査でやった方が良い説明がつかないのと、技師の人数的に、検査技師では時間的に融通が利かなかったりするのがある。
28	認知症予防専門士との連携：認定認知症領域検査技師取得していれば予防専門士の資格も認められる、取得単位数の一部として認められ、予防専門士試験を受けられるなど・・・。 早期発見も大切ですし、認知症ではないことがとりあえず分かった後は予防を大事だと思う。 予防士としての活動も検査技師の仕事として行っていくべきなので、予防専門士の資格も取りやすいようにしてほしい。 臨床心理士の資格を取るのは大変だが、こちらの領域の知識も必要な気がする。
29	認知症予防支援・認知症ケアに参加活動を行えるように進めていただきたい。
30	認知症対応向上のための講習会や認知症サポーター養成講座の開催を行い、沢山の方に参加してもらおうことが大切だと思います
31	認知症疾患センターの多くは、精神科病院が対応している。認知症患者は、「精神科で診療」と一般(総合)病院の検査技師は思っているのではないかと思われる節がある。基幹(総合)病院でも認定認知症検査技師の認定者が不在の所が多い。一般病院でも生理検査で認知症患者に対応しなければならぬため、認定者は必要と思われるため基幹病院には、少なくとも 1 名認定者を置く必要があると思われる。 また、一般市民の方は「臨床検査技師は認知症に対応できる」と思っている方は少ない。「認知

	症患者に対応出る」と言うアピールを幅広くすべきではないかと思う。
32	認知症検査は患者さんと向き合う検査で、接し方によっては検査に影響を及ぼすと勉強しました。 検査をいかにスムーズに行えるかは検査技師の対応にかかっていると思います。 その対応力や患者さんとの接し方のスキルアップができるような研修会があればいいなと思います。
33	認知症検査にかかわることだけではなく、認知症患者へのケアや現場での対応など、多職種からも情報を頂けたらと思います。
34	認知症関連検査の導入体験などを知る機会があれば受講したいです。
35	認知症関連の資格を取得することが、今後の業務拡大に結びつくことを期待します。
36	認知症管理加算の要項の中にチームの中に臨床検査技師の文言がはいると、技師の方たちの励みになるのではと思っています。 また、検査も必要ですが、認知症の方が安心して検査できるようなケアの講習なども望みます。
37	認知症患者は今後も増加することと思うが、検査技師が認知症検査をするには、患者の病状理解が必要だと考える。 癌などの病気と違い、相手の病状段階がさまざまで、心理学的検査は難しいと感じた。 例えば、免許証更新などにおけるスクリーニング的な検査を検査技師が請け負えば、活路がありそうだが、病院での踏み込んだ検査は、経験や相手の症状によるので、心理学を専門に勉強していないので難しい。 認知症初期の支援や検査に関われるような研修をお願いしたい。
38	認知症患者のタイプ別等分類で各対応方法を技師向けに教授してほしいです。以前の日本認知症予防学会発表で臨床検査技師が発表されていました。宜しくをお願いします。
39	認知症患者に対する接し方、コミュニケーション能力講習の実際についての研修会の実施。 対応能力がないと、採血、生理検査が出来ないと思われる。
40	認知症に対する現場で検査技師のできる支援は何か具体例を紹介してほしい。
41	認知症に対する検査を行う立場からの勉強会開催。
42	認知症に係る臨床心理学的検査をしっかりと専門職種として確立してほしい。 現在、臨床検査技師で「浜松人間科学研究所・所長 奥山恵理子」さんはこの分野で活躍しております。 また、高齢者ドライバースクリーニングには、退職した臨床検査技師の再就職先として就労できるように 職業訓練プログラム作り、また、一方で交通公安委員会や警視庁等に雇用を働きかけてほしい。
43	認知症に関する検査の見学及び実習(光ポトグラフィなど) または、DVD(動画がほしい) 認知症患者における対応の DVD
44	認知症と治療可能な脳神経疾患の鑑別は重要で、まさに臨床検査技師が得意とするところだと思います。認知症だけを強調するのではなく、この点について臨床検査技師の重要性をもっと訴えていく必要があると思います。
45	認知症と一括りしても認知症のタイプ別でまるで違ういます。実際、認知症の方に接していな

	い多くの検査技師が認知症領域で活動するので、認知症患者のタイプ別ビデオ上映。タイプ別接し方講習会の開催。
46	認知症サポーターの講習を推奨し知見を広げ、ボランティア活動に参加して関わっていく。
47	認知症ケアチームに臨床検査技師が組み入れられておらず、当院でも参加できない。また神経心理学的検査も当院では Dr が実施しており、常駐の臨床心理士(現在は 1 名、今後 2 名体制)も実施していないとの事で臨床検査技師が入る余地が無い。 認知症ケア加算を取る要件に臨床検査技師の参画がなっていればと考えます。
48	日臨技主催の講習会・研修会で取り扱う新しい知見、検査技師の取り組みなどについて参加していない会員にも何らかの形で広めてほしい。
49	日臨技へは、認知症患者の早期発見のためのスクリーニング検査について、取り組みの実践とサポートを指導・教育していただきたい。また、臨床検査における認知症患者対応マニュアルを作成していただき、実際の臨床検査時での患者対応やトラブル対策についても、指導・教育していただきたいと思います。今後増えていく認知症患者対策は、臨床検査技師にとってますます関連が出てくるころだと思しますので、日臨技でも、しっかり予算を立てて、技師の指導・教育に力を入れて頂きたいと思います。宜しくお願い致します。
50	当施設では言語療法士の方が携わっていただいています。検査部門が認知検査に参入していくには、神経生理や検体検査と関連させていけると、検査技師ならではの参入意義がみえてくると思います。
51	当院を含めて、現状では認定認知症領域検査技師の資格は取得したが活躍の場がない施設が多数あると考えられる。 臨床側にどのようなアプローチを行い現状に至ったのか、実際に臨床検査技師が検査を担当している複数の施設に、生の声を聴く機会を設けてほしい。
52	都道府県での研修会以外で受けたいと思っても、開催場所が少なく遠い。 もっと参加しやすいといい。
53	定期的な研修会
54	地域の認知症に関する集い等に参加する場合の、補助等をしてほしい。
55	知名度・認知度ともに低く、実際業務では全く生かせない。(たとえば地域の認知症カフェに認定技師の必要性を訴えるなど) 認知症ケアチームの加算要件に認定技師もしくは経験のある技師が参画する等法整備が必要と考える。 HDS-R、MMSE等の検査を認定技師が行った場合30分以内でも保険点数がつくような取組みを期待する。
56	対応の仕方・注意点。認知症関連検査結果の解析。
57	先日の米子での研修会ではお世話になりありがとうございました。とても私にとっては意義深い研修会でした。で、なぜいつもの研修会と違う印象を持ったのか自分なりに考えてみました。一つは症例検討だと思います。試験の時に必死に覚えた知識も時間がたつとろ覚えになりつつあります。もう一度思い起こす良い機会でした。その時思ったのですがやはり私も含めて皆さん検査技師なので画像については弱いなと思いました。今度画像診断の方も研修会に取り入

	<p>れてほしいと思います。もう一つは懇親会だったとおもいます。米子の研修会は講習会 A 以来でしたので、いつも米子では行っているのですがとても楽しかったです。帰ってきてから人に優しくなれそうでした。ありがとうございました。</p>
58	<p>神経生理検査の有用性や認定認知症領域検査技師の認知度が低い為、周囲の理解が得られないのが現状です。</p> <p>特に、医師は診察での問診と MRI 検査の実施だけで診断することもあります。</p> <p>広報や講習会などで、患者様及び医療従事者にもっと周知徹底する必要があると思います。</p>
59	<p>神経生理学的検査は非常に奥が深く、短い講習会を受けて実施していくのは無理があるように思います。</p> <p>現在の検査を行う上で認知症患者を安全に効率よく検査していくということが重要だと思います。</p> <p>一般の技師は認知症についての知識は非常に低く、認知症についてのカルテ記載も理解できないのが現状です。</p> <p>まずは技師全体の認知症についての知識を底上げすることが重要だと思います。そのしくみを作るのが日臨技に求められていると思います。</p>
60	<p>神経心理学的検査に対する保険点数が低く、それのみで臨床検査技師が検査に係わることに對して収益面で上司の同意が得られない可能性が高くなっている。保険点数見直しの検討を要望したいです。</p> <p>マンパワー不足で積極的に認知症領域の活動に対して参加することができない施設も多いと思われるので、臨床検査技師が認知症領域の検査や活動に係わっていく上でのメリットなどをもっとアピールできると良いのではないかと思います。</p> <p>特に生理機能検査や採血室では、認知症患者に対する知識不足からトラブルに発展するケースもあり、認知症に対する検査のみでなく対応についての研修会があってもよいのではないかと思います。</p>
61	<p>神経心理学的検査における認知症領域検査技師の配置を義務化する方向に働きかけをお願いします。</p> <p>資格取得に対するメリットが希薄に感じられます。もっとメリットがあるように対策をお願いします。</p>
62	<p>色々な地域で講習会を開催して欲しい</p>
63	<p>情報交換がスムーズにできるように、横の繋がりを作るきっかけがもっと沢山あればいいと思います。</p> <p>今は、個人的には相談できる方が多くいますが、以前は疑問に思うことを相談できるかたが少なくモヤモヤしていました。同じように悩んでいるかたもいると思いますので、その時間が少しでも少なくなるようにしたいと思います。</p>
64	<p>実践的な講習会の開催、認知症に関する最新情報の提供、現場の声など</p>
65	<p>実際に実践している現場での現状報告や導入に向けてどのようなステップを踏んだかなど説明してもらいたい。</p> <p>(関連科医師や、看護師との連携法など)</p>

66	<p>実際、検査技師がこの分野へ参画していることへの理解度、知名度がまだまだ乏しいと感じる。認知症ケアカンファレンスなど認知症関連業務への検査技師の参加を認知症関連学会が推奨する体制を整えるべき。</p> <p>この資格の有用性を持たせるためにも、医師、看護師へ理解していただくことは急務だと考える。</p> <p>現行のままでは民間レベルでは需要があるのかもしれないが、大学病院レベルでは意味がないと感じている。</p> <p>病棟業務と同じだと思うが、何をやるか分からなくてもまずカンファレンスに参加できる体制や方向づけを日臨技が他団体へ率先して行うことで、知名度や有用性は図らずも上向いていくと考える。</p>
67	<p>実際、検査を行っている施設への研修や、検査を導入するまでの経緯などレクチャーしてほしいです。</p>
68	<p>資格更新の為に単位を取得出来る研修会や講習会の数を増やして欲しいです。</p>
69	<p>試験会場を東京だけでなく、大阪でも実施してほしい。</p>
70	<p>試験会場や講習会が東京ばかりですので、関西でもお願いします</p>
71	<p>私は 60 才を過ぎて、そのまま継続してフルタイムで働いているが、お世話になった地域に貢献しようと模索しています。なかなか自施設でも認定認知症領域検査技師制度は理解されませんが、これは、病院以外の様々なところで活用されると思っています。認知症カフェに参加できる時はお邪魔してお話したり、そこで地元の傾聴ボランティア活動を行っている NPO 団体支援と知り合いになりました。6/29、6/30、7/13、7/14 の 4 日個人宅の傾聴セミナーに参加して、自宅に住む高齢者の実際等の話も聞くことができました。</p> <p>このセミナーに福祉介護関係者、自治体、ボランティア団体等も参加して講義を受けました。そしてそこで新たな有志のネットワークができました。どこでも高齢化社会に向けて手さぐり状態のようです。このような関わりを持てるのが認定認知症領域検査技師だと思います。自分ができる事をあきらめずに続けていきたいと思っています。</p>
72	<p>最初に検査を行うことへのハードルがあるので、(例えば MMSE の)検査の実際の流れのフローチャートがあれば検査技師がより入りやすいです</p>
73	<p>今後とも神経生理検査を主に進めていく対応でいいと思いますが、現在は個人的に認知症患者との対面の場が少ないので、認知症患者の行動に対する対応の仕方などの情報(問 10)の公開を望みたいと思います。</p>
74	<p>今後、認知症患者さんの急増が見込まれるなかで、なんらかの認知症の資格を有していなくても認知症患者への対応を知っておくことは必要だと感じます。患者さんが相手ということで、臨床検査技師が苦手とする分野なので、患者さんだけでなくご家族等、コミュニケーション能力を上げる講習会の必要性も感じます。</p>
75	<p>今回は実務委員として参加したため 修了書はもらっていませんでした。 受講者の熱意が感じられました。 山形県臨床検査技師会では講習会 B を 2 年間で 3 3 名の方が受講して</p>

	認定認知症技師の資格を5名の方が取得されました。 認知症の方が増えると思いますので資格を取得された方からの今後の活躍を期待したいと思います。
76	高齢者対象の運転免許証時に行う認知症検査などを知識を持った臨床検査技師が担うべきだと日臨技から国に提案して欲しい
77	高齢者ドライバーの認知症スクリーニング検査への認定認知症領域検査技師の参画を支持して頂きたい。
78	高齢化にともない、大学病院でも高齢者の受診が目立っています。 高齢者のみならず、脳疾患の患者特有の症状なども同様なのでぜひ認知症関連の患者さまの対応力を広める企画を推進して欲しいと思います。
79	講習会等を継続していただきたい。
80	講習会の地元開催 A 講習会、B 講習会の開催
81	講習会の開催が都市部や日本海側であったりするので、松山からだとどうしても参加しづらいのが残念です。せめて西日本で交通の便が良い場所での開催を増やしていただきたいです。
82	講習会の開催（日曜日開催）が何回かあれば、良いと思います。
83	講習会Aを各都道府県でも開催してほしいです。
84	講義内容や講師陣は大変充実していますが、検査内容だけではなく認知症患者への対応の仕方を介護職のプロにレクチャーして頂くとか、味覚、聴覚などの耳鼻科検査についての実技があれば良いと思います。
85	現在当院では、認知症検査技師が3名おり、病棟の地域連携パス使用、介護申請などのために長谷川式の検査を行っています。 6か月で60名程度しています。今後は、外来での検査もしたいのですが、ADL等も必要だと思われる。 患者の状態を把握するためには必要不可欠です。講習等もお願いします。 また、当院は認知症疾患医療センターもしており、事例検討会、認知症疾患医療連携協議会などへの参加も検討しています。 今後ともよろしくお願いします。
86	現在、資格を取得したことから病院の認知症チームに所属しています。検査技師に認定があることから知らない他職種との関わり方、実際に検査技師がどう関わっているか他病院、他施設を活動内容知りたいです。
87	研修会をもっと増やしてほしい。
88	研修会や大きな講習会の開催が西日本中心のため、参加したくてもなかなか参加できません。東日本での開催も検討下さい。
89	研修会は都市部に集中しているが、地方に従事する検査技師も研修できるように図らって頂きたい
90	研修会の開催場所が限られているため、研修会に行けないことが多い。 東京や各地方での開催を希望します。
91	研修会の開催が遠方な事が多いため、回数と開催地を検討してほしいです。

92	研修会の回数を増やして欲しいです
93	研修会の回数を増やしてほしい
94	研修会の回数や開催場所を増やして資格取得をしやすいうようにしてはどうかと思います。 認知症専門の病院等でない場合は、臨床検査技師が認知症領域の検査に参入しにくい状況があります。臨床検査技師でも研修を受けて資格を取れば認知症領域の検査ができる、ということ を医師をはじめ、さまざまな職種にも広報していただきたいです。
95	研修会、資格をとっても個人でどの様に活動していったらよいのか、一步が踏み出せない方が 多いように思います。 地域、支部など広域で活動できるスタッフづくり人材づくりも必要かなと思います。
96	検査技師の領域を広げられるように、研修会の充実をお願いしたいです。
97	検査技師にとって魅力のある職場領域にして欲しい
98	検査技師として、認知症に関する最低限の知識や対応力は大切です。 特に、患者と直接対応する生理検査や採血、検査説明などコミュニケーションの取り方にもそ の都度、順応しなければいけない場面が多々あります。 認知症患者への対応は予め順応しやすいですが、ぱっと見が普通であれば対応を誤り、患者に 不快な気分させてしまったこともあります。検査技師のスキルを活かす上で、認定認知症領 域検査技師だけでなく、全ての検査技師が、認知症をサポートできる知識を身に付け、その都 度的確な対応が出来るよう、幅広い世代の検査技師に必要性を伝えることが重要と感じていま す。
99	検査技師が認知領域に関する検査を行えることを、一般・医師・看護師等に広く知らしめても らいたい。 (認知症領域は言語聴覚士の仕事とされているため) また、検査がやることでの点数加算があれば、と思う。
100	検査技師が認知症領域の検査が出来ることが知られてなく、技師が行うメリットなどをアピー ルして欲しい。 認定の指定講習会（神経心理学的検査の実習を含む）を支部単位で開催して欲しい。 認定認知症領域検査技師の働く環境の整備をして欲しい。 例・包括支援センター 認知症疾患医療センター 運転免許証試験センターなど 神経心理学的検査のマニュアル等の作成をして欲しい。
101	検査技師が認知症領域に関わっているという他職種への啓蒙
102	検査技師が認知症関連の検査を実施する事が出来るということを病院幹部や他職種に周知して 欲しい
103	検査技師が認知症に関わることがまだあまり周知されていないように感じる。
104	検査技師が神経心理学検査を実施できるものだという事を他の職種に認知されるように尽力し て欲しい。 そのための勉強会を開催希望します。
105	検査技師が神経心理学検査をするのが当然であると他医療業種に広めていただきたい。 検査技師が認知症の検査においては「公認心理士」や「臨床心理士」と同等以上の知識と技術

	<p>を持つために 神経心理学的検査の実習、研修を充実して欲しい。</p>
106	<p>検査技師が実施しても保険点数が取れなかったり、検査に時間を要するので人員が増えなければ難しい。 病院としての収入元になるような病院から必要とされるような条件がないと厳しいのではないかと思う。 法の改正等働きかけて頂きたい。</p>
107	<p>検査を施行するに当たっての接遇などの講習</p>
108	<p>検査や薬、診断基準など、最新の情報を伝達するべく研修会を今後も行っていきたい。</p>
109	<p>健診での関わり</p>
110	<p>継続的に学習支援をお願いしたい（eラーニング含め）</p>
111	<p>技師が認知症診療にもっと興味を持てるよう、また積極的に関わられるように仕向ける企画を立案してほしい。</p>
112	<p>企画、準備を担当される方は大変かと思いますが、基本的なものを含め、研修会等増やして頂きたい。 特に私のように患者様にふれる機会の少ない技師には、レベル維持が難しい。</p>
113	<p>簡単な資格で、こんな資格を持っています、というPRが出来るように、してほしい。</p>
114	<p>活動して地位の向上、技師自身の自覚の向上を願っています。</p>
115	<p>会員内では認知度が低いと思われる。家族や自分の老年期を意識すれば、必然と興味が湧くのであるが、なかなか難しいところである。実際に技師会で施設などに訪問しての体験学習なるものを実施してはどうかと考える。当院では認知症病棟があり、すぐ体験学習できる環境にあるのは幸いである。</p>
116	<p>介護保険の仕組み（米子セミナーに行けなかったのが残念です） 自分の家族が「認知症？」となった時 どのような流れで、受診・介護認定を受けるのか、どのようなサービス・施設を利用できるのか。 どのような職種が関わっているのかなど、 認定認知症検査技師として最低限知っておきたいなと思います。</p>
117	<p>介護初任者研修を修了しているのですが、患者の移動・移乗は必須と痛感します。 介護初任者研修修了者に何かしらの優遇があれば実際の患者対応に有利だと思います。事実、介護初任者研修を受けたことで移動・移乗が非常にやりやすくなりました。 「検体採取等に関する講習会」の内容と「介護初任者研修」と「認知症領域検査技師」で、この三者が重なる部分が(特に現場では) 多くあると思います。介護初任者研修や介護実務者研修の優遇があれば良いと思います。 そうすれば検査技師も訪問診療に参加できるようになるのではないかと・・・と思います。</p>
118	<p>岡山は認定技師が10名足らずですが、その10名でさえ交流はあまりなく、他の病院の方がどのような活動をされているのかもわかりません。横のつながりができるようなイベントなどがあれば、もっと交流が持てそうですが・・・。</p>

119	院内外において、検査技師が認知症検査ができるということを、知らせていく。 患者対応能力の向上。
120	一般の方（特に40代50代）に興味を持ってもらえる認知症予防を伝えていくこと。働く世代にも興味を持ってもらいたいし、定年後に体だけでなく、頭もハツラツに元気でいてほしいと思っています。そのために、気軽に健康診断に認知検査を取り入れてほしいし、継続しやすい内容を教えてほしいです。
121	医療機関以外の分野で認知症領域検査技師の資格を活かせる場はないでしょうか？ 住民健診でのスクリーニング検査、高齢者の運転免許更新時の検査など
122	医師への啓蒙活動。 検査技師の資格の中に認知症の資格があること、検査をできるという事が知られてない。他職種がやってる内容を、今後検査技師がどう携わっていけるか、臨床側へのアピールに困る。 認知症についての、臨床検査技師育成校での教育。看護師と違い、検査技師は学校では認知症について知る機会がないので、卒業後仕事でそういう患者に携わることになった時、困った。どうい症状が出てる人がいて、どう対応したらいいのかぐらいは知っておきたかった。
123	リハビリが強い分野なので、なかなか参入が難しく、検査技師が実施できることを知らない医療スタッフも多い印象を受ける。 検体採取と同様に、他の職種へのアピールが必要かと思われる。
124	もっと検査技師が認知症領域に携われるような認知症関連の独立した道を作り出してほしい。 今現在は診察のときに長谷川式を先生がすれば良いになってしまっているの・・・
125	もっと、気軽に受講できる勉強会をたくさん行ってほしい。
126	まだまだ、認定を知っている人が少ない。というよりも、検査自体を知っている人が少ない。 検査技師は関係ないという風潮を変えて行ってほしい。
127	まだまだ、始まったばかりの認定認知症領域検査技師の資格なので、どの様にこの資格を生かしていけばよいのか、判らない状況です、具体的な方向性や活躍の場などがひろがればよいと思います。日臨技としての、具体的な方向性を示唆して頂ければと思います。 また、活躍の場をもうけていただければ嬉しいです。
128	スクリーニング検査の普及は認知症患者の早期発見につながるため、一般の方が気楽に体験できる機会を増やし、専門医療施設（近隣施設をリストアップ）への受診勧奨を行うことは意義があると思います。 よって、日臨技で行っていた機器の無料貸し出しは継続してほしいです。
129	コミュニケーションになれていないだけかもしれないが、難しいと感じたので、実技研修の時間では不足だと思う。 過去問とかもないので、試験のこともやっていただけたら。
130	この領域の検査を臨床検査技師が行ってもその後診療で説明を行う医師がいなければ検査技師は活躍できない状況。 当院では理学療法士や作業療法士は様々な訓練の中患者の行動を観察し特性を見極め指導を行っているの医師はそちらに任せる状態。したがって、臨床検査技師には『検査』という形での依頼は出さなくてもリハビリ時に評価するからそちらを採用している。

	業務の住み分けができる環境ならば合同カンファ等で意見交換ができるが、リハビリ科が評価もかねて検査を行っているので その辺が介入しにくい状態の要因。
131	いつもお世話になっております。 要望として、認知症に関連する学会に入会してなくても、技師会に入会していれば、認知症関連学会、講習会などが受講できるように許可してほしい。
132	MRI 検査の基礎や CT の見方などしていただけると助かります。
133	e-ラーニングの回答を明確にしていきたい。
134	1 情報発信について：認知症力領域で臨床検査技師ができることは多々あるが、他職種には全く知られていない。超高齢社会において臨床検査技師が果たせる役割を、日臨技は厚生労働省にも他職種にもきちんと情報発信してほしい。 2 意識啓発について：臨床検査技師は、地域医療構想はもとより地域包括ケアシステムのことも知らず、医療と介護の連携のためにどれだけ多職種が汗水流しているかも知ろうとせず、また、地域での多職種連携の勉強会に参加すらせずに箱（検査室）の中に収まっている。技師会内の予算消化のための研究班毎の勉強会よりも、他職種に向けて情報発信をしたり、技師会や個人が積極的に地域の研修会やイベントに参加するよう、是非、日臨技が強いイニシアチブをとって地方技師会の意識啓発を行い箱をこじ開けて行ってほしい。 3 研修会や認定試験について：既に他職種は認知症について多くを学んでおり、特に在宅訪問している職種は日常で患者に接している強みがある。臨床検査技師はそのような機会が少ない分、学びの機会を増やさなければ、ますます他職種に後れを取ってしまう。これからも多くの会員が気軽に認知症について学べるような機会があるといいと思う。また、あまり認定認知症領域臨床検査技師の試験の難易度が高いと一部の人だけが関与する特殊なものとなってしまう。ハードルを下げて、臨床検査技師が認知症領域に関与する一助となるような試験にして、更新のための研修強化をした方がいいのではないか。 4 活動報告について：認知症領域での活動について、認知症サポーターや認知症カフェなど地域で活動している臨床検査技師からの報告も全国学会や支部学会で積極的に取り上げて行ってほしい。
135	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症領域に活躍の場を広げていった施設の導入・運用などの具体的な方法・手段の紹介 ・ 生理検査など実施時の認知症患者加算の申請 ・ 検査機器・道具の貸し出し（地区保有、手続きが簡便かつ経費負担が少ないと良い） ・ 各施設での講演会（健康教室）などへの講師派遣（経費負担が少ない工夫があるとうれしい） ・ サイボウズなどのような技師間の情報交換の場の提供
136	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会の回数を増やしてほしい ・ 研修会開催場所を増やしてほしい ・ 学会に入らなくても、資格を取ろうと思わなくても、やりたい・興味がある技師の事も考えた研修会にして欲しい（資格取得する人のための研修会のように、来ちゃいけないのかな・・・と言うような雰囲気だったから）
137	<ul style="list-style-type: none"> ・ MRI など画像検査の見方（認知症疾患別）の研修会をしていただきたい。 ・ 日臨技からも多職種に”臨床検査技師も認知症神経生理検査を実施できますよ！”と PR を

	<p>していただきたい。特に Dr に)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 認知症ケアチームメンバーに臨床検査技師も加えていただけるようお願いしていただきたい。・ 認知症疾患医療センターに認定認知症領域検査技師の配置義務化をお願いしていただきたい。
--	--

※ 回答欄の内容は、回答者が記載したままを掲載

【 補足表 4. 検査の現場における認知症患者への対応について、苦労したこと、困ったこと 】

	自由記述回答
1	療養指導時など、理解の確認に苦慮する。 家族との関係など本人以外との関係性など難しい。
2	様々な患者様がいて暴言や暴力を振るわれた時に対応は難しい。
3	本人確認をすることが困難。 次の検査に回れない。
4	本人が認知症を自覚していないのに家族からの要望で検査を実施することの難しさ。 検査を拒否されることがある。
5	暴力的な行動をとられる患者の対応には困ります。検査中は病棟ケアワーカーに立ち会ってもらっています。
6	暴言を吐く患者さんへの対応に苦慮しました。
7	病棟より車いすで来られた患者様が、ABI 検査のためベットに移ることへの理解を得ることができず、検査できなかった。 翌日は、検査室へも来ることができず、結局入院中には検査を実施することができなかった。
8	肺機能検査等の患者の理解力や適応力によって検査結果が変動する検査の場合、認知症患者に指示が通らず、検査できないことがある。
9	肺機能検査など、患者さんの協力を得なければならない検査では、うまく検査出来ないことも多い。 エコー検査でじっとしてほしい時に、動かれて検査出来ないこともあります。
10	肺機能検査では検査の方法が理解できず度々要領得られずと報告する事があります。
11	脳波検査等、生理機能検査で協力が得られないこと。
12	脳波検査時、安定を保てず。付き添いの看護師等いないので苦慮する。
13	脳波検査などは、1対1なので、家族がいれば検査の説明や緩衝剂的な役割をお願いすることもあるが、どうしても検査を拒否される場合は主治医に相談して中止したこともある。 超音波検査などは、1人で対応しないようにしている。殴られたり、凶暴性のある患者もいるので、2人で対応している。 検査中に転倒転落などがあると、こちらの管理責任にもなるので、注意している。
14	脳波検査で、説明内容が理解できずに、電極を壊されそうになったことがある。 心電図検査で、突然動き出してベッドから落ちそうになったことも、意味不明の怒りに、突然怒鳴られて困ったこともある。
15	認知症初期の時点での結果を見て、スクリーニングをすることが難しいと感じました。 (自分は健康だと思っている方がほとんどなので…)
16	認知症疑いの患者さんの心電図検査を担当していますが、患者さんの検査への協力が得られるようにあれこれ、手探りでしていますが、色々な検査の前に患者さんへの対応が一番重要だと痛感します。その為、認定資格を取得しましたが、その人、体調の変動等、難しいです。そういう時は看護師の力を借りています。又病状が進んで入院となった患者さんの脳波検査は時間もかかり、協力して貰えず、とても大変です。一瞬の時を見計らったの長期戦となります。ま

	た1人勤務ですので、他の検査の重なり、ゆっくり腰を据えて、質のいい検査ができず、苦悩する場合があります。
17	認知症患者を対象に採血を実施する際に、理解度が低く、コミュニケーションを取るのに苦労しました。また、人によっては痛みに対する反応で穿刺時に激しい体動があり、腕を押さえつけて採血をする必要があるなど、力勝負なこともありました。
18	認知症患者の心電図や超音波検査時に、短時間であれば看護師の同席も可能ですが、患者対検査者として一対一で対応した際、患者が急に不穏な状態になった場合に、落ち着かせるように対応する難しさを実感した。
19	認知症患者とわからないことが多く、次への案内後に行方不明になってしまった。見た目で見えないので、あとから問題が起きる。
20	認知症の症状の為なのですが、検査に対して非協力的な態度をとられる（答えられないことに対しての自分自身への怒りだと思われそうですが、検査の内容に怒ったり、答えをはぐらかしたりする）と、検査に時間がかかり患者さん自身が疲れ悪循環になってしまうことがあります。
21	認知症の型によって症状や対応が異なってくると思います。認知症に対する知識が不足し、満足に対応できないケースも多く、他の技師のフォローに入ることもあります。 肺活量の検査で、説明しても理解してもらえず検査がうまく実施できない、心電図を記録しようとしたら突然帰ると言い出すなど認知症の症状をある程度理解していれば何とか対応することができますが、知識のない技師が対応すると検査に協力してくれない、動いて検査ができない、急に怒りだすといったことがしばしばあり、検査のフォローを求められることがあります。
22	認知症の患者さんに呼吸機能検査や脳波検査がオーダーされた場合、検査を行ってみますがたいてい呼吸機能検査は検査不可となります（指示通りできない、最大吸気、最大呼気ができない）。医師もわかっているとは思いますが、混んでいる時は時間をかけるのもどうなのかと思います。（結局は医師に連絡して検査キャンセルになります。）脳波検査も仰臥位で施行しますが体動が激しいと筋電図混入のためきれいに記録できず、医師に連絡をとって鎮静をかけたりしますが判読できる記録ができていないのか苦慮するケースがあります。
23	認知症に対しての知識の無さから、どのように対応したらよいのかわからなかった。
24	入院患者の認知症症状についての引継ぎがなく、レベルが不明なことが多く苦勞しています。肺機能検査では非常に苦勞することが多いです。
25	日常は生理検査を担当しています。認知症患者の検査に長時間を要する事がたびたびあります。日を変えて検査に来てもらうことで患者さんに負担を与えずに検査できる場合もあるのですが、意思の疎通ができない重度の患者には複数人で対応したり、恐怖を与えているのではないかとは思いつながらの検査になってしまうことがあります。軽度から中等度の認知症の患者には有効な対応と同じ対応ではなかなかうまくいきません。どうされているのでしょうか？家族の指示も入りません。
26	日によって患者の気分が違うため、検査のできる日とできない日があること。
27	糖尿病患者への自己血糖測定指導を検査技師が実施しているが、高齢の患者では理解力に乏しかったり、またその原因が認知症を疑わせるような場合に、検査技師からも積極的に認知症の検査を勧められるよう（関わるができるよう）にしていきたい。現状では認定をとった技

	師がいないこともあり、医師・看護師中心になっているが、もう少し関われたらと思っている。
28	当院は認知症が進み深刻な状況になってから、対応しています（高齢者の多い病院だから）。検査を理解してもらえず、検査に時間がかかったり、検査機器を引っ張ったり、検査者に唾をかけた、暴力を受けることもあります。あきらめています。
29	当院はこども専門病院なので認知症患者が受診することはありませんが 職員の家族に介護を必要とする方が増えており、介護休暇の取得を希望する者が増えている 対応力向上講習会 B に参加して、認知症患者の実際を知ることができたのは認知症患者がいる家族についても理解できたので非常に有意義な講習であったと思います。
30	当院で認知症サポートチームが発足した際にも臨床検査技師には話さえ持ってこられなかった。 色々な情報を得るためにアンテナを張り、情報をつかんでサポートチームの一員となり、日常診療での患者さんの行動に気づきをもって対処を考えている。しかしこのような行動が取れている検査技師はまだまだ極少数で、検査技師の中でも認知症検査に関する知識、患者への対応が未熟な状態で検査に当たっている。 例を挙げると、患者に行いたい事を告げても反対の意にしか取ってもらえないケースや患者の思いと異なった行動を依頼しても却って反抗されたりする行動・心理症状を非資格保有者に理解させ対応させることには、なかなか時間を要すると思われる。 すなわち高齢者認知症患者がほとんどの診療科に存在するにも関わらず、我々医療職側が認知症患者の状況・理解不足のまま対応している点の是正には時間が必要であろう。
31	当院、閉鎖の認知症病棟がある為、指示が入りにくく検査時にベッドに寝てもらおうのもやっとなです。 他患者のベッドに寝ている事もあります。（ネームバンドは異食の可能性があるので、つけていません） 拒否の強い方は、家族さんや看護師に検査時に傍についてもらっています。 少し大きめの声で声かけしながら協力してもらえよう促します。無理な場合は時間や日を改めます。 ホルター心電図装着時は自己抜去する事もあり（特に夜間帯）主治医と相談の上、ミトンやつなぎの着用をお願いすることもあります。
32	典型的でない例が非常に多いと感じる。 また薬の副作用で下痢気味になる人が多く、トイレが心配で落ち着いていないのか、不安でそわそわしているのか気になる
33	聴力検査で、指示通りにできなくて検査不可となった。
34	多くの患者さまにおいて診察の待ち時間が長いと 興奮してくるようです。中には、暴言をわめきだしまわりの患者様に不愉快な思いをさせたりしてしまうので、出来るだけすみやかな対応をとっています。（採血室勤務なので。）
35	他技師ですが、エコー検査で、早く終われ！と大声で叫ぶ患者をなだめながら検査していました。対処としては、付添いの方と一緒に入室させれば良かったとは思いますが。あるいは、このように興奮してしまったら、一度、仕切り直して、部屋から出てもらい、落ち着いてもらった

	ほうがいいのだとは思いますが。しかし、次の患者も予約時間で決まっていますし、なかなか、時間を費やして検査することができない現状があると思いました。
36	説明はいらす 検査拒否されることが多い
37	生理検査実施時に指示が入りにくい。安静保持ができず、検査実施者以外に介助者が必要になり、手を取られる。
38	生理検査実施時にコミュニケーションが取れない事です。
39	生理検査においては、検査拒否があると苦労します。 また、呼吸機能検査など、本人の努力が必要な場合は、検査の仕方をなかなか理解してもらえずに、困ることがあります。
40	生理検査では、1人で対応できない時は2人で認知症患者に1人は説明等しながら、ペースを合わせて対応しています。
41	生理検査、心電図検査で動かされて困ることは多々ある。暴言、暴力もある。
42	心電図を採る際に、力が入ったり、暴言や拒否が強かったりで、協力が得られず実施するのに時間がかかった。
43	心電図やエコー検査で指示が通らずなかなか協力してもらえない事がありました。
44	心電図、心臓超音波など生理検査時に時々難儀するご、大した問題ではない。
45	情報が少ない。 時間をかけて対応したいが、業務が多く最低限の時間しかさけない。
46	初心の患者さんには、検査だけでなく、患者背景などについて、お聞きしています。 ご家族からも話しをお聞きしていますが、対話能力の不足を感じています。
47	重度の方は、体位等の要望を聞き入れる事が出来ず検査が出来無い事多い
48	手術前の検査で、肺活量の検査はマウスピースを加えさせることすら困難
49	実際自分で検査する事はないものの、心理士の検査状況を部屋の外から聞こえてくる声を聞いていると対応が難しいと感じることもある。自分がしっかりしていると思っている患者さんに長谷川式検査等で答えられなくなると怒ったり、黙ったりされる方もいるみたいです。もし、その検査を自分がするとなるとどう対応するだろうか…。 実際検査するとなると検査内容だけではなく患者さんに答えてもらうためにどうしたらよいか悩むと思います。
50	疾患への理解、介護に関する知識は必須と思います。
51	指示が入らず記録に苦労した。不穏になった時はなにも出来ない。それでも最良を尽くしたい。
52	採血前に、患者に食事摂取の有無を聞くと、食べたか食べてないか、曖昧ではっきりせず覚えていない場合。
53	採血時や検査を行う際の指示がきちんと通らないことがある
54	採血時に対応に困ることがある。
55	採血時に十分説明しても、実際には針を刺す瞬間には動いてしまったり、ひとりで対応するのは難しい。 ひとりひとり個性があるので同じ対応ではダメな場合が多い。行動の予測がつかない難しさがある。

56	採血拒否、検査協力ができない
57	採血をする際に本人確認のため氏名と生年月日を言ってもらおうのだが、言えない人がいた。付き添いの方に確認をして採血を実施したことがある。
58	採血において、ちょっとした言葉のかけ違いで意志の疎通が出来なくなった。
59	採血することを説明し、している最中に突然手を動かそうとしたり、嫌がり席を立とうとするなどがあった。
60	採血していて急に動き出そうとする 急につばを吐かれそうになる 腕を捕まれてあざになった 話を通じない 検査中に怒りだした
61	最初はスムーズに検査を受け始めたのに突然大声を出したり手を出して拒否しだし手が付けられなくなり病棟から看護師を呼び車椅子に無理やり乗せて連れて帰ってもらった。
62	高齢化により長年通院している方々が徐々に変化していく。一ヶ月毎・三ヶ月毎など様々な通院間隔ではあるが前回までは出来ていた SMBG が出来ない。 ただし、決して「出来ない」とは言わない。「忘れた」「器械が壊れた」など言い訳で測定してこない。 使い方を忘れてしまった場合も遭遇するが、測定対象の患者の多くは「インスリン」を使用している為疑わしい場合は医師に報告し注意を共有できるよう配慮する。打ち忘れ・打ち過ぎ等危険な状況が存在すること。
63	高度難聴の高齢者の対応、集中力のない方の検査に苦勞します。
64	現在、地域のボランティアとして認知症カフェ等の運営に関わっており特にはないが、スクリーニング検査にはお年寄りとのコミュニケーションスキルが大事だと痛感している。
65	検体検査における採血時や生理検査における心電図など、認知症患者の検査拒否や安静にしていることが難しい方が多く検査実施に苦慮していることが多い。知識だけでなく、実際の現場での認知症患者の対応を他職種から学ぶ・実例を交えて学習できる機会があれば参加したいと思います。
66	検査不能になるほど苦勞することはあまりありませんが、指示が持続しませんので、何度も根気強く指示を出すしかありません。 しかし、あまりしつこく続けると怒り出してしまう方や安静が保てなくなる方もいらっしゃいますので、検査は手早く終えるようにしています。
67	検査時間が患者様によりバラつきがあり、対応力が必要だと痛感している。検査前に患者様の事前状態や情報などを把握したり、経験を積むことが大事だと思っている。 自尊心を傷つけないようにしまいと、話を聞いているうちに話の切り上げがうまくいかず、時間がかかりすぎたことがあった。
68	検査拒否。エコーや MRI、CT、X-P は特に嫌がる印象。MRI は事前に認知症の情報が入っていることが多くない為、検査の途中で動いてしまい、再検査となってしまうたり、急に暴れだしてしまったり（寝ていて起きたら閉塞感のある場所に入っていて、自分が今から焼かれてし

	まうと勘違いする患者さんが多い)、事前の患者への検査説明でカバーできないところが多い。認知症の講習を受け、対応力を得ている技師は検査拒否患者を検査実施へ誘導することが可能であるが、未学習の技師が対応すると難しいことが多く、もう少し認知症講習受講の必要性を訴えても良いのではないかと思う。特に生理機能担当技師、診療放射線技師。
69	検査を調子のよい機嫌を損ねる前に出来るだけ素早く終わらせる。
70	検査を受けることに対して理解が得られず拒否が連続したり、検査が実施できても長時間じっとすることができず、ベットから起き上がって正確な検査が出来なかつたりします。
71	検査を実施する際に、こちらの指示している内容が理解してもらえず困ったことがあった。
72	検査を実施することを拒む患者が多いと聞いたことがある
73	検査の立て込んでいの中で、時間をかけて傾聴することが難しく、そういった場合にどのように認知症患者を納得させて検査を進めていくかということに毎回悩まされています。 検査に余裕のある時は、何度も同じ質問されてもゆっくり患者のペースに合わせて時間をかけて検査を進めることが出来るのですが、 やはり検査が立て込んでくると、次を待たせている焦りから対応が多少雑になってしまっている気がします。
74	検査の方法や説明、注意点などを説明しても理解してもらえず検査が出来ないことがある。特に生理検査(肺機能、脳波、PSG、ホルターECGなど)
75	検査の説明を理解してもらえない、易怒性があり、暴力的な行為をされた。
76	検査の説明をしても協力が得られない。
77	検査の現場ではないため、特になし 【問06】についても、回答なしとしたいところ
78	検査に協力的でない患者さんの話を聞いて、実際そのような場面に遭遇した場合、対応できるか不安です。
79	検査する際に、患者の立場になること。 例えば、大きな声だと理解しにくい。小さくても患者が分かるようにゆっくり話すこと。 質問自体が分からなくても根気よく丁寧に説明し、順番どおりでなくても興味あるところから回答を引き出す。 などいろいろ勉強になりました。
80	健康展での検査説明を何度かしましたが、結果が悪い時の検査者やそのご家族に説明する際、ショックを受けられている様子を見て もう少しうまく出来ないだろうかと思ってしまう。 特に病院とは違いその後の検査者の経過がわからないので、不安に思うこともあります。
81	軽度認知症の方でも、一度検査拒否すると気を変えるのに時間を要した。
82	業務は採血が主のため、認知症患者の対応に苦勞します。 採血前に患者様の名前の確認等で意思の疎通ができるよう努力し、患者様に安心感を持たせるとスムーズに採血を終了することができる。 採血業務の場面で、認定認知症領域検査技師の知識を活かして、他のスタッフにも指導している。

83	<p>技師の多くが認知症に対しての知識力が少なく、言葉は悪いがボケ老人扱いで対応する者がおり、また言葉にしてしまうこと。</p> <p>その都度注意はするも、気にしない様子であること。</p>
84	<p>気分良く受けていただける患者さんばかりではないので、難しい患者さんのやる気を上げる工夫をするのに困る時もあります、雑談を交えながらしたり、お茶を提供しながらしたりすることも</p> <p>なるべく短時間で、早口にならないように気をつけています</p> <p>お年寄りや難聴の方は特に</p>
85	患者さん個人のプライドを傷つけないようにすること。言葉を選ばなければならないこと。
86	患者が怒り、殴られそうになったことがあります。
87	外来患者検査時に暴力的な行動をおこす患者に対して、患者の専門付き添いスタッフの助けで検査がスムーズに行われたが、家族の付き添いだけでは検査ができたかどうか不安要素は残った。
88	家族の理解がなく、叱りつけたりいらただたれてるのに対応するのが大変だった。患者も興奮してしまうので
89	<p>家族との関係を短い対応の時間で感じる事が必要だと思うが、時間の制限もあり、私情が入ってもいけないので、難しさをやればやるほど感じている。最終的には検査後専門医の診察を受けるので詳しくは、医師から聞いてくださいと伝えています。家族はよく勉強をしてくて見える方々も多く、より知識を深める必要を感じています</p> <p>やりがいはあります。後輩を作りたいですが、あまり興味は無さそうでせっかく検査をできる状態ができたので維持していきたいので困っています。外来患者だけではなく病棟患者の検査も介入していきたいです。</p>
90	<p>院内の認知症サポートチームへ参加させてもらって勉強していますが、認知症患者さんに限らず、患者さんへのケアという点では検査技師は他職種に比べ劣っていると感じるので、</p> <p>実際の対応・ケアに関する部分を学習できるような場があると良いと感じます。</p>
91	医療従事者側の認知症の方への理解が乏しく、適切に対応できずに検査もうまくいけないなど悪循環が起きてるように感じる場合があります。
92	わかってはいても易怒性に一番困ります。特に女性技師にとっては高齢者と言えども男性患者さんにすごまれるとそれだけでその後の仕事に支障をきたすと思います。
93	ホルター心電図・血圧や簡易 SAS や採便など、自宅で実施していただく検査の説明の時に、付き添いの方がいない場合、上手に伝わらなかったり、間違って実施してきてしまうことがあります。
94	ひとりで対応する事が多く、目が離せない。けがにつながらないように、注意するのが大変です。検査の必要性を理解していただけない事も多く、参考値で結果を出すのも、しんどいです。
95	とてもお話ごが好きな方で検査中に余分なことを言わないように、検査後に話を切るタイミングが難しかった。
96	どうしても検査に時間がかかってしまい、件数をこなすのは難しい。

	<p>質問が簡単すぎて、怒りだす患者がいる。</p> <p>講習を受けた人と受けていない人で、手技が統一されていない。</p> <p>患者に解答用紙を渡して、次回検査時までには答えを暗記するように指示する医師がおり、適当な経過観察が出来ない。</p>
97	<p>すぐ行方不明になってしまう可能性があることから、患者から目を離せないこと、一人つきりにしておけないこと。</p> <p>コミュニケーションがうまくできないこと。</p>
98	<p>ご家族が付き添わないで、一人での来院時は案内に困ることがある。</p>
99	<p>おもに生理検査を担当していますが、やはり検査中の認知症患者への対応が苦勞します。(安静にできない、検査中に叩かれそうになるなど)</p> <p>できるだけ時間をかけて対応するようにしていますが、業務の残り具合から時間的や人的(手を抑えてもらう、体を保持してもらう)な対応が難しい場合があります。</p>
100	<p>エコー検査を主に担当しておりますが、やはりこちらの言うことの意味が理解が出来ない患者様の場合、検査でとってほしい体位の説明が伝わらなかつたり、ある程度の時間直接体に触れることを嫌がられたりした時は困りました。</p>
101	<p>ある患者さんについて、家族からの話では家で暴言をはいたり暴れたりして言うことを聞かない、とのことだが病院ではとてもおだやかで、正しい情報を得られにくいことがあった。</p>
102	<p>80歳後半から90歳代の患者が大半で、日々色々と苦勞が絶えません。</p> <p>ほどんど、一人ぐらしなので特に困ります。</p>
103	<p>1日にたくさんの検査があり、患者、付き添い者で不満がある場合がある(説明はするのだが)。</p> <p>神経心理学的検査の後の採血は機嫌が悪い場合がある(心理士には逆の事を言われる事もあった)。</p> <p>全く協力していただけない付き添い者(家族、施設)にはどうしたものかと思う時がある。</p>
104	<p>①耳の不自由な方への検査を行うにあたり、筆談という形式をとったけど、それでよかったのか?</p> <p>②MMSEと長谷川式を行う際に、同内容項目は省いて行い、順序だてて行っているけどそれでいいのか?</p> <p>③検査を実施中に急に怒り出す方がいらっしゃる時の対処方法。</p>
105	<p>10年前と比べるとBPSDがひどい方は少なくなり、検査がスムーズに行えるようになったと感じています。</p> <p>付き添いのご家族が介護疲れ?なのか、</p> <p>本人の車いすでの移動や、ベッド移乗・着替えなど、荷物を扱うような乱暴さで行ったり、本人に「あんたのせいで寝不足だ」「あんたはボケてるんだからしゃべるな」などの暴言など見聞きすることがあり、つらくなることがあります。</p> <p>また、見ているだけで何もできない自分も情けないです。</p>
106	<p>・前職場にて神経心理検査を実施できる体制を整えたが、検査を始めた頃は患者が全く言葉を発しないことがありました。</p> <p>当然点数はゼロ点となりますが、自分の接し方に問題があるのではと悩んだ。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・心電図など生理検査の場面においても電極を外され検査が実施できなかった。 ・採血時、針を刺した途端に腕を引っ込められた。
107	<ul style="list-style-type: none"> ・生理検査時のベット移動や車椅子移動の適切な対応の仕方 ・生理検査時の検査説明の理解力
108	<ul style="list-style-type: none"> ・検査のために患者さんをお呼びした際、患者さん自体が病院へ何のために来ているのか理解されておらず、案内しようとしたが気分を害されて帰られたこと。 ・長谷川式テストなどの検査中、分かりそうな答えでも「分からない」とすぐに言われる。考えるように促すが、なかなか考えてもらえなかった。 ・検査中、思った以上に検査に回答出来ない自分に驚き落胆したり泣き始める方がいらっしゃる。
109	<ul style="list-style-type: none"> ・じっとしていることができなかつたり、突然予期せぬ行動をするため、心電図検査ができなかった。 ・電気が流れるからと心電図検査を拒否された。

※ 回答欄の内容は、回答者が記載したままを掲載

別添 資料 2 および 3 (講習会開催例)

都道府県臨床検査技師会で主催する認知症の講習会（専門職向け）

目的：多職種連携で認知症の病態、検査、治療、ケア、制度に関する基本的な情報を提供し、
認知症関係の理解を深め、臨床検査技師も認知症領域に参画していることをアピールする

対象者：臨床検査技師やその他の医療関係者

開催時間：①3時間（休憩を含む）で5単位（下記の1～4）

②5時間（休憩を含む）で10単位（下記の1～5、あるいは1～6）

1. 認知症の病態について（60分）

- 医師に依頼（認知症の専門医が望ましい）

認知症の定義・概要・疫学、認知症の症候学（認知機能障害、行動・心理症状）、認知症の病態（アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症は必須）、軽度認知障害の概念についての内容を紹介

2. 認知症の検査について（60分）

- 認定認知症領域検査技師が担当（画像検査は放射線技師に依頼しても良い）

神経心理学的検査（MMSE、HDS-Rは必須）、画像検査（MRI、SPECTは必須）、脳脊髄液検査（タウ蛋白、アミロイドβ蛋白は必須）、血液検査についての内容を紹介

（オプションで神経生理学的検査（脳波、事象関連電位）、血管検査・循環器検査（超音波検査、脈波検査、心電図）、NIRS検査、嗅覚検査、睡眠検査を追加しても良い）

3. 認知症の治療について（30分）

- 薬剤師に依頼

アルツハイマー型認知症の治療薬（ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミン、メマンチン）、その他の薬物療法（行動・心理症状への対応等）についての内容を紹介

4. 認知症のケアについて（30～60分）

- 看護師（可能であれば認知症看護認定看護師）、あるいは介護福祉士に依頼

認知症ケアの基本姿勢、認知症別ケアの概要についての内容を紹介

（看護師が講師の場合は認知症ケアチームの活動も含めてもらうと良い）

5. 認知症疾患医療センターについて（30～60分）（オプション）

- 認知症疾患医療センターに勤務している医師、精神保健福祉士（PSW）、看護師、保健師等に依頼
認知症疾患医療センターの概要についての内容を紹介

6. 地域包括ケアについて（30分）（オプション）

- 行政の職員に依頼

地域包括ケアシステムの概要についての内容を紹介

都道府県臨床検査技師会で主催する認知症の講演会（一般住民向け）

目 的：多職種連携で認知症の病態、検査、治療、ケアに関する基本的な情報を提供し、一般住民に認知症についての情報提供を行うとともに、臨床検査技師も認知症領域に参画していることをアピールする

対 象 者：一般住民

開催時間：3 時間（休憩を含む）

1. 認知症の病態について（60 分）

- 医師に依頼（認知症の専門医が望ましい）

認知症の定義・概要・疫学、認知症の症候学（認知機能障害、行動・心理症状）、認知症の病態（アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症等）、軽度認知障害の概念についての内容を紹介

2. 認知症の検査について（30 分）

- 認定認知症領域検査技師が担当（画像検査は放射線技師に依頼しても良い）

神経心理学的検査（MMSE か HDS-R の体験も交えて）、画像検査（MRI や SPECT）、血液検査（全身状態の把握や認知症発症の危険因子の評価に関して）についての内容を紹介

（オプションで脳脊髄液検査（タウ蛋白やアミロイドβ蛋白）、神経生理学的検査（脳波）、血管検査・循環器検査（超音波検査、脈波検査、心電図）、嗅覚検査、睡眠検査を追加しても良い）

3. 認知症の治療について（30 分）

- 薬剤師に依頼

アルツハイマー型認知症の治療薬（ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミン、メマンチン）、その他の薬物療法（行動・心理症状への対応等）についての内容を紹介

4. 認知症のケアについて（30 分）

- 看護師（可能であれば認知症看護認定看護師）、あるいは介護福祉士に依頼

認知症ケアの基本姿勢、認知症別ケアの概要についての内容を紹介

4. 認知症の予防について（15 分）

- 医師に依頼、あるいは認定認知症領域検査技師が担当

認知症の予防（発症遅延、進行緩和）についての内容を紹介

※対象者は一般住民であるということを十分考慮し、発表内容が難しくなりすぎないように注意する。

- ①會員施設実態調査
- ②會員意識調査

令和元年度

會員施設実態調査



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

令和元年度日臨技会員施設実態調査ならびに会員意識調査報告書

当会では、会員の所属する組織毎の「会員組織実態調査」および「会員意識調査」を2年に一度実施しています。前者は、日臨技の事業活動の参考とするために臨床検査部門の責任者の考え方や意見を集約するものであり、後者は臨床検査技師が抱える問題や当会が実施している活動内容について会員1人1人がどのように考えているかを聞き取るものです。質問内容は定例的な設問と日臨技が重点施策として取り組んでいる事業の認知度や、検査現場の現状を把握する設問としてお聞きしました。本調査は、令和元年12月から翌年の2月に日臨技HPを利用して回答を回収したものです。調査の回収率としては、前回はわずかながら上回る回収率となりましたが、「会員意識調査」における回答会員の数はこちらが期待した数には満たない結果となりました。ただし、調査結果を把握するための数は満たしていることを、申し伝えさせていただきます。改めまして回答にご協力いただいた施設の管理者の皆様や会員各位に感謝申し上げます。

当会の会員数は、6万6千人を超え、会員の皆様の活躍の場も病棟・在宅など様々な医療現場での活躍など、きわめて多様になっております。また、各都道府県で構築される地域医療構想の進展や、政府が掲げる2035年に予想される人口減少を克服し、安定した経済成長を持続できる社会保障制度を堅持することなどは、私たち臨床検査技師業務体系も様々な形で変化が求められています。もちろん医師の働き方改革による臨床検査技師への新たな業務移管などの法的な制度の整備もされつつあります。この調査結果をはじめ、会員の皆様の声を真摯に受け止めて今後の当会の活動の参考にさせていただきます。

令和2年6月20日

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
担当理事 梶山 広美 深澤 恵治

目次

A 施設大分類	1
B 実態実施状況	2
C 設置母体	3
D 稼働病床数	4
E 施設所在地都道府県（単一回答）	5
F 臨床検査技師数	6
G 臨床検査技師数の内訳①	7
H DPC区分	8
I 臨床検査技師数の内訳②	9
I 貴施設における臨床検査技師の労働条件について	
【問1】貴施設の定年制度（役職定年は除く）は何歳ですか。（単一回答）	10
【問2】育児・介護休暇など長期休暇（留学なども含む）の取得支援を施設として整えていますか。（単一回答）	10
【問3】貴施設において、育児・介護休暇など長期休暇（留学なども含む）はとれていますか。（単一回答）	11
【問4】勤務施設には臨床検査技師が活用できる育児支援がありますか。（複数回答可）	11
II 貴施設における臨床検査技師の学会・研修会等への参加支援について	
【問5】「学術集会（学会）」の参加に関わる費用（参加費・交通費・宿泊費等）は施設で負担してもらえますか。（単一回答）	12
【問6】「研修会・勉強会」の参加に関わる費用は施設で負担してもらえますか。（単一回答）	12
【問7】「資格取得・認定」の取得に関わる経費は、施設で負担してもらえますか。（単一回答）	13
【問8】資格や認定を取得した場合、取得者の待遇について該当するものを選んでください。（複数回答可）	15
【問9】多くの資格・認定では一定間隔で更新が必要となりますが、その際の処遇について該当するものを選んでください。（単一回答）	18
【問10】貴施設において、“日臨技e-ラーニング”を推奨していますか。	20
III 貴施設における検査部門の管理体制について	
【問11】現在の貴殿が属している部署の最高責任者の「職種」はどなたですか。（単一回答）	21
【問12】部内スタッフに共有すべき情報の伝達は、普段、どのような方法で行われていますか？（複数回答可）	22
【問13】情報共有・周知について、最も効果があると思われる手段を1つだけ選んでください。該当する項目がない場合は「10.その他」に記載してください（単一回答）	26
IV 貴施設における標準化、第三者機関による認証・認定について	
【問14】検査および検査部の質に関する指標（Quality Indicator）を定義していますか？	27
【問15】“JCCLS共用基準範囲”の採用を考えていますか。（単一回答）	29
【問15-2】問15で「4. 採用の考えはない」と回答した施設の方に質問 “JCCLS共用基準範囲”採用の考えがないのはどのような理由からですか。 （単一回答）	31
【問16】検体検査を自ら実施する施設に配置が義務付けられている“検体検査の精度の確保に係る責任者”について、貴施設ではどなたが任命されていますか。（単一回答）	31
【問17】日臨技ではe-ラーニングを用いて、「精度管理責任者育成講習会」を開講していますが、貴施設では、この講習会に参加されている会員および修了された方は何人いますか。（単一回答）	32
【問18】検体検査を自ら実施する施設に義務付けられている“各種標準作業書・作業日誌・台帳等の作成”について、貴施設ではどの程度、それらの配備が進んでいますか。（複数回答可）	32

【問19】 日臨技では各種標準作業書・作業日誌・台帳等の雛形を掲示し、eラーニングを用いて「精度管理責任者育成講習会」の中でも解説を行っています。貴施設ではそれらを利用されましたか。(単一回答)	32
【問20】 貴施設において、検査室以外(手術室、外来、病棟など)で使用されているPOCT(Point Of Care Testing、臨床現場即時検査)、SMBG(Self-Measurement of Blood Glucose、自己血糖測定)、ドライケミストリー法で使用するような機器および試薬の管理について、今回の医療法に関わる責任は誰が担いますか。(単一回答)	33
【問21】 「医療法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省令の整備に関する省令」の施行以降(2018年12月1日以降)、貴施設へ行政による医療監視が入りましたか。(単一回答)	34
【問21-2】 問21で「1. はい」と回答した場合、特別に不足として指摘された事項はありましたか。(単一回答)	34
【問22】 “日臨技精度保証施設認証”について、貴施設の現状を教えてください。(単一回答)	35
【問22-2】 問22で「4. 取得の考えはない」と回答した施設の方に質問 “日臨技精度保証施設認証”取得の考えがない理由は何ですか。(複数回答可)	38
【問23】 “病院機能評価”について、貴施設の現状を教えてください。(単一回答)	39
【問23-2】 問23で「4. 取得の考えはない」と回答した施設の方に質問 “病院機能評価”取得の考えがないのはどのような理由からですか。(複数回答可)	42
【問24】 “医療関連サービスマーク認定”について、貴施設の現状を教えてください。(単一回答)	43
【問24-2】 問24で「4. 取得の考えはない」と回答した場合、“医療関連サービスマーク認定”取得の考えがないのはどのような理由からですか。(複数回答可)	46
【問25】 “ISO15189”について、貴施設の現状を教えてください。(単一回答)	47
【問25-2】 問25で「4. 取得の考えはない」と回答した場合、“ISO15189”取得の考えがないのはどのような理由からですか。(複数回答可)	50
【問26】 “CAP”について、貴施設の現状を教えてください。(単一回答)	51
【問26-2】 問26で「4. 取得の考えはない」と回答した施設の方に質問 CAP取得の考えがないのはどのような理由からですか。(複数回答可)	54
V 貴施設における医療安全体制について	
【問27】 貴院において、医療安全推進室に臨床検査技師(専任)は配属されていますか。	55
【問28】 貴施設に“医療安全対策加算に関する施設基準に準ずる研修”を修了した臨床検査技師の医療安全管理者はいますか。	56
VI 貴施設(部署)における臨地実習の受け入れ体制について	
【問29】 “臨地実習”として学生を受け入れていますか。(単一回答)	57
【問29-2】 問29で「1. 受け入れを行なっている」と回答した施設の方に質問 臨地実習におけるカリキュラムは“日臨技臨地実習ガイドライン”に準じていますか。(単一回答)	57
【問29-3】 問29で「1. 受け入れを行なっている」と回答した施設の方に質問 貴施設において当てはまるものを選んでください。(複数回答可)	58
【問24-4】 問24で「1. 受け入れを行なっている」と回答した施設の方に質問 貴施設における平均受け入れ期間(開院日のみ)を選んでください。(単一回答)	59
VII 貴施設における臨床検査技師の業務認証、業務拡大について	
【問30】 チーム医療の一環として“検査説明・相談業務”を行っていますか。(単一回答)	60
【問30-2】 問30で「1. 行っている」と回答した場合、月に何名を対象に行っていますか。	63
【問31】 チーム医療の一環として“検体採取業務(咽頭・鼻腔拭い液、体表等)”を行っていますか。(単一回答)	64
【問31-2】 問31で「1. 行っている」と回答した場合、月に何名を対象に行っていますか。	67
【問32】 チーム医療の一環として皮膚等の検体採取を行っていますか。(単一回答)	68
【問32-2】 問32で「1. 行っている」と回答した場合、月に何名を対象に行っていますか。	71
【問33】 チーム医療の一環として肛門からの検体採取を行っていますか。(単一回答)	72
【問33-2】 問33で「1. 行っている」と回答した場合、月に何名を対象に行っていますか。	73

【問34】 下記の項目で、臨床検査技師がすでに実施している項目はありますか。
 (複数回答可) 76

VIII. 貴施設において臨床検査技師が採血に携わる内容について

【問35】 貴施設において臨床検査技師が採血行為を行っていますか。(複数回答可) 86

【問35-2】 問35で「1. 外来で行っている」、「2. 病棟で行っている」と回答した施設の方に質問
 採血に関する教育で該当するものを選んでください(複数回答可) 90

【問35-3】 問35で「1. 外来で行っている」、「2. 病棟で行っている」と回答した施設の方に質問
 採血に関するクレームで、最も多いものを選んでください。(単一回答) 92

【問35-4】 問35で「1. 外来で行っている」と回答した場合、外来のブースの数はいくつですか。 92

【問35-5】 問35で「1. 外来で行っている」と回答した場合、採血業務に占める臨床検査技師の割合はどれくらいですか。(単位：%) 93

【問35-6】 問35で「1. 外来で行っている」と回答した場合、外来採血室における一日当たりの採血患者数は何人(直近1カ月の平均)ですか。(単一回答) 94

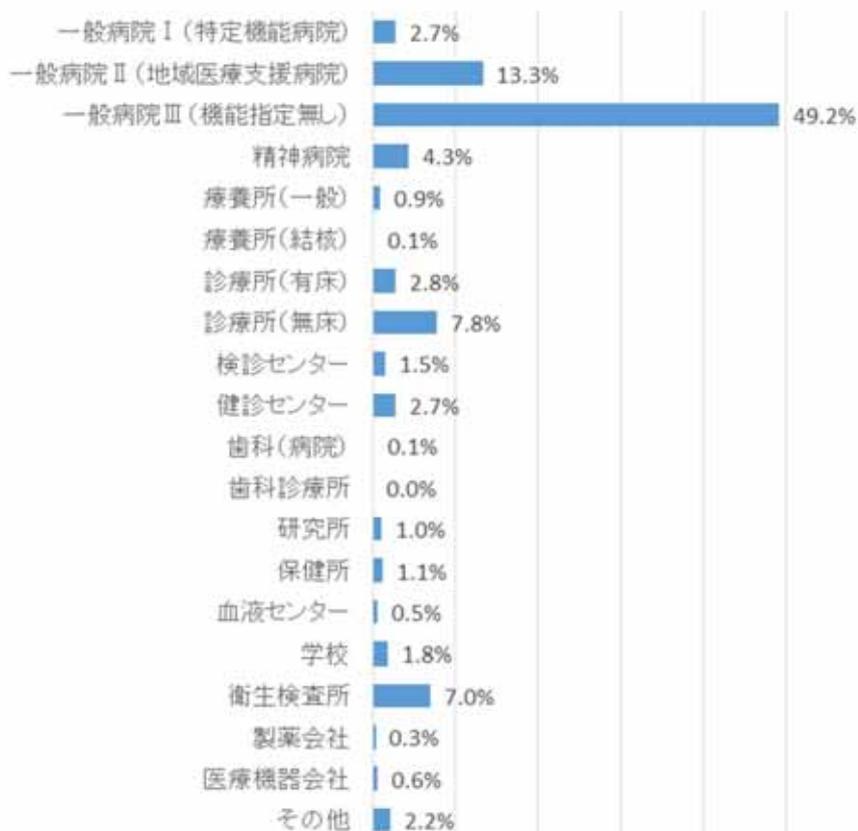
【問35-7】 問35で「1. 外来で行っている」と回答した場合、外来採血室における採血待ち最大待ち時間(直近1カ月の平均)についてお尋ねします。(単一回答) 94

【問35-8】 問35で「2. 病棟で行っている」と回答した場合、病棟採血に占める臨床検査技師の割合はどれくらいですか。 95

【問35-9】 問35で「2. 病棟で行っている」と回答した場合、病棟のどのような場面で採血を行なっていますか。(複数回答可) 96

【問35-10】 問35で「2. 病棟で行っている」と回答した場合、病棟で1日あたり合計何名(直近1カ月の平均)の採血を行っていますか。(単一回答) 96

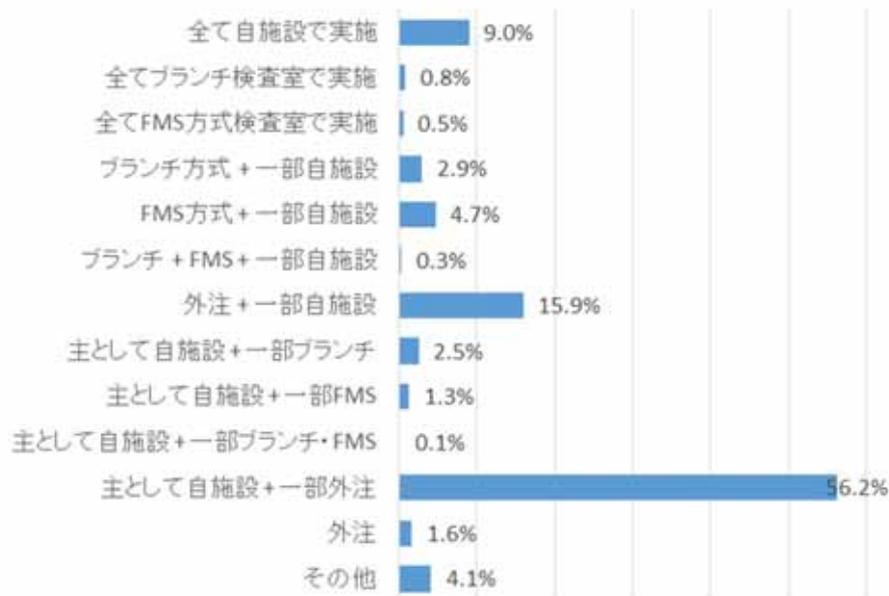
A 施設大分類 (単一回答)



	件数	割合
O11：一般病院Ⅰ（特定機能病院）	100	2.7%
O12：一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	491	13.3%
O13：一般病院Ⅲ（機能指定無し）	1,814	49.2%
O14：精神病院	159	4.3%
O15：療養所（一般）	32	0.9%
O16：療養所（結核）	2	0.1%
O17：診療所（有床）	102	2.8%
O18：診療所（無床）	288	7.8%
O21：検診センター	57	1.5%
O22：健診センター	101	2.7%
O31：歯科（病院）	4	0.1%
O32：歯科診療所	0	0.0%
O41：研究所	36	1.0%
O51：保健所	41	1.1%
O61：血液センター	20	0.5%
O71：学校	67	1.8%
O81：衛生検査所	257	7.0%
O91：製薬会社	12	0.3%
O92：医療機器会社	21	0.6%
O99：その他	80	2.2%
合計	3,684	100.0%

一般病院Ⅲ（機能指定無し）が49.2%と最も多く、次いで一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）が13.3%であった

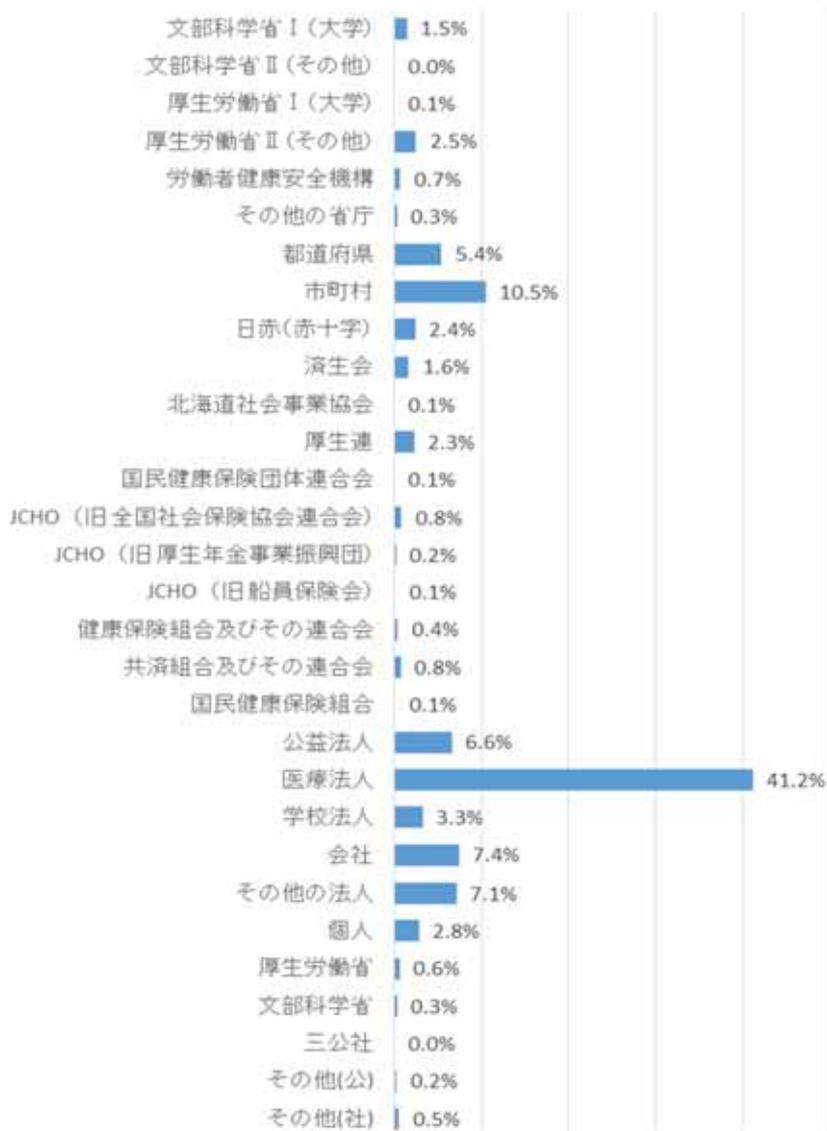
B 実務実施状況（単一回答）



	件数	割合
11：全て自施設で実施	327	9.0%
12：全てブランチ検査室で実施	28	0.8%
13：全てFMS方式検査室で実施	20	0.5%
21：ブランチ方式 + 一部自施設	107	2.9%
22：FMS方式 + 一部自施設	170	4.7%
23：ブランチ + FMS + 一部自施設	11	0.3%
24：外注 + 一部自施設	580	15.9%
31：主として自施設 + 一部ブランチ	91	2.5%
32：主として自施設 + 一部FMS	47	1.3%
33：主として自施設 + 一部ブランチ・FMS	4	0.1%
34：主として自施設 + 一部外注	2,045	56.2%
90：外注	59	1.6%
99：その他	149	4.1%
合計	3,638	100.0%

主として自施設+一部外注が56.2%と最も多く、次いで外注+一部自施設が15.9%であった。

C 設置母体（単一回答）



	件数	割合		件数	割合
01：文部科学省Ⅰ（大学）	53	1.5%	16：JCHO（旧 船員保険会）	4	0.1%
02：文部科学省Ⅱ（その他）	1	0.0%	17：健康保険組合及びその連合会	15	0.4%
03：厚生労働省Ⅰ（大学）	2	0.1%	18：共済組合及びその連合会	28	0.8%
04：厚生労働省Ⅱ（その他）	91	2.5%	19：国民健康保険組合	4	0.1%
05：労働者健康安全機構	24	0.7%	20：公益法人	239	6.6%
06：その他の省庁	11	0.3%	21：医療法人	1494	41.2%
07：都道府県	197	5.4%	22：学校法人	118	3.3%
08：市町村	382	10.5%	23：会社	269	7.4%
09：日赤（赤十字）	88	2.4%	24：その他の法人	259	7.1%
10：済生会	59	1.6%	25：個人	102	2.8%
11：北海道社会事業協会	3	0.1%	26：厚生労働省	23	0.6%
12：厚生連	82	2.3%	27：文部科学省	12	0.3%
13：国民健康保険団体連合会	3	0.1%	28：三公社	0	0.0%
14：JCHO（旧 全国社会保険協会連合会）	29	0.8%	29：その他(公)	9	0.2%
15：JCHO（旧 厚生年金事業振興団）	6	0.2%	30：その他(社)	19	0.5%
			合計	3626	100.0%

医療法人が41.2%と最も多く、次いで市町村が10.5%であった。

D 稼働病床数 “病床数は、許可病床数ではなく一般病床数で回答”

3,684施設の全回答施設のうち、未回答84施設を除く3,600施設の回答による施設内の稼働病床数の集計結果は**640,987床**

< [D] 稼働病床数と[I] 臨床検査技師数の内訳②のクロス表 >

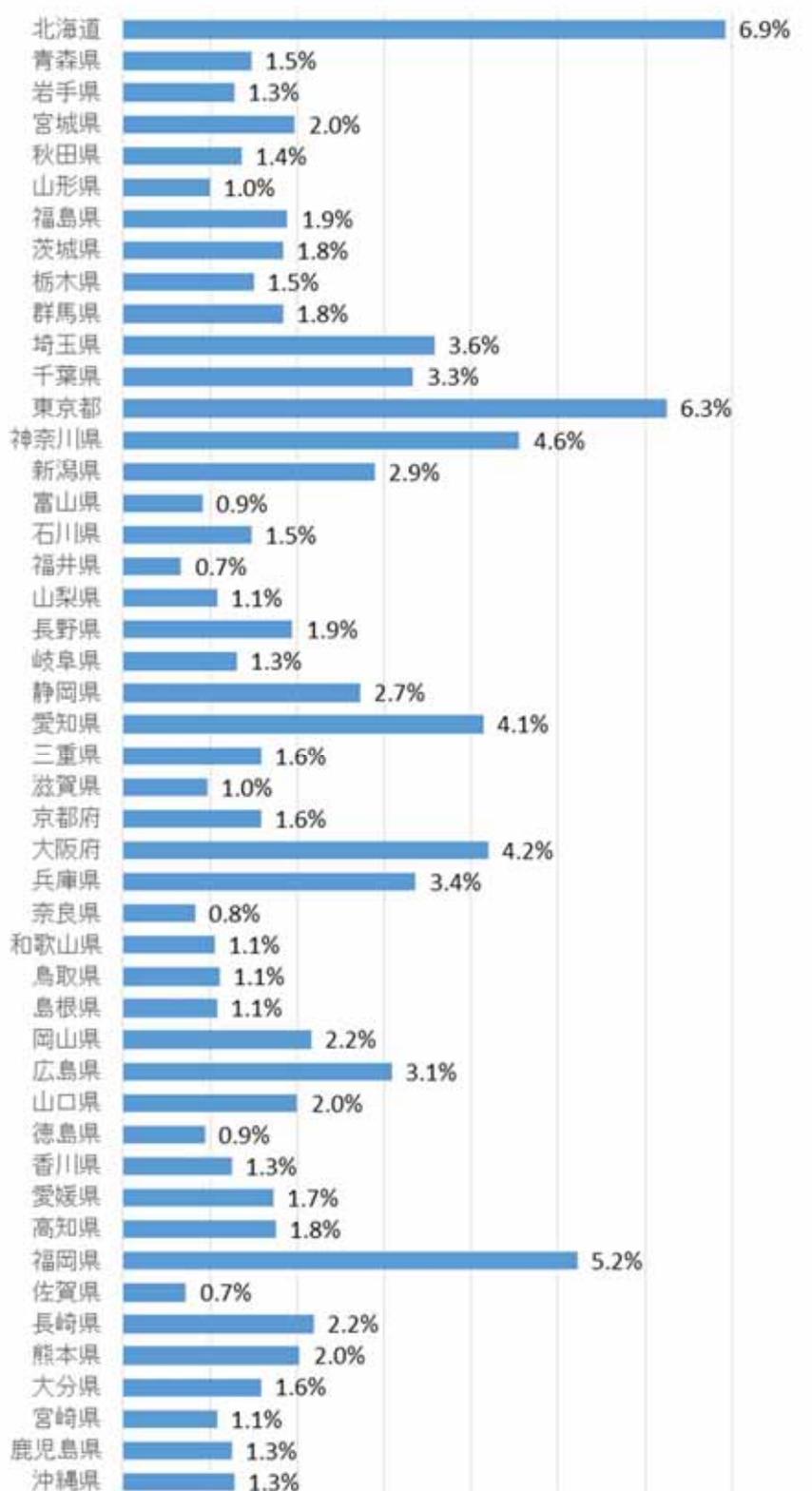
業務を兼務して場合、業務割合で通算で1名につき、1.0名となるよう内訳を記入している。
小数点以下は非表示

	稼働病床数									
	なし	1 ~19	20 ~99	100 ~199	200 ~299	300 ~499	500 ~699	700 ~999	1000 以上	計
中央検査部・検査室	1,115	316	1,957	4,508	3,633	8,492	4,902	2,639	1,128	28,689
採血室	34	18	66	211	205	508	315	142	88	1,586
手術室	0	0	4	3	4	4	7	3	2	26
病棟（集中治療室）	0	0	1	1	0	0	0	1	0	2
病棟（ハイケア・救急病室）	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9
病棟（一般）	1	1	6	10	1	1	1	2	0	22
救急外来	0	0	1	8	1	7	2	2	0	20
外来（一般）	89	22	45	20	32	15	12	0	0	234
管理（検査関連）	53	1	5	26	24	42	27	26	17	221
透析センター	11	7	7	6	0	3	0	1	0	35
内視鏡センター	7	3	7	40	25	73	33	6	9	202
心カテ室	0	0	8	6	18	22	20	7	17	97
事務系（医事・診療情報）	26	2	5	4	1	3	2	2	1	47
地域連携室	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4
広報	1	0	0	0	0	0	1	1	0	2
情報・システム	8	0	1	3	0	2	3	4	0	21
医療安全推進室	0	0	1	8	1	3	1	1	0	15
治験・臨床研究	12	0	2	1	5	11	10	5	2	47
健診・検診センター	2,383	9	86	231	159	226	45	31	7	3,176
検査センター	2,312	0	24	40	8	27	3	0	0	2,414
研究所（民間）	25	0	0	0	0	0	2	0	0	27
研究所（大学）	29	0	0	0	0	0	0	0	0	29
教育機関（専門学校）	78	0	6	0	0	0	0	0	4	88
教育機関（大学・大学院）	327	0	0	2	0	0	0	0	0	329
企業（製薬）	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
企業（試薬）	35	0	0	0	0	0	0	0	0	35
企業（医療機器）	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30
介護施設・在宅	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3
営業・販売	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
血液・献血センター	170	0	0	0	0	2	8	8	0	188
保健所・検疫所	138	0	0	0	0	0	0	0	0	138
認知症疾患医療センター	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	307	9	45	34	18	46	17	31	0	506
計	7,214	388	2,277	5,165	4,137	9,486	5,408	2,918	1,274	38,267

配属場所と病床数割合で一番多いのは中央検査部・検査室所属の300~499床であり、次いで500~699床の中央検査部・検査室配属である。また、総合的には300~499床の配属が一番であるが、健診・検診センターや検査センターが含まれる病床無しの配属技師が多い結果である。

E 施設所在地都道府県（単一回答）

都道府県	回答数	回答率
北海道	249	6.9%
青森県	53	1.5%
岩手県	46	1.3%
宮城県	71	2.0%
秋田県	49	1.4%
山形県	36	1.0%
福島県	68	1.9%
茨城県	66	1.8%
栃木県	54	1.5%
群馬県	66	1.8%
埼玉県	129	3.6%
千葉県	120	3.3%
東京都	225	6.3%
神奈川県	164	4.6%
新潟県	104	2.9%
富山県	33	0.9%
石川県	53	1.5%
福井県	24	0.7%
山梨県	39	1.1%
長野県	70	1.9%
岐阜県	47	1.3%
静岡県	98	2.7%
愛知県	149	4.1%
三重県	57	1.6%
滋賀県	35	1.0%
京都府	57	1.6%
大阪府	151	4.2%
兵庫県	121	3.4%
奈良県	30	0.8%
和歌山県	38	1.1%
鳥取県	40	1.1%
島根県	39	1.1%
岡山県	78	2.2%
広島県	111	3.1%
山口県	72	2.0%
徳島県	34	0.9%
香川県	45	1.3%
愛媛県	62	1.7%
高知県	63	1.8%
福岡県	188	5.2%
佐賀県	26	0.7%
長崎県	79	2.2%
熊本県	73	2.0%
大分県	57	1.6%
宮崎県	39	1.1%
鹿児島県	45	1.3%
沖縄県	46	1.3%
合計	3,599	100.0%



ご回答いただいた会員の多いのは北海道が一番であり、次いで東京都、福岡県の順番となっている。

F 臨床検査技師数

3,684施設の全回答施設のうち、未回答161施設を除く3,523施設の回答による施設内の全臨床検査技師数の結果

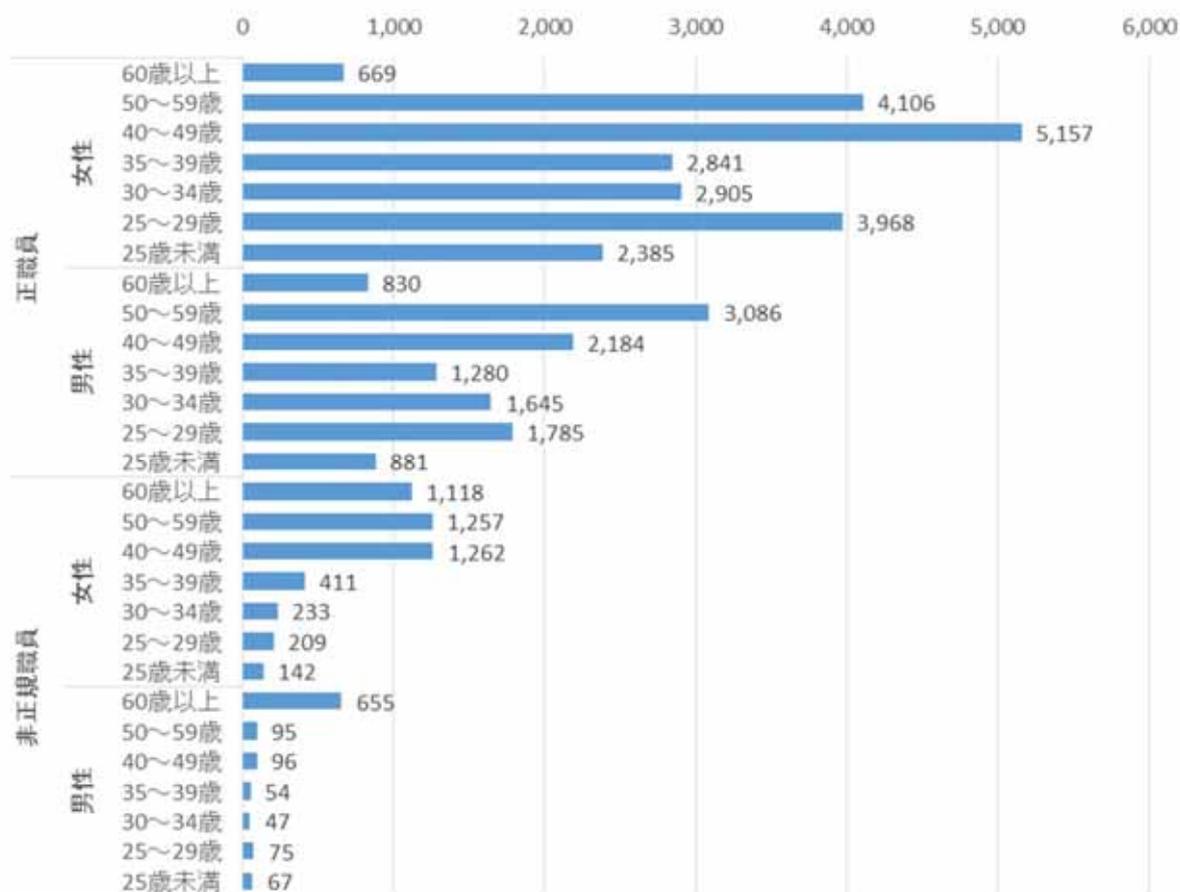


	人数	割合
会員	35,102	80.5%
非会員	8,521	19.5%
合計	43,623	100.0%

ご回答いただいたご施設の会員割合は8割が会員2割弱が非会員であった。

G 臨床検査技師数の内訳①

3,684施設の全回答施設のうち、未回答180施設を除く3,504施設の集計結果



区分1	区分2	年齢	人数
正職員	男性	25歳未満	881
		25～29歳	1,785
		30～34歳	1,645
		35～39歳	1,280
		40～49歳	2,184
		50～59歳	3,086
		60歳以上	830
	女性	25歳未満	2,385
		25～29歳	3,968
		30～34歳	2,905
		35～39歳	2,841
		40～49歳	5,157
		50～59歳	4,106
		60歳以上	669

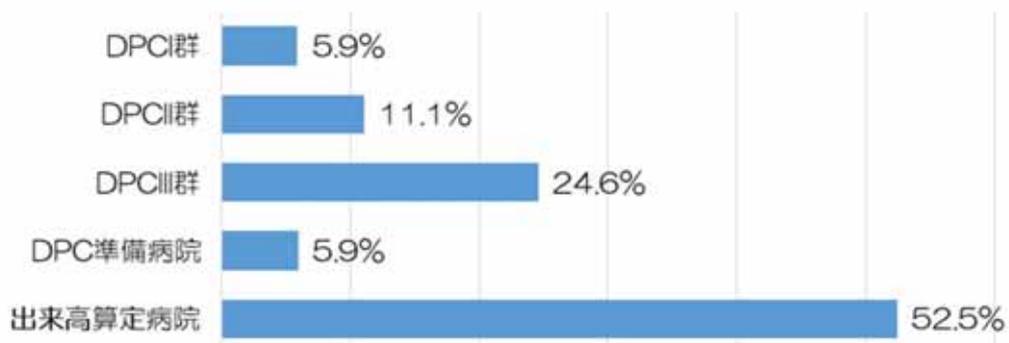
計： 33,722

区分1	区分2	年齢	人数
非正規職員	男性	25歳未満	67
		25～29歳	75
		30～34歳	47
		35～39歳	54
		40～49歳	96
		50～59歳	95
		60歳以上	655
	女性	25歳未満	142
		25～29歳	209
		30～34歳	233
		35～39歳	411
		40～49歳	1,262
		50～59歳	1,257
		60歳以上	1,118

計： 5,721

正職員の内訳は男性が50～59歳、女性が40～49歳が一番多い結果であった。非正規職員は男性60歳以上、女性は40～49歳であった。

H DPC区分



	件数	割合
①DPCI群	157	5.9%
②DPCII群	296	11.1%
③DPCIII群	658	24.6%
④DPC準備病院	158	5.9%
⑤出来高算定病院	1401	52.5%
合計	2670	100.0%

圧倒的に出来高払い算定病院が多く次いでDPCⅢ群となっている。

I 臨床検査技師数の内訳②

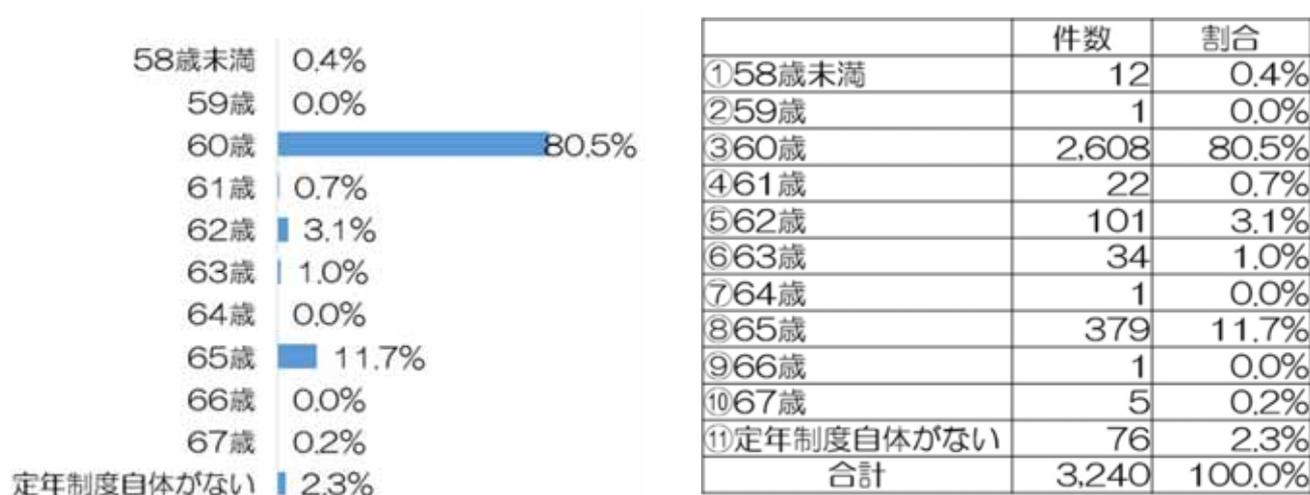
業務を兼務している場合、業務割合で通算で1名につき、1.0名となるよう内訳を記入している。
小数点以下は非表示

	人数	割合		割合
01：中央検査部・検査室	28,689	75.30%	中央検査部・検査室	75.30%
02：採血室	1,586	4.16%	採血室	4.16%
03：手術室	26	0.07%	手術室	0.07%
04：病棟（集中治療室）	2	0.01%	病棟（集中治療室）	0.01%
05：病棟（ハイケア・救急病室）	9	0.02%	病棟（ハイケア・救急病室）	0.02%
06：病棟（一般）	22	0.06%	病棟（一般）	0.06%
07：救急外来	20	0.05%	救急外来	0.05%
08：外来（一般）	234	0.62%	外来（一般）	0.62%
09：管理（検査関連）	221	0.58%	管理（検査関連）	0.58%
10：透析センター	35	0.09%	透析センター	0.09%
11：内視鏡センター	35	0.09%	内視鏡センター	0.09%
12：心カテ室	97	0.26%	心カテ室	0.26%
13：事務系（医事・診療情報）	47	0.12%	事務系（医事・診療情報）	0.12%
14：地域連携室	4	0.01%	地域連携室	0.01%
15：広報	2	0.00%	広報	0.00%
16：情報・システム	21	0.06%	情報・システム	0.06%
17：医療安全推進室	15	0.04%	医療安全推進室	0.04%
18：治験・臨床研究	47	0.12%	治験・臨床研究	0.12%
19：健診・検診センター	3,176	8.33%	健診・検診センター	8.33%
20：検査センター	2,414	6.34%	検査センター	6.34%
21：研究所（民間）	27	0.07%	研究所（民間）	0.07%
22：研究所（大学）	29	0.08%	研究所（大学）	0.08%
23：教育機関（専門学校）	88	0.23%	教育機関（専門学校）	0.23%
24：教育機関（大学・大学院）	329	0.86%	教育機関（大学・大学院）	0.86%
25：企業（製薬）	12	0.03%	企業（製薬）	0.03%
26：企業（試薬）	35	0.09%	企業（試薬）	0.09%
27：企業（医療機器）	30	0.08%	企業（医療機器）	0.08%
28：介護施設・在宅	3	0.01%	介護施設・在宅	0.01%
29：営業・販売	12	0.03%	営業・販売	0.03%
30：血液・献血センター	188	0.49%	血液・献血センター	0.49%
31：保健所・検疫所	138	0.36%	保健所・検疫所	0.36%
32：認知症疾患医療センター	1	0.00%	認知症疾患医療センター	0.00%
33：その他	506	1.33%	その他	1.33%
合計	38,099	100.00%		

中央検査部・検査室の配属が圧倒的に多く、次いで健診・検診センターであった。

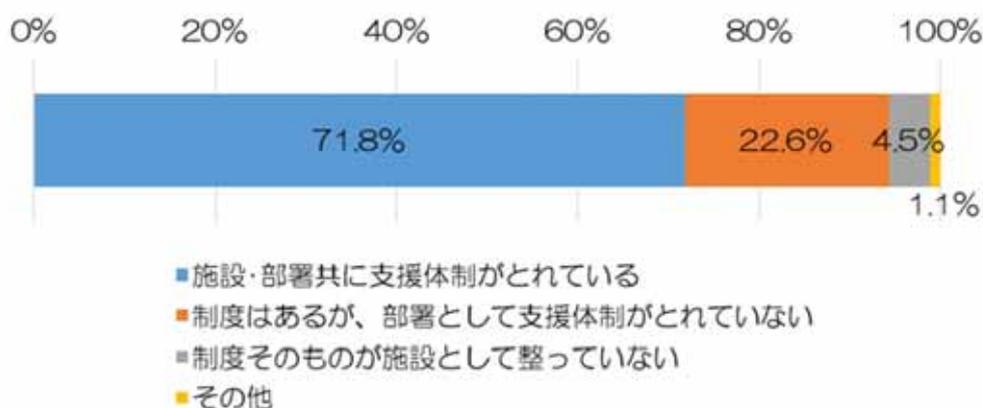
I 貴施設における臨床検査技師の労働条件について

【問1】 貴施設の定年制度（役職定年は除く）は何歳ですか。（単一回答）



60歳定年制が最も多く、次いで65歳であった。

【問2】 育児・介護休暇など長期休暇（留学なども含む）の取得支援を施設として整えていますか。（単一回答）



	件数	割合
①施設・部署共に支援体制がとれている	2,326	71.8%
②制度はあるが、部署として支援体制がとれていない	732	22.6%
③制度そのものが施設として整っていない	145	4.5%
④その他	37	1.1%
合計	3,240	100.0%

育児・介護休暇の支援体制は71.8%の施設で整えられている。

【問3】 貴施設において、育児・介護休暇など長期休暇（留学なども含む）はとれていますか。（単一回答）



	件数	割合
①申請通りに取得できている	1,946	60.3%
②どちらかといえば取得できている	742	23.0%
③あまり取得できていない	208	6.4%
④基本的に取得できない	170	5.3%
⑤その他	159	4.9%
合計	3,225	100.0%

育児・介護休暇は60.3%の施設で申請通りに取得できている。

【問4】 勤務施設には臨床検査技師が活用できる育児支援がありますか。（複数回答可）

複数選択回答パターン



	件数	割合
①施設内に育児施設がある	1,101	34.1%
②外部育児施設の斡旋してくれる	170	5.3%
③当直などの勤務時間の配慮	945	29.3%
④育児手当てなどの経済的援助	412	12.8%
⑤特にない	1,147	35.6%
⑥その他	85	2.6%
回答施設数	3,225	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	777	24.1%
[1][2]	7	0.2%
[1][2][3]	4	0.1%
[1][2][3][4]	1	0.0%
[1][2][4]	1	0.0%
[1][3]	223	6.9%
[1][3][4]	55	1.7%
[1][3][6]	3	0.1%
[1][4]	27	0.8%
[1][6]	3	0.1%
[2]	93	2.9%
[2][3]	34	1.1%
[2][3][4]	19	0.6%
[2][3][4][6]	1	0.0%
[2][4]	8	0.2%
[2][5]	1	0.0%
[2][6]	1	0.0%
[3]	451	14.0%
[3][4]	126	3.9%
[3][4][5]	5	0.2%
[3][5]	13	0.4%
[3][6]	10	0.3%
[4]	167	5.2%
[4][5]	1	0.0%
[4][6]	1	0.0%
[5]	1127	34.9%
[6]	66	2.0%

自施設における育児支援は特にないが35.6%（単一回答）が最も多く、次いで施設内に育児施設があるとの回答であった。複数回答においても同様の結果であった。

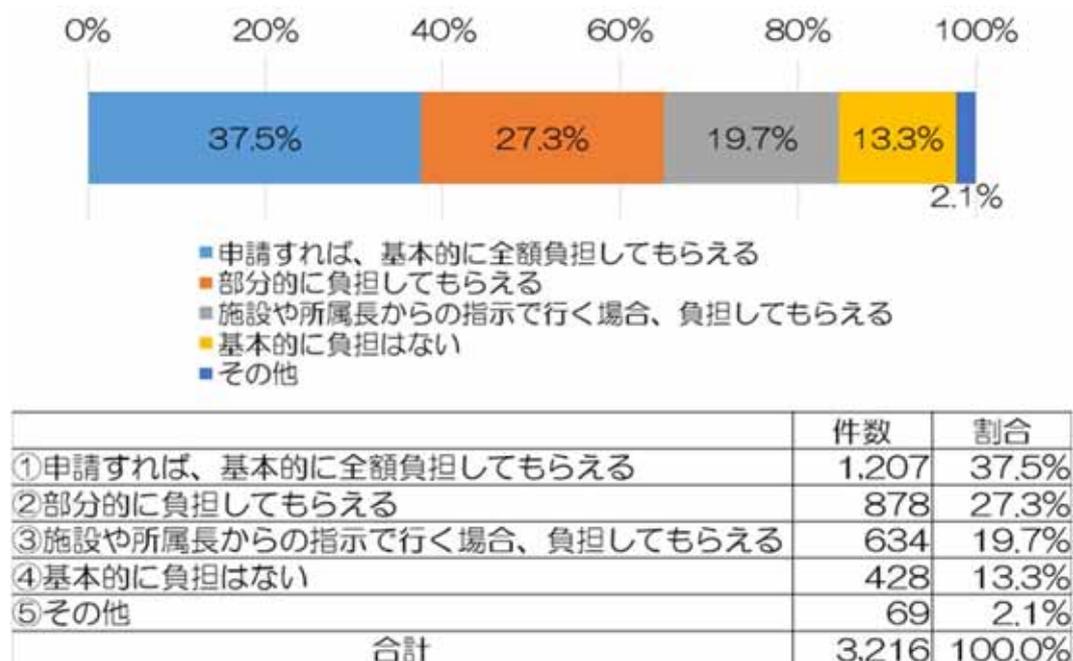
Ⅱ 貴施設における臨床検査技師の学会・研修会等への参加支援について

【問5】「学術集会（学会）」の参加に関わる費用（参加費・交通費・宿泊費等）は施設で負担してもらえますか。（単一回答）



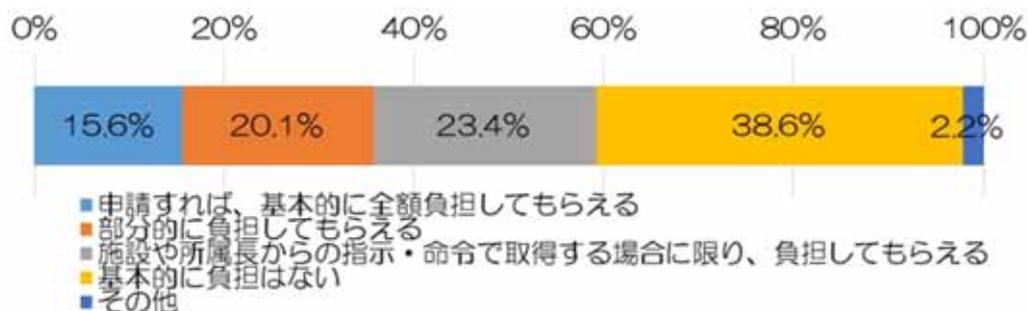
学会発表にかかる費用は何らかの形式で施設からの負担があるのが大勢であった。

【問6】「研修会・勉強会」の参加に関わる費用は施設で負担してもらえますか。（単一回答）



研修会・勉強会にかかる費用は何らかの形式で施設からの負担があるのが大勢であった。

【問7】「資格取得・認定」の取得に関わる経費は、施設で負担してもらえますか。（単一回答）



	件数	割合
①申請すれば、基本的に全額負担してもらえる	501	15.6%
②部分的に負担してもらえる	647	20.1%
③施設や所属長からの指示・命令で取得する場合に限り、負担してもらえる	754	23.4%
④基本的に負担はない	1,242	38.6%
⑤その他	72	2.2%
合計	3,216	100.0%

資格取得・認定は何らかの形で施設から負担されているのが60%弱であった。

<施設大分類と問7のクロス表>

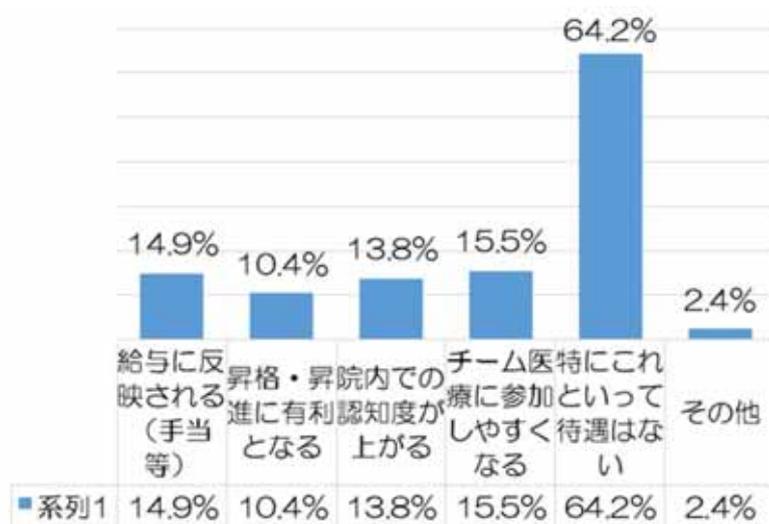
【A】 施設大分類	【問7】「資格取得・認定」の取得に関わる経費は、施設で負担してもらえますか。（単一回答）					
	申請すれば、基本的に全額負担してもらえる	部分的に負担してもらえる	施設や所属長からの指示・命令で取得する場合に限り、負担してもらえる	基本的に負担はない	その他	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 8 割合 10.7%	17 22.7%	20 26.7%	28 37.3%	2 2.7%	75 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 43 割合 10.3%	134 32.0%	81 19.3%	154 36.8%	7 1.7%	419 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 217 割合 13.4%	305 18.9%	395 24.4%	673 41.6%	28 1.7%	1618 100.0%
精神病棟	件数 30 割合 21.3%	22 15.6%	35 24.8%	51 36.2%	3 2.1%	141 100.0%
療養所（一般）	件数 2 割合 6.7%	4 13.3%	10 33.3%	14 46.7%	0 0.0%	30 100.0%
療養所（結核）	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所（有床）	件数 18 割合 20.0%	16 17.8%	22 24.4%	32 35.6%	2 2.2%	90 100.0%
診療所（無床）	件数 67 割合 26.9%	41 16.5%	44 17.7%	90 36.1%	7 2.8%	249 100.0%
検診センター	件数 8 割合 15.7%	14 27.5%	14 27.5%	14 27.5%	1 2.0%	51 100.0%
健診センター	件数 24 割合 26.4%	20 22.0%	25 27.5%	21 23.1%	1 1.1%	91 100.0%
歯科（病院）	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
歯科診療所	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	件数 5 割合 15.6%	3 9.4%	10 31.3%	12 37.5%	2 6.3%	32 100.0%
保健所	件数 1 割合 2.7%	1 2.7%	5 13.5%	28 75.7%	2 5.4%	37 100.0%
血液センター	件数 0 割合 0.0%	1 7.7%	3 23.1%	8 61.5%	1 7.7%	13 100.0%
学校	件数 10 割合 18.5%	8 14.8%	4 7.4%	26 48.1%	6 11.1%	54 100.0%
衛生検査所	件数 48 割合 23.1%	47 22.6%	51 24.5%	56 26.9%	6 2.9%	208 100.0%
製薬会社	件数 1 割合 8.3%	2 16.7%	5 41.7%	4 33.3%	0 0.0%	12 100.0%
医療機器会社	件数 7 割合 36.8%	3 15.8%	7 36.8%	2 10.5%	0 0.0%	19 100.0%
その他	件数 12 割合 16.7%	9 12.5%	20 27.8%	27 37.5%	4 5.6%	72 100.0%
合計	件数 501 割合 15.6%	647 20.1%	754 23.4%	1242 38.6%	72 2.2%	3216 100.0%

<設置母体と問7のクロス表>

【C】 設置母体		【問7】 「資格取得・認定」の取得に関わる経費は、施設で負担してもらえますか。(単一回答)					
		申請すれば、基本的に全額負担してもらえます	部分的に負担してもらえます	施設や所属長からの指示・命令で取得する場面に限り、負担してもらえます	基本的に負担はない	その他	合計
文部科学省Ⅰ(大学)	件数 割合	5 38.5%	11 84.6%	10 76.9%	13 100.0%	1 7.7%	13 100.0%
文部科学省Ⅱ(その他)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
厚生労働省Ⅰ(大学)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ(その他)	件数 割合	1 1.2%	16 19.0%	20 23.8%	45 53.6%	2 2.4%	84 100.0%
労働者健康安全機構	件数 割合	0 0.0%	6 28.6%	3 14.3%	12 57.1%	0 0.0%	21 100.0%
その他の省庁	件数 割合	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	6 60.0%	0 0.0%	10 100.0%
都道府県	件数 割合	20 11.3%	48 27.1%	35 19.8%	69 39.0%	5 2.8%	177 100.0%
市町村	件数 割合	46 13.1%	78 22.3%	78 22.3%	143 40.9%	5 1.4%	350 100.0%
日赤(赤十字)	件数 割合	3 4.2%	21 29.6%	16 22.5%	30 42.3%	1 1.4%	71 100.0%
済生会	件数 割合	6 11.1%	10 18.5%	14 25.9%	24 44.4%	0 0.0%	54 100.0%
北海道社会事業協会	件数 割合	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
厚生連	件数 割合	13 17.3%	23 30.7%	13 17.3%	22 29.3%	4 5.3%	75 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 割合	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	件数 割合	1 3.8%	2 7.7%	2 7.7%	21 80.8%	0 0.0%	26 100.0%
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	5 100.0%
JCHO(旧 船員保険会)	件数 割合	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 割合	1 7.7%	5 38.5%	2 15.4%	4 30.8%	1 7.7%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 割合	0 0.0%	7 30.4%	5 21.7%	11 47.8%	0 0.0%	23 100.0%
国民健康保険組合	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	4 100.0%
公益法人	件数 割合	37 17.3%	41 19.2%	64 29.9%	70 32.7%	2 0.9%	214 100.0%
医療法人	件数 割合	235 17.6%	240 18.0%	328 24.6%	496 37.2%	33 2.5%	1332 100.0%
学校法人	件数 割合	11 11.5%	15 15.6%	11 11.5%	55 57.3%	4 4.2%	96 100.0%
会社	件数 割合	58 25.3%	51 22.3%	51 22.3%	63 27.5%	6 2.6%	229 100.0%
その他の法人	件数 割合	26 11.2%	48 20.7%	63 27.2%	92 39.7%	3 1.3%	232 100.0%
個人	件数 割合	23 25.6%	16 17.8%	15 16.7%	32 35.6%	4 4.4%	90 100.0%
厚生労働省	件数 割合	1 4.5%	2 9.1%	7 31.8%	12 54.5%	0 0.0%	22 100.0%
文部科学省	件数 割合	1 14.3%	2 28.6%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	7 100.0%
三公社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 割合	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	4 50.0%	0 0.0%	8 100.0%
その他(社)	件数 割合	4 21.1%	4 21.1%	5 26.3%	6 31.6%	0 0.0%	19 100.0%
未回答	件数 割合	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	件数 割合	501 15.6%	647 20.1%	754 23.4%	1242 38.6%	72 2.2%	3216 100.0%

【問8】 資格や認定を取得した場合、取得者の待遇について該当するものを選んでください（複数回答可）

複数選択回答パターン



	件数	割合
①給与に反映される（手当等）	479	14.9%
②昇格・昇進に有利となる	334	10.4%
③院内での認知度が上がる	442	13.8%
④チーム医療に参加しやすくなる	496	15.5%
⑤特にこれといって待遇はない	2,058	64.2%
⑥その他	78	2.4%
回答施設数	3,207	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	308	9.6%
[1][2]	70	2.2%
[1][2][3]	13	0.4%
[1][2][3][4]	12	0.4%
[1][2][4]	6	0.2%
[1][2][6]	1	0.0%
[1][3]	17	0.5%
[1][3][4]	15	0.5%
[1][3][5]	1	0.0%
[1][3][6]	1	0.0%
[1][4]	26	0.8%
[1][4][6]	1	0.0%
[1][5]	4	0.1%
[1][5][6]	1	0.0%
[1][6]	3	0.1%
[2]	125	3.9%
[2][3]	24	0.7%
[2][3][4]	45	1.4%
[2][3][4][5]	4	0.1%
[2][3][4][6]	1	0.0%
[2][3][5]	1	0.0%
[2][4]	26	0.8%
[2][4][5]	1	0.0%
[2][5]	4	0.1%
[2][6]	1	0.0%
[3]	127	4.0%
[3][4]	126	3.9%
[3][4][5]	24	0.7%
[3][5]	30	0.9%
[3][6]	1	0.0%
[4]	135	4.2%
[4][5]	72	2.2%
[4][6]	2	0.1%
[5]	1913	59.7%
[5][6]	3	0.1%
[6]	63	2.0%

認定資格を取得しても6割以上の方が、所属施設からの特別の待遇はされていない。次いで資格を取得するとチーム医療に参加しやすくなるとの結果であった。医療法人、個人、会社の施設では資格を取得すると給与に反映されると回答も目立った。

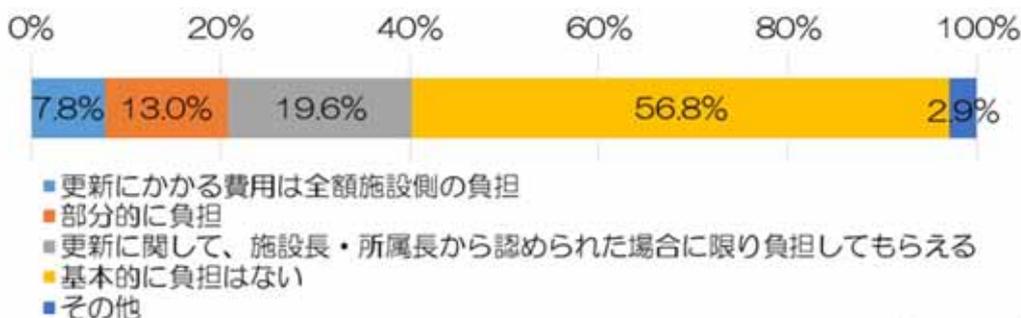
<施設大分類と問8のクロス表>

【A】 施設大分類	【問8】 資格や認定を取得した場合、取得者の待遇について該当するものを選んでください（複数回答可）						
	給与に反映される（手当等）	昇格・昇進に有利となる	院内での認知度が上がる	チーム医療に参加しやすくなる	特にこれといって待遇はない	その他	合計（回答件数）
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 割合	28 26.7%	18 17.1%	18 17.1%	33 31.4%	2 1.9%	105 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 割合	60 10.1%	103 17.4%	139 23.4%	245 41.3%	9 1.5%	593 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 割合	140 7.1%	249 12.6%	280 14.2%	1049 53.1%	30 1.5%	1976 100.0%
精神病棟	件数 割合	4 2.7%	13 8.7%	16 10.7%	106 70.7%	3 2.0%	150 100.0%
療養所（一般）	件数 割合	3 8.1%	5 13.5%	5 13.5%	21 56.8%	1 2.7%	37 100.0%
療養所（結核）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所（有床）	件数 割合	4 4.2%	6 6.3%	4 4.2%	61 63.5%	4 4.2%	96 100.0%
診療所（無床）	件数 割合	13 4.7%	20 7.2%	17 6.1%	173 62.0%	5 1.8%	279 100.0%
検診センター	件数 割合	6 10.9%	6 10.9%	2 3.6%	34 61.8%	2 3.6%	55 100.0%
健診センター	件数 割合	12 11.4%	10 9.5%	5 4.8%	55 52.4%	2 1.9%	105 100.0%
歯科（病院）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	5 100.0%
歯科診療所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	件数 割合	2 5.9%	1 2.9%	1 2.9%	22 64.7%	3 8.8%	34 100.0%
保健所	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%	36 94.7%	38 100.0%
血液センター	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 92.3%	1 7.7%	13 100.0%
学校	件数 割合	6 10.9%	1 1.8%	0 0.0%	43 78.2%	4 7.3%	55 100.0%
衛生検査所	件数 割合	49 20.9%	7 3.0%	1 0.4%	93 39.6%	7 3.0%	235 100.0%
製薬会社	件数 割合	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	10 76.9%	0 0.0%	13 100.0%
医療機器会社	件数 割合	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	10 50.0%	0 0.0%	20 100.0%
その他	件数 割合	4 5.2%	2 2.6%	6 7.8%	50 64.9%	4 5.2%	77 100.0%
合計（回答件数）	件数 割合	334 8.6%	442 11.4%	496 12.8%	2058 52.9%	78 2.0%	3887 100.0%

<設置母体と問8のクロス表>

【C】 設置母体		【問8】 資格や認定を取得した場合、取得者の待遇について該当するものを選んでください（複数回答可）						
		給与に反映される（手当等）	昇格・昇進に有利となる	院内での認知度が上がる	チーム医療に参加しやすくなる	特にこれといって待遇はない	その他	合計（回答件数）
文部科学省Ⅰ（大学）	件数 割合	3 5.8%	12 23.1%	8 15.4%	6 11.5%	23 44.2%	0 0.0%	52 100.0%
文部科学省Ⅱ（その他）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
厚生労働省Ⅰ（大学）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ（その他）	件数 割合	9 8.3%	5 4.6%	18 16.5%	24 22.0%	49 45.0%	4 3.7%	109 100.0%
労働者健康安全機構	件数 割合	0 0.0%	1 3.6%	4 14.3%	7 25.0%	16 57.1%	0 0.0%	28 100.0%
その他の省庁	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	4 30.8%	7 53.8%	0 0.0%	13 100.0%
都道府県	件数 割合	7 3.2%	10 4.5%	27 12.3%	40 18.2%	134 60.9%	2 0.9%	220 100.0%
市町村	件数 割合	2 0.5%	17 4.0%	63 14.9%	71 16.7%	266 62.7%	5 1.2%	424 100.0%
日赤（赤十字）	件数 割合	1 1.1%	6 6.4%	14 14.9%	24 25.5%	48 51.1%	1 1.1%	94 100.0%
済生会	件数 割合	1 1.5%	2 2.9%	11 16.2%	11 16.2%	42 61.8%	1 1.5%	68 100.0%
北海道社会事業協会	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%
厚生連	件数 割合	5 4.4%	12 10.5%	22 19.3%	30 26.3%	43 37.7%	2 1.8%	114 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
JCHO（旧 全国社会保険協会連合会）	件数 割合	0 0.0%	4 11.4%	6 17.1%	7 20.0%	18 51.4%	0 0.0%	35 100.0%
JCHO（旧 厚生年金事業振興団）	件数 割合	0 0.0%	3 30.0%	2 20.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 100.0%
JCHO（旧 船員保険会）	件数 割合	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	6 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 割合	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	3 21.4%	8 57.1%	0 0.0%	14 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 割合	1 4.0%	1 4.0%	4 16.0%	4 16.0%	14 56.0%	1 4.0%	25 100.0%
国民健康保険組合	件数 割合	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	6 100.0%
公益法人	件数 割合	25 9.9%	26 10.3%	31 12.3%	28 11.1%	136 54.0%	6 2.4%	252 100.0%
医療法人	件数 割合	273 17.2%	120 7.6%	157 9.9%	166 10.5%	836 52.6%	36 2.3%	1583 100.0%
学校法人	件数 割合	6 5.3%	23 20.2%	9 7.9%	14 12.3%	59 51.8%	3 2.6%	114 100.0%
会社	件数 割合	85 32.6%	56 21.5%	8 3.1%	4 1.5%	101 38.7%	7 2.7%	261 100.0%
その他の法人	件数 割合	37 13.3%	23 8.3%	33 11.9%	33 11.9%	147 52.9%	5 1.8%	278 100.0%
個人	件数 割合	19 20.0%	3 3.2%	7 7.4%	2 2.1%	62 65.3%	2 2.1%	95 100.0%
厚生労働省	件数 割合	2 7.1%	3 10.7%	5 17.9%	5 17.9%	12 42.9%	1 3.6%	28 100.0%
文部科学省	件数 割合	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	8 100.0%
三公社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 割合	1 8.3%	2 16.7%	2 16.7%	3 25.0%	4 33.3%	0 0.0%	12 100.0%
その他(社)	件数 割合	1 4.8%	1 4.8%	2 9.5%	2 9.5%	14 66.7%	1 4.8%	21 100.0%
未回答	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計（回答件数）	件数 割合	479 12.3%	334 8.6%	442 11.4%	496 12.8%	2058 52.9%	78 2.0%	3887 100.0%

【問9】多くの資格・認定では一定間隔で更新が必要となりますが、その際の処遇について該当するものを選んでください。（単一回答）



	件数	割合
①更新にかかる費用は全額施設側の負担	250	7.8%
②部分的に負担	416	13.0%
③更新に関して、施設長・所属長から認められた場合に限り負担してもらえる	627	19.6%
④基本的に負担はない	1,822	56.8%
⑤その他	92	2.9%
合計	3,207	100.0%

認定更新にかかる経費は6割弱が自己負担との意見であり、施設・設立母体別の意見も同様であった。

<施設大分類と問9のクロス表>

【A】 施設大分類	【問9】多くの資格・認定では一定間隔で更新が必要となりますが、その際の処遇について該当するものを選んでください。（単一回答）					
	更新にかかる費用は全額施設側の負担	部分的に負担	更新に関して、施設長・所属長から認められた場合に限り負担してもらえる	基本的に負担はない	その他	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	2 2.7%	13 17.3%	13 17.3%	46 61.3%	1 1.3%	75 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	21 5.0%	82 19.6%	64 15.3%	247 58.9%	5 1.2%	419 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	94 5.8%	202 12.5%	311 19.3%	964 59.8%	42 2.6%	1613 100.0%
精神病院	9 6.5%	12 8.6%	40 28.8%	72 51.8%	6 4.3%	139 100.0%
療養所（一般）	1 3.3%	1 3.3%	5 16.7%	23 76.7%	0 0.0%	30 100.0%
療養所（結核）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所（有床）	6 6.7%	9 10.0%	21 23.3%	51 56.7%	3 3.3%	90 100.0%
診療所（無床）	38 15.3%	26 10.5%	44 17.7%	129 52.0%	11 4.4%	248 100.0%
検診センター	8 15.7%	10 19.6%	9 17.6%	22 43.1%	2 3.9%	51 100.0%
健診センター	14 15.4%	17 18.7%	21 23.1%	37 40.7%	2 2.2%	91 100.0%
歯科（病院）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%
歯科診療所	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	4 12.5%	1 3.1%	10 31.3%	16 50.0%	1 3.1%	32 100.0%
保健所	0 0.0%	1 2.7%	1 2.7%	33 89.2%	2 5.4%	37 100.0%
血液センター	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 92.3%	1 7.7%	13 100.0%
学校	8 15.1%	5 9.4%	5 9.4%	31 58.5%	4 7.5%	53 100.0%
衛生検査所	31 14.9%	29 13.9%	52 25.0%	89 42.8%	7 3.4%	208 100.0%
製薬会社	2 16.7%	1 8.3%	5 41.7%	3 25.0%	1 8.3%	12 100.0%
医療機器会社	6 31.6%	2 10.5%	8 42.1%	3 15.8%	0 0.0%	19 100.0%
その他	6 8.3%	5 6.9%	18 25.0%	39 54.2%	4 5.6%	72 100.0%
合計	250 7.8%	416 13.0%	627 19.6%	1822 56.8%	92 2.9%	3207 100.0%

<設置母体と問9のクロス表>

【C】 設置母体		【問9】 多くの資格・認定では一定間隔で更新が必要となりますが、その際の処遇について該当するものを選んでください。(単一回答)					
		更新にかかる費用は全額施設側の負担	部分的に負担	更新に関して、施設長・所属長から認められた場合に限り負担してもらえる	基本的に負担はない	その他	合計
文部科学省Ⅰ(大学)	件数 割合	1 2.5%	7 17.5%	10 25.0%	21 52.5%	1 2.5%	40 100.0%
文部科学省Ⅱ(その他)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
厚生労働省Ⅰ(大学)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ(その他)	件数 割合	0 0.0%	5 6.0%	9 10.7%	70 83.3%	0 0.0%	84 100.0%
労働者健康安全機構	件数 割合	1 4.8%	6 28.6%	1 4.8%	13 61.9%	0 0.0%	21 100.0%
その他の省庁	件数 割合	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	8 80.0%	1 10.0%	10 100.0%
都道府県	件数 割合	12 6.8%	32 18.1%	32 18.1%	99 55.9%	2 1.1%	177 100.0%
市町村	件数 割合	12 3.4%	60 17.2%	55 15.8%	212 60.9%	9 2.6%	348 100.0%
日赤(赤十字)	件数 割合	3 4.3%	13 18.6%	11 15.7%	42 60.0%	1 1.4%	70 100.0%
済生会	件数 割合	0 0.0%	9 16.7%	15 27.8%	30 55.6%	0 0.0%	54 100.0%
北海道社会事業協会	件数 割合	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
厚生連	件数 割合	6 8.0%	15 20.0%	15 20.0%	38 50.7%	1 1.3%	75 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 割合	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	件数 割合	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	24 92.3%	0 0.0%	26 100.0%
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	5 100.0%
JCHO(旧 船員保険会)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 割合	0 0.0%	3 23.1%	1 7.7%	8 61.5%	1 7.7%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 割合	1 4.3%	1 4.3%	3 13.0%	18 78.3%	0 0.0%	23 100.0%
国民健康保険組合	件数 割合	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
公益法人	件数 割合	22 10.3%	28 13.1%	48 22.4%	113 52.8%	3 1.4%	214 100.0%
医療法人	件数 割合	108 8.1%	144 10.9%	285 21.5%	740 55.8%	50 3.8%	1327 100.0%
学校法人	件数 割合	9 9.5%	12 12.6%	7 7.4%	64 67.4%	3 3.2%	95 100.0%
会社	件数 割合	37 16.2%	32 14.0%	62 27.1%	91 39.7%	7 3.1%	229 100.0%
その他の法人	件数 割合	15 6.5%	32 13.8%	51 22.0%	125 53.9%	9 3.9%	232 100.0%
個人	件数 割合	15 16.7%	10 11.1%	11 12.2%	52 57.8%	2 2.2%	90 100.0%
厚生労働省	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	20 90.9%	0 0.0%	22 100.0%
文部科学省	件数 割合	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	5 71.4%	0 0.0%	7 100.0%
三公社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 割合	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	4 50.0%	1 12.5%	8 100.0%
その他(社)	件数 割合	2 10.5%	2 10.5%	3 15.8%	11 57.9%	1 5.3%	19 100.0%
	件数 割合	100.0% 100.0%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%	1 100.0%
合計	件数 割合	250 7.8%	416 13.0%	627 19.6%	1822 56.8%	92 2.9%	3207 100.0%

【問10】 貴施設において、“日臨技e-ラーニング”を推奨していますか。



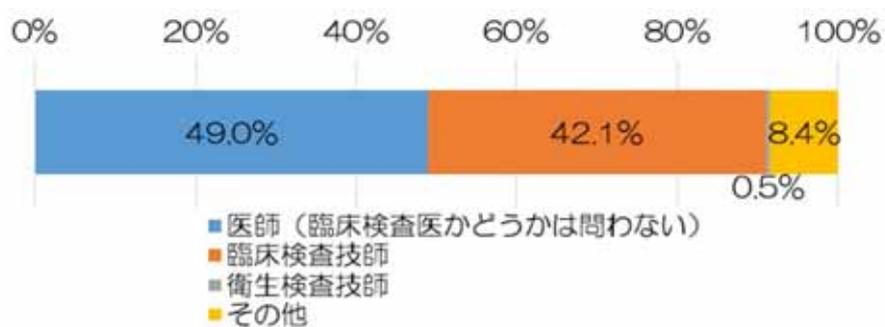
5割弱が推奨もしくは検討中の結果であり、一般病院Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、検査センターの施設で顕著であった。

<施設大分類と問10のクロス表>

【A】 施設大分類	【問10】 貴施設において、“日臨技e-ラーニング”を推奨していますか。			
	している	現在、検討中	していない	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	15 20.0%	40 53.3%	20 26.7%	75 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	98 23.4%	158 37.7%	163 38.9%	419 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	211 13.1%	555 34.5%	844 52.4%	1610 100.0%
精神病院	19 13.7%	41 29.5%	79 56.8%	139 100.0%
療養所（一般）	3 10.0%	7 23.3%	20 66.7%	30 100.0%
療養所（結核）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所（有床）	4 4.4%	23 25.6%	63 70.0%	90 100.0%
診療所（無床）	27 10.9%	57 23.0%	164 66.1%	248 100.0%
検診センター	3 5.9%	11 21.6%	37 72.5%	51 100.0%
健診センター	5 5.5%	20 22.0%	66 72.5%	91 100.0%
歯科（病院）	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	4 100.0%
歯科診療所	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	2 6.3%	2 6.3%	28 87.5%	32 100.0%
保健所	1 2.7%	0 0.0%	36 97.3%	37 100.0%
血液センター	1 7.7%	0 0.0%	12 92.3%	13 100.0%
学校	4 7.5%	13 24.5%	36 67.9%	53 100.0%
衛生検査所	25 12.0%	66 31.7%	117 56.3%	208 100.0%
製薬会社	0 0.0%	1 8.3%	11 91.7%	12 100.0%
医療機器会社	2 10.5%	1 5.3%	16 84.2%	19 100.0%
その他	10 14.1%	15 21.1%	46 64.8%	71 100.0%
合計	431 13.5%	1012 31.6%	1760 54.9%	3203 100.0%

Ⅲ 貴施設における検査部門の管理体制について

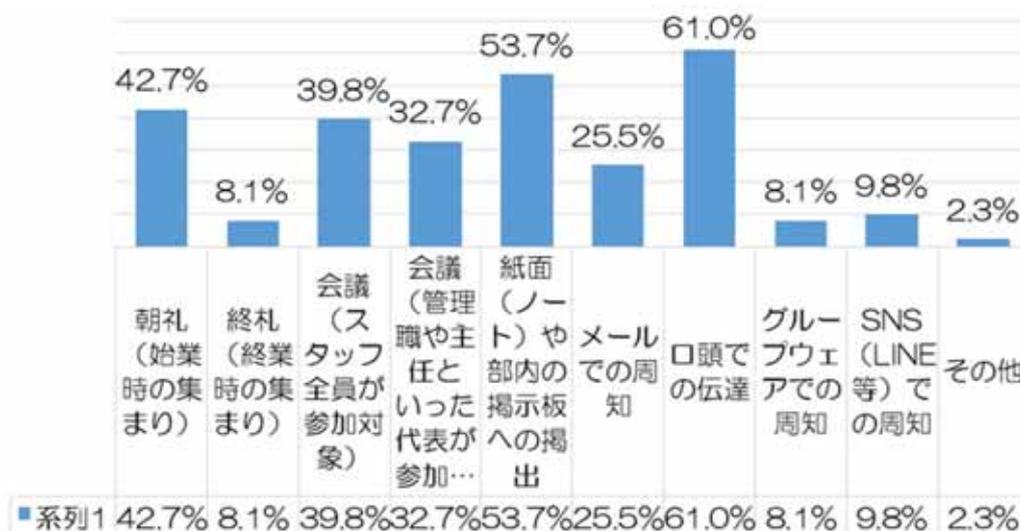
【問11】 現在の貴殿が属している部署の最高責任者の「職種」はどなたですか。（単一回答）



	件数	割合
① 医師（臨床検査医かどうかは問わない）	1,567	49.0%
② 臨床検査技師	1,348	42.1%
③ 衛生検査技師	16	0.5%
④ その他	270	8.4%
合計	3,201	100.0%

49.0%が医師との結果であり、また臨床検査技師との回答は42.1%であった。

【問12】 部内スタッフに共有すべき情報の伝達は、普段、どのような方法で行われていますか？
 (複数回答可)



	件数	割合
①朝礼 (始業時の集まり)	1,362	42.7%
②終礼 (終業時の集まり)	259	8.1%
③会議 (スタッフ全員が参加対象)	1,270	39.8%
④会議 (管理職や主任といった代表が参加対象)	1,044	32.7%
⑤紙面 (ノート) や部内の掲示板への掲出	1,713	53.7%
⑥メールでの周知	814	25.5%
⑦口頭での伝達	1,948	61.0%
⑧グループウェアでの周知	257	8.1%
⑨SNS (LINE等) での周知	314	9.8%
⑩その他	73	2.3%
回答施設数	3,191	

口頭での伝達が一番多く、次いで紙面との結果であった。複数回答からは口頭での伝達のみが多く、口頭と紙面との組み合わせが多い結果であった。

複数選択回答パターン1

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	96	3.0%
[1][2]	6	0.2%
[1][2][3]	2	0.1%
[1][2][3][4]	2	0.1%
[1][2][3][4][5]	3	0.1%
[1][2][3][4][5][6]	1	0.0%
[1][2][3][4][5][6][7]	5	0.2%
[1][2][3][4][5][6][7][8][9]	2	0.1%
[1][2][3][4][5][6][7][9]	4	0.1%
[1][2][3][4][5][7]	5	0.2%
[1][2][3][4][5][7][9]	5	0.2%
[1][2][3][4][5][8]	1	0.0%
[1][2][3][4][5][8][9]	1	0.0%
[1][2][3][4][5][9]	2	0.1%
[1][2][3][4][6][7]	3	0.1%
[1][2][3][4][6][8]	1	0.0%
[1][2][3][4][6][8][9]	2	0.1%
[1][2][3][4][7][8]	1	0.0%
[1][2][3][4][9]	1	0.0%
[1][2][3][5]	6	0.2%
[1][2][3][5][6]	3	0.1%
[1][2][3][5][6][7]	2	0.1%
[1][2][3][5][6][7][9]	2	0.1%
[1][2][3][5][7]	8	0.3%
[1][2][3][5][7][9]	5	0.2%
[1][2][3][6]	1	0.0%
[1][2][3][6][7]	1	0.0%
[1][2][3][7]	1	0.0%
[1][2][3][7][9]	1	0.0%
[1][2][3][8]	2	0.1%
[1][2][4]	3	0.1%
[1][2][4][5]	3	0.1%
[1][2][4][5][6]	2	0.1%
[1][2][4][5][6][7]	2	0.1%
[1][2][4][5][6][7][8]	1	0.0%
[1][2][4][5][9]	1	0.0%
[1][2][4][6][7]	4	0.1%
[1][2][4][6][7][8]	1	0.0%
[1][2][4][6][8][9]	1	0.0%
[1][2][4][7]	2	0.1%
[1][2][4][7][9]	1	0.0%
[1][2][4][9]	1	0.0%
[1][2][5]	7	0.2%
[1][2][5][6]	4	0.1%
[1][2][5][6][7]	2	0.1%
[1][2][5][6][7][8]	1	0.0%
[1][2][5][6][7][9]	1	0.0%
[1][2][5][7]	16	0.5%
[1][2][5][7][9]	3	0.1%
[1][2][6]	1	0.0%
[1][2][6][7]	1	0.0%
[1][2][6][7][8]	1	0.0%
[1][2][7]	7	0.2%

選択肢コード	回答数	回答率
[1][2][8]	2	0.1%
[1][2][9]	2	0.1%
[1][3]	49	1.5%
[1][3][4]	22	0.7%
[1][3][4][5]	24	0.8%
[1][3][4][5][6]	20	0.6%
[1][3][4][5][6][7]	35	1.1%
[1][3][4][5][6][7][8]	14	0.4%
[1][3][4][5][6][7][8][9]	2	0.1%
[1][3][4][5][6][7][9]	6	0.2%
[1][3][4][5][6][8]	1	0.0%
[1][3][4][5][6][8][9]	1	0.0%
[1][3][4][5][6][9]	3	0.1%
[1][3][4][5][7]	42	1.3%
[1][3][4][5][7][8]	4	0.1%
[1][3][4][5][7][9]	4	0.1%
[1][3][4][5][8]	5	0.2%
[1][3][4][5][8][9]	1	0.0%
[1][3][4][5][9]	3	0.1%
[1][3][4][6]	17	0.5%
[1][3][4][6][7]	10	0.3%
[1][3][4][6][7][8]	1	0.0%
[1][3][4][6][7][9]	2	0.1%
[1][3][4][6][8]	4	0.1%
[1][3][4][7]	10	0.3%
[1][3][4][8]	2	0.1%
[1][3][4][8][9]	1	0.0%
[1][3][4][9]	2	0.1%
[1][3][5]	58	1.8%
[1][3][5][6]	8	0.3%
[1][3][5][6][7]	20	0.6%
[1][3][5][6][7][8]	2	0.1%
[1][3][5][6][7][8][9]	1	0.0%
[1][3][5][6][7][9]	2	0.1%
[1][3][5][7]	55	1.7%
[1][3][5][7][8]	1	0.0%
[1][3][5][7][9]	10	0.3%
[1][3][5][8]	3	0.1%
[1][3][5][8][9]	1	0.0%
[1][3][5][9]	3	0.1%
[1][3][6]	15	0.5%
[1][3][6][7]	7	0.2%
[1][3][6][7][8]	6	0.2%
[1][3][6][7][9]	1	0.0%
[1][3][6][8]	1	0.0%
[1][3][6][9]	1	0.0%
[1][3][7]	21	0.7%
[1][3][7][8]	1	0.0%
[1][3][7][9]	3	0.1%
[1][3][8]	5	0.2%
[1][3][8][9]	2	0.1%
[1][3][9]	9	0.3%
[1][3][10]	1	0.0%

⇒ 次頁へ続く

複数選択回答パターン2

選択肢コード	回答数	回答率	選択肢コード	回答数	回答率
[1][4]	25	0.8%	[1][10]	2	0.1%
[1][4][5]	38	1.2%	[2]	8	0.3%
[1][4][5][6]	14	0.4%	[2][3]	5	0.2%
[1][4][5][6][7]	21	0.7%	[2][3][4]	3	0.1%
[1][4][5][6][7][8]	7	0.2%	[2][3][4][5]	5	0.2%
[1][4][5][6][7][9]	1	0.0%	[2][3][4][5][6]	2	0.1%
[1][4][5][6][8]	4	0.1%	[2][3][4][5][6][7][8]	2	0.1%
[1][4][5][6][8][10]	1	0.0%	[2][3][4][5][6][7][9]	2	0.1%
[1][4][5][6][9]	1	0.0%	[2][3][4][5][6][9]	1	0.0%
[1][4][5][7]	42	1.3%	[2][3][4][5][7]	1	0.0%
[1][4][5][7][8]	3	0.1%	[2][3][4][5][7][8]	1	0.0%
[1][4][5][7][9]	6	0.2%	[2][3][4][5][8]	1	0.0%
[1][4][5][8]	6	0.2%	[2][3][4][7]	2	0.1%
[1][4][5][9]	1	0.0%	[2][3][5]	4	0.1%
[1][4][5][10]	1	0.0%	[2][3][5][6]	2	0.1%
[1][4][6]	19	0.6%	[2][3][5][6][7]	2	0.1%
[1][4][6][7]	17	0.5%	[2][3][5][7]	2	0.1%
[1][4][6][7][8]	3	0.1%	[2][3][5][7][8]	2	0.1%
[1][4][6][7][9]	4	0.1%	[2][3][5][7][9]	1	0.0%
[1][4][7]	19	0.6%	[2][3][5][8]	1	0.0%
[1][4][7][8]	3	0.1%	[2][3][6]	5	0.2%
[1][4][7][9]	5	0.2%	[2][3][6][7]	1	0.0%
[1][4][8]	6	0.2%	[2][3][7][8]	1	0.0%
[1][4][9]	2	0.1%	[2][3][9]	1	0.0%
[1][5]	51	1.6%	[2][4]	2	0.1%
[1][5][6]	12	0.4%	[2][4][5]	2	0.1%
[1][5][6][7]	20	0.6%	[2][4][5][6]	3	0.1%
[1][5][6][7][8]	1	0.0%	[2][4][5][6][7]	2	0.1%
[1][5][6][7][8][9]	1	0.0%	[2][4][5][6][7][8]	1	0.0%
[1][5][6][7][9]	2	0.1%	[2][4][5][7]	3	0.1%
[1][5][6][8]	2	0.1%	[2][4][6]	2	0.1%
[1][5][6][9]	2	0.1%	[2][4][7]	1	0.0%
[1][5][7]	103	3.2%	[2][4][8]	1	0.0%
[1][5][7][8]	2	0.1%	[2][4][9]	1	0.0%
[1][5][7][8][9]	1	0.0%	[2][5]	6	0.2%
[1][5][7][9]	11	0.3%	[2][5][6]	2	0.1%
[1][5][7][10]	1	0.0%	[2][5][6][7]	7	0.2%
[1][5][8]	1	0.0%	[2][5][6][7][9]	1	0.0%
[1][5][9]	3	0.1%	[2][5][7]	9	0.3%
[1][6]	6	0.2%	[2][5][7][9]	2	0.1%
[1][6][7]	18	0.6%	[2][6][7]	1	0.0%
[1][6][7][8]	1	0.0%	[2][6][9]	1	0.0%
[1][6][7][9]	6	0.2%	[2][7]	6	0.2%
[1][6][7][9][10]	1	0.0%	[2][9]	2	0.1%
[1][6][8]	1	0.0%	[3]	72	2.3%
[1][6][9]	2	0.1%	[3][4]	20	0.6%
[1][7]	73	2.3%	[3][4][5]	29	0.9%
[1][7][8]	2	0.1%	[3][4][5][6]	13	0.4%
[1][7][9]	10	0.3%	[3][4][5][6][7]	26	0.8%
[1][7][10]	1	0.0%	[3][4][5][6][7][8]	5	0.2%
[1][8]	4	0.1%	[3][4][5][6][7][8][9]	3	0.1%
[1][8][9]	2	0.1%	[3][4][5][6][7][8][10]	1	0.0%
[1][9]	4	0.1%	[3][4][5][6][7][9]	2	0.1%

⇒ 次頁へ続く

複数選択回答パターン3

選択肢コード	回答数	回答率	選択肢コード	回答数	回答率
[3][4][5][6][8]	3	0.1%	[4][5][6][7][10]	3	0.1%
[3][4][5][6][9]	2	0.1%	[4][5][6][8]	4	0.1%
[3][4][5][7]	26	0.8%	[4][5][6][9]	1	0.0%
[3][4][5][7][8]	6	0.2%	[4][5][7]	42	1.3%
[3][4][5][7][9]	2	0.1%	[4][5][7][8]	8	0.3%
[3][4][5][7][10]	1	0.0%	[4][5][7][9]	4	0.1%
[3][4][5][8]	1	0.0%	[4][5][7][10]	1	0.0%
[3][4][5][9]	2	0.1%	[4][5][8]	4	0.1%
[3][4][6]	17	0.5%	[4][5][9]	1	0.0%
[3][4][6][7]	16	0.5%	[4][6]	20	0.6%
[3][4][6][7][8]	5	0.2%	[4][6][7]	8	0.3%
[3][4][6][7][9]	2	0.1%	[4][6][7][8]	4	0.1%
[3][4][6][8]	3	0.1%	[4][6][8]	4	0.1%
[3][4][6][8][9]	1	0.0%	[4][6][9]	1	0.0%
[3][4][6][9]	3	0.1%	[4][7]	23	0.7%
[3][4][7]	9	0.3%	[4][7][8]	1	0.0%
[3][4][7][8]	3	0.1%	[4][7][9]	1	0.0%
[3][4][8]	6	0.2%	[4][8]	13	0.4%
[3][4][9]	1	0.0%	[4][9][10]	1	0.0%
[3][4][10]	2	0.1%	[5]	55	1.7%
[3][5]	44	1.4%	[5][6]	8	0.3%
[3][5][6]	16	0.5%	[5][6][7]	20	0.6%
[3][5][6][7]	28	0.9%	[5][6][7][8]	1	0.0%
[3][5][6][7][8]	2	0.1%	[5][6][7][8][9]	1	0.0%
[3][5][6][7][9]	2	0.1%	[5][6][7][9]	3	0.1%
[3][5][6][8]	2	0.1%	[5][6][9]	1	0.0%
[3][5][6][9]	1	0.0%	[5][7]	243	7.6%
[3][5][6][10]	1	0.0%	[5][7][8]	3	0.1%
[3][5][7]	96	3.0%	[5][7][8][9]	3	0.1%
[3][5][7][8]	2	0.1%	[5][7][9]	31	1.0%
[3][5][7][8][9]	1	0.0%	[5][7][9][10]	1	0.0%
[3][5][7][9]	13	0.4%	[5][7][10]	3	0.1%
[3][5][8]	2	0.1%	[5][8]	1	0.0%
[3][5][9]	10	0.3%	[5][9]	3	0.1%
[3][5][9][10]	1	0.0%	[5][10]	2	0.1%
[3][5][10]	1	0.0%	[6]	14	0.4%
[3][6]	27	0.8%	[6][7]	19	0.6%
[3][6][7]	27	0.8%	[6][7][8]	2	0.1%
[3][6][7][8]	1	0.0%	[6][7][9]	3	0.1%
[3][6][7][9]	4	0.1%	[6][8]	1	0.0%
[3][6][8]	2	0.1%	[6][8][9]	1	0.0%
[3][6][9]	1	0.0%	[6][9]	1	0.0%
[3][7]	47	1.5%	[6][10]	1	0.0%
[3][7][8]	2	0.1%	[7]	342	10.7%
[3][7][9]	8	0.3%	[7][8]	4	0.1%
[3][8]	2	0.1%	[7][8][9]	1	0.0%
[3][9]	3	0.1%	[7][9]	17	0.5%
[4]	37	1.2%	[7][10]	4	0.1%
[4][5]	25	0.8%	[8]	5	0.2%
[4][5][6]	15	0.5%	[8][9]	2	0.1%
[4][5][6][7]	23	0.7%	[9]	3	0.1%
[4][5][6][7][8]	4	0.1%	[10]	42	1.3%
[4][5][6][7][9]	2	0.1%			

【問13】 情報共有・周知について、最も効果があると思われる手段を1つだけ選んでください。該当する項目がない場合は「10.その他」に記載してください（単一回答）



	件数	割合
①朝礼 (始業時の集まり)	550	17.2%
②終礼 (終業時の集まり)	72	2.3%
③会議 (スタッフ全員が参加対象)	888	27.8%
④会議 (管理職や主任といった代表が参加対象)	170	5.3%
⑤紙面 (ノート) や部内の掲示板への掲出	619	19.4%
⑥メールでの周知	257	8.1%
⑦口頭での伝達	374	11.7%
⑧グループウェアでの周知	98	3.1%
⑨SNS (LINE等) での周知	107	3.4%
⑩その他	56	1.8%
合計	3,191	100.0%

スタッフ全員が参加する会議での伝達が最も効果的であり次いで朝礼での伝達が効果的との結果であった。

Ⅳ 貴施設における標準化、第三者機関による認証・認定について

【問14】 検査および検査部の質に関する指標（Quality Indicator）を定義していますか？



	件数	割合
① 定義しています	885	27.8%
② 定義していません	1,194	37.5%
③ 現在、指標の策定に向けて準備中	610	19.2%
④ 分からない	495	15.5%
合計	3,184	100.0%

QIを定義しているのが3割弱、検討中が2割弱であり、残りは5割強は定義せずと分からないとの結果であった。施設別では一般病院Ⅰが7割強で定義しているとの結果であり、設立母体別では大学病院での割合が高い傾向であった

＜施設大分類と問14のクロス表＞

【A】 施設大分類	【問14】 検査および検査部の質に関する指標（Quality Indicator）を定義していますか？				
	定義しています	定義していません	現在、指標の策定 に向けて準備中	分からない	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 56 割合 74.7%	4 5.3%	8 10.7%	7 9.3%	75 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	178 42.5%	113 27.0%	98 23.4%	30 7.2%	419 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	376 23.4%	644 40.1%	353 22.0%	232 14.5%	1605 100.0%
精神病院	26 18.7%	67 48.2%	19 13.7%	27 19.4%	139 100.0%
療養所（一般）	5 16.7%	15 50.0%	8 26.7%	2 6.7%	30 100.0%
療養所（結核）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所（有床）	12 13.5%	42 47.2%	19 21.3%	16 18.0%	89 100.0%
診療所（無床）	30 12.2%	130 53.1%	39 15.9%	46 18.8%	245 100.0%
検診センター	12 24.5%	20 40.8%	8 16.3%	9 18.4%	49 100.0%
健診センター	23 25.8%	31 34.8%	19 21.3%	16 18.0%	89 100.0%
歯科（病院）	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%
歯科診療所	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
研究所	10 32.3%	12 38.7%	2 6.5%	7 22.6%	31 100.0%
保健所	11 31.4%	12 34.3%	3 8.6%	9 25.7%	35 100.0%
血液センター	2 15.4%	3 23.1%	0 0.0%	8 61.5%	13 100.0%
学校	5 9.4%	28 52.8%	1 1.9%	19 35.8%	53 100.0%
衛生検査所	116 56.0%	30 14.5%	20 9.7%	41 19.8%	207 100.0%
製薬会社	2 16.7%	6 50.0%	0 0.0%	4 33.3%	12 100.0%
医療機器会社	3 16.7%	6 33.3%	0 0.0%	9 50.0%	18 100.0%
その他	17 24.3%	31 44.3%	9 12.9%	13 18.6%	70 100.0%
合計	885 27.8%	1,194 37.5%	610 19.2%	495 15.5%	3,184 100.0%

<設置母体と問14のクロス表>

【C】 設置母体		【問14】 検査および検査部の質に関する指標（Quality Indicator）を定義していますか？				
		定義しています	定義していません	現在、指標の策定に向けて準備中	分からない	合計
文部科学省Ⅰ（大学）	件数 割合	22 55.0%	10 25.0%	2 5.0%	6 15.0%	40 100.0%
文部科学省Ⅱ（その他）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
厚生労働省Ⅰ（大学）	件数 割合	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ（その他）	件数 割合	36 42.9%	26 31.0%	13 15.5%	9 10.7%	84 100.0%
労働者健康安全機構	件数 割合	7 33.3%	9 42.9%	5 23.8%	0 0.0%	21 100.0%
その他の省庁	件数 割合	0 0.0%	4 40.0%	6 60.0%	0 0.0%	10 100.0%
都道府県	件数 割合	57 32.8%	68 39.1%	26 14.9%	23 13.2%	174 100.0%
市町村	件数 割合	95 27.5%	135 39.0%	70 20.2%	46 13.3%	346 100.0%
日赤（赤十字）	件数 割合	23 32.9%	23 32.9%	13 18.6%	11 15.7%	70 100.0%
済生会	件数 割合	20 37.0%	21 38.9%	9 16.7%	4 7.4%	54 100.0%
北海道社会事業協会	件数 割合	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
厚生連	件数 割合	33 44.6%	16 21.6%	17 23.0%	8 10.8%	74 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 割合	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
JCHO（旧 全国社会保険協会連合会）	件数 割合	10 38.5%	10 38.5%	1 3.8%	5 19.2%	26 100.0%
JCHO（旧 厚生年金事業振興団）	件数 割合	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	5 100.0%
JCHO（旧 船員保険会）	件数 割合	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 割合	6 46.2%	7 53.8%	0 0.0%	0 0.0%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 割合	3 13.6%	10 45.5%	8 36.4%	1 4.5%	22 100.0%
国民健康保険組合	件数 割合	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
公益法人	件数 割合	62 29.1%	85 39.9%	37 17.4%	29 13.6%	213 100.0%
医療法人	件数 割合	253 19.2%	541 41.0%	288 21.9%	236 17.9%	1318 100.0%
学校法人	件数 割合	34 35.8%	30 31.6%	17 17.9%	14 14.7%	95 100.0%
会社	件数 割合	111 48.7%	38 16.7%	22 9.6%	57 25.0%	228 100.0%
その他の法人	件数 割合	72 31.4%	85 37.1%	45 19.7%	27 11.8%	229 100.0%
個人	件数 割合	12 13.5%	51 57.3%	13 14.6%	13 14.6%	89 100.0%
厚生労働省	件数 割合	7 31.8%	9 40.9%	4 18.2%	2 9.1%	22 100.0%
文部科学省	件数 割合	3 50.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	6 100.0%
三公社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 割合	2 25.0%	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%	8 100.0%
その他(社)	件数 割合	7 36.8%	5 26.3%	4 21.1%	3 15.8%	19 100.0%
未回答	件数 割合	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	件数 割合	885 27.8%	1194 37.5%	610 19.2%	495 15.5%	3184 100.0%

【問15】 “JCCLS共用基準範囲” の採用を考えていますか。（単一回答）



	件数	割合
①採用済み（一部を含む）	1,010	32.4%
②準備中	375	12.0%
③希望はあるがまだ未着手	1,053	33.8%
④採用の考えはない	482	15.5%
⑤その他	197	6.3%
合計	3,117	100.0%

すでに採用済みが3割強、施設分類では一般病院Ⅰ及びⅡ、設立母体別では大学関連の採用傾向が高い結果であった。

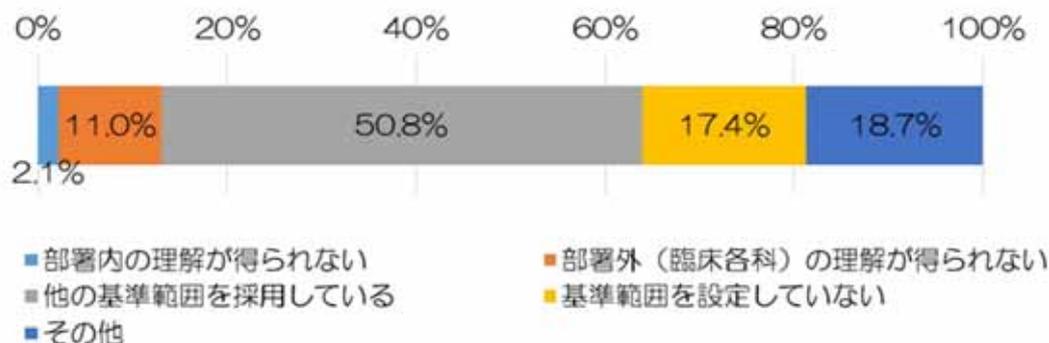
＜施設大分類と問15のクロス表＞

【A】 施設大分類	【問15】 “JCCLS共用基準範囲” の採用を考えていますか。（単一回答）					
	採用済み（一部を含む）	準備中	希望はあるがまだ未着手	採用の考えはない	その他	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 45 割合 60.0%	17 22.7%	11 14.7%	2 2.7%	0 0.0%	75 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	211 50.5%	69 16.5%	92 22.0%	32 7.7%	14 3.3%	418 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	525 32.7%	209 13.0%	612 38.2%	199 12.4%	59 3.7%	1604 100.0%
精神病院	39 28.1%	7 5.0%	58 41.7%	26 18.7%	9 6.5%	139 100.0%
療養所（一般）	14 48.3%	1 3.4%	7 24.1%	5 17.2%	2 6.9%	29 100.0%
療養所（結核）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所（有床）	21 24.1%	7 8.0%	33 37.9%	19 21.8%	7 8.0%	87 100.0%
診療所（無床）	45 18.6%	16 6.6%	101 41.7%	57 23.6%	23 9.5%	242 100.0%
検診センター	13 26.5%	3 6.1%	17 34.7%	10 20.4%	6 12.2%	49 100.0%
健診センター	21 23.6%	8 9.0%	30 33.7%	22 24.7%	8 9.0%	89 100.0%
歯科（病院）	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科診療所	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	2 6.3%	2 6.3%	5 15.6%	14 43.8%	9 28.1%	32 100.0%
保健所	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	19 55.9%	13 38.2%	34 100.0%
血液センター	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	6 46.2%	3 23.1%	13 100.0%
学校	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
衛生検査所	47 23.0%	29 14.2%	67 32.8%	42 20.6%	19 9.3%	204 100.0%
製薬会社	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	5 41.7%	4 33.3%	12 100.0%
医療機器会社	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	5 27.8%	8 44.4%	18 100.0%
その他	18 25.4%	4 5.6%	17 23.9%	19 26.8%	13 18.3%	71 100.0%
合計	1010 32.4%	375 12.0%	1053 33.8%	482 15.5%	197 6.3%	3117 100.0%

＜設置母体と問15のクロス表＞

【C】 設置母体	【問15】 “JCCLS共用基準範囲”の採用を考えていますか。(単一回答)					
	採用済み(一部を含む)	準備中	希望はあるがまだ未着手	採用の考えはない	その他	合計
文部科学省Ⅰ(大学)	件数 16 割合 55.2%	6 20.7%	4 13.8%	2 6.9%	1 3.4%	29 100.0%
文部科学省Ⅱ(その他)	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
厚生労働省Ⅰ(大学)	件数 1 割合 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ(その他)	件数 58 割合 69.0%	9 10.7%	13 15.5%	4 4.8%	0 0.0%	84 100.0%
労働者健康安全機構	件数 10 割合 47.6%	7 33.3%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%
その他の省庁	件数 3 割合 30.0%	1 10.0%	6 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
都道府県	件数 87 割合 51.2%	11 6.5%	27 15.9%	30 17.6%	15 8.8%	170 100.0%
市町村	件数 134 割合 38.8%	57 16.5%	104 30.1%	33 9.6%	17 4.9%	345 100.0%
日赤(赤十字)	件数 26 割合 37.1%	10 14.3%	20 28.6%	9 12.9%	5 7.1%	70 100.0%
済生会	件数 22 割合 40.7%	7 13.0%	19 35.2%	6 11.1%	0 0.0%	54 100.0%
北海道社会事業協会	件数 2 割合 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
厚生連	件数 26 割合 35.1%	24 32.4%	19 25.7%	3 4.1%	2 2.7%	74 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 2 割合 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	件数 7 割合 26.9%	5 19.2%	11 42.3%	3 11.5%	0 0.0%	26 100.0%
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	件数 2 割合 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
JCHO(旧 船員保険会)	件数 1 割合 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 4 割合 30.8%	2 15.4%	6 46.2%	1 7.7%	0 0.0%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 10 割合 45.5%	1 4.5%	8 36.4%	2 9.1%	1 4.5%	22 100.0%
国民健康保険組合	件数 2 割合 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	4 100.0%
公益法人	件数 63 割合 29.7%	26 12.3%	78 36.8%	30 14.2%	15 7.1%	212 100.0%
医療法人	件数 322 割合 24.5%	136 10.4%	534 40.7%	238 18.1%	82 6.3%	1312 100.0%
学校法人	件数 30 割合 51.7%	8 13.8%	13 22.4%	5 8.6%	2 3.4%	58 100.0%
会社	件数 56 割合 24.9%	30 13.3%	54 24.0%	53 23.6%	32 14.2%	225 100.0%
その他の法人	件数 79 割合 34.6%	25 11.0%	72 31.6%	42 18.4%	10 4.4%	228 100.0%
個人	件数 20 割合 22.7%	4 4.5%	39 44.3%	16 18.2%	9 10.2%	88 100.0%
厚生労働省	件数 16 割合 72.7%	2 9.1%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
文部科学省	件数 4 割合 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
三公社	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 2 割合 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	8 100.0%
その他(社)	件数 5 割合 26.3%	1 5.3%	8 42.1%	1 5.3%	4 21.1%	19 100.0%
未回答	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	件数 1010 割合 32.4%	375 12.0%	1053 33.8%	482 15.5%	197 6.3%	3117 100.0%

【問15-2】 問15で「4. 採用の考えはない」と回答した施設の方に質問
 “JCCLS共用基準範囲” 採用の考えがないのはどのような理由からですか （単一回答）



	件数	割合
① 部署内の理解が得られない	10	2.1%
② 部署外（臨床各科）の理解が得られない	53	11.0%
③ 他の基準範囲を採用している	245	50.8%
④ 基準範囲を設定していない	84	17.4%
⑤ その他	90	18.7%
合計	482	100.0%

他の基準範囲を設定していると答えた施設が5割強であった。

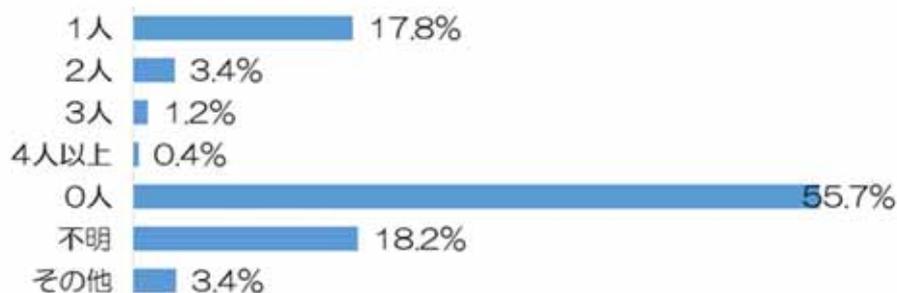
【問16】 検体検査を自ら実施する施設に配置が義務付けられている“検体検査の精度の確保に係る責任者”について、貴施設ではどなたが任命されていますか。（単一回答）



	件数	割合
① 臨床検査技師（管理者・代表者）	1,712	61.7%
② 臨床検査技師（その他）	502	18.1%
③ 臨床検査医	85	3.1%
④ 臨床医	215	7.7%
⑤ 病理医	17	0.6%
⑥ 歯科医師	0	0.0%
⑦ 助産師	0	0.0%
⑧ おいていない（検討中）	138	5.0%
⑨ 配備する予定はない	58	2.1%
⑩ 上記以外	48	1.7%
合計	2,775	100.0%

8割弱が臨床検査技師を責任者として任命していた。

【問17】 日臨技ではeラーニングを用いて、「精度管理責任者育成講習会」を開講していますが、貴施設では、この講習会に参加されている会員および修了された方は何人いますか。（単一回答）

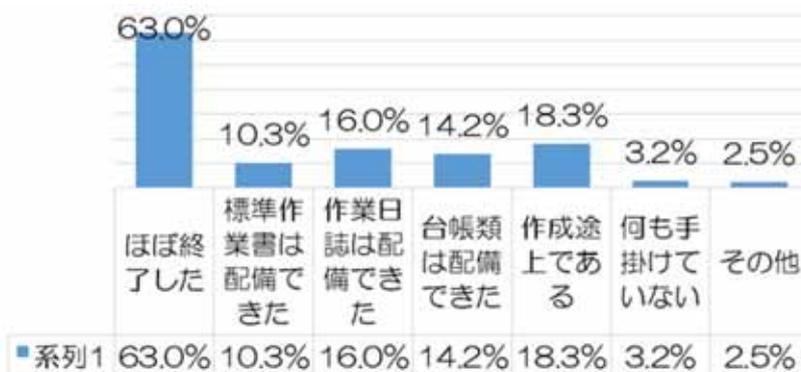


	件数	割合
①1人	493	17.8%
②2人	93	3.4%
③3人	32	1.2%
④4人以上	11	0.4%
⑤0人	1,545	55.7%
⑥不明	506	18.2%
⑦その他	95	3.4%
合計	2,775	100.0%

0人及び不明を含め8割弱が未受講との結果であった。

【問18】 検体検査を自ら実施する施設に義務付けられている“各種標準作業書・作業日誌・台帳等の作成”について、貴施設ではどの程度、それらの配備が進んでいますか。（複数回答可）

複数選択回答パターン

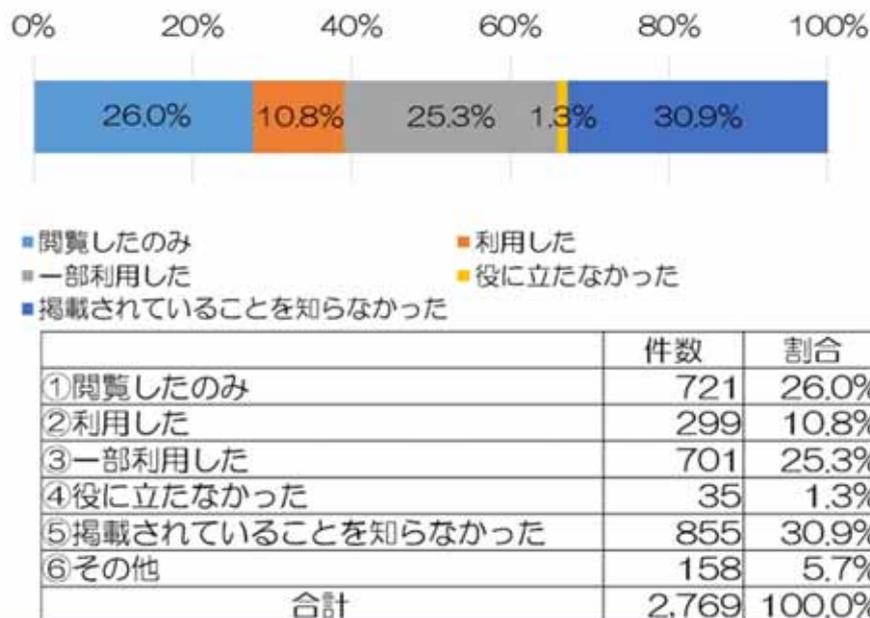


	件数	割合
①ほぼ終了した	1,745	63.0%
②標準作業書は配備できた	285	10.3%
③作業日誌は配備できた	442	16.0%
④台帳類は配備できた	393	14.2%
⑤作成途中である	508	18.3%
⑥何も手掛けていない	88	3.2%
⑦その他	70	2.5%
回答施設数	2,769	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	1712	61.8%
[1][2][3][4]	17	0.6%
[1][2][4]	1	0.0%
[1][3]	1	0.0%
[1][3][4]	3	0.1%
[1][3][4][5]	1	0.0%
[1][4]	1	0.0%
[1][5]	4	0.1%
[1][7]	5	0.2%
[2]	52	1.9%
[2][3]	38	1.4%
[2][3][4]	120	4.3%
[2][3][4][5]	17	0.6%
[2][3][5]	8	0.3%
[2][3][7]	1	0.0%
[2][4]	17	0.6%
[2][4][5]	3	0.1%
[2][5]	11	0.4%
[3]	31	1.1%
[3][4]	89	3.2%
[3][4][5]	85	3.1%
[3][4][7]	3	0.1%
[3][5]	28	1.0%
[4]	24	0.9%
[4][5]	12	0.4%
[5]	336	12.1%
[5][6]	1	0.0%
[5][7]	2	0.1%
[6]	87	3.1%
[7]	59	2.1%

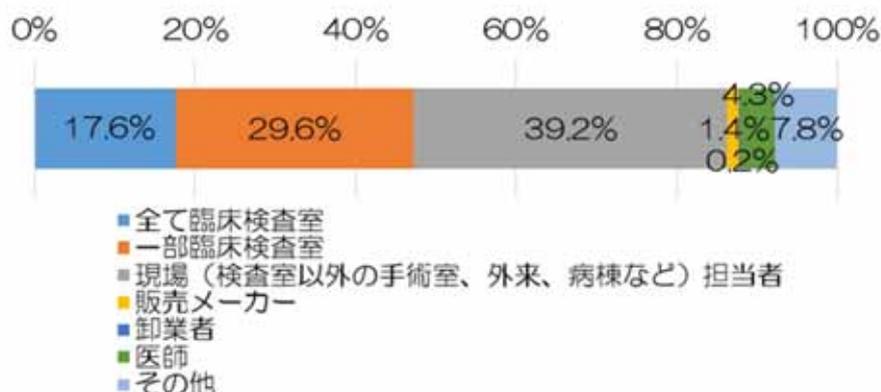
6割を超える施設が配備を終了したとの回答であり、複数選択回答においても同様の結果であった。

【問19】 日臨技では各種標準作業書・作業日誌・台帳等の雛形を掲示し、eラーニングを用いて「精度管理責任者育成講習会」の中でも解説を行っています。貴施設ではそれらを利用されましたか。（単一回答）



何らかの形で利用したと答えたのが3割を超えた。逆に掲載されていることを知らないと答えた施設も3割であった

【問20】 貴施設において、検査室以外（手術室、外来、病棟など）で使用されているPOCT（Point Of Care Testing、臨床現場即時検査）、SMBG（Self-Measurement of Blood Glucose、自己血糖測定）、ドライケミストリー法で使用するような機器および試薬の管理について、今回の医療法に関わる責任は誰が担いますか。（単一回答）



	件数	割合
①全て臨床検査室	486	17.6%
②一部臨床検査室	818	29.6%
③現場（検査室以外の手術室、外来、病棟など）担当者	1,085	39.2%
④販売メーカー	38	1.4%
⑤卸業者	6	0.2%
⑥医師	119	4.3%
⑦その他	215	7.8%
合計	2,767	100.0%

何らかの形で臨床検査室と答えたものが5割弱、臨床検査室以外の現場と答えたのは4割弱であった。

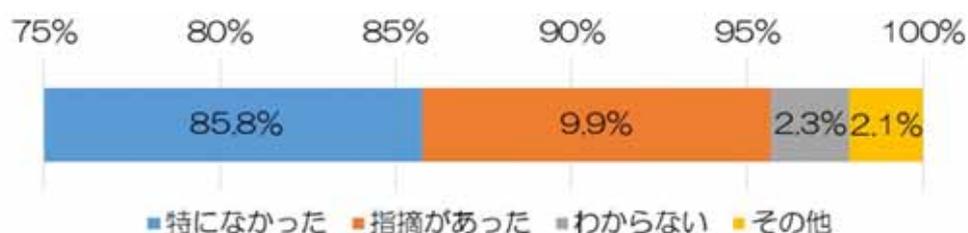
【問21】 「医療法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省令の整備に関する省令」の施行以降（2018年12月1日以降）、貴施設へ行政による医療監視が入りましたか。（単一回答）



	件数	割合
①はい	1,822	66.1%
②いいえ	624	22.6%
③近日中に予定されている	161	5.8%
④知らない	134	4.9%
⑤その他	15	0.5%
合計	2,756	100.0%

医療監視が入った施設および予定されている施設を合わせ7割を超えた。

【問21-2】 問21で「1. はい」と回答した場合、特別に不足として指摘された事項はありましたか。（単一回答）



	件数	割合
①特になかった	1,561	85.8%
②指摘があった	180	9.9%
③わからない	41	2.3%
④その他	38	2.1%
合計	1,820	100.0%

特になかった施設が9割弱との結果であった。

【問22】 “日臨技精度保証施設認証”について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）



	件数	割合
①既に取得済み	606	20.1%
②取得に向けて、現在準備中	127	4.2%
③取得の希望はあるが、まだ着手できていない	632	21.0%
④取得の考えはない	1,023	34.0%
⑤分からない	561	18.6%
⑥その他	64	2.1%
合計	3,013	100.0%

取得済みが20.1%、取得の考えがないと答えた施設は34.0%の結果であった。設立母体別では大学関連の施設は取得している傾向が強い結果であった。

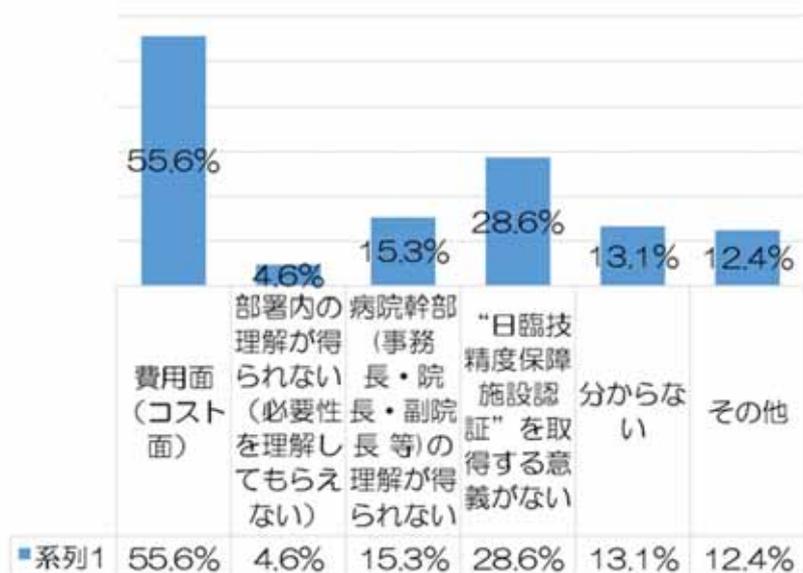
<施設大分類と問20のクロス表>

【A】 施設大分類	【問22】 “日臨床精度保証施設認証” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）						
	既に取得済み	取得に向けて、 現在準備中	取得の希望はあるが、 まだ着手できていない	取得の考えはない	分からない	その他	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 44 割合 58.7%	6 8.0%	11 14.7%	8 10.7%	5 6.7%	1 1.3%	75 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 212 割合 50.8%	30 7.2%	64 15.3%	77 18.5%	29 7.0%	5 1.2%	417 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 267 割合 16.8%	73 4.6%	387 24.3%	556 34.9%	289 18.2%	19 1.2%	1591 100.0%
精神病院	件数 3 割合 2.2%	1 0.7%	32 23.0%	76 54.7%	22 15.8%	5 3.6%	139 100.0%
療養所（一般）	件数 2 割合 6.9%	0 0.0%	8 27.6%	12 41.4%	7 24.1%	0 0.0%	29 100.0%
療養所（結核）	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所（有床）	件数 3 割合 3.5%	0 0.0%	12 14.1%	39 45.9%	30 35.3%	1 1.2%	85 100.0%
診療所（無床）	件数 5 割合 2.1%	3 1.3%	36 15.2%	121 51.1%	68 28.7%	4 1.7%	237 100.0%
検診センター	件数 10 割合 20.4%	1 2.0%	7 14.3%	16 32.7%	15 30.6%	0 0.0%	49 100.0%
健診センター	件数 7 割合 8.0%	4 4.6%	19 21.8%	27 31.0%	27 31.0%	3 3.4%	87 100.0%
歯科（病院）	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	4 100.0%
歯科診療所	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
保健所	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
血液センター	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 46.2%	4 30.8%	3 23.1%	13 100.0%
学校	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
衛生検査所	件数 43 割合 21.1%	8 3.9%	42 20.6%	51 25.0%	53 26.0%	7 3.4%	204 100.0%
製薬会社	件数 1 割合 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 54.5%	1 9.1%	3 27.3%	11 100.0%
医療機器会社	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他	件数 9 割合 12.7%	1 1.4%	11 15.5%	28 39.4%	10 14.1%	12 16.9%	71 100.0%
合計	件数 606 割合 20.1%	127 4.2%	632 21.0%	1023 34.0%	561 18.6%	64 2.1%	3013 100.0%

<設置母体と問20のクロス表>

【C】 設置母体	【問22】 “日臨技精度保証施設認証”について、貴施設の現状を教えてください。(単一回答)						
	既に取得済み	取得に向けて、 現在準備中	取得の希望はあるが、 まだ着手できていない	取得の考えはない	分からない	その他	合計
文部科学省Ⅰ(大学)	19 76.0%	2 8.0%	2 8.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	25 100.0%
文部科学省Ⅱ(その他)	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
厚生労働省Ⅰ(大学)	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ(その他)	20 23.8%	3 3.6%	27 32.1%	26 31.0%	7 8.3%	1 1.2%	84 100.0%
労働者健康安全機構	12 57.1%	3 14.3%	1 4.8%	4 19.0%	0 0.0%	1 4.8%	21 100.0%
その他の省庁	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	10 100.0%
都道府県	40 29.4%	5 3.7%	26 19.1%	52 38.2%	11 8.1%	2 1.5%	136 100.0%
市町村	94 28.4%	19 5.7%	68 20.5%	101 30.5%	46 13.9%	3 0.9%	331 100.0%
日赤(赤十字)	29 42.0%	2 2.9%	12 17.4%	14 20.3%	8 11.6%	4 5.8%	69 100.0%
済生会	25 46.3%	1 1.9%	11 20.4%	12 22.2%	4 7.4%	1 1.9%	54 100.0%
北海道社会事業協会	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
厚生連	36 48.6%	5 6.8%	13 17.6%	13 17.6%	6 8.1%	1 1.4%	74 100.0%
国民健康保険団体連合会	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	12 46.2%	0 0.0%	7 26.9%	5 19.2%	2 7.7%	0 0.0%	26 100.0%
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
JCHO(旧 船員保険会)	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	4 30.8%	0 0.0%	3 23.1%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	10 45.5%	0 0.0%	7 31.8%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
国民健康保険組合	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
公益法人	50 23.7%	8 3.8%	36 17.1%	73 34.6%	37 17.5%	7 3.3%	211 100.0%
医療法人	121 9.3%	56 4.3%	291 22.5%	510 39.4%	297 22.9%	21 1.6%	1296 100.0%
学校法人	31 50.0%	3 4.8%	9 14.5%	14 22.6%	3 4.8%	2 3.2%	62 100.0%
会社	30 15.4%	7 3.6%	40 20.5%	52 26.7%	52 26.7%	14 7.2%	195 100.0%
その他の法人	55 24.4%	8 3.6%	41 18.2%	78 34.7%	39 17.3%	4 1.8%	225 100.0%
個人	1 1.2%	1 1.2%	15 17.6%	40 47.1%	27 31.8%	1 1.2%	85 100.0%
厚生労働省	1 4.5%	1 4.5%	6 27.3%	9 40.9%	4 18.2%	1 4.5%	22 100.0%
文部科学省	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
三公社	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	1 12.5%	0 0.0%	3 37.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	8 100.0%
その他(社)	3 16.7%	2 11.1%	2 11.1%	4 22.2%	6 33.3%	1 5.6%	18 100.0%
未回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	606 20.1%	127 4.2%	632 21.0%	1023 34.0%	561 18.6%	64 2.1%	3013 100.0%

【問22-2】問22で「4. 取得の考えはない」と回答した施設の方に質問
 “日臨技精度保証施設認証”取得の考えがない理由は何ですか。（複数回答可）



複数選択回答パターン

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	320	31.3%
[1][2]	16	1.6%
[1][2][3]	9	0.9%
[1][2][3][4]	1	0.1%
[1][2][4]	3	0.3%
[1][3]	72	7.0%
[1][3][4]	23	2.2%
[1][3][4][5]	1	0.1%
[1][4]	93	9.1%
[1][4][5]	4	0.4%
[1][4][6]	3	0.3%
[1][5]	9	0.9%
[1][6]	15	1.5%
[2]	16	1.6%
[2][3]	2	0.2%
[3]	45	4.4%
[3][4]	3	0.3%
[3][5]	1	0.1%
[4]	160	15.6%
[4][5]	1	0.1%
[4][6]	1	0.1%
[5]	117	11.4%
[5][6]	1	0.1%
[6]	107	10.5%

	件数	割合
①費用面（コスト面）	569	55.6%
②部署内の理解が得られない（必要性を理解してもらえない）	47	4.6%
③病院幹部（事務長・院長・副院長等）の理解が得られない	157	15.3%
④“日臨技精度保証施設認証”を取得する意義がない	293	28.6%
⑤分からない	134	13.1%
⑥その他	127	12.4%
回答施設数	1,023	

費用面が55.6%と最も多く、次いで取得する意味がないと答えた施設28.6%となっている。

【問23】 “病院機能評価” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）



	件数	割合
①既に取得済み	1,000	37.9%
②取得に向けて、現在準備中	56	2.1%
③取得の希望はあるが、まだ着手できていない	176	6.7%
④取得の考えはない	816	30.9%
⑤分からない	502	19.0%
⑥その他	92	3.5%
合計	2,642	100.0%

取得済みが37.9%、取得の考えがないが30.9%であった。施設別では一般病院Ⅰ、Ⅱさらに設立母体別では大学関連連の取得が多い傾向であった。

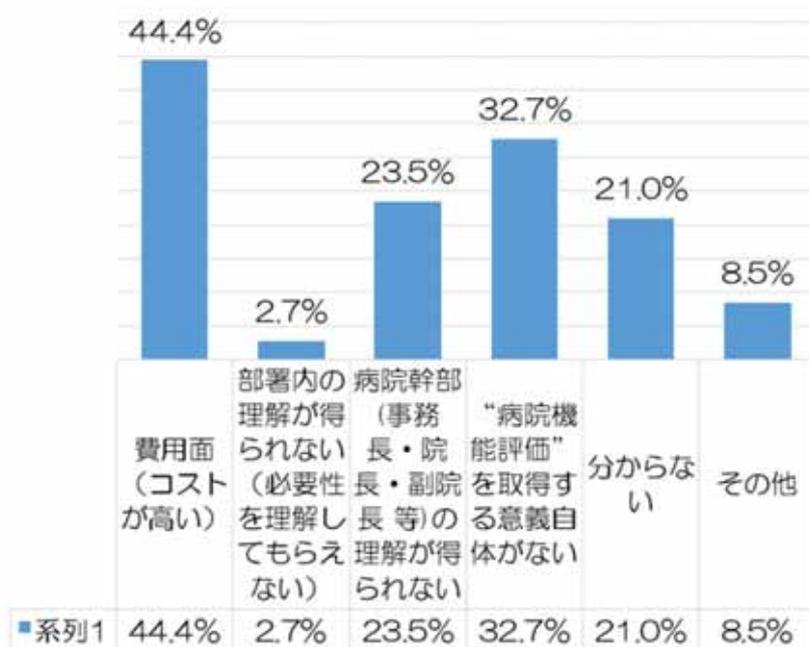
<施設大分類と問23のクロス表>

【A】 施設大分類	【問23】 “病院機能評価” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）							
	既に取得済み	取得に向けて、 現在準備中	取得の希望はあるが、 まだ着手できていない	取得の考えはない	分からない	その他	合計	
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 割合	61 81.3%	4 5.3%	3 4.0%	4 5.3%	2 2.7%	1 1.3%	75 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 割合	312 74.8%	14 3.4%	18 4.3%	45 10.8%	20 4.8%	8 1.9%	417 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 割合	579 36.4%	34 2.1%	115 7.2%	516 32.4%	300 18.8%	48 3.0%	1592 100.0%
精神病院	件数 割合	32 23.2%	3 2.2%	11 8.0%	50 36.2%	30 21.7%	12 8.7%	138 100.0%
療養所（一般）	件数 割合	4 13.8%	1 3.4%	4 13.8%	12 41.4%	7 24.1%	1 3.4%	29 100.0%
療養所（結核）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所（有床）	件数 割合	3 3.5%	0 0.0%	12 14.1%	39 45.9%	30 35.3%	1 1.2%	85 100.0%
診療所（無床）	件数 割合	1 0.4%	0 0.0%	16 6.8%	117 49.8%	93 39.6%	8 3.4%	235 100.0%
検診センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
健診センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科（病院）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科診療所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
保健所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
血液センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
学校	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
衛生検査所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
製薬会社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
医療機器会社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他	件数 割合	11 15.7%	0 0.0%	2 2.9%	29 41.4%	17 24.3%	11 15.7%	70 100.0%
合計	件数 割合	1003 38.0%	56 2.1%	181 6.9%	813 30.8%	499 18.9%	90 3.4%	2642 100.0%

<設置母体と問22のクロス表>

【C】 設置母体	【問23】 “病院機能評価” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）						合計
	既に取得済み	取得に向けて、 現在準備中	取得の希望はあるが、 まだ着手できていない	取得の考えはない	分からない	その他	
文部科学省Ⅰ（大学）	件数 20 割合 80.0%	2 8.0%	0 0.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 100.0%
文部科学省Ⅱ（その他）	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
厚生労働省Ⅰ（大学）	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ（その他）	件数 37 割合 44.0%	5 6.0%	10 11.9%	23 27.4%	7 8.3%	2 2.4%	84 100.0%
労働者健康安全機構	件数 19 割合 90.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%
その他の省庁	件数 1 割合 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	7 70.0%	0 0.0%	10 100.0%
都道府県	件数 78 割合 57.8%	7 5.2%	5 3.7%	29 21.5%	12 8.9%	4 3.0%	135 100.0%
市町村	件数 138 割合 41.7%	4 1.2%	21 6.3%	101 30.5%	52 15.7%	15 4.5%	331 100.0%
日赤（赤十字）	件数 39 割合 68.4%	1 1.8%	3 5.3%	11 19.3%	1 1.8%	2 3.5%	57 100.0%
済生会	件数 31 割合 58.5%	1 1.9%	5 9.4%	10 18.9%	4 7.5%	2 3.8%	53 100.0%
北海道社会事業協会	件数 1 割合 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
厚生連	件数 34 割合 49.3%	3 4.3%	1 1.4%	25 36.2%	5 7.2%	1 1.4%	69 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 1 割合 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
JCHO（旧 全国社会保険協会連合会）	件数 14 割合 53.8%	0 0.0%	2 7.7%	8 30.8%	0 0.0%	2 7.7%	26 100.0%
JCHO（旧 厚生年金事業振興団）	件数 4 割合 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
JCHO（旧 船員保険会）	件数 1 割合 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 4 割合 36.4%	0 0.0%	2 18.2%	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%	11 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 14 割合 63.6%	0 0.0%	1 4.5%	4 18.2%	1 4.5%	2 9.1%	22 100.0%
国民健康保険組合	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	4 100.0%
公益法人	件数 56 割合 39.7%	5 3.5%	7 5.0%	43 30.5%	24 17.0%	6 4.3%	141 100.0%
医療法人	件数 371 割合 29.4%	19 1.5%	94 7.5%	434 34.4%	305 24.2%	37 2.9%	1260 100.0%
学校法人	件数 36 割合 64.3%	3 5.4%	2 3.6%	9 16.1%	5 8.9%	1 1.8%	56 100.0%
会社	件数 11 割合 42.3%	0 0.0%	0 0.0%	7 26.9%	2 7.7%	6 23.1%	26 100.0%
その他の法人	件数 70 割合 40.2%	3 1.7%	13 7.5%	53 30.5%	28 16.1%	7 4.0%	174 100.0%
個人	件数 4 割合 4.9%	0 0.0%	5 6.2%	35 43.2%	35 43.2%	2 2.5%	81 100.0%
厚生労働省	件数 6 割合 28.6%	1 4.8%	2 9.5%	9 42.9%	3 14.3%	0 0.0%	21 100.0%
文部科学省	件数 2 割合 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	4 100.0%
三公社	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 4 割合 66.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	6 100.0%
その他(社)	件数 4 割合 40.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	1 10.0%	10 100.0%
未回答	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	件数 1000 割合 37.9%	56 2.1%	176 6.7%	816 30.9%	502 19.0%	92 3.5%	2642 100.0%

【問23-2】問23で「4. 取得の考えはない」と回答した施設の方に質問
 “病院機能評価”取得の考えがないのはどのような理由からですか。（複数回答可）



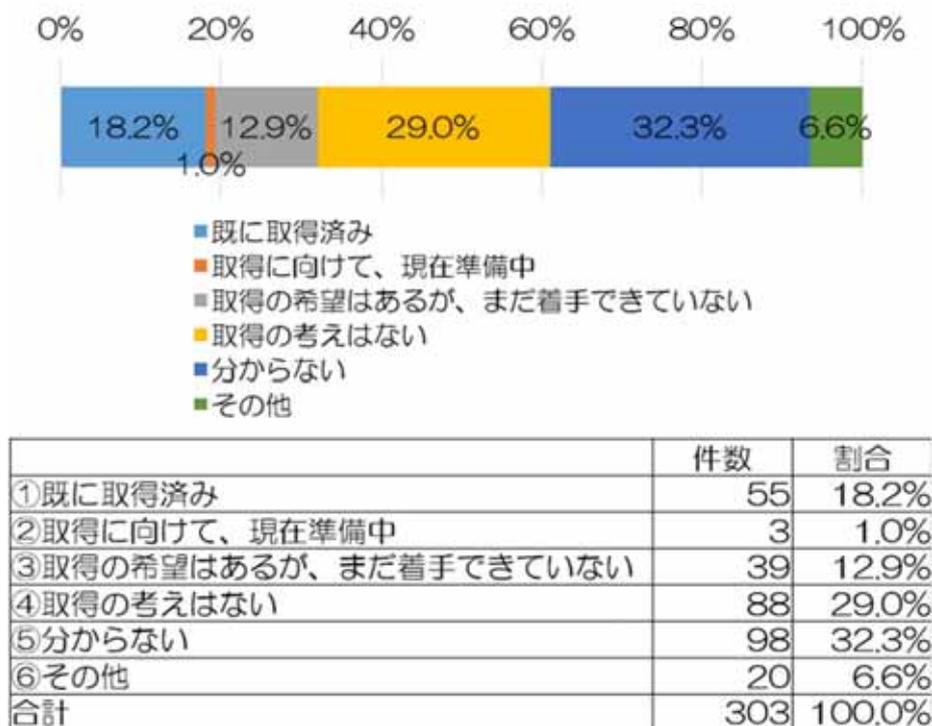
複数選択回答パターン

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	320	31.3%
[1][2]	16	1.6%
[1][2][3]	9	0.9%
[1][2][3][4]	1	0.1%
[1][2][4]	3	0.3%
[1][3]	72	7.0%
[1][3][4]	23	2.2%
[1][3][4][5]	1	0.1%
[1][4]	93	9.1%
[1][4][5]	4	0.4%
[1][4][6]	3	0.3%
[1][5]	9	0.9%
[1][6]	15	1.5%
[2]	16	1.6%
[2][3]	2	0.2%
[3]	45	4.4%
[3][4]	3	0.3%
[3][5]	1	0.1%
[4]	160	15.6%
[4][5]	1	0.1%
[4][6]	1	0.1%
[5]	117	11.4%
[5][6]	1	0.1%
[6]	107	10.5%

	件数	割合
①費用面（コストが高い）	362	44.4%
②部署内の理解が得られない（必要性を理解してもらえない）	22	2.7%
③病院幹部（事務長・院長・副院長等）の理解が得られない	192	23.5%
④“病院機能評価”を取得する意義自体がない	267	32.7%
⑤分からない	171	21.0%
⑥その他	69	8.5%
回答施設数	816	

取得しない理由としては費用面を上げつ施設が最も多く、次いで取得の意味がないとの回答が多かった。

【問24】 “医療関連サービスマーク認定” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）



取得済みは18.9%であり、考えがないが29.0%となっていた。

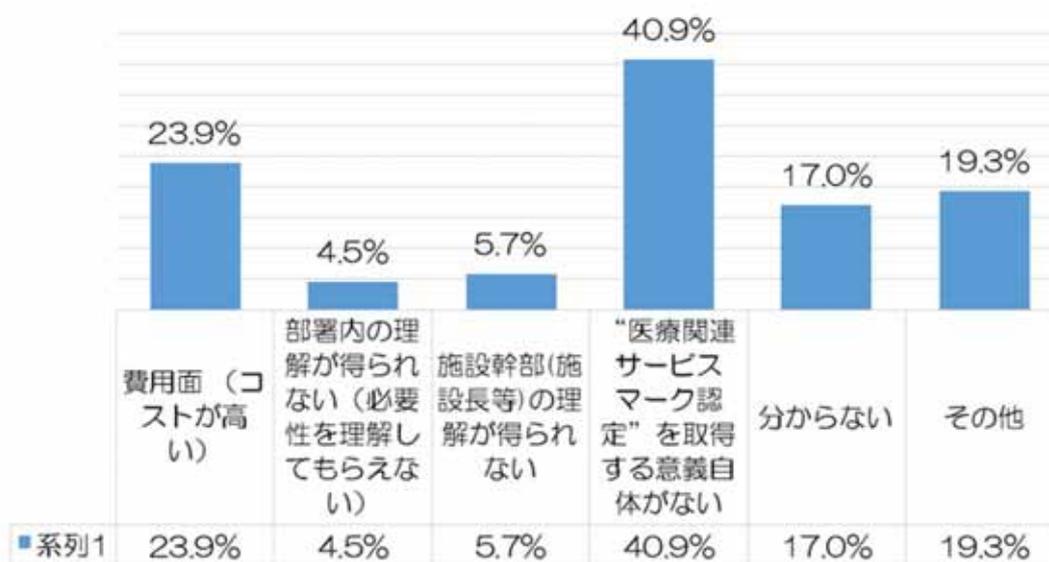
<施設大分類と問24のクロス表>

【A】 施設大分類	【問24】 “医療関連サービスマーク認定” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）						
	既に取得済み	取得に向けて、 現在準備中	取得の希望はあるが、まだ着手 できていない	取得の考えはない	分からない	その他	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
精神病院	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
療養所（一般）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
療養所（結核）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
診療所（有床）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
診療所（無床）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
検診センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
健診センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科（病院）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科診療所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
保健所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
血液センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
学校	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
衛生検査所	件数 割合	54 26.3%	3 1.5%	33 16.1%	51 24.9%	58 28.3%	6 2.9%
製薬会社	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 81.8%	0 0.0%	2 18.2%
医療機器会社	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	7 38.9%	5 27.8%	4 22.2%
その他	件数 割合	1 1.4%	0 0.0%	4 5.8%	21 30.4%	35 50.7%	8 11.6%
合計	件数 割合	55 18.2%	3 1.0%	39 12.9%	88 29.0%	98 32.3%	20 6.6%

<設置母体と問24のクロス表>

【C】 設置母体	【問24】 “医療関連サービスマーク認定” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）						
	既に取得済み	取得に向けて、 現在準備中	取得の希望はあるが、 まだ着手できていない	取得の考えはない	分からない	その他	合計
文部科学省Ⅰ（大学）	0	0	0	0	0	0	0
文部科学省Ⅱ（その他）	0	0	0	0	0	0	0
厚生労働省Ⅰ（大学）	0	0	0	0	0	0	0
厚生労働省Ⅱ（その他）	0	0	0	1	1	0	2
労働者健康安全機構	0	0	0	0	0	0	0
その他の省庁	0	0	0	0	0	0	0
都道府県	0	0	2	5	3	0	10
市町村	0	0	0	1	1	0	2
日赤（赤十字）	0	0	0	0	0	0	0
済生会	0	0	0	0	0	0	0
北海道社会事業協会	0	0	0	0	0	0	0
厚生連	0	0	0	0	0	0	0
国民健康保険団体連合会	0	0	0	0	0	0	0
JCHO（旧 全国社会保険協会連合会）	0	0	0	0	0	0	0
JCHO（旧 厚生年金事業振興団）	0	0	0	0	0	0	0
JCHO（旧 船員保険会）	0	0	0	0	0	0	0
健康保険組合及びその連合会	0	0	0	0	0	0	0
共済組合及びその連合会	0	0	0	0	0	0	0
国民健康保険組合	0	0	0	0	0	0	0
公益法人	0	0	5	8	19	1	33
医療法人	0	0	2	6	11	1	20
学校法人	0	0	0	0	0	0	0
会社	51	3	24	53	43	15	189
その他の法人	2	0	5	11	17	2	37
個人	1	0	0	2	0	0	3
厚生労働省	0	0	0	0	0	0	0
文部科学省	0	0	0	0	0	0	0
三公社	0	0	0	0	0	0	0
その他(公)	0	0	0	0	0	0	0
その他(社)	1	0	1	1	3	1	7
未回答	0	0	0	0	0	0	0
合計	55	3	39	88	98	20	303
	18.2%	1.0%	12.9%	29.0%	32.3%	6.6%	100.0%

【問24-2】 問24で「4. 取得の考えはない」と回答した場合、「医療関連サービスマーク認定」取得の考えがないのはどのような理由からですか。（複数回答可）



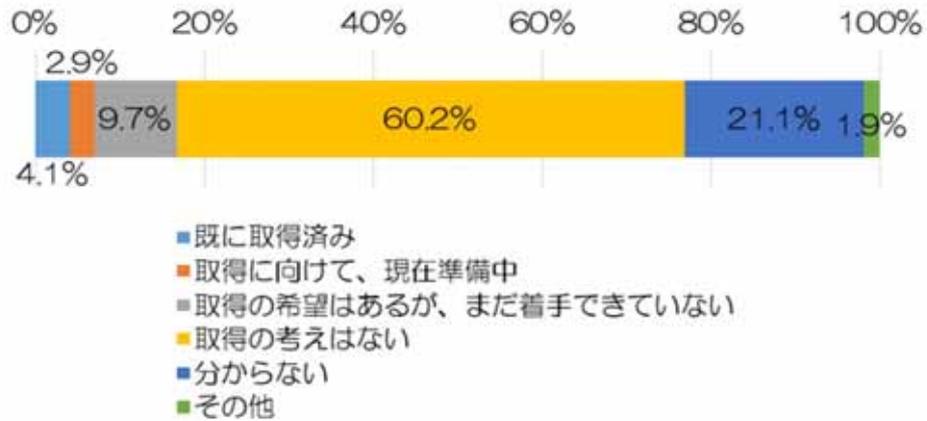
複数選択回答パターン

	件数	割合
①費用面（コストが高い）	21	23.9%
②部署内の理解が得られない（必要性を理解してもらえない）	4	4.5%
③施設幹部(施設長等)の理解が得られない	5	5.7%
④“医療関連サービスマーク認定”を取得する意義自体がない	36	40.9%
⑤分からない	15	17.0%
⑥その他	17	19.3%
回答施設数	88	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	13	14.8%
[1][2]	1	1.1%
[1][2][3]	1	1.1%
[1][3]	1	1.1%
[1][3][4]	1	1.1%
[1][4]	4	4.5%
[2]	2	2.3%
[3]	2	2.3%
[4]	31	35.2%
[5]	15	17.0%
[6]	17	19.3%

取得しない理由は取得の意義がないを上げる施設が最も多く、次いで費用面となっていた。

【問25】 “ISO15189” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）



	件数	割合
①既に取得済み	127	4.1%
②取得に向けて、現在準備中	90	2.9%
③取得の希望はあるが、まだ着手できていない	299	9.7%
④取得の考えはない	1,856	60.2%
⑤分からない	652	21.1%
⑥その他	60	1.9%
合計	3,084	100.0%

取得の考えがないとの回答が60.2%であり、ほとんどの施設が取得について考えがないとの意見であった。ただし施設別の一般病院Ⅰ（特定機能）の施設や設立母体別の大学関連の施設では取得している傾向が顕著であった。

深澤 恵治¹ グラフの数値と表の数値が違う

深澤 恵治, 2020/04/13

<施設大分類と問25のクロス表>

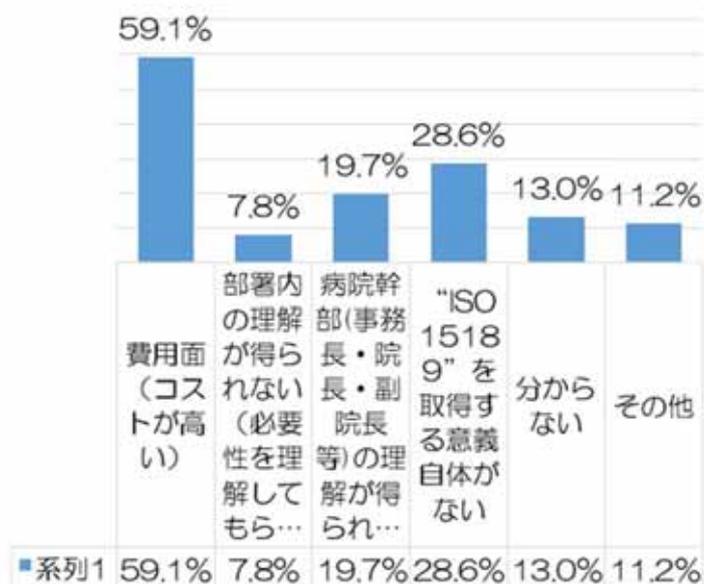
【A】 施設大分類		【問25】 “ISO15189” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）						合計
		既に取得済み	取得に向けて、 現在準備中	取得の希望はあるが、 まだ着手できていない	取得の考えはない	分からない	その他	
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 割合	41 54.7%	10 13.3%	3 4.0%	15 20.0%	4 5.3%	2 2.7%	75 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 割合	41 9.8%	46 11.0%	88 21.1%	185 44.4%	55 13.2%	2 0.5%	417 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 割合	15 0.9%	18 1.1%	125 7.9%	1082 68.1%	340 21.4%	10 0.6%	1590 100.0%
精神病院	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	6 4.3%	102 73.9%	29 21.0%	1 0.7%	138 100.0%
療養所（一般）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 79.3%	6 20.7%	0 0.0%	29 100.0%
療養所（結核）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所（有床）	件数 割合	1 1.2%	0 0.0%	4 4.7%	52 61.2%	27 31.8%	1 1.2%	85 100.0%
診療所（無床）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	14 6.0%	137 58.3%	80 34.0%	4 1.7%	235 100.0%
検診センター	件数 割合	1 2.0%	0 0.0%	7 14.3%	30 61.2%	11 22.4%	0 0.0%	49 100.0%
健診センター	件数 割合	1 1.1%	1 1.1%	12 13.8%	49 56.3%	22 25.3%	2 2.3%	87 100.0%
歯科（病院）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科診療所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	件数 割合	1 3.1%	1 3.1%	3 9.4%	20 62.5%	4 12.5%	3 9.4%	32 100.0%
保健所	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 80.6%	4 12.9%	2 6.5%	31 100.0%
血液センター	件数 割合	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 46.2%	3 23.1%	3 23.1%	13 100.0%
学校	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
衛生検査所	件数 割合	24 11.7%	14 6.8%	34 16.6%	79 38.5%	43 21.0%	11 5.4%	205 100.0%
製薬会社	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%	1 10.0%	4 40.0%	10 100.0%
医療機器会社	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	7 38.9%	5 27.8%	5 27.8%	18 100.0%
その他	件数 割合	1 1.4%	0 0.0%	2 2.9%	38 55.1%	18 26.1%	10 14.5%	69 100.0%
合計	件数 割合	127 4.1%	90 2.9%	299 9.7%	1855 60.1%	653 21.2%	60 1.9%	3084 100.0%

<設置母体と問25のクロス表>

【C】 設置母体	【問25】 “ISO15189” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）						合計
	既に取得済み	取得に向けて、 現在準備中	取得の希望はあるが、 まだ着手できていない	取得の考えはない	分からない	その他	
文部科学省Ⅰ（大学）	件数 割合	16 55.2%	7 24.1%	1 3.4%	5 17.2%	0 0.0%	29 100.0%
文部科学省Ⅱ（その他）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
厚生労働省Ⅰ（大学）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ（その他）	件数 割合	12 14.3%	5 6.0%	8 9.5%	53 63.1%	6 7.1%	84 100.0%
労働者健康安全機構	件数 割合	0 0.0%	3 14.3%	3 14.3%	12 57.1%	2 9.5%	21 100.0%
その他の省庁	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	6 60.0%	3 30.0%	10 100.0%
都道府県	件数 割合	15 9.0%	10 6.0%	13 7.8%	106 63.5%	20 12.0%	167 100.0%
市町村	件数 割合	8 2.3%	12 3.5%	38 11.0%	223 64.8%	60 17.4%	344 100.0%
日赤（赤十字）	件数 割合	6 8.6%	6 8.6%	6 8.6%	41 58.6%	7 10.0%	70 100.0%
済生会	件数 割合	4 7.4%	3 5.6%	7 13.0%	32 59.3%	7 13.0%	54 100.0%
北海道社会事業協会	件数 割合	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
厚生連	件数 割合	2 2.7%	6 8.1%	11 14.9%	44 59.5%	10 13.5%	74 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	3 100.0%
JCHO（旧 全国社会保険協会連合会）	件数 割合	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	23 88.5%	2 7.7%	26 100.0%
JCHO（旧 厚生年金事業振興団）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	5 100.0%
JCHO（旧 船員保険会）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 割合	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	9 69.2%	3 23.1%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 割合	0 0.0%	1 4.8%	2 9.5%	15 71.4%	3 14.3%	21 100.0%
国民健康保険組合	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	4 100.0%
公益法人	件数 割合	3 1.4%	3 1.4%	20 9.4%	144 67.6%	40 18.8%	213 100.0%
医療法人	件数 割合	8 0.6%	10 0.8%	104 8.0%	813 62.8%	349 26.9%	1295 100.0%
学校法人	件数 割合	18 31.0%	2 3.4%	9 15.5%	21 36.2%	6 10.3%	58 100.0%
会社	件数 割合	25 11.2%	13 5.8%	33 14.8%	82 36.8%	44 19.7%	223 100.0%
その他の法人	件数 割合	5 2.2%	6 2.7%	30 13.4%	139 62.1%	42 18.8%	224 100.0%
個人	件数 割合	1 1.2%	0 0.0%	4 4.8%	45 53.6%	32 38.1%	84 100.0%
厚生労働省	件数 割合	1 4.8%	0 0.0%	1 4.8%	17 81.0%	2 9.5%	21 100.0%
文部科学省	件数 割合	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	4 100.0%
三公社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	3 37.5%	3 37.5%	8 100.0%
その他(社)	件数 割合	1 5.6%	0 0.0%	2 11.1%	8 44.4%	6 33.3%	18 100.0%
未回答	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	件数 割合	127 4.1%	90 2.9%	299 9.7%	1856 60.2%	652 21.1%	3084 100.0%

【問25-2】 問25で「4. 取得の考えはない」と回答した場合、「ISO15189」取得の考えがないのはどのような理由からですか。（複数回答可）

複数選択回答パターン

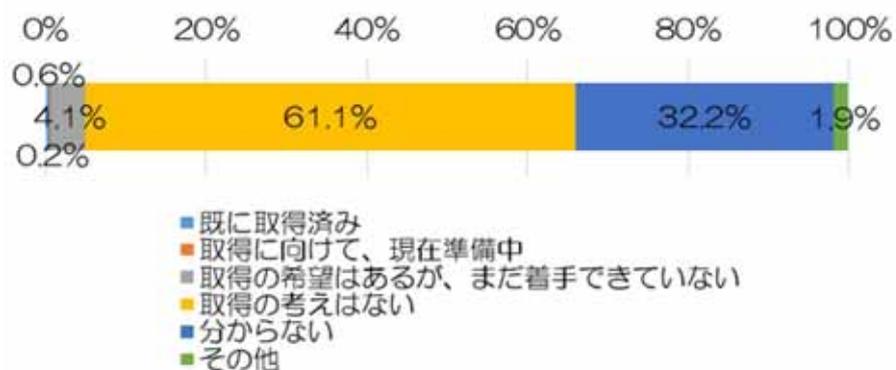


	件数	割合
①費用面（コストが高い）	1,096	59.1%
②部署内の理解が得られない（必要性を理解してもらえない）	144	7.8%
③病院幹部（事務長・院長・副院长等）の理解が得られない	366	19.7%
④“ISO 15189”を取得する意義自体がない	530	28.6%
⑤分からない	242	13.0%
⑥その他	207	11.2%
施設回答数	1,856	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	554	29.8%
[1][2]	43	2.3%
[1][2][3]	42	2.3%
[1][2][3][4]	20	1.1%
[1][2][3][4][5]	1	0.1%
[1][2][3][5]	1	0.1%
[1][2][3][6]	1	0.1%
[1][2][4]	12	0.6%
[1][2][5]	1	0.1%
[1][2][6]	3	0.2%
[1][3]	151	8.1%
[1][3][4]	38	2.0%
[1][3][4][5]	1	0.1%
[1][3][4][6]	2	0.1%
[1][3][5]	2	0.1%
[1][3][6]	4	0.2%
[1][4]	146	7.9%
[1][4][5]	3	0.2%
[1][4][6]	6	0.3%
[1][5]	22	1.2%
[1][6]	43	2.3%
[2]	14	0.8%
[2][3]	4	0.2%
[2][6]	2	0.1%
[3]	93	5.0%
[3][4]	4	0.2%
[3][5]	1	0.1%
[3][6]	1	0.1%
[4]	287	15.5%
[4][5]	2	0.1%
[4][6]	8	0.4%
[5]	207	11.2%
[5][6]	1	0.1%
[6]	136	7.3%

未取得の理由としては費用面が最も多く59.1%であった。

【問26】 “CAP” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）



	件数	割合
①既に取得済み	19	0.6%
②取得に向けて、現在準備中	5	0.2%
③取得の希望はあるが、まだ着手できていない	126	4.1%
④取得の考えはない	1,883	61.1%
⑤分からない	992	32.2%
⑥その他	58	1.9%
合計	3,083	100.0%

ほとんどの施設が取得について消極的な意見であった。

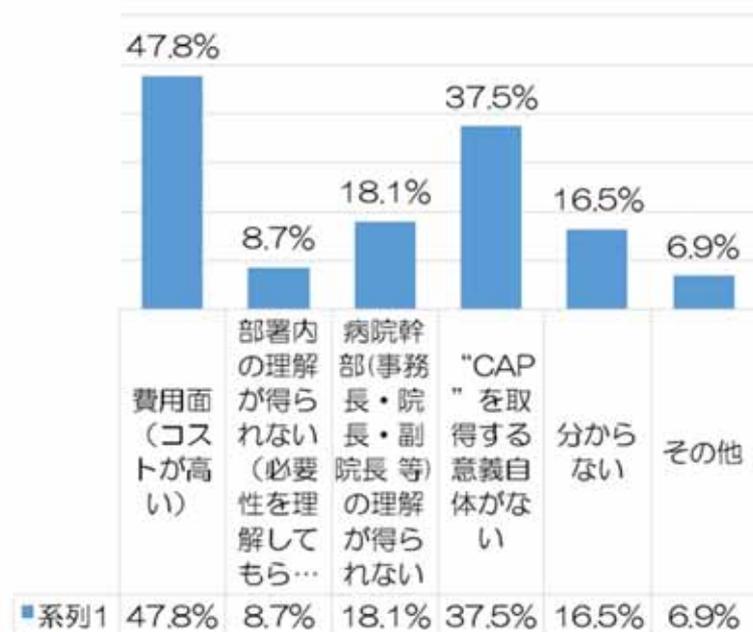
<施設大分類と問26のクロス表>

【A】 施設大分類		【問26】 “CAP” について、貴施設の現状を教えてください。（単一回答）						合計
		既に取得済み	取得に向けて、 現在準備中	取得の希望はあるが、 まだ着手できていない	取得の考えはない	分からない	その他	
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 割合	3 4.0%	2 2.7%	4 5.3%	56 74.7%	8 10.7%	2 2.7%	75 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 割合	4 1.0%	0 0.0%	18 4.3%	295 70.7%	97 23.3%	3 0.7%	417 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 割合	4 0.3%	2 0.1%	44 2.8%	984 61.9%	548 34.5%	8 0.5%	1590 100.0%
精神病院	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 1.5%	94 68.6%	39 28.5%	2 1.5%	137 100.0%
療養所（一般）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 62.1%	11 37.9%	0 0.0%	29 100.0%
療養所（結核）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所（有床）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	6 7.1%	45 52.9%	33 38.8%	1 1.2%	85 100.0%
診療所（無床）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	13 5.5%	125 53.2%	96 40.9%	1 0.4%	235 100.0%
検診センター	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	5 10.2%	28 57.1%	16 32.7%	0 0.0%	49 100.0%
健診センター	件数 割合	1 1.1%	0 0.0%	6 6.9%	47 54.0%	31 35.6%	2 2.3%	87 100.0%
歯科（病院）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科診療所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	件数 割合	1 3.1%	0 0.0%	2 6.3%	15 46.9%	9 28.1%	5 15.6%	32 100.0%
保健所	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	24 77.4%	4 12.9%	3 9.7%	31 100.0%
血液センター	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	6 46.2%	5 38.5%	13 100.0%
学校	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
衛生検査所	件数 割合	6 2.9%	1 0.5%	23 11.2%	105 51.2%	62 30.2%	8 3.9%	205 100.0%
製薬会社	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%	1 10.0%	4 40.0%	10 100.0%
医療機器会社	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	6 33.3%	6 33.3%	5 27.8%	18 100.0%
その他	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 2.9%	34 49.3%	24 34.8%	9 13.0%	69 100.0%
合計	件数 割合	19 0.6%	5 0.2%	126 4.1%	1883 61.1%	992 32.2%	58 1.9%	3083 100.0%

<設置母体と問21のクロス表>

【C】 設置母体		【問26】 “CAP” について、貴施設の現状を教えてください。(単一回答)						合計
		既に取得済み	取得に向けて、 現在準備中	取得の希望はあるが、 まだ着手できていない	取得の考えはない	分からない	その他	
文部科学省Ⅰ(大学)	件数 割合	1 3.4%	1 3.4%	1 3.4%	20 69.0%	4 13.8%	2 6.9%	29 100.0%
文部科学省Ⅱ(その他)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
厚生労働省Ⅰ(大学)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ(その他)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	3 3.6%	69 82.1%	12 14.3%	0 0.0%	84 100.0%
労働者健康安全機構	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	18 85.7%	2 9.5%	0 0.0%	21 100.0%
その他の省庁	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 60.0%	4 40.0%	0 0.0%	10 100.0%
都道府県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	3 1.8%	123 73.7%	35 21.0%	6 3.6%	167 100.0%
市町村	件数 割合	1 0.3%	0 0.0%	13 3.8%	233 67.7%	94 27.3%	3 0.9%	344 100.0%
日赤(赤十字)	件数 割合	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	51 72.9%	12 17.1%	5 7.1%	70 100.0%
済生会	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 3.7%	35 64.8%	16 29.6%	1 1.9%	54 100.0%
北海道社会事業協会	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
厚生連	件数 割合	1 1.4%	0 0.0%	5 6.8%	51 68.9%	16 21.6%	1 1.4%	74 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 73.1%	7 26.9%	0 0.0%	26 100.0%
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
JCHO(旧 船員保険会)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 61.5%	4 30.8%	1 7.7%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 66.7%	7 33.3%	0 0.0%	21 100.0%
国民健康保険組合	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	4 100.0%
公益法人	件数 割合	1 0.5%	0 0.0%	11 5.2%	133 62.7%	66 31.1%	1 0.5%	212 100.0%
医療法人	件数 割合	6 0.5%	2 0.2%	47 3.6%	735 56.8%	495 38.2%	10 0.8%	1295 100.0%
学校法人	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 3.4%	46 79.3%	9 15.5%	1 1.7%	58 100.0%
会社	件数 割合	6 2.7%	1 0.4%	22 9.9%	107 48.0%	64 28.7%	23 10.3%	223 100.0%
その他の法人	件数 割合	1 0.4%	1 0.4%	9 4.0%	132 58.9%	79 35.3%	2 0.9%	224 100.0%
個人	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	45 53.6%	38 45.2%	0 0.0%	84 100.0%
厚生労働省	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 85.7%	3 14.3%	0 0.0%	21 100.0%
文部科学省	件数 割合	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
三公社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	8 100.0%
その他(社)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	5 27.8%	9 50.0%	2 11.1%	18 100.0%
未回答	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	件数 割合	19 0.6%	5 0.2%	126 4.1%	1883 61.1%	992 32.2%	58 1.9%	3083 100.0%

【問26-2】問26で「4. 取得の考えはない」と回答した施設の方に質問
CAP取得の考えがないのはどのような理由からですか。（複数回答可）



	件数	割合
①費用面（コストが高い）	901	47.8%
②部署内の理解が得られない（必要性を理解してもらえない）	164	8.7%
③病院幹部（事務長・院長・副院长等）の理解が得られない	340	18.1%
④“CAP”を取得する意義自体がない	706	37.5%
⑤分からない	311	16.5%
⑥その他	129	6.9%
回答施設数	1,883	

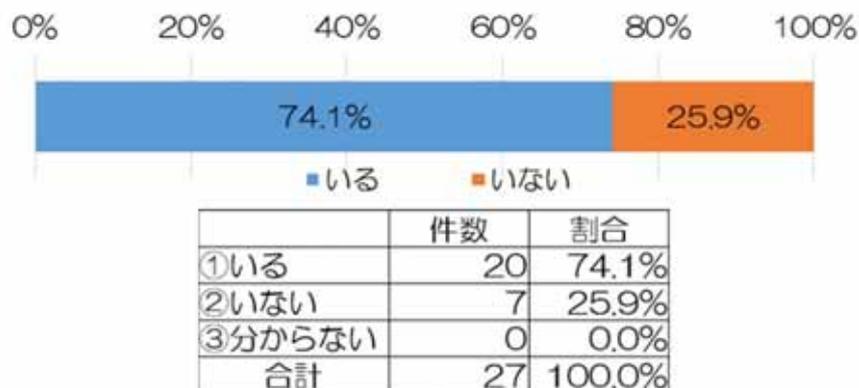
複数選択回答パターン

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	441	23.4%
[1][2]	37	2.0%
[1][2][3]	51	2.7%
[1][2][3][4]	27	1.4%
[1][2][3][4][5]	1	0.1%
[1][2][3][5]	2	0.1%
[1][2][4]	11	0.6%
[1][2][6]	1	0.1%
[1][3]	113	6.0%
[1][3][4]	43	2.3%
[1][3][4][5]	1	0.1%
[1][3][6]	1	0.1%
[1][4]	132	7.0%
[1][4][5]	1	0.1%
[1][4][6]	1	0.1%
[1][5]	20	1.1%
[1][6]	18	1.0%
[2]	25	1.3%
[2][3]	4	0.2%
[2][4]	4	0.2%
[2][5]	1	0.1%
[3]	82	4.4%
[3][4]	15	0.8%
[4]	460	24.4%
[4][5]	6	0.3%
[4][6]	4	0.2%
[5]	277	14.7%
[5][6]	2	0.1%
[6]	102	5.4%

未取得の理由としては費用面と取得の意義を問う施設が多い傾向であった。

V 貴施設における医療安全体制について

【問27】 貴院において、医療安全推進室に臨床検査技師（専任）は配属されていますか。

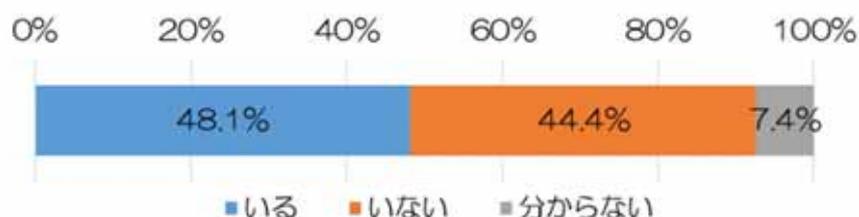


「17：医療安全推進室」に0.1名以上に入力した施設数への回答依頼の結果。7割以上がいるとの回答だった。

<施設大分類と問27のクロス表>

【A】 施設大分類	【問27】 貴院において、医療安全推進室に臨床検査技師（専任）は配属されていますか。	【問27】 貴院において、医療安全推進室に臨床検査技師（専任）は配属されていますか。			合計
		いる	いない	分からない	
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 割合	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%	7 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 割合	14 70.0%	6 30.0%	0 0.0%	20 100.0%
精神病院	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
療養所（一般）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
療養所（結核）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
診療所（有床）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
診療所（無床）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
検診センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
健診センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科（病院）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科診療所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
保健所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
血液センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
学校	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
衛生検査所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
製薬会社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
医療機器会社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
その他	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
合計	件数 割合	20 74.1%	7 25.9%	0 0.0%	27 100.0%

【問28】貴施設に“医療安全対策加算に関する施設基準に準ずる研修”を修了した臨床検査技師の医療安全管理者はいますか。



	件数	割合
①いる	13	48.1%
②いない	12	44.4%
③分からない	2	7.4%
合計	27	100.0%

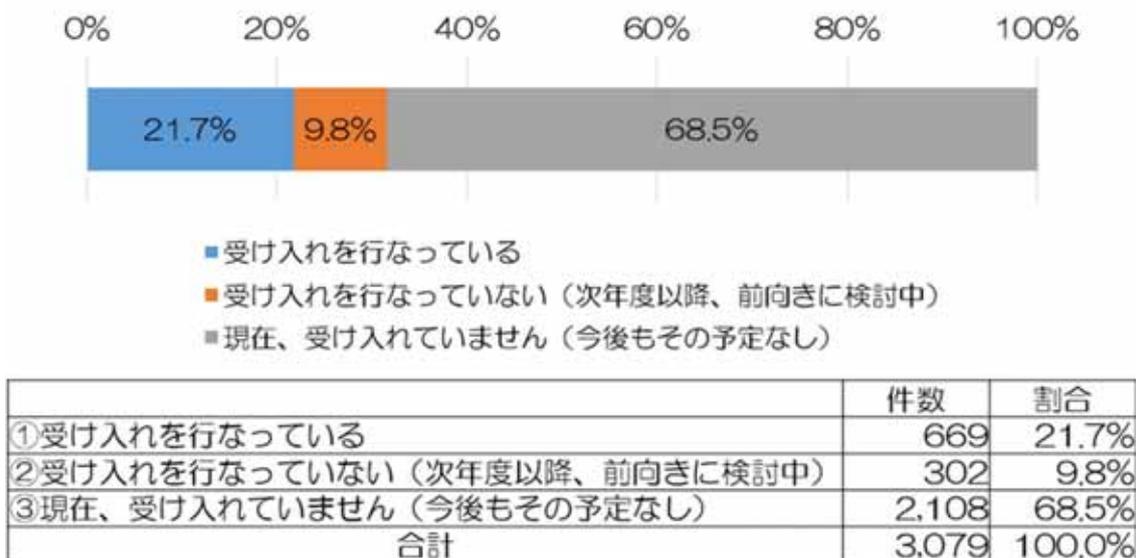
「17：医療安全推進室」に0.1名以上に入力した施設からの回答。医療安全管理者講習を受講された方はおよそ半数だった。

<施設大分類と問28のクロス表>

【A】 施設大分類	【問28】貴施設に“医療安全対策加算に関する施設基準に準ずる研修”を修了した臨床検査技師の医療安全管理者はいますか。			
	いる	いない	分からない	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	0	0	0	0
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	4	3	0	7
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	9	9	2	20
精神病院	0	0	0	0
療養所（一般）	0	0	0	0
療養所（結核）	0	0	0	0
診療所（有床）	0	0	0	0
診療所（無床）	0	0	0	0
検診センター	0	0	0	0
健診センター	0	0	0	0
歯科（病院）	0	0	0	0
歯科診療所	0	0	0	0
研究所	0	0	0	0
保健所	0	0	0	0
血液センター	0	0	0	0
学校	0	0	0	0
衛生検査所	0	0	0	0
製薬会社	0	0	0	0
医療機器会社	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	13	12	2	27
	48.1%	44.4%	7.4%	100.0%

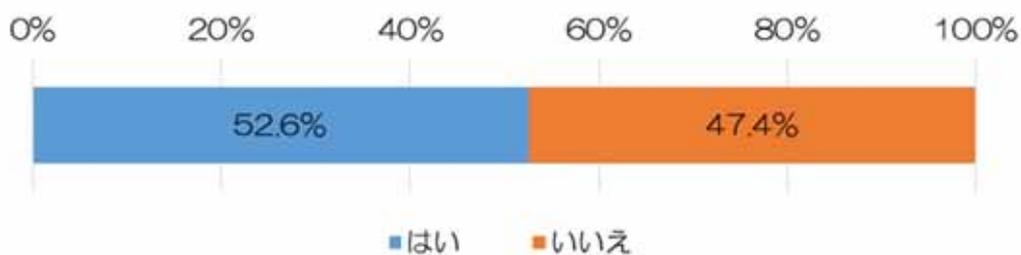
VI 貴施設（部署）における臨地実習の受け入れ体制について

【問29】 “臨地実習” として学生を受け入れていますか。（単一回答）



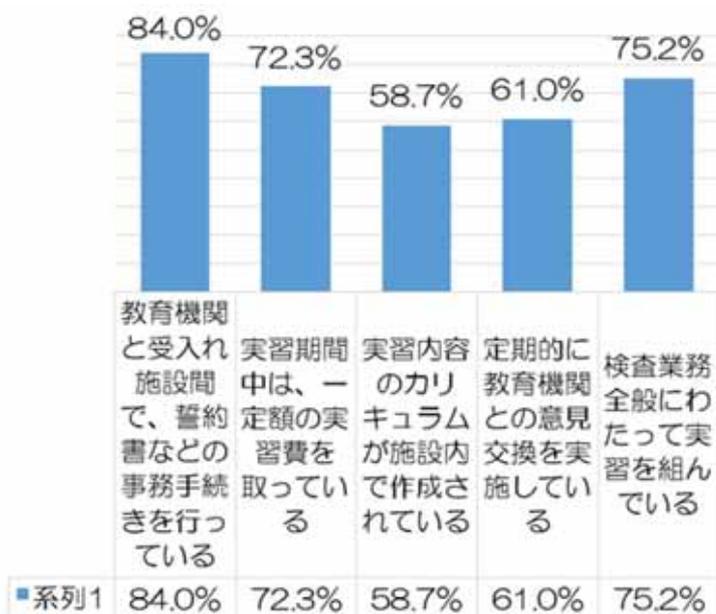
現在受け入れを行っているのは21.7%との結果であった。

【問29-2】 問29で「1. 受け入れを行なっている」と回答した施設の方に質問
臨地実習におけるカリキュラムは“日臨技臨地実習ガイドライン”に準じていますか。（単一回答）



日臨技のガイドラインに沿った内容で実施している施設が52.7%との回答であった。

【問29-3】問29で「1. 受け入れを行なっている」と回答した施設の方に質問
貴施設において当てはまるものを選んでください。（複数回答可）



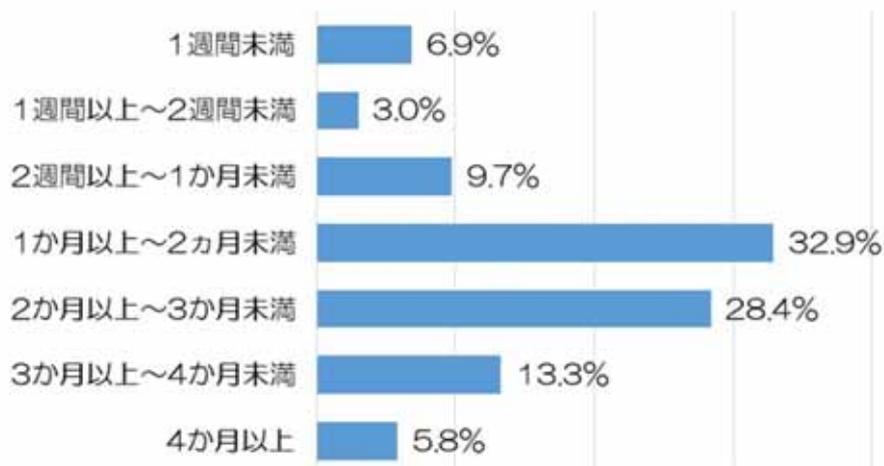
	件数	割合
①教育機関と受入れ施設間で、誓約書などの事務手続きを行っている	562	84.0%
②実習期間中は、一定額の実習費を取っている	484	72.3%
③実習内容のカリキュラムが施設内で作成されている	393	58.7%
④定期的に教育機関との意見交換を実施している	408	61.0%
⑤検査業務全般にわたって実習を組んでいる	503	75.2%
回答施設数	669	

複数選択回答パターン

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	50	7.5%
[1][2]	9	1.3%
[1][2][3]	10	1.5%
[1][2][3][4]	11	1.6%
[1][2][3][4][5]	240	35.9%
[1][2][3][5]	41	6.1%
[1][2][4]	16	2.4%
[1][2][4][5]	67	10.0%
[1][2][5]	43	6.4%
[1][3]	12	1.8%
[1][3][4]	4	0.6%
[1][3][4][5]	19	2.8%
[1][3][5]	9	1.3%
[1][4]	5	0.7%
[1][4][5]	10	1.5%
[1][5]	16	2.4%
[2]	9	1.3%
[2][3]	1	0.1%
[2][3][4]	2	0.3%
[2][3][4][5]	4	0.6%
[2][3][5]	9	1.3%
[2][4]	7	1.0%
[2][4][5]	7	1.0%
[2][5]	8	1.2%
[3]	20	3.0%
[3][4]	1	0.1%
[3][4][5]	5	0.7%
[3][5]	5	0.7%
[4]	9	1.3%
[4][5]	1	0.1%
[5]	19	2.8%

誓約書などの事務手続きを行っている施設が8割を超える。また設問のすべてを実施している施設は35.9%であった。

【問29-4】 問29で「1. 受け入れを行なっている」と回答した場合、貴施設における平均受け入れ期間（開院日のみ）を選んでください。（単一回答）



	件数	割合
①1週間未満	46	6.9%
②1週間以上～2週間未満	20	3.0%
③2週間以上～1か月未満	65	9.7%
④1か月以上～2ヵ月未満	220	32.9%
⑤2か月以上～3か月未満	190	28.4%
⑥3か月以上～4か月未満	89	13.3%
⑦4か月以上	39	5.8%
合計	669	100.0%

受け入れを行っている期間は1～2か月未満が最も多く、次いで2～3か月との結果であった。

Ⅶ 貴施設における臨床検査技師の業務認証、業務拡大について
 【問30】 チーム医療の一環として“検査説明・相談業務”を行っていますか。(単一回答)



行っている施設は8.8%、準備中は20.2%であった。設立母体別では都道府県に所属する施設に於いて実施している傾向が見られた。また稼働病床数が700床を超える施設では実施傾向が高い傾向が見られた。

<施設大分類と問30のクロス表>

【A】 施設大分類	【問30】 チーム医療の一環として“検査説明・相談業務”を行っていますか。(単一回答)			
	行っている	行っていない(準備中)	行っていない(その予定はない)	合計
一般病院Ⅰ(特定機能病院)	件数 9 割合 12.0%	件数 16 割合 21.3%	件数 50 割合 66.7%	件数 75 割合 100.0%
一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	件数 51 割合 12.3%	件数 98 割合 23.6%	件数 267 割合 64.2%	件数 416 割合 100.0%
一般病院Ⅲ(機能指定無し)	件数 128 割合 8.1%	件数 330 割合 20.8%	件数 1130 割合 71.2%	件数 1588 割合 100.0%
精神病院	件数 7 割合 5.1%	件数 18 割合 13.0%	件数 113 割合 81.9%	件数 138 割合 100.0%
療養所(一般)	件数 1 割合 3.4%	件数 4 割合 13.8%	件数 24 割合 82.8%	件数 29 割合 100.0%
療養所(結核)	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 100.0%	件数 1 割合 100.0%
診療所(有床)	件数 7 割合 8.2%	件数 20 割合 23.5%	件数 58 割合 68.2%	件数 85 割合 100.0%
診療所(無床)	件数 33 割合 14.0%	件数 44 割合 18.7%	件数 158 割合 67.2%	件数 235 割合 100.0%
検診センター	件数 0 割合 0.0%	件数 8 割合 16.3%	件数 41 割合 83.7%	件数 49 割合 100.0%
健診センター	件数 3 割合 3.4%	件数 9 割合 10.3%	件数 75 割合 86.2%	件数 87 割合 100.0%
歯科(病院)	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
歯科診療所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
研究所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
保健所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
血液センター	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
学校	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
衛生検査所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
製薬会社	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
医療機器会社	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
その他	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
合計	件数 239 割合 8.8%	件数 547 割合 20.2%	件数 1917 割合 70.9%	件数 2703 割合 100.0%

<設置母体と問30のクロス表>

【C】 設置母体		【問30】 チーム医療の一環として“検査説明・相談業務”を行っていますか。(単一回答)			合計
		行っている	行っていない (準備中)	行っていない (その予定はない)	
文部科学省Ⅰ(大学)	件数 割合	1 4.0%	5 20.0%	19 76.0%	25 100.0%
文部科学省Ⅱ(その他)	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
厚生労働省Ⅰ(大学)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ(その他)	件数 割合	9 11.0%	16 19.5%	57 69.5%	82 100.0%
労働者健康安全機構	件数 割合	1 4.8%	7 33.3%	13 61.9%	21 100.0%
その他の省庁	件数 割合	1 10.0%	2 20.0%	7 70.0%	10 100.0%
都道府県	件数 割合	17 13.5%	21 16.7%	88 69.8%	126 100.0%
市町村	件数 割合	29 8.8%	67 20.4%	233 70.8%	329 100.0%
日赤(赤十字)	件数 割合	5 8.8%	11 19.3%	41 71.9%	57 100.0%
済生会	件数 割合	7 13.0%	10 18.5%	37 68.5%	54 100.0%
北海道社会事業協会	件数 割合	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	3 100.0%
厚生連	件数 割合	8 10.8%	19 25.7%	47 63.5%	74 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 割合	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	件数 割合	2 7.7%	6 23.1%	18 69.2%	26 100.0%
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	件数 割合	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	5 100.0%
JCHO(旧 船員保険会)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 割合	1 7.7%	4 30.8%	8 61.5%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 割合	3 14.3%	4 19.0%	14 66.7%	21 100.0%
国民健康保険組合	件数 割合	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	4 100.0%
公益法人	件数 割合	11 6.2%	34 19.1%	133 74.7%	178 100.0%
医療法人	件数 割合	100 7.9%	257 20.2%	914 71.9%	1271 100.0%
学校法人	件数 割合	6 10.3%	14 24.1%	38 65.5%	58 100.0%
会社	件数 割合	2 8.3%	7 29.2%	15 62.5%	24 100.0%
その他の法人	件数 割合	22 11.8%	36 19.3%	129 69.0%	187 100.0%
個人	件数 割合	11 13.6%	17 21.0%	53 65.4%	81 100.0%
厚生労働省	件数 割合	0 0.0%	3 14.3%	18 85.7%	21 100.0%
文部科学省	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	4 100.0%
三公社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 割合	0 0.0%	1 12.5%	7 87.5%	8 100.0%
その他(社)	件数 割合	0 0.0%	3 27.3%	8 72.7%	11 100.0%
未回答	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	件数 割合	239 8.8%	547 20.2%	1917 70.9%	2703 100.0%

<稼働病床数と問30のクロス表>

【D】 稼働病床数		【問30】 チーム医療の一環として“検査説明・相談業務”を行っていますか。(単一回答)			
		行っている	行っていない (準備中)	行っていない (その予定はない)	合計
0	件数	37	57	275	369
	割合	10.0%	15.4%	74.5%	100.0%
1~19	件数	8	23	68	99
	割合	8.1%	23.2%	68.7%	100.0%
20~99	件数	40	99	376	515
	割合	7.8%	19.2%	73.0%	100.0%
100~199	件数	48	160	501	709
	割合	6.8%	22.6%	70.7%	100.0%
200~299	件数	30	59	264	353
	割合	8.5%	16.7%	74.8%	100.0%
300~499	件数	48	104	286	438
	割合	11.0%	23.7%	65.3%	100.0%
500~699	件数	11	26	112	149
	割合	7.4%	17.4%	75.2%	100.0%
700~999	件数	14	13	27	54
	割合	25.9%	24.1%	50.0%	100.0%
1000以上	件数	3	6	8	17
	割合	17.6%	35.3%	47.1%	100.0%
合計	件数	239	547	1917	2703
	割合	8.8%	20.2%	70.9%	100.0%

【問30-2】 問30で「1. 行っている」と回答した場合、月に何名を対象に行っていますか。

<施設大分類と問30-2のクロス表>

【A】 施設大分類	回答数	最小	最大	平均	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	9	1	100	18.3	165
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	49	1	160	18.2	891
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	119	1	625	26.6	3,160
精神病院	7	1	25	8.9	62
療養所（一般）	1	30	30	30.0	30
療養所（結核）	0	—	—	—	—
診療所（有床）	7	2	500	88.9	622
診療所（無床）	33	1	1,000	65.7	2,169
検診センター	0	—	—	—	—
健診センター	3	1	100	35.3	106
歯科（病院）	0	—	—	—	—
歯科診療所	0	—	—	—	—
研究所	0	—	—	—	—
保健所	0	—	—	—	—
血液センター	0	—	—	—	—
学校	0	—	—	—	—
衛生検査所	0	—	—	—	—
製薬会社	0	—	—	—	—
医療機器会社	0	—	—	—	—
その他	0	—	—	—	—
全体	228	1	1,000	31.6	7,205

平均としては31.6%との回答であった。

【問31】 チーム医療の一環として“検体採取業務（咽頭・鼻腔拭い液、体表等）”を行っていますか。
 (単一回答)



	件数	割合
①行っている	653	24.2%
②行っていない(準備中)	286	10.6%
③行っていない(その予定はない)	1,764	65.3%
合計	2,703	100.0%

行っている施設が24.2%との回答であった。また700床以上の施設では実施する傾向が高い結果であった。

<施設大分類と問31のクロス表>

【A】 施設大分類	【問31】 チーム医療の一環として鼻腔・咽頭からの検体採取を行っていますか。(単一回答)			
	行っている	行っていない(準備中)	行っていない(その予定はない)	合計
一般病院Ⅰ(特定機能病院)	件数 6 割合 8.0%	件数 3 割合 4.0%	件数 66 割合 88.0%	件数 75 割合 100.0%
一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	件数 60 割合 14.4%	件数 43 割合 10.3%	件数 313 割合 75.2%	件数 416 割合 100.0%
一般病院Ⅲ(機能指定無し)	件数 402 割合 25.3%	件数 188 割合 11.8%	件数 998 割合 62.8%	件数 1588 割合 100.0%
精神病院	件数 58 割合 42.0%	件数 10 割合 7.2%	件数 70 割合 50.7%	件数 138 割合 100.0%
療養所(一般)	件数 6 割合 20.7%	件数 1 割合 3.4%	件数 22 割合 75.9%	件数 29 割合 100.0%
療養所(結核)	件数 1 割合 100.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 100.0%
診療所(有床)	件数 32 割合 37.6%	件数 9 割合 10.6%	件数 44 割合 51.8%	件数 85 割合 100.0%
診療所(無床)	件数 85 割合 36.2%	件数 29 割合 12.3%	件数 121 割合 51.5%	件数 235 割合 100.0%
検診センター	件数 2 割合 4.1%	件数 1 割合 2.0%	件数 46 割合 93.9%	件数 49 割合 100.0%
健診センター	件数 1 割合 1.1%	件数 2 割合 2.3%	件数 84 割合 96.6%	件数 87 割合 100.0%
歯科(病院)	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
歯科診療所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
研究所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
保健所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
血液センター	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
学校	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
衛生検査所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
製薬会社	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
医療機器会社	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
その他	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
合計	件数 653 割合 24.2%	件数 286 割合 10.6%	件数 1764 割合 65.3%	件数 2703 割合 100.0%

<設置母体と問31のクロス表>

【C】 設置母体		【問31】 チーム医療の一環として鼻腔・咽頭からの検体採取を行っていますか。(単一回答)			
		行っている	行っていない (準備中)	行っていない (その予定はない)	合計
文部科学省Ⅰ(大学)	件数 割合	1 4.0%	0 0.0%	24 96.0%	25 100.0%
文部科学省Ⅱ(その他)	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
厚生労働省Ⅰ(大学)	件数 割合	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ(その他)	件数 割合	8 9.8%	6 7.3%	68 82.9%	82 100.0%
労働者健康安全機構	件数 割合	1 4.8%	6 28.6%	14 66.7%	21 100.0%
その他の省庁	件数 割合	3 30.0%	3 30.0%	4 40.0%	10 100.0%
都道府県	件数 割合	15 11.9%	7 5.6%	104 82.5%	126 100.0%
市町村	件数 割合	60 18.2%	32 9.7%	237 72.0%	329 100.0%
日赤(赤十字)	件数 割合	14 24.6%	6 10.5%	37 64.9%	57 100.0%
済生会	件数 割合	10 18.5%	8 14.8%	36 66.7%	54 100.0%
北海道社会事業協会	件数 割合	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	3 100.0%
厚生連	件数 割合	13 17.6%	10 13.5%	51 68.9%	74 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 割合	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	件数 割合	1 3.8%	7 26.9%	18 69.2%	26 100.0%
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	5 100.0%
JCHO(旧 船員保険会)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 割合	4 30.8%	0 0.0%	9 69.2%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 割合	2 9.5%	3 14.3%	16 76.2%	21 100.0%
国民健康保険組合	件数 割合	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	4 100.0%
公益法人	件数 割合	31 17.4%	24 13.5%	123 69.1%	178 100.0%
医療法人	件数 割合	410 32.3%	144 11.3%	717 56.4%	1271 100.0%
学校法人	件数 割合	2 3.4%	2 3.4%	54 93.1%	58 100.0%
会社	件数 割合	2 8.3%	7 29.2%	15 62.5%	24 100.0%
その他の法人	件数 割合	36 19.3%	11 5.9%	140 74.9%	187 100.0%
個人	件数 割合	11 13.6%	17 21.0%	53 65.4%	81 100.0%
厚生労働省	件数 割合	1 4.8%	1 4.8%	19 90.5%	21 100.0%
文部科学省	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	4 100.0%
三公社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 割合	1 12.5%	1 12.5%	6 75.0%	8 100.0%
その他(社)	件数 割合	2 18.2%	2 18.2%	7 63.6%	11 100.0%
未回答	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	件数 割合	631 23.3%	300 11.1%	1772 65.6%	2703 100.0%

<稼働病床数と問31のクロス表>

【D】 稼働病床数		【問31】 チーム医療の一環として鼻腔・咽頭からの検体採取を行っていますか。(単一回答)			
		行っている	行っていない (準備中)	行っていない (その予定はない)	合計
0	件数 割合	37 10.0%	57 15.4%	275 74.5%	369 100.0%
1~19	件数 割合	8 8.1%	23 23.2%	68 68.7%	99 100.0%
20~99	件数 割合	40 7.8%	99 19.2%	376 73.0%	515 100.0%
100~199	件数 割合	48 6.8%	160 22.6%	501 70.7%	709 100.0%
200~299	件数 割合	30 8.5%	59 16.7%	264 74.8%	353 100.0%
300~499	件数 割合	48 11.0%	104 23.7%	286 65.3%	438 100.0%
500~699	件数 割合	11 7.4%	26 17.4%	112 75.2%	149 100.0%
700~999	件数 割合	14 25.9%	13 24.1%	27 50.0%	54 100.0%
1000以上	件数 割合	3 17.6%	6 35.3%	8 47.1%	17 100.0%
合計	件数 割合	239 8.8%	547 20.2%	1917 70.9%	2703 100.0%

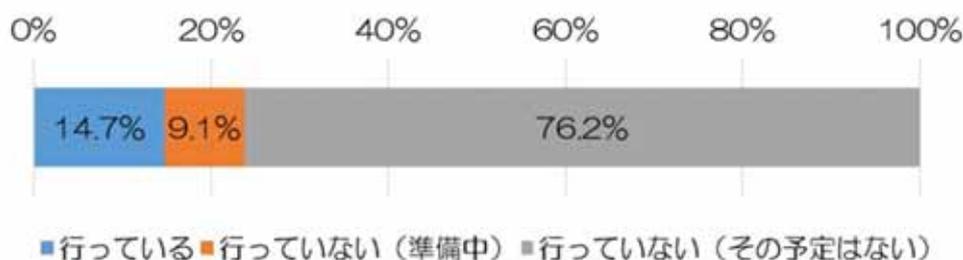
【問31-2】 問31で「1. 行っている」と回答した場合、月に何名を対象に行っていますか。

<施設大分類と問31-2のクロス表>

【A】 施設大分類	回答数	最小	最大	平均	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	6	5	40	16.7	100
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	60	1	200	35.2	2,109
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	400	1	800	29.7	11,889
精神病院	57	1	100	10.6	602
療養所（一般）	6	3	20	8.0	48
療養所（結核）	1	60	60	60.0	60
診療所（有床）	32	1	150	25.6	819
診療所（無床）	82	1	200	17.8	1,459
検診センター	2	1	20	10.5	21
健診センター	1	2	2	2.0	2
歯科（病院）	0	—	—	—	—
歯科診療所	0	—	—	—	—
研究所	0	—	—	—	—
保健所	0	—	—	—	—
血液センター	0	—	—	—	—
学校	0	—	—	—	—
衛生検査所	0	—	—	—	—
製薬会社	0	—	—	—	—
医療機器会社	0	—	—	—	—
その他	0	—	—	—	—
全体	647	1	800	26.4	17,109

平均では26.4人との結果であった。

【問32】 チーム医療の一環として皮膚等の検体採取を行っていますか。(単一回答)



	件数	割合
①行っている	397	14.7%
②行っていない（準備中）	246	9.1%
③行っていない（その予定はない）	2,060	76.2%
合計	2,703	100.0%

行っているとの回答が14.7%であった。また、比較的稼働病床数の少ない施設において実施している傾向が見られた。

<施設大分類と問32のクロス表>

【A】 施設大分類	【問32】 チーム医療の一環として皮膚等の検体採取を行っていますか。(単一回答)			
	行っている	行っていない（準備中）	行っていない（その予定はない）	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 1 割合 1.3%	件数 3 割合 4.0%	件数 71 割合 94.7%	件数 75 割合 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 22 割合 5.3%	件数 27 割合 6.5%	件数 367 割合 88.2%	件数 416 割合 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 264 割合 16.6%	件数 167 割合 10.5%	件数 1157 割合 72.9%	件数 1588 割合 100.0%
精神病院	件数 49 割合 35.5%	件数 10 割合 7.2%	件数 79 割合 57.2%	件数 138 割合 100.0%
療養所（一般）	件数 6 割合 20.7%	件数 3 割合 10.3%	件数 20 割合 69.0%	件数 29 割合 100.0%
療養所（結核）	件数 1 割合 100.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 100.0%
診療所（有床）	件数 15 割合 17.6%	件数 11 割合 12.9%	件数 59 割合 69.4%	件数 85 割合 100.0%
診療所（無床）	件数 38 割合 16.2%	件数 22 割合 9.4%	件数 175 割合 74.5%	件数 235 割合 100.0%
検診センター	件数 0 割合 0.0%	件数 2 割合 4.1%	件数 47 割合 95.9%	件数 49 割合 100.0%
健診センター	件数 1 割合 1.1%	件数 1 割合 1.1%	件数 85 割合 97.7%	件数 87 割合 100.0%
歯科（病院）	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
歯科診療所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
研究所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
保健所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
血液センター	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
学校	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
衛生検査所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
製薬会社	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
医療機器会社	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
その他	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
合計	件数 397 割合 14.7%	件数 246 割合 9.1%	件数 2060 割合 76.2%	件数 2703 割合 100.0%

<設置母体と問32のクロス表>

【C】 設置母体		【問32】 チーム医療の一環として皮膚等の検体採取を行っていますか。 (単一回答)			
		行っている	行っていない (準備中)	行っていない (その予定はない)	合計
文部科学省Ⅰ(大学)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	25 100.0%	25 100.0%
文部科学省Ⅱ(その他)	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —
厚生労働省Ⅰ(大学)	件数 割合	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ(その他)	件数 割合	0 0.0%	7 8.5%	75 91.5%	82 100.0%
労働者健康安全機構	件数 割合	1 4.8%	3 14.3%	17 81.0%	21 100.0%
その他の省庁	件数 割合	1 10.0%	1 10.0%	8 80.0%	10 100.0%
都道府県	件数 割合	7 5.6%	5 4.0%	114 90.5%	126 100.0%
市町村	件数 割合	41 12.5%	21 6.4%	267 81.2%	329 100.0%
日赤(赤十字)	件数 割合	5 8.8%	5 8.8%	47 82.5%	57 100.0%
済生会	件数 割合	7 13.0%	6 11.1%	41 75.9%	54 100.0%
北海道社会事業協会	件数 割合	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
厚生連	件数 割合	3 4.1%	7 9.5%	64 86.5%	74 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 割合	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	3 100.0%
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	件数 割合	1 3.8%	2 7.7%	23 88.5%	26 100.0%
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	5 100.0%
JCHO(旧 船員保険会)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 割合	1 7.7%	1 7.7%	11 84.6%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 割合	1 4.8%	1 4.8%	19 90.5%	21 100.0%
国民健康保険組合	件数 割合	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	4 100.0%
公益法人	件数 割合	14 7.9%	20 11.2%	144 80.9%	178 100.0%
医療法人	件数 割合	275 21.6%	146 11.5%	850 66.9%	1271 100.0%
学校法人	件数 割合	1 1.7%	1 1.7%	56 96.6%	58 100.0%
会社	件数 割合	2 8.3%	1 4.2%	21 87.5%	24 100.0%
その他の法人	件数 割合	17 9.1%	7 3.7%	163 87.2%	187 100.0%
個人	件数 割合	13 16.0%	5 6.2%	63 77.8%	81 100.0%
厚生労働省	件数 割合	0 0.0%	1 4.8%	20 95.2%	21 100.0%
文部科学省	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	4 100.0%
三公社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 #DIV/0!
その他(公)	件数 割合	1 12.5%	1 12.5%	6 75.0%	8 100.0%
その他(社)	件数 割合	2 18.2%	1 9.1%	8 72.7%	11 100.0%
未回答	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	件数 割合	397 14.7%	246 9.1%	2060 76.2%	2703 100.0%

<稼働病床数と問32のクロス表>

【D】 稼働病床数		【問32】 チーム医療の一環として皮膚等の検体採取を行っていますか。 (単一回答)			
		行っている	行っていない (準備中)	行っていない (その予定はない)	合計
0	件数	41	26	302	369
	割合	11.1%	7.0%	81.8%	100.0%
1~19	件数	19	12	68	99
	割合	19.2%	12.1%	68.7%	100.0%
20~99	件数	112	59	344	515
	割合	21.7%	11.5%	66.8%	100.0%
100~199	件数	138	82	489	709
	割合	19.5%	11.6%	69.0%	100.0%
200~299	件数	52	24	277	353
	割合	14.7%	6.8%	78.5%	100.0%
300~499	件数	30	30	378	438
	割合	6.8%	6.8%	86.3%	100.0%
500~699	件数	4	9	136	149
	割合	2.7%	6.0%	91.3%	100.0%
700~999	件数	1	3	50	54
	割合	1.9%	5.6%	92.6%	100.0%
1000以上	件数	0	1	16	17
	割合	0.0%	5.9%	94.1%	100.0%
合計	件数	397	246	2060	2703
	割合	14.7%	9.1%	76.2%	100.0%

【問32-2】 問32で「1. 行っている」と回答した場合、月に何名を対象に行っていますか。

<施設大分類と問32-2のクロス表>

【A】 施設大分類	回答数	最小	最大	平均	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	1	8	8	8.0	8
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	22	1	15	5.2	114
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	252	1	100	5.4	1,355
精神病院	47	1	30	5.3	249
療養所（一般）	6	1	5	2.5	15
療養所（結核）	1	1	1	1.0	1
診療所（有床）	15	1	30	4.7	71
診療所（無床）	35	1	200	8.9	310
検診センター	0	—	—	—	—
健診センター	1	2	2	2.0	2
歯科（病院）	0	—	—	—	—
歯科診療所	0	—	—	—	—
研究所	0	—	—	—	—
保健所	0	—	—	—	—
血液センター	0	—	—	—	—
学校	0	—	—	—	—
衛生検査所	0	—	—	—	—
製薬会社	0	—	—	—	—
医療機器会社	0	—	—	—	—
その他	0	—	—	—	—
全体	380	1	200	5.6	2,125

月平均としては5.6名であった。

【問33】 チーム医療の一環として肛門からの検体採取を行っていますか。(単一回答)



	件数	割合
①行っている	97	3.6%
②行っていない(準備中)	202	7.5%
③行っていない(その予定はない)	2,404	88.9%
合計	2,703	100.0%

実施している施設が3.6%であり、ほとんどの施設では実施していない傾向にあった。

<施設大分類と問33のクロス表>

【A】 施設大分類	【問33】 チーム医療の一環として肛門からの検体採取を行っていますか。(単一回答)			
	行っている	行っていない(準備中)	行っていない(その予定はない)	合計
一般病院Ⅰ(特定機能病院)	件数 2 割合 2.7%	件数 3 割合 4.0%	件数 70 割合 93.3%	件数 75 割合 100.0%
一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	件数 3 割合 0.7%	件数 26 割合 6.3%	件数 387 割合 93.0%	件数 416 割合 100.0%
一般病院Ⅲ(機能指定無し)	件数 64 割合 4.0%	件数 134 割合 8.4%	件数 1390 割合 87.5%	件数 1588 割合 100.0%
精神病院	件数 12 割合 8.7%	件数 10 割合 7.2%	件数 116 割合 84.1%	件数 138 割合 100.0%
療養所(一般)	件数 0 割合 0.0%	件数 2 割合 6.9%	件数 27 割合 93.1%	件数 29 割合 100.0%
療養所(結核)	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 100.0%	件数 1 割合 100.0%
診療所(有床)	件数 6 割合 7.1%	件数 9 割合 10.6%	件数 70 割合 82.4%	件数 85 割合 100.0%
診療所(無床)	件数 10 割合 4.3%	件数 17 割合 7.2%	件数 208 割合 88.5%	件数 235 割合 100.0%
検診センター	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 2.0%	件数 48 割合 98.0%	件数 49 割合 100.0%
健診センター	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 87 割合 100.0%	件数 87 割合 100.0%
歯科(病院)	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
歯科診療所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
研究所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
保健所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
血液センター	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
学校	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
衛生検査所	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
製薬会社	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
医療機器会社	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
その他	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
合計	件数 97 割合 3.6%	件数 202 割合 7.5%	件数 2404 割合 88.9%	件数 2703 割合 100.0%

<設置母体と問33のクロス表>

【C】 設置母体		【問33】 チーム医療の一環として肛門からの検体採取を行っていますか。(単一回答)			合計
		行っている	行っていない (準備中)	行っていない (その予定はない)	
文部科学省Ⅰ(大学)	件数	0	0	25	25
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
文部科学省Ⅱ(その他)	件数	0	0	0	0
	割合	—	—	—	—
厚生労働省Ⅰ(大学)	件数	0	0	2	2
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
厚生労働省Ⅱ(その他)	件数	0	4	78	82
	割合	0.0%	4.9%	95.1%	100.0%
労働者健康安全機構	件数	0	2	19	21
	割合	0.0%	9.5%	90.5%	100.0%
その他の省庁	件数	0	1	9	10
	割合	0.0%	10.0%	90.0%	100.0%
都道府県	件数	0	3	123	126
	割合	0.0%	2.4%	97.6%	100.0%
市町村	件数	7	19	303	329
	割合	2.1%	5.8%	92.1%	100.0%
日赤(赤十字)	件数	1	2	54	57
	割合	1.8%	3.5%	94.7%	100.0%
済生会	件数	2	3	49	54
	割合	3.7%	5.6%	90.7%	100.0%
北海道社会事業協会	件数	0	0	3	3
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
厚生連	件数	1	5	68	74
	割合	1.4%	6.8%	91.9%	100.0%
国民健康保険団体連合会	件数	0	2	1	3
	割合	0.0%	66.7%	33.3%	100.0%
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	件数	0	1	25	26
	割合	0.0%	3.8%	96.2%	100.0%
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	件数	0	0	5	5
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
JCHO(旧 船員保険会)	件数	0	0	4	4
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数	0	1	12	13
	割合	0.0%	7.7%	92.3%	100.0%
共済組合及びその連合会	件数	0	1	20	21
	割合	0.0%	4.8%	95.2%	100.0%
国民健康保険組合	件数	0	1	3	4
	割合	0.0%	25.0%	75.0%	100.0%
公益法人	件数	1	11	166	178
	割合	0.6%	6.2%	93.3%	100.0%
医療法人	件数	74	129	1068	1271
	割合	5.8%	10.1%	84.0%	100.0%
学校法人	件数	0	0	58	58
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
会社	件数	1	1	22	24
	割合	4.2%	4.2%	91.7%	100.0%
その他の法人	件数	5	6	176	187
	割合	2.7%	3.2%	94.1%	100.0%
個人	件数	4	6	71	81
	割合	4.9%	7.4%	87.7%	100.0%
厚生労働省	件数	0	0	21	21
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
文部科学省	件数	0	0	4	4
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
三公社	件数	0	0	0	0
	割合	—	—	—	—
その他(公)	件数	0	2	6	8
	割合	0.0%	25.0%	75.0%	100.0%
その他(社)	件数	1	2	8	11
	割合	9.1%	18.2%	72.7%	100.0%
未回答	件数	0	0	1	1
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
合計	件数	97	202	2404	2703
	割合	3.6%	7.5%	88.9%	100.0%

<稼働病床数と問33のクロス表>

【D】 稼働病床数		【問33】 チーム医療の一環として肛門からの検体採取を行っていますか。(単一回答)			
		行っている	行っていない (準備中)	行っていない (その予定はない)	合計
0	件数 割合	11 3.0%	19 5.1%	339 91.9%	369 100.0%
1~19	件数 割合	6 6.1%	9 9.1%	84 84.8%	99 100.0%
20~99	件数 割合	35 6.8%	46 8.9%	434 84.3%	515 100.0%
100~199	件数 割合	28 3.9%	74 10.4%	607 85.6%	709 100.0%
200~299	件数 割合	11 3.1%	22 6.2%	320 90.7%	353 100.0%
300~499	件数 割合	6 1.4%	21 4.8%	411 93.8%	438 100.0%
500~699	件数 割合	0 0.0%	9 6.0%	140 94.0%	149 100.0%
700~999	件数 割合	0 0.0%	1 1.9%	53 98.1%	54 100.0%
1000以上	件数 割合	0 0.0%	1 5.9%	16 94.1%	17 100.0%
合計	件数 割合	97 3.6%	202 7.5%	2404 88.9%	2703 100.0%

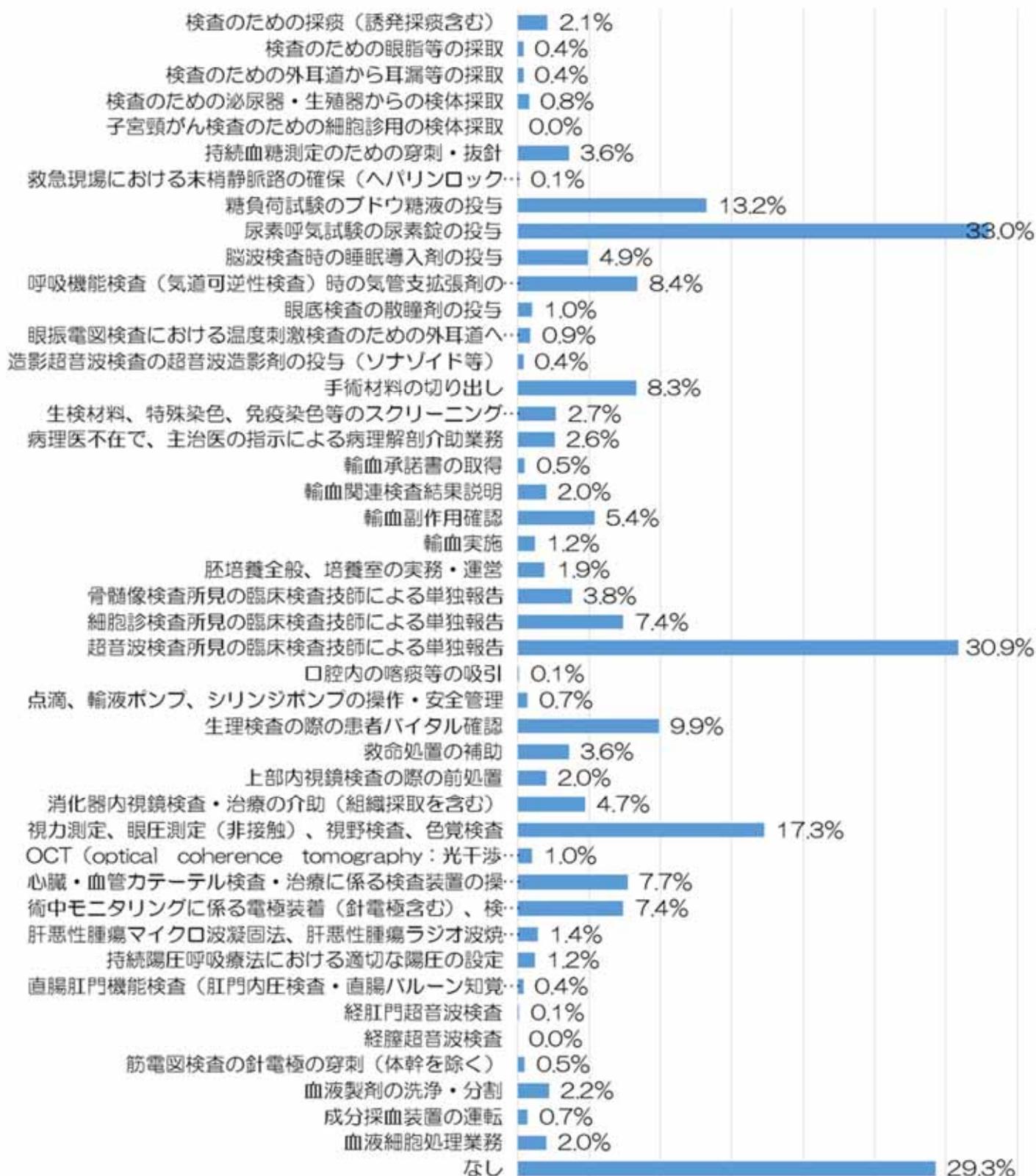
【問33-2】 問33で「1. 行っている」と回答した場合、月に何名を対象に行っていますか。

<施設大分類と問33-2のクロス表>

【A】 施設大分類	回答数	最小	最大	平均	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	2	1	1	1.0	2
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	3	1	19	8.3	25
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	58	1	45	3.0	174
精神病院	9	1	5	1.6	14
療養所（一般）	0	—	—	—	—
療養所（結核）	0	—	—	—	—
診療所（有床）	5	1	10	2.8	14
診療所（無床）	10	1	20	3.7	37
検診センター	0	—	—	—	—
健診センター	0	—	—	—	—
歯科（病院）	0	—	—	—	—
歯科診療所	0	—	—	—	—
研究所	0	—	—	—	—
保健所	0	—	—	—	—
血液センター	0	—	—	—	—
学校	0	—	—	—	—
衛生検査所	0	—	—	—	—
製薬会社	0	—	—	—	—
医療機器会社	0	—	—	—	—
その他	0	—	—	—	—
全体	87	1	45	3.1	266

月平均3.1名との結果であった。

【問34】 下記の項目で、臨床検査技師がすでに実施している項目はありますか。（複数回答可）



	件数	割合
01：検査のための採痰（誘発採痰含む）	56	2.1%
02：検査のための眼脂等の採取	10	0.4%
03：検査のための外耳道から耳漏等の採取	12	0.4%
04：検査のための泌尿器・生殖器からの検体採取	22	0.8%
05：子宮頸がん検査のための細胞診用の検体採取	1	0.0%
06：持続血糖測定のための穿刺・抜針	98	3.6%
07：救急現場における末梢静脈路の確保（ヘパリンロック含む）	3	0.1%
08：糖負荷試験のブドウ糖液の投与	356	13.2%
09：尿素呼気試験の尿素錠の投与	891	33.0%
10：脳波検査時の睡眠導入剤の投与	132	4.9%
11：呼吸機能検査（気道可逆性検査）時の気管支拡張剤の投与	228	8.4%
12：眼底検査の散瞳剤の投与	27	1.0%
13：眼振電図検査における温度刺激検査のための外耳道への温令水の注入	24	0.9%
14：造影超音波検査の超音波造影剤の投与（ソナゾイド等）	12	0.4%
15：手術材料の切り出し	225	8.3%
16：生検材料、特殊染色、免疫染色等のスクリーニング（所見の下書きの作成）	73	2.7%
17：病理医不在で、主治医の指示による病理解剖介助業務	70	2.6%
18：輸血承諾書の取得	14	0.5%
19：輸血関連検査結果説明	55	2.0%
20：輸血副作用確認	146	5.4%
21：輸血実施	33	1.2%
22：胚培養全般、培養室の実務・運営	50	1.9%
23：骨髄像検査所見の臨床検査技師による単独報告	102	3.8%
24：細胞診検査所見の臨床検査技師による単独報告	200	7.4%
25：超音波検査所見の臨床検査技師による単独報告	836	30.9%
26：口腔内の喀痰等の吸引	3	0.1%
27：点滴、輸液ポンプ、シリンジポンプの操作・安全管理	19	0.7%
28：生理検査の際の患者バイタル確認	268	9.9%
29：救命処置の補助	97	3.6%
30：上部内視鏡検査の際の前処置	55	2.0%
31：消化器内視鏡検査・治療の介助（組織採取を含む）	128	4.7%
32：視力測定、眼圧測定（非接触）、視野検査、色覚検査	467	17.3%
33：OCT（optical coherence tomography：光干渉断層計）	27	1.0%
34：心臓・血管カテーテル検査・治療に係る検査装置の操作・管理	209	7.7%
35：術中モニタリングに係る電極装着（針電極含む）、検査装置の操作・管理	200	7.4%
36：肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法、肝悪性腫瘍ラジオ波焼却療法に係る機器の操作・管理	38	1.4%
37：持続陽圧呼吸療法における適切な陽圧の設定	32	1.2%
38：直腸肛門機能検査（肛門内圧検査・直腸バルーン知覚検査）	11	0.4%
39：経肛門超音波検査	3	0.1%
40：経膈超音波検査	0	0.0%
41：筋電図検査の針電極の穿刺（体幹を除く）	14	0.5%
42：血液製剤の洗浄・分割	60	2.2%
43：成分採血装置の運転	19	0.7%
44：血液細胞処理業務	55	2.0%
45：なし	793	29.3%
回答施設数	2,702	

尿素呼気試験を行う際の薬剤投与が最も多く、次いで超音波検査の単独報告が多い傾向が見られた。

<施設大分類と問34のクロス表 その1>

【A】施設大分類	【問34】下記の項目で、臨床検査技師がすでに実施している項目はありますか。（複数回答可）															
	検査のための採痕（誘発採痕含む）	検査のための眼脂等の採取	検査のための外耳道から耳漏等の採取	検査のための泌尿器・生殖器からの検体採取	子宮頸がん検査のための細胞診用の検体採取	持続血糖測定のための穿刺・抜針	救急現場における未梢静脈路の確保（ハバリノロック含む）	糖負荷試験のブドウ糖液の投与	尿素呼気試験の尿素錠の投与	脳波検査時の睡眠導入剤の投与	呼吸機能検査（気道可逆性検査）時の気管支拡張剤の投与	眼底検査の散瞳剤の投与	眼振電図検査における温度刺激検査のための外耳道への温冷水の注入	造影超音波検査の超音波造影剤の投与（リナソイド等）	手術材料の切り出し	
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 割合	4 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.1%	0 0.0%	13 5.5%	24 10.1%	8 3.4%	8 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 割合	15 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.1%	0 0.0%	18 1.2%	1 0.1%	83 5.5%	46 3.1%	77 5.1%	7 0.5%	14 0.9%	7 0.5%	83 5.5%	
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 割合	24 0.7%	7 0.2%	7 0.2%	10 0.3%	0 0.0%	62 1.8%	1 0.0%	201 5.8%	573 16.6%	55 1.6%	123 3.7%	16 0.5%	10 0.3%	137 4.0%	
精神病院	件数 割合	4 2.2%	2 1.1%	2 1.1%	5 2.7%	0 0.0%	2 1.1%	0 0.0%	2 1.1%	14 7.6%	12 6.5%	1 0.5%	2 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	
療養所（一般）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	6 14.3%	2 4.8%	3 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	
療養所（結核）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所（有床）	件数 割合	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.2%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	7 5.1%	5 10.9%	3 3.6%	3 2.2%	1 0.7%	0 0.0%	1 0.7%	
診療所（無床）	件数 割合	7 1.6%	1 0.2%	3 0.7%	2 0.4%	0 0.0%	9 2.0%	1 0.2%	41 9.1%	71 15.7%	4 0.9%	7 1.6%	1 0.2%	0 0.0%	1 0.2%	
検診センター	件数 割合	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.8%	7 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
健診センター	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	5 4.8%	5 4.8%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
歯科（病院）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	
歯科診療所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	
研究所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	
保健所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	
血液センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	
学校	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	
衛生検査所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	
製薬会社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	
医療機器会社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	
その他	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	
合計（回答件数）	件数 割合	56 0.9%	10 0.2%	12 0.2%	22 0.4%	1 0.0%	98 1.6%	3 0.0%	356 5.8%	891 14.4%	132 2.1%	228 3.7%	27 0.4%	24 0.4%	12 0.2%	

⇒次頁へ続く

<施設大分類と問34のクロス表 その2>

【A】 施設大分類	【問33】 チーム医療の一環として肛門からの検体採取を行っていますか。(単一回答)															
	生検材料、特殊染色、免疫染色等のスクリーニング(所見の下書きの作成)	病理医不在で、解剖介助業務	輸血承諾書の取得	輸血関連検査結果説明	輸血副作用確認	輸血実施	胚培養全般、培養室の実務・運営	骨髄像検査所見の臨床検査技師による単独報告	細胞診検査所見の臨床検査技師による単独報告	超音波検査所見の臨床検査技師による単独報告	口腔内の喀痰等の吸引	点滴・輸液ポンプ、シリリンポンプの操作・安全管理	生理検査の際の患者バイタル確認	救命処置の補助	上部内視鏡検査の際の前処置	
一般病院Ⅰ(特定機能病院)	件数 3 割合 1.3%	3 1.3%	1 0.4%	2 0.8%	8 3.4%	3 1.3%	8 3.4%	10 4.2%	6 2.5%	21 8.9%	0 0.0%	0 0.0%	8 3.4%	5 2.1%	1 0.4%	
一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	件数 27 割合 1.8%	25 1.7%	4 0.3%	14 0.9%	54 3.6%	3 0.2%	21 1.4%	43 2.9%	89 5.9%	201 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	69 4.6%	24 1.6%	7 0.5%	
一般病院Ⅲ(機能指定無し)	件数 40 割合 1.2%	42 1.2%	6 0.2%	35 1.0%	82 2.4%	22 0.6%	15 0.4%	49 1.4%	94 2.7%	520 15.1%	2 0.1%	7 0.2%	139 4.0%	54 1.6%	36 1.0%	
精神病院	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	9 4.9%	0 0.0%	4 2.2%	6 3.3%	2 1.1%	1 0.5%	
療養所(一般)	件数 1 割合 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	3 7.1%	0 0.0%	2 4.8%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	
療養所(結核)	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所(有床)	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.7%	1 0.7%	3 2.2%	2 1.4%	0 0.0%	1 0.7%	21 15.2%	0 0.0%	1 0.7%	5 3.6%	2 1.4%	0 0.0%	
診療所(無床)	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	2 0.4%	2 0.4%	0 0.0%	2 0.4%	4 0.9%	0 0.0%	1 0.2%	50 11.1%	1 0.2%	5 1.1%	38 8.4%	8 1.8%	9 2.0%	
検診センター	件数 2 割合 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.3%	7 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%	
健診センター	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.9%	4 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.9%	1 1.0%	1 1.0%	
歯科(病院)	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
歯科診療所	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
研究所	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
保健所	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
血液センター	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
学校	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
衛生検査所	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
製薬会社	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
医療機器会社	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
その他	件数 0 割合 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
合計(回答件数)	件数 73 割合 1.2%	70 1.1%	14 0.2%	55 0.9%	146 2.4%	33 0.5%	50 0.8%	102 1.7%	200 3.2%	836 13.5%	3 0.0%	19 0.3%	268 4.3%	97 1.6%	55 0.9%	

⇒次頁へ続く

<設置母体と問34のクロス表 その1>

【C】 設置母体	【問34】 下記の項目で、臨床検査技師がすでに実施している項目はありますか。（複数回答可）															
	検査のための採血（誘発採血含む）	検査のための眼脂等の採取	検査のための外耳道から耳漏等の採取	検査のための泌尿器・生殖器からの検体採取	子宮頸がん検査のための細胞診用の検体採取	持続血糖測定のための穿刺・採針	（救急現場における末梢静脈路の確保（ヘパリンロック含む））	糖負荷試験のブドウ糖液の投与	尿素呼吸試験の尿素錠の投与	脳波検査時の睡眠導入剤の投与	呼吸機能検査（気道可逆性検査）時の気管支拡張剤の投与	眼底検査の散瞳剤の投与	ためめの外耳道への温冷水の注入	造影超音波検査の超音波造影剤の投与（ソナノイド等）	手術材料の切り出し	
文部科学省Ⅰ（大学）	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	3 4.1%	7 9.6%	4 5.3%	2 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
文部科学省Ⅱ（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
厚生労働省Ⅰ（大学）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	
厚生労働省Ⅱ（その他）	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.0%	0 0.0%	12 6.1%	33 16.8%	5 2.5%	8 4.1%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	10 5.1%	
労働者健康安全機構	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.6%	11 20.4%	0 0.0%	2 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 7.4%	
その他の省庁	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	2 8.7%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	
都道府県	3 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 1.9%	0 0.0%	19 6.0%	36 11.4%	8 2.5%	14 4.4%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	10 3.2%	
市町村	6 0.7%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	16 1.9%	1 0.1%	50 5.9%	133 15.6%	19 2.2%	41 4.8%	3 0.4%	5 0.6%	2 0.2%	46 5.4%	
日赤（赤十字）	3 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	9 4.9%	24 13.2%	7 3.8%	7 3.8%	1 0.5%	2 1.1%	1 0.5%	10 5.5%	
済生会	3 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	2 1.2%	0 0.0%	7 4.2%	24 14.5%	7 4.2%	8 4.8%	1 0.6%	2 1.2%	1 0.6%	9 5.5%	
北海道社会事業協会	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
厚生連	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.4%	0 0.0%	9 4.3%	29 14.0%	6 2.9%	6 2.9%	0 0.0%	3 1.4%	0 0.0%	14 6.8%	
国民健康保険団体連合会	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
JCHO（旧 全国社会保険協会連合会）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 6.1%	14 17.1%	2 2.4%	5 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 9.8%	
JCHO（旧 厚生年金事業振興団）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
JCHO（旧 船員保険会）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
健康保険組合及びその連合会	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%	0 0.0%	3 9.7%	5 16.1%	0 0.0%	1 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%	
共済組合及びその連合会	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	8 11.4%	0 0.0%	3 4.3%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	11 15.7%	
国民健康保険組合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
公益法人	3 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	5 1.2%	0 0.0%	27 6.7%	44 10.8%	12 3.0%	18 4.4%	3 0.7%	1 0.2%	1 0.2%	12 3.0%	
医療法人	27 1.0%	7 0.3%	9 0.3%	17 0.7%	0 0.0%	39 1.5%	2 0.1%	141 5.4%	405 15.5%	40 1.5%	77 2.9%	16 0.6%	5 0.2%	5 0.2%	58 2.2%	
学校法人	3 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.0%	0 0.0%	21 10.6%	24 12.1%	2 1.0%	15 7.6%	2 1.0%	3 1.5%	0 0.0%	10 5.1%	
会社	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.0%	0 0.0%	1 2.0%	8 16.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.0%	
その他の法人	3 0.8%	2 0.5%	2 0.5%	3 0.8%	0 0.0%	7 1.8%	0 0.0%	28 7.0%	46 11.5%	14 3.5%	14 3.5%	0 0.0%	1 0.3%	1 0.3%	17 4.3%	
個人	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	4 3.0%	0 0.0%	11 8.1%	24 17.8%	2 1.5%	2 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
厚生労働省	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.5%	3 7.5%	0 0.0%	0 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.5%	1 2.5%	
文部科学省	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
三公社	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
その他(公)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
その他(社)	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 17.6%	0 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
未回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
合計（回答件数）	56 0.9%	10 0.2%	12 0.2%	22 0.4%	1 0.0%	98 1.6%	3 0.0%	356 5.8%	891 14.4%	132 2.1%	228 3.7%	27 0.4%	24 0.4%	12 0.2%	225 3.6%	

⇒次頁へ続く

<設置母体と問34のクロス表 その2>

【C】 設置母体	【問34】 下記の項目で、臨床検査技師がすでに実施している項目はありますか。（複数回答可）															
	ク生 リニ ング (所見 の下 書き の作 成)	理 解 剖 介 助 業 務	輸 血 承 諾 書 の 取 得	輸 血 関 連 検 査 結 果 説 明	輸 血 副 作 用 確 認	輸 血 実 施	胚 培養 全 般 、 培 養 室 の 実 務 ・ 運 営	骨 髄 像 検 査 所 見 の 臨 床 検 査 技 師 に よ る	単 独 診 査 所 見 の 臨 床 検 査 技 師 に よ る	単 独 報 告	超 音 波 検 査 所 見 の 臨 床 検 査 技 師 に よ る	口 腔 内 の 喀 痰 等 の 吸 引	点 滴 、 輸 液 ボ ン プ 、 シ リ ン ジ ボ ン プ の 操 作 ・ 安 全 管 理	生 理 検 査 の 際 の 患 者 バ イ タル 確 認	救 命 処 置 の 補 助	上 部 内 視 鏡 検 査 の 際 の 前 処 置
文部科学省Ⅰ（大学）	1 0 1.4%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	2 2 2.7%	2 2 2.7%	0 0 0.0%	5 5 6.8%	2 2 2.7%	1 1 1.4%	7 7 9.6%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	2 2 2.7%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
文部科学省Ⅱ（その他）	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
文部科学省Ⅱ（その他）	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
厚生労働省Ⅰ（大学）	6 3 3.0%	3 1 1.5%	1 0 0.5%	3 3 1.5%	5 5 2.5%	0 0 0.0%	3 3 1.5%	5 5 2.5%	11 11 5.6%	35 35 17.8%	0 0 0.0%	1 1 0.5%	6 6 3.0%	1 1 0.5%	0 0 0.0%	
厚生労働省Ⅱ（その他）	2 2 3.7%	2 2 3.7%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	3 3 5.6%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	3 3 5.6%	4 4 7.4%	6 6 11.1%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	2 2 3.7%	1 1 1.9%	1 1 1.9%	
労働者健康安全機構	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 4.3%	1 1 4.3%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	3 3 13.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 4.3%	1 1 4.3%	0 0 0.0%	
その他の省庁	3 5 1.0%	5 1 1.6%	1 0 0.3%	1 1 0.3%	10 10 3.2%	0 0 0.0%	3 3 1.0%	12 12 3.8%	19 19 6.0%	43 43 13.7%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	12 12 3.8%	3 3 1.0%	3 3 0.9%	
都道府県	15 15 1.8%	24 24 2.8%	0 0 0.0%	5 5 0.6%	21 21 2.5%	4 4 0.5%	3 3 0.4%	28 28 3.3%	48 48 5.6%	120 120 14.1%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	25 25 2.9%	5 5 0.6%	3 3 0.4%	
市町村	3 3 1.6%	3 3 1.6%	0 0 0.0%	1 1 0.5%	7 7 3.8%	1 1 0.5%	3 3 1.6%	10 10 5.5%	9 9 4.9%	25 25 13.7%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	5 5 2.7%	5 5 2.7%	1 1 0.5%	
日赤（赤十字）	0 0 0.0%	1 1 0.6%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	3 3 1.8%	0 0 0.0%	2 2 1.2%	6 6 3.6%	7 7 4.2%	25 25 15.2%	1 1 0.6%	0 0 0.0%	11 11 6.7%	3 3 1.8%	1 1 0.6%	
済生会	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 20.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 20.0%	1 1 20.0%	0 0 0.0%	
北海道社会事業協会	4 4 1.9%	5 5 2.4%	2 2 1.0%	2 2 1.0%	9 9 4.3%	3 3 1.4%	2 2 1.0%	6 6 2.9%	12 12 5.8%	23 23 11.1%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	5 5 2.4%	2 2 1.0%	1 1 0.5%	
厚生連	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 25.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
国民健康保険団体連合会	2 2 2.4%	2 2 2.4%	0 0 0.0%	2 2 2.4%	2 2 2.4%	0 0 0.0%	2 2 2.4%	1 1 1.2%	9 9 11.0%	9 9 11.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	5 5 6.1%	1 1 1.2%	0 0 0.0%	
JCHO（旧 全国社会保険協会連合会）	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 9.1%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
JCHO（旧 厚生年金事業振興団）	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 16.7%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 16.7%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
JCHO（旧 船員保険会）	0 0 0.0%	2 2 6.5%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 3.2%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	5 5 16.1%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 3.2%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
健康保険組合及びその連合会	3 3 4.3%	4 4 5.7%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	2 2 2.9%	2 2 2.9%	4 4 5.7%	11 11 15.7%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	3 3 4.3%	2 2 2.9%	0 0 0.0%	
共済組合及びその連合会	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	2 2 33.3%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 16.7%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
国民健康保険組合	6 6 1.5%	5 5 1.2%	1 1 0.2%	5 5 1.2%	13 13 3.2%	1 1 0.2%	2 2 0.5%	2 2 0.5%	16 16 3.9%	46 46 11.3%	0 0 0.0%	1 1 0.2%	17 17 4.2%	16 16 3.9%	3 3 0.7%	
公益法人	15 15 0.6%	9 9 0.3%	4 4 0.2%	26 26 1.0%	44 44 1.7%	19 19 0.7%	15 15 0.6%	16 16 0.6%	38 38 1.5%	373 373 14.3%	2 2 0.1%	14 14 0.5%	123 123 4.7%	42 42 1.6%	40 40 1.5%	
医療法人	6 6 3.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 0.5%	7 7 3.5%	0 0 0.0%	2 2 1.0%	2 2 1.0%	3 3 1.5%	14 14 7.1%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	11 11 5.6%	4 4 2.0%	1 1 0.5%	
学校法人	1 1 2.0%	0 0 0.0%	1 1 2.0%	0 0 0.0%	1 1 2.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	7 7 14.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	2 2 4.0%	1 1 2.0%	0 0 0.0%	
会社	5 5 1.3%	5 5 1.3%	2 2 0.5%	4 4 1.0%	10 10 2.5%	1 1 0.3%	4 4 1.0%	5 5 1.3%	15 15 3.8%	52 52 13.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	15 15 3.8%	7 7 1.8%	1 1 0.3%	
その他の法人	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 0.7%	0 0 0.0%	1 1 0.7%	1 1 0.7%	1 1 0.7%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	16 16 11.9%	0 0 0.0%	2 2 1.5%	16 16 11.9%	1 1 0.7%	2 2 1.5%	
個人	1 1 2.5%	0 0 0.0%	1 1 2.5%	2 2 5.0%	3 3 7.5%	1 1 2.5%	0 0 0.0%	1 1 2.5%	2 2 5.0%	5 5 12.5%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	2 2 5.0%	1 1 2.5%	0 0 0.0%	
厚生労働省	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 9.1%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 9.1%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
文部科学省	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
三公社	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 6.3%	1 1 6.3%	1 1 6.3%	0 0 0.0%	1 1 6.3%	3 3 18.8%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 6.3%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
その他(公)	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 5.9%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	1 1 5.9%	0 0 0.0%	2 2 11.8%	0 0 0.0%	1 1 5.9%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
未回答	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	0 0 0.0%	
合計（回答件数）	73 73 1.2%	70 70 1.1%	14 14 0.2%	55 55 0.9%	146 146 2.4%	33 33 0.5%	50 50 0.8%	102 102 1.7%	200 200 3.2%	836 836 13.5%	3 3 0.0%	19 19 0.3%	268 268 4.3%	97 97 1.6%	55 55 0.9%	

⇒次頁へ続く

<設置母体と問34のクロス表 その3>

【C】 設置母体	【問34】 下記の項目で、臨床検査技師がすでに実施している項目はありますか。(複数回答可)															合計 (回答 件数)	
	採 取 器 内 視 鏡 検 査 ・ 治 療 の 介 助 (細 鏡 を 含 む)	消 化 器 内 視 鏡 検 査 ・ 治 療 の 介 助 (細 鏡 を 含 む)	視 力 測 定 、 眼 圧 測 定 (非 接 触 、 視 野 色 覚 検 査)	光 干 渉 断 層 計 (O C T (o p t i c a l r e t i n o g r a p h y : s c a n n i n g))	心 臓 ・ 血 管 カ テ テ ル 検 査 ・ 治 療 に 係 る 検 査 装 置 の 操 作 ・ 管 理	電 極 含 む モ ニ タ リ ン グ に 係 る 電 極 装 置 の 操 作 ・ 管 理 (計 測 器 の 検 査 も 含 む)	肝 悪 性 腫 瘍 マ イ ク ロ 波 凝 固 法 、 肝 悪 性 腫 瘍 ラ ジ オ 波 焼 却 療 法 に 係 る 検 査 装 置 の 操 作 ・ 管 理	持 続 陽 圧 呼 吸 療 法 に お け る 適 切 な 陽 圧 の 設 定	直 接 紅 門 機 能 検 査 (紅 門 内 圧 検 査 ・ 直 接 ハ ル ド ン 知 覚 検 査)	経 紅 門 超 音 波 検 査	経 膈 超 音 波 検 査	筋 電 図 検 査 の 針 電 極 の 穿 刺 (体 幹 を 除 く)	血 液 製 剤 の 洗 浄 ・ 分 割	成 分 採 血 装 置 の 運 転	血 液 細 胞 処 理 業 務		なし
文部科学省Ⅰ(大学)	0	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	8	3	6	8	73
文部科学省Ⅱ(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文部科学省Ⅱ(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
厚生労働省Ⅰ(大学)	0	2	1	8	6	3	0	0	0	0	0	0	2	0	2	19	197
厚生労働省Ⅱ(その他)	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	54
労働者健康安全機構	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	23
その他の省庁	3	3	1	19	12	4	0	1	0	0	0	0	12	2	6	42	315
都道府県	11	31	3	36	36	10	2	0	0	0	0	1	7	4	7	82	854
市町村	3	1	0	6	12	1	0	2	0	0	0	1	4	1	3	10	182
日赤(赤十字)	4	6	2	7	5	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	10	165
済生会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
北海道社会事業協会	5	4	0	14	9	2	1	0	0	0	0	1	2	0	2	18	207
厚生連	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
国民健康保険団体連合会	1	2	1	2	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	62
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
JCHO(旧 船員保険会)	0	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	31
健康保険組合及びその連合会	0	16	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9	70
共済組合及びその連合会	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
国民健康保険組合	6	44	5	16	9	1	1	1	0	0	0	2	3	0	5	52	406
公益法人	79	299	11	61	72	7	19	4	3	0	6	1	3	6	6	415	2614
医療法人	6	6	1	5	12	2	0	1	0	0	0	0	13	3	8	8	198
学校法人	1	5	0	4	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	50
会社	3	33	0	15	12	1	5	1	0	0	0	0	4	2	4	55	399
その他の法人	4	16	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	135
個人	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	40
厚生労働省	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	11
文部科学省	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三公社	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	16
その他(公)	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	17
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計(回答件数)	128	467	27	209	200	38	32	11	3	0	14	60	19	55	793	6174	
	2.1%	7.6%	0.4%	3.4%	3.2%	0.6%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	1.0%	0.3%	0.9%	12.8%	100.0%	

<稼働病床数と問34のクロス表1>

稼働病床数	【問34】 下記の項目で、臨床検査技師がすでに実施している項目はありますか。(複数回答可)															
	検査のための採痕(誘発採痕含む)	検査のための眼脂等の採取	検査のための外耳道から耳漏等の採取	体採取のための泌尿器・生殖器からの検査	子宮頸がん検査のための細胞診用の検査	持続血糖測定のための穿刺・抜針	(救急現場における末梢静脈路の確保)	糖負荷試験のブドウ糖液の投与	尿素呼吸試験の尿素錠の投与	脳波検査時の睡眠導入剤の投与	呼吸機能検査(気道可逆性検査)時の気管支拡張剤の投与	眼底検査の散瞳剤の投与	眼振電図検査における温度刺入数検査の	造影超音波検査の超音波造影剤の投与(ソナノイド等)	手術材料の切り出し	
0	8	1	3	2	1	10	1	50	84	4	8	1	0	1	1	
割合	1.3%	0.2%	0.5%	0.3%	0.2%	1.6%	0.2%	8.2%	13.8%	0.7%	1.3%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	
1~19	1	0	0	3	0	1	0	9	20	5	3	1	0	0	1	
割合	0.6%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.6%	0.0%	5.5%	12.1%	3.0%	1.8%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%	
20~99	16	4	2	3	0	12	1	49	175	5	20	8	5	0	6	
割合	1.8%	0.4%	0.2%	0.3%	0.0%	1.3%	0.1%	5.5%	19.5%	0.6%	2.2%	0.9%	0.6%	0.0%	0.7%	
100~199	9	4	5	8	0	26	0	72	250	22	46	4	1	2	47	
割合	0.6%	0.3%	0.3%	0.6%	0.0%	1.8%	0.0%	5.0%	17.4%	1.5%	3.2%	0.3%	0.1%	0.1%	3.3%	
200~299	3	1	1	4	0	11	0	41	120	29	42	5	4	1	47	
割合	0.3%	0.1%	0.1%	0.5%	0.0%	1.3%	0.0%	4.7%	13.9%	3.4%	4.9%	0.6%	0.5%	0.1%	5.4%	
300~499	10	0	1	2	0	26	0	78	158	39	61	4	5	4	92	
割合	0.7%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	1.9%	0.0%	5.7%	11.5%	2.8%	4.4%	0.3%	0.4%	0.3%	6.7%	
500~699	0	0	0	0	0	4	1	16	35	2	18	2	9	3	23	
割合	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	6.5%	9.6%	3.3%	5.7%	0.4%	1.7%	0.6%	4.3%	
700~999	0	0	0	0	0	4	1	16	22	9	14	2	0	7	7	
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.5%	7.8%	10.7%	4.4%	6.8%	1.0%	0.0%	0.5%	3.4%	
1000以上	3	0	0	0	0	2	0	6	10	1	3	0	0	0	1	
割合	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	7.5%	12.5%	1.3%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	
合計(回答件数)	56	10	12	22	1	98	3	356	891	132	228	27	24	12	225	
割合	0.9%	0.2%	0.2%	0.4%	0.0%	1.6%	0.0%	5.8%	14.4%	2.1%	3.7%	0.4%	0.4%	0.2%	3.6%	

下段へ続く

稼働病床数	【問34】 下記の項目で、臨床検査技師がすでに実施している項目はありますか。(複数回答可)															
	生検材料、特殊染色、免疫染色等のスクリーニング(所見の下書きの作成)	病理医不在で、主治医の指示による病理解剖介助業務	輸血承諾書の取得	輸血関連検査結果説明	輸血副作用確認	輸血実施	胚培養全般、培養室の実務・運営	単独報告検査所見の臨床検査技師による	細胞診検査所見の臨床検査技師による	単独報告検査所見の臨床検査技師による	口腔内の喀痰等の吸引	点滴・輸液ポンプ、シリリンシポンプの操作・安全管理	生理検査の際の患者バイタル確認	救命処置の補助	上部内視鏡検査の際の前処置	
0	1	0	1	1	0	2	4	0	7	60	1	5	42	9	10	
割合	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.3%	0.7%	0.0%	1.1%	9.8%	0.2%	0.8%	6.9%	1.5%	1.6%	
1~19	0	0	2	2	1	3	2	0	1	23	0	1	6	3	0	
割合	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	0.6%	1.8%	1.2%	0.0%	0.6%	13.9%	0.0%	0.6%	3.6%	1.8%	0.0%	
20~99	1	0	1	5	10	7	4	2	4	133	0	0	31	13	14	
割合	0.1%	0.0%	0.1%	0.6%	1.1%	0.8%	0.4%	0.2%	0.4%	14.8%	0.0%	0.0%	3.5%	1.4%	1.6%	
100~199	12	13	3	19	40	9	2	12	30	233	1	9	63	22	13	
割合	0.8%	0.9%	0.2%	1.3%	2.8%	0.6%	0.1%	0.8%	2.1%	16.2%	0.1%	0.6%	4.4%	1.5%	0.9%	
200~299	12	18	0	8	21	5	2	16	47	120	1	1	35	20	7	
割合	1.4%	2.1%	0.0%	0.9%	2.4%	0.6%	0.2%	1.8%	5.4%	13.9%	0.1%	0.1%	4.0%	2.3%	0.8%	
300~499	30	27	5	12	52	7	12	45	76	185	0	1	59	19	8	
割合	2.2%	2.0%	0.4%	0.9%	3.8%	0.5%	0.9%	3.3%	5.5%	13.5%	0.0%	0.1%	4.3%	1.4%	0.6%	
500~699	10	8	1	7	14	0	11	20	27	63	0	2	22	3	2	
割合	1.8%	1.5%	0.2%	1.3%	2.6%	0.0%	2.0%	3.7%	5.0%	11.6%	0.0%	0.4%	4.1%	0.6%	0.4%	
700~999	7	4	1	1	4	0	9	6	7	17	0	0	7	5	0	
割合	3.4%	2.0%	0.5%	0.5%	2.0%	0.0%	4.4%	2.9%	3.4%	8.3%	0.0%	0.0%	3.4%	2.4%	0.0%	
1000以上	0	0	0	0	4	0	4	1	1	2	0	0	3	3	1	
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	1.3%	1.3%	2.5%	0.0%	0.0%	3.8%	3.8%	1.3%	
合計(回答件数)	73	70	14	55	146	33	50	102	200	836	3	19	268	97	55	
割合	1.2%	1.1%	0.2%	0.9%	2.4%	0.5%	0.8%	1.7%	3.2%	13.5%	0.0%	0.3%	4.3%	1.6%	0.9%	

⇒次頁へ続く

<稼働病床数と問34のクロス表2>

稼働病床数	【問34】 下記の項目で、臨床検査技師がすでに実施している項目はありますか。(複数回答可)																	なし	合計 (回答 件数)
	消化器内視鏡検査・治療の介助へ組織採取を含む)	視力測定、眼圧測定(非接触)、視野検査、色覚検査	OCT(Optical coherence tomography)光干渉断層計)	心臓・血管カテーテル検査・治療に係る検査装置の操作・管理	術中モニタリングに係る電極装置へ針電極含む)検査装置の操作・管理	肝悪性腫瘍マイクログ波凝固療法・肝悪性腫瘍ラジオ波凝固療法に係る機器の操作性・管理	持続陽圧呼吸療法における適切な陽圧の設定	直腸肛門機能検査(肛門内圧検査・直腸バルーン知覚検査)	経肛門超音波検査	経膈超音波検査	筋電図検査の針電極の穿孔(体幹を除く)	血液製剤の洗浄・分割	成分採血装置の運転	血液細胞処理業務					
0	16	118	4	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	2	146	610			
割合	2.6%	19.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	23.9%	100.0%			
1~19	6	18	0	2	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	46	165			
割合	3.6%	10.9%	0.0%	1.2%	0.6%	0.0%	1.2%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.9%	100.0%				
20~99	23	115	7	18	9	0	3	2	2	0	3	0	2	4	178	897			
割合	2.6%	12.6%	0.8%	2.0%	1.0%	0.0%	0.3%	0.2%	0.2%	0.0%	0.3%	0.0%	0.2%	19.6%	100.0%				
100~199	30	135	6	38	23	5	10	2	0	0	2	2	0	0	204	1439			
割合	2.1%	9.4%	0.4%	2.6%	1.9%	0.3%	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	14.2%	100.0%				
200~299	12	43	3	42	30	7	7	1	0	0	2	1	2	92	865				
割合	1.4%	5.0%	0.3%	4.9%	3.5%	0.8%	0.8%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	10.6%	100.0%				
300~499	28	29	4	71	73	14	5	3	0	0	5	12	3	17	90	1372			
割合	2.0%	2.1%	0.3%	5.2%	5.3%	1.0%	0.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%	0.9%	0.2%	12.2%	100.0%				
500~699	9	7	3	26	32	9	9	1	0	0	2	23	7	18	29	541			
割合	1.7%	1.3%	0.6%	4.8%	5.9%	1.7%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%	4.3%	1.3%	3.3%	5.4%	100.0%			
700~999	2	1	0	10	19	2	0	0	0	0	0	13	3	5	6	205			
割合	1.0%	0.5%	0.0%	4.9%	9.3%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	1.5%	2.4%	2.9%	100.0%			
1000以上	2	1	0	2	8	0	0	1	0	0	0	9	3	7	2	80			
割合	2.5%	1.3%	0.0%	2.5%	10.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.3%	3.8%	8.8%	2.5%	100.0%			
合計(回答件数)	128	467	27	209	200	38	32	11	3	0	14	60	19	55	793	6174			
割合	2.1%	7.6%	0.4%	3.4%	3.2%	0.6%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	1.0%	0.3%	12.8%	100.0%				

Ⅷ. 貴施設において臨床検査技師が採血に携わる内容について

【問35】 貴施設において臨床検査技師が採血行為を行っていますか。（複数回答可）



	件数	割合
①外来で行なっている	1,208	43.5%
②病棟で行なっている	179	6.5%
③行なっていない	1,337	48.2%
④その他	237	8.5%
施設回答数	2,774	

複数選択回答パターン

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	1030	37.1%
[1][2]	155	5.6%
[1][2][3]	1	0.0%
[1][2][4]	1	0.0%
[1][3]	1	0.0%
[1][4]	20	0.7%
[2]	21	0.8%
[2][4]	1	0.0%
[3]	1329	47.9%
[3][4]	6	0.2%
[4]	209	7.5%

外来での実施率が43.5%、病棟での実施率が6.5%との結果であった。また病床数が高くなるほど実施率が高い傾向にあった。

<施設大分類と問35のクロス表>

【A】 施設大分類		【問35】 貴施設において臨床検査技師が採血行為を行っていますか。(複数回答可)				
		外来で行なっている	病棟で行なっている	行っていない	その他	合計 (回答件数)
一般病院Ⅰ(特定機能病院)	件数 割合	56 67.5%	7 8.4%	14 16.9%	6 7.2%	83 100.0%
一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	件数 割合	296 65.6%	33 7.3%	102 22.6%	20 4.4%	451 100.0%
一般病院Ⅲ(機能指定無し)	件数 割合	642 37.7%	124 7.3%	819 48.0%	120 7.0%	1705 100.0%
精神病院	件数 割合	22 15.4%	7 4.9%	102 71.3%	12 8.4%	143 100.0%
療養所(一般)	件数 割合	6 20.7%	1 3.4%	20 69.0%	2 6.9%	29 100.0%
療養所(結核)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所(有床)	件数 割合	30 33.3%	5 5.6%	49 54.4%	6 6.7%	90 100.0%
診療所(無床)	件数 割合	120 50.4%	1 0.4%	102 42.9%	15 6.3%	238 100.0%
検診センター	件数 割合	10 18.9%	0 0.0%	30 56.6%	13 24.5%	53 100.0%
健診センター	件数 割合	19 21.1%	0 0.0%	41 45.6%	30 33.3%	90 100.0%
歯科(病院)	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科診療所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	件数 割合	1 3.0%	1 3.0%	26 78.8%	5 15.2%	33 100.0%
保健所	件数 割合	6 18.8%	0 0.0%	20 62.5%	6 18.8%	32 100.0%
血液センター	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	11 84.6%	2 15.4%	13 100.0%
学校	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
衛生検査所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
製薬会社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
医療機器会社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
合計(回答件数)	件数 割合	1208 40.8%	179 6.0%	1337 45.2%	237 8.0%	2961 100.0%

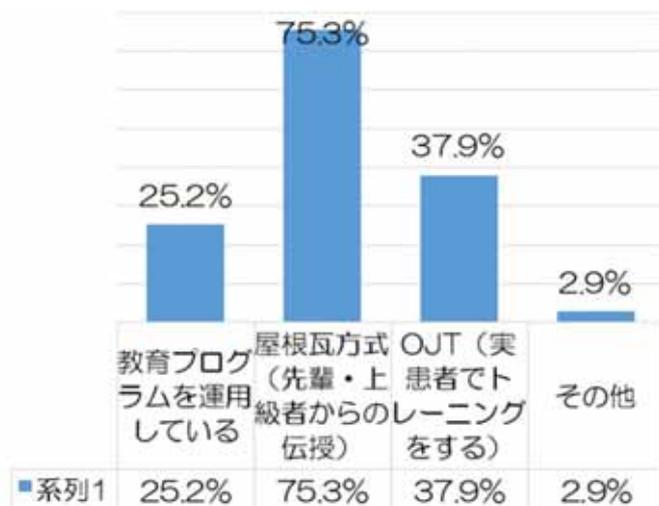
<設置母体と問35のクロス表>

【C】 設置母体		【問35】 貴施設において臨床検査技師が採血行為を行っていますか。(複数回答可)				
		外来で行なっている	病棟で行なっている	行なっていない	その他	合計 (回答件数)
文部科学省Ⅰ(大学)	件数 割合	21 70.0%	1 3.3%	3 10.0%	5 16.7%	30 100.0%
文部科学省Ⅱ(その他)	件数 割合	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅰ(大学)	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
厚生労働省Ⅱ(その他)	件数 割合	46 56.1%	0 0.0%	36 43.9%	0 0.0%	82 100.0%
労働者健康安全機構	件数 割合	17 73.9%	2 8.7%	1 4.3%	3 13.0%	23 100.0%
その他の省庁	件数 割合	5 45.5%	2 18.2%	3 27.3%	1 9.1%	11 100.0%
都道府県	件数 割合	69 43.1%	2 1.3%	74 46.3%	15 9.4%	160 100.0%
市町村	件数 割合	169 47.7%	12 3.4%	155 43.8%	18 5.1%	354 100.0%
日赤(赤十字)	件数 割合	45 60.0%	3 4.0%	22 29.3%	5 6.7%	75 100.0%
済生会	件数 割合	35 57.4%	7 11.5%	16 26.2%	3 4.9%	61 100.0%
北海道社会事業協会	件数 割合	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
厚生連	件数 割合	51 63.8%	6 7.5%	19 23.8%	4 5.0%	80 100.0%
国民健康保険団体連合会	件数 割合	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
JCHO(旧 全国社会保険協会連合会)	件数 割合	17 60.7%	1 3.6%	6 21.4%	4 14.3%	28 100.0%
JCHO(旧 厚生年金事業振興団)	件数 割合	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
JCHO(旧 船員保険会)	件数 割合	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	4 100.0%
健康保険組合及びその連合会	件数 割合	6 46.2%	0 0.0%	5 38.5%	2 15.4%	13 100.0%
共済組合及びその連合会	件数 割合	12 57.1%	0 0.0%	8 38.1%	1 4.8%	21 100.0%
国民健康保険組合	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%
公益法人	件数 割合	76 38.6%	14 7.1%	82 41.6%	25 12.7%	197 100.0%
医療法人	件数 割合	438 32.2%	97 7.1%	716 52.6%	109 8.0%	1360 100.0%
学校法人	件数 割合	47 69.1%	9 13.2%	9 13.2%	3 4.4%	68 100.0%
会社	件数 割合	6 16.7%	0 0.0%	26 72.2%	4 11.1%	36 100.0%
その他の法人	件数 割合	75 36.2%	17 8.2%	90 43.5%	25 12.1%	207 100.0%
個人	件数 割合	40 46.5%	4 4.7%	37 43.0%	5 5.8%	86 100.0%
厚生労働省	件数 割合	10 47.6%	1 4.8%	10 47.6%	0 0.0%	21 100.0%
文部科学省	件数 割合	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	5 100.0%
三公社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他(公)	件数 割合	3 37.5%	0 0.0%	3 37.5%	2 25.0%	8 100.0%
その他(社)	件数 割合	5 45.5%	0 0.0%	4 36.4%	2 18.2%	11 100.0%
未回答	件数 割合	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計(回答件数)	件数 割合	1208 40.8%	179 6.0%	1337 45.2%	237 8.0%	2961 100.0%

<稼働病床数と問35のクロス表>

【D】 稼働病床数		【問35】 貴施設において臨床検査技師が採血行為を行っていますか。（複数回答可）				
		外来で行なっている	病棟で行なっている	行っていない	その他	合計 (回答件数)
0	件数	151	0	230	73	454
	割合	33.3%	0.0%	50.7%	16.1%	100.0%
1~19	件数	37	6	56	6	105
	割合	35.2%	5.7%	53.3%	5.7%	100.0%
20~99	件数	142	37	333	42	554
	割合	25.6%	6.7%	60.1%	7.6%	100.0%
100~199	件数	254	63	390	56	763
	割合	33.3%	8.3%	51.1%	7.3%	100.0%
200~299	件数	157	24	168	25	374
	割合	42.0%	6.4%	44.9%	6.7%	100.0%
300~499	件数	290	31	130	20	471
	割合	61.6%	6.6%	27.6%	4.2%	100.0%
500~699	件数	116	7	24	9	156
	割合	74.4%	4.5%	15.4%	5.8%	100.0%
700~999	件数	44	5	6	6	61
	割合	72.1%	8.2%	9.8%	9.8%	100.0%
1000以上	件数	17	6	0	0	23
	割合	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	100.0%
合計（回答件数）	件数	1208	179	1337	237	2961
	割合	40.8%	6.0%	45.2%	8.0%	100.0%

【問35-2】問35で「1. 外来で行っている」、「2. 病棟で行っている」と回答した施設の方に質問
採血に関する教育で該当するものを選んでください（複数回答可）



	件数	割合
①教育プログラムを運用している	310	25.2%
②屋根瓦方式（先輩・上級者からの伝授）	926	75.3%
③OJT（実患者でトレーニングをする）	466	37.9%
④その他	36	2.9%
施設回答数	1,230	

複数選択回答パターン

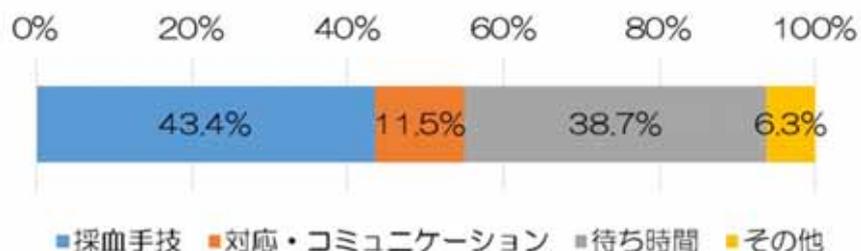
選択肢コード	回答数	回答率
[1]	136	11.1%
[1][2]	60	4.9%
[1][2][3]	73	5.9%
[1][2][3][4]	1	0.1%
[1][2][4]	1	0.1%
[1][3]	37	3.0%
[1][4]	2	0.2%
[2]	537	43.7%
[2][3]	241	19.6%
[2][3][4]	3	0.2%
[2][4]	10	0.8%
[3]	110	8.9%
[3][4]	1	0.1%
[4]	18	1.5%

教育方法は屋根瓦式が最も多く次いでOJTとの意見であった。複数回答パターンでは屋根瓦式とOJTを併用して教育している傾向も見られた。

<施設大分類と問35-2のクロス表>

【A】 施設大分類	【問35-2】 問35で「1. 外来で行っている」、「2. 病棟で行っている」と回答した場合、採血に関する教育で該当するものを選んでください（複数回答可） ※ 【問35】 貴施設において臨床検査技師が採血行為を行っていますか。（複数回答可）					
		教育プログラム を運用している	屋根瓦方式（先 輩・上級者から の伝授）	OJT（実患者で トレーニングを する）	その他	合計 （回答件数）
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	件数 割合	43 48.9%	23 26.1%	21 23.9%	1 1.1%	88 100.0%
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	件数 割合	129 27.8%	203 43.8%	123 26.5%	9 1.9%	464 100.0%
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	件数 割合	109 11.9%	557 60.7%	240 26.1%	12 1.3%	918 100.0%
精神病院	件数 割合	1 3.7%	17 63.0%	5 18.5%	4 14.8%	27 100.0%
療養所（一般）	件数 割合	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%	0 0.0%	7 100.0%
療養所（結核）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
診療所（有床）	件数 割合	4 10.0%	23 57.5%	12 30.0%	1 2.5%	40 100.0%
診療所（無床）	件数 割合	7 4.9%	74 52.1%	52 36.6%	9 6.3%	142 100.0%
検診センター	件数 割合	7 46.7%	5 33.3%	3 20.0%	0 0.0%	15 100.0%
健診センター	件数 割合	7 24.1%	16 55.2%	6 20.7%	0 0.0%	29 100.0%
歯科（病院）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
歯科診療所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
研究所	件数 割合	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
保健所	件数 割合	1 14.3%	3 42.9%	3 42.9%	0 0.0%	7 100.0%
血液センター	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
学校	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
衛生検査所	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
製薬会社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
医療機器会社	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
合計（回答件数）	件数 割合	310 17.8%	926 53.3%	466 26.8%	36 2.1%	1738 100.0%

【問35-3】 問35で「1. 外来で行っている」、「2. 病棟で行っている」と回答した施設の方に質問
採血に関するクレームで、最も多いものを選んでください。（単一回答）



	件数	割合
①採血手技	534	43.4%
②対応・コミュニケーション	142	11.5%
③待ち時間	476	38.7%
④その他	78	6.3%
合計	1,230	100.0%

クレームに関して多いのは採血手技であり、次いで待ち時間との回答であった。

【問35-4】 問35で「1. 外来を行っている」と回答した場合、外来のブースの数はいくつですか。

<施設大分類と問35-4のクロス表>

【A】 施設大分類	回答数	最小	最大	平均	合計
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	56	1	18	8.2	461
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	296	1	49	5.3	1,578
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	642	1	68	3.2	2,061
精神病院	22	1	10	1.7	37
療養所（一般）	6	1	2	1.2	7
療養所（結核）	0	—	—	—	—
診療所（有床）	30	1	14	2.1	63
診療所（無床）	120	1	220	4.9	589
検診センター	9	—	—	3.2	29
健診センター	19	—	—	3.5	66
歯科（病院）	0	—	—	—	—
歯科診療所	0	—	—	—	—
研究所	1	1	11	1.0	1
保健所	6	1	2	1.2	7
血液センター	0	—	—	—	—
学校	0	—	—	—	—
衛生検査所	0	—	—	—	—
製薬会社	0	—	—	—	—
医療機器会社	0	—	—	—	—
その他	0	—	—	—	—
全体	1,207	1	220	4.1	4,899

採血ブースの数の平均は4.1との回答である。

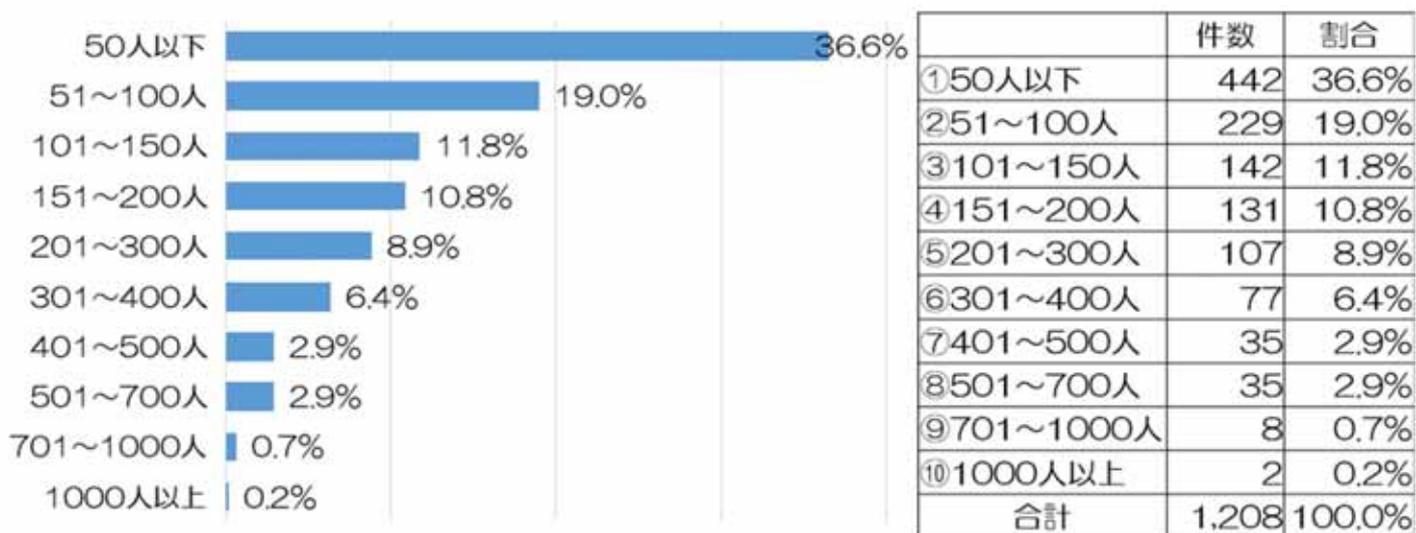
【問35-5】 問35で「1. 外来を行っている」と回答した場合、採血業務に占める臨床検査技師の割合はどれくらいですか。（単位：％）

<施設大分類と問35-5のクロス表>

【A】 施設大分類	回答数	最小	最大	平均
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	56	1	100	45.8
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	295	1	100	53.5
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	640	1	100	47.1
精神病院	22	1	100	45.0
療養所（一般）	6	3	25	14.7
療養所（結核）	0	—	—	—
診療所（有床）	30	1	100	48.5
診療所（無床）	120	1	100	40.3
検診センター	10	1	100	50.6
健診センター	19	5	100	37.8
歯科（病院）	0	—	—	—
歯科診療所	0	—	—	—
研究所	1	100	100	100.0
保健所	6	40	100	81.5
血液センター	0	—	—	—
学校	0	—	—	—
衛生検査所	0	—	—	—
製薬会社	0	—	—	—
医療機器会社	0	—	—	—
その他	0	—	—	—
全体	1,205	1	100	47.9

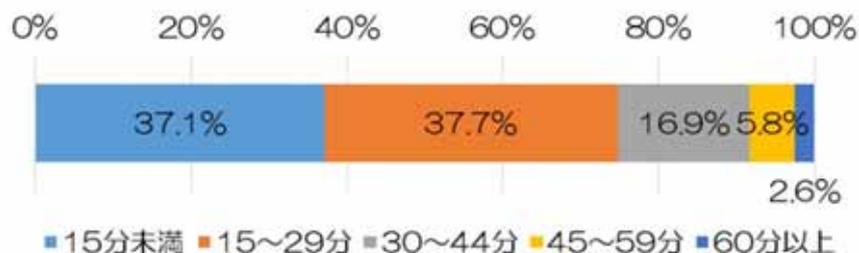
採血業務の割合は平均47.9%との回答であった。

【問35-6】 問35で「1. 外来で行っている」と回答した場合、外来採血室における一日当たりの採血患者数は何人（直近1カ月の平均）ですか。（単一回答）



1日50人以下が最も多く次いで51人～100人であった。

【問35-7】 問35で「1. 外来で行っている」と回答した場合、外来採血室における採血待ち最大待ち時間（直近1カ月の平均）についてお尋ねします。（単一回答）



	件数	割合
① 15分未満	448	37.1%
② 15～29分	455	37.7%
③ 30～44分	204	16.9%
④ 45～59分	70	5.8%
⑤ 60分以上	31	2.6%
合計	1,208	100.0%

15分未満が最も多く、次いで15分～29分との回答であった。

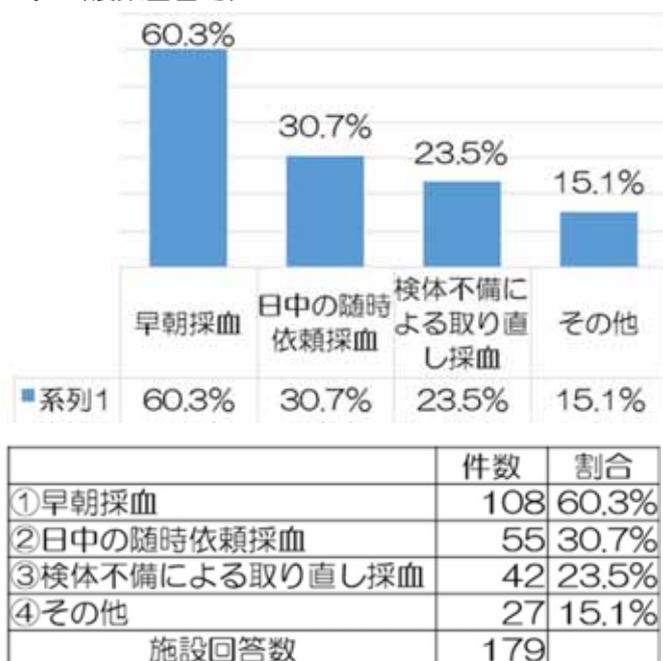
【問35-8】 問35で「2. 病棟で行っている」と回答した場合、病棟採血に占める臨床検査技師の割合はどれくらいですか。（単位：％）

<施設大分類と問35-8のクロス表>

【A】 施設大分類	回答数	最小	最大	平均
一般病院Ⅰ（特定機能病院）	7	2	100	21.7
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）	33	1	90	27.0
一般病院Ⅲ（機能指定無し）	123	1	100	41.4
精神病院	7	2	80	38.1
療養所（一般）	1	40	40	40.0
療養所（結核）	0	—	—	—
診療所（有床）	5	1	30	9.4
診療所（無床）	1	30	30	30.0
検診センター	0	—	—	—
健診センター	0	—	—	—
歯科（病院）	0	—	—	—
歯科診療所	0	—	—	—
研究所	1	10	10	10.0
保健所	0	—	—	—
血液センター	0	—	—	—
学校	0	—	—	—
衛生検査所	0	—	—	—
製薬会社	0	—	—	—
医療機器会社	0	—	—	—
その他	0	—	—	—
全体	178	1	100	36.7

病棟での検査技師が採血に占める割合は平均で36.7%との回答であった。

【問35-9】 問35で「2. 病棟で行っている」と回答した場合、病棟のどのような場面で採血を行なっていますか。（複数回答可）

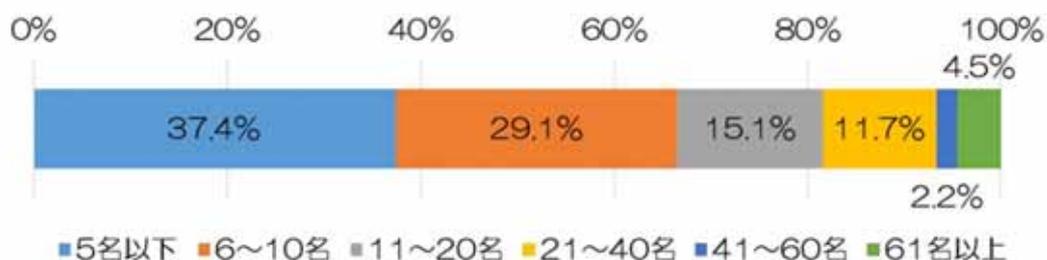


複数選択回答パターン

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	83	46.4%
[1][2]	6	3.4%
[1][2][3]	8	4.5%
[1][3]	7	3.9%
[1][4]	4	2.2%
[2]	23	12.8%
[2][3]	18	10.1%
[3]	7	3.9%
[3][4]	2	1.1%
[4]	21	11.7%

早朝採血が6割との回答であった。

【問35-10】 問35で「2. 病棟で行っている」と回答した場合、病棟で1日あたり合計何名（直近1カ月の平均）の採血を行っていますか。（単一回答）



	件数	割合
①5名以下	67	37.4%
②6~10名	52	29.1%
③11~20名	27	15.1%
④21~40名	21	11.7%
⑤41~60名	4	2.2%
⑥61名以上	8	4.5%
合計	179	100.0%

5名以下が37.4%、次いで6~10名が29.1%との回答であった。



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

- ①會員施設実態調査
- ②會員意識調査

令和元年度

會員意識調査



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

目次

A	主たる都道府県技師会	1
B	性別	2
C	現在の年齢（満年齢）	2
D	担当業務	3
E	扶養家族	3
F	婚姻状態	4
G	勤務している場所（複数回答可）	5
H	役職	9
I	臨床検査技師免許取得に係る最終学歴（単一回答）	4
J	臨床検査技師以外の資格取得状況	10
	日臨技認定資格取得状況	12
I	臨床検査技師の労働環境について	
	【問1】あなた部署では“有給休暇”は取得しやすい環境ですか。（単一回答）	14
	【問1-2】問1で「3.どちらかといえば取得し難しい環境である」「4.どちらかといえば取得し 難しい環境である」と回答した方に質問 取得し難しい理由を選んでください（複数回答可）	15
	【問2】“育児休暇”は取得しやすい環境ですか。（単一回答）	16
	【問2-2】問2で「3.どちらかといえば取得し難しい環境である」「4.どちらかといえば取得し 難しい環境である」と回答した方に質問 取得し難しい理由を選んでください（複数回答可）	17
	【問3】“育児休暇”取得について該当するものを全て選んでください。（複数回答可）	18
	【問4】今後“育児休暇”を取得する場合、復職に際し、不安はあると思いますか。 （単一回答）	21
	【問4-2】問3で「1.大いに不安があった」「2.どちらかといえば不安があった」と回答した 場合、復職に際し、何が不安でしたか。（複数回答可）	22
	【問5】子育てをしながら働くうえで、どのようなことが不安ですか。（単一回答）	24
	【問6】勤務施設においてどのような育児支援を望みますか。（複数回答可）	24
	【問7】今までに介護を行った経験はありましたか。（単一回答）	25
	【問7-2】問7で「1. あった」と回答した場合、今までに“介護休暇”は取得したことがあ りましたか。（単一回答）	25
	【問8】“介護休暇”は取得しやすい環境ですか。（単一回答）	26
	【問8-2】問8で「3.どちらかといえば取得し難しい環境である」「4.取得し難しい環境である」 と回答した場合、“介護休暇”が取得し難しい理由を選んでください。（複数回答可）	27
	【問9】日臨技の無料職業紹介制度を知っていて利用（登録）したことがありますか。 （単一回答）	28
	【問9-2】問9で「1. 知っていて利用（登録）したことがある」と回答した場合、日臨技の 無料職業紹介制度を利用（登録）した転職経験はありますか。（単一回答）	31
	【問9-2-1】問9-2で「3. 同制度の利用（登録）ではない別の方法で転職経験がある」と 回答した場合、同制度を利用していない転職になった理由を選んでください。 （複数回答可）	34
II	他団体学会・研修会（国内・海外）参加について	
	【問10】日臨技主催の学会（全国・支部）に参加したことがありますか？	38
	【問10-2】問10で「2.ない」と回答した方に質問 日臨技主催の学会（全国・支部）に参加しない理由を選んでください。（単一回答）	40
	【問11】日臨技以外のどのような学会に入会されていますか。下記に記入してください。 （複数回答可）	43
	【問12】国際交流（国際学会参加・海外研修・留学）について、該当する項目を全て選んで ください。（複数回答可）	43
III	日臨技の生涯教育研修制度について	
	【問13】“生涯教育研修制度”は、臨床検査技師にとって必要だと思いますか。 （単一回答）	45
	【問13-2】問13で「2.必要と思わない」と回答した方に質問 “生涯教育研修制度”が必要と思わない理由を教えてください。（複数回答可）	46

【問14】 生涯教育制度の目的をどのように考えていますか。(複数回答可)	47
【問15】 “日臨技eラーニング”知っていますか。(単一回答)	49
【問15-2】 問15で「1. 知っている」と回答した場合、現在の状況を選んでください。 (単一回答)	51
【問15-2-1】 問15-2で「1. 現在受講中」と回答した場合、受講して良かったコンテンツ を全て選んでください。(複数回答可)	51
【問15-2-2】 問15-2で「4. 現在、受講の予定はない」と回答した場合、日臨技eラーニ ングの受講を考えていない理由を選んでください。(単一回答)	53

IV 臨地実習について

【問16】 あなたが臨地実習を受けた施設はどこですか。(複数回答可)	56
【問17】 問16で「6.臨地実習を受けた経験がない」と答えた人以外回答してください。 臨地実習の経験期間を教えてください。(単一回答)	58
【問18】 問16で「6.臨地実習を受けた経験がない」と答えた人以外回答してください。 臨地実習の経験が就職後に役に立っていると思いますか。(単一回答)	60
【問18-2】 問18で「3.あまり役に立っていない」「4.全く役に立っていない」と回答した 場合、臨地実習が役立たなかった理由を1つ選んでください。(単一回答)	62

V 日臨技の広報関連について

【問19】 下記の日臨技の発行物で知っているものを選択してください。(複数回答可)	64
【問20】 あなたは会誌「医学検査」を読みますか。(単一回答)	65
【問21】 会誌「医学検査」がJ-STAGEに登載されるようになったことは知っていますか。 (単一回答)	66
【問22】 あなたは会誌「医学検査」に投稿したことがありますか。(単一回答)	66
【問22-2】 問22で「3. 投稿したことがない」と回答した場合、会誌「医学検査」に投稿し たことがない理由を教えてください。(複数回答可)	67
【問23】 “会報JAMT”を読んでいますか。(単一回答)	69
【問24】 “会報JAMT”に取り上げて欲しい内容を選択してください。(複数回答可)	70
【問25】 JAMTマガジン”を読んでいますか。(単一回答)	71
【問25-2】 問25で「3.あまり読まない」「4.全く読まない」と回答した場合、“JAMT マガジン”を読まない理由を教えてください。(単一回答)	72
【問26】 JAMTマガジンに取り上げて欲しい内容を選択してください。(複数回答可)	73
【問27】 日臨技のホームページ(会員専用ページ以外)は見やすいですか。(単一回答)	74
【問28】 日臨技の会員専用サイト(会員ログイン後)は見やすいですか。(単一回答)	75
【問29】 日臨技のホームページで総会の議決権の行使ができるようになったことは知って いますか。(単一回答)	76

VI 日臨技の渉外関連について

【問30】 以下の事項について、該当するものを選んでください。(各設問で単一回答)	77
【問31】 医療政策に関する情報は普段、どのように入手していますか。(複数選択)	89
【問32】 医療政策関連の情報を会員にフィードバックする際に、どのような方法が望ましい か一つ選んでください。(単一回答)	93

VII 日本臨床検査技師連盟について

【問33】 日本臨床検査技師連盟を知っていますか。(単一回答)	95
【問33-2】 問33で「1. 知っている」と回答した場合、日本臨床検査技師連盟に入会してい ますか。	95
【問34】 臨床検査技師の国会議員を知っていますか。(単一回答)	96

VIII “臨床検査技師”という選択肢について

【問35】 臨床検査技師という職業に「誇り」を持っていますか。(単一回答)	97
【問36】 臨床検査技師の「未来は明るい」と思いますか。(単一回答)	97
【問37】 あなたのまわりの人(これから社会人となる人)に対して、臨床検査技師という 選択を勧めますか。(単一回答)	98

A 主たる都道府県技師会（回収状況）

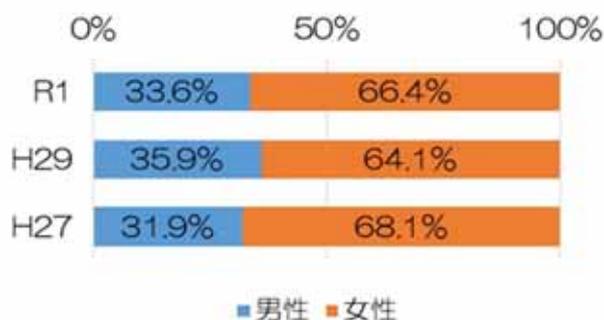
「都道府県別回収状況」

今回（令和元年度） 前回（平成29年度） 前々回（平成27年度）
 会員数は令和元年3月31日現在 会員数は平成29年3月31日現在 会員数は平成27年3月31日現在

都道府県	会員数	回答数	回答率	都道府県	会員数	回答数	回答率	都道府県	会員数	回答数	回答率
北海道	3,209	741	23%	北海道	3,063	573	19%	北海道	2,992	1,675	56%
青森県	631	235	37%	青森県	614	230	37%	青森県	605	419	69%
岩手県	575	133	23%	岩手県	552	114	21%	岩手県	542	280	52%
宮城県	1,121	276	25%	宮城県	1,044	252	24%	宮城県	1,030	587	57%
秋田県	593	237	40%	秋田県	589	193	33%	秋田県	590	391	66%
山形県	613	148	24%	山形県	610	221	36%	山形県	610	391	64%
福島県	1,137	408	36%	福島県	1,096	411	38%	福島県	1,092	742	68%
茨城県	1,288	327	25%	茨城県	1,201	280	23%	茨城県	1,195	747	63%
栃木県	965	321	33%	栃木県	888	250	28%	栃木県	890	487	55%
群馬県	1,064	421	40%	群馬県	991	366	37%	群馬県	959	545	57%
埼玉県	3,165	730	23%	埼玉県	2,753	543	20%	埼玉県	2,607	1,519	58%
千葉県	2,226	496	22%	千葉県	2,041	399	20%	千葉県	1,932	1,107	57%
東京都	6,398	737	12%	東京都	5,539	656	12%	東京都	5,277	2,416	46%
神奈川県	3,476	509	15%	神奈川県	3,305	527	16%	神奈川県	3,218	1,805	56%
新潟県	1,384	350	25%	新潟県	1,336	312	23%	新潟県	1,305	827	63%
富山県	568	221	39%	富山県	563	176	31%	富山県	555	355	64%
石川県	721	301	42%	石川県	698	324	46%	石川県	683	456	67%
福井県	389	104	27%	福井県	386	98	25%	福井県	374	246	66%
山梨県	491	220	45%	山梨県	457	227	50%	山梨県	456	261	57%
長野県	1,389	480	35%	長野県	1,334	464	35%	長野県	1,314	824	63%
岐阜県	883	249	28%	岐阜県	830	259	31%	岐阜県	822	522	64%
静岡県	1,768	657	37%	静岡県	1,642	642	39%	静岡県	1,613	1,020	63%
愛知県	3,443	986	29%	愛知県	3,177	845	27%	愛知県	3,091	2,012	65%
三重県	703	320	46%	三重県	673	279	41%	三重県	659	447	68%
滋賀県	590	144	24%	滋賀県	537	166	31%	滋賀県	526	304	58%
京都府	1,194	178	15%	京都府	1,025	152	15%	京都府	965	487	50%
大阪府	3,606	476	13%	大阪府	3,111	431	14%	大阪府	2,981	1,446	49%
兵庫県	2,080	416	20%	兵庫県	1,796	227	13%	兵庫県	1,698	1,043	61%
奈良県	632	175	28%	奈良県	603	172	29%	奈良県	596	368	62%
和歌山県	376	193	51%	和歌山県	345	152	44%	和歌山県	345	247	72%
鳥取県	335	168	50%	鳥取県	327	140	43%	鳥取県	329	219	67%
島根県	447	244	55%	島根県	433	215	50%	島根県	442	313	71%
岡山県	1,438	394	27%	岡山県	1,365	433	32%	岡山県	1,343	786	59%
広島県	1,852	542	29%	広島県	1,750	619	35%	広島県	1,690	1,121	66%
山口県	802	365	46%	山口県	793	253	32%	山口県	768	553	72%
徳島県	440	105	24%	徳島県	437	109	25%	徳島県	430	236	55%
香川県	698	277	40%	香川県	669	213	32%	香川県	661	406	61%
愛媛県	817	244	30%	愛媛県	799	246	31%	愛媛県	786	521	66%
高知県	665	235	35%	高知県	657	256	39%	高知県	634	374	59%
福岡県	3,445	780	23%	福岡県	3,183	630	20%	福岡県	3,081	1,631	53%
佐賀県	330	86	26%	佐賀県	323	122	38%	佐賀県	326	197	60%
長崎県	883	337	38%	長崎県	857	298	35%	長崎県	829	541	65%
熊本県	1,329	318	24%	熊本県	1,193	413	35%	熊本県	1,152	730	63%
大分県	818	201	25%	大分県	760	140	18%	大分県	731	417	57%
宮崎県	493	179	36%	宮崎県	475	133	28%	宮崎県	458	264	58%
鹿児島県	689	156	23%	鹿児島県	611	147	24%	鹿児島県	588	282	48%
沖縄県	847	178	21%	沖縄県	778	275	35%	沖縄県	733	332	45%
なし		230		なし		126		なし		280	
合計	63,006	15,998	25%	合計	58,209	14,583	25%	合計	56,503	32,899	58%

回答率は前回より向上したが、相変わらず大都市圏での回収率が悪い傾向にある。

B 性別



	R1		H29		H27	
O1:男性	5,451	34%	5,277	36%	10,571	32%
O2:女性	10,759	66%	9,411	64%	22,555	68%
合計	16,210	100%	14,688	100%	33,126	100%

男女比は例年通りである。

C 現在の年齢（満年齢）



(R1)

(参考)

	件数	割合
O1: 20歳以下	0	0.0%
O2: 21～25歳	1,674	10.3%
O3: 26～30歳	2,157	13.3%
O4: 31～35歳	1,831	11.3%
O5: 36～40歳	1,808	11.2%
O6: 41～45歳	1,970	12.2%
O7: 46～50歳	2,094	12.9%
O8: 51～55歳	2,162	13.4%
O9: 56～60歳	1,845	11.4%
O10: 61～65歳	575	3.6%
O11: 66～70歳	65	0.4%
O12: 71歳以上	7	0.0%
合計	16,188	100.0%

	H29		H27		
20歳以下	0	0.0%	20～29歳	8,207	25.2%
21～25歳	1,545	10.5%	30～34歳	4,295	13.2%
26～30歳	1,999	13.6%	35～39歳	3,713	11.4%
31～35歳	1,735	11.8%	40～44歳	3,903	12.0%
36～40歳	1,626	11.1%	45～49歳	3,815	11.7%
41～45歳	1,747	11.9%	50～59歳	7,507	23.0%
46～50歳	1,926	13.1%	60歳以上	1,169	3.6%
51～55歳	1,913	13.0%	合計	32,609	100%
56～60歳	1,791	12.2%			
61～65歳	337	2.3%			
66～70歳	39	0.3%			
71歳以上	8	0.1%			
合計	14,666	100%			

例年通りの年齢構成である。

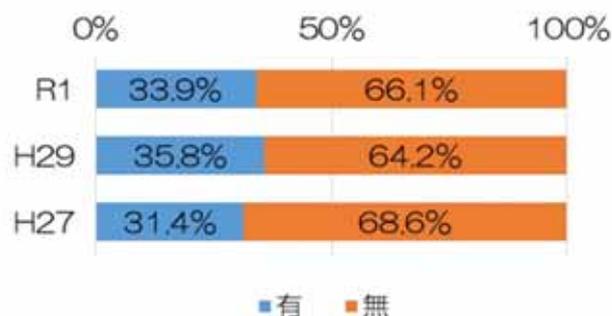
D 担当業務



	件数	割合
01：微生物	1,871	11.7%
02：血清	3,180	19.9%
03：血液	4,199	26.2%
04：化学	4,103	25.6%
05：病理	1,581	9.9%
06：細胞	991	6.2%
07：生理	6,678	41.7%
08：一般	4,127	25.8%
09：公衆衛生	85	0.5%
10：輸血	3,261	20.4%
11：情報システム	527	3.3%
12：検診	1,980	12.4%
13：調査研究	141	0.9%
14：管理・運営	1,929	12.0%
15：全般	1,022	6.4%
16：教育	532	3.3%
17：事務職	287	1.8%
99：その他	926	5.8%
回答人数	16,009	

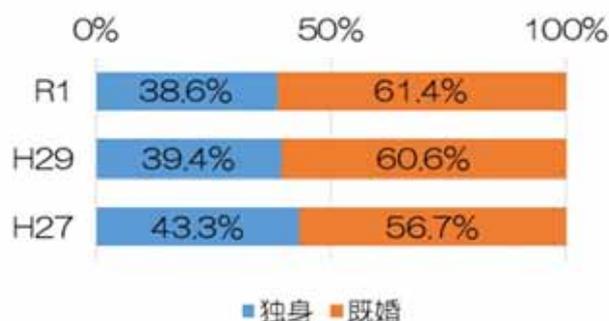
生理検査に従事している会員が41.7%、次いで血液学、化学となっている。

E 扶養家族



	R1		H29		H27	
01：有	5,408	34%	5,172	36%	10,352	31%
02：無	10,529	66%	9,282	64%	22,566	69%
合計	15,937	100%	14,454	100%	32,918	100%

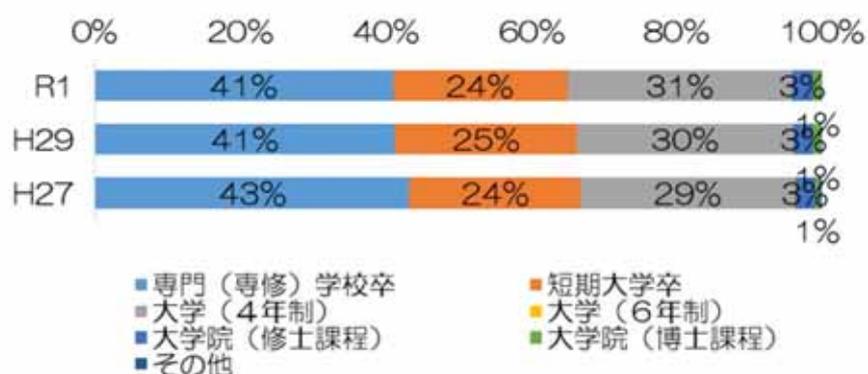
F 婚姻状態



	R1		H29		H27	
O1：独身	6,157	39%	5,702	39%	14,327	43%
O2：既婚	9,780	61%	8,752	61%	18,763	57%
合計	15,937	100%	14,454	100%	33,090	100%

例年通りの状況である。

I 臨床検査技師免許取得に係る最終学歴（単一回答）



	R1		H29		H27	
O1：専門（専修）学校卒	6,492	41%	5,926	41%	14,229	43%
O2：短期大学卒	3,790	24%	3,598	25%	7,763	24%
O3：大学（4年制）	4,880	31%	4,275	30%	9,619	29%
O4：大学（6年制）	6	0%	10	0%	34	0%
O5：大学院（修士課程）	450	3%	381	3%	930	3%
O6：大学院（博士課程）	177	1%	138	1%	214	1%
O7：その他	26	0%	32	0%	105	0%
合計	15,821	100%	14,360	100%	32,894	100%

わずかであるが4年制大学卒業が増え、専門（専修）学校卒業が減少している。

G 勤務している場所（複数回答可）

	件数	割合
中央検査部・検査室	13,299	83.8%
採血室	2,681	16.9%
手術室	170	1.1%
病棟（集中治療室）	33	0.2%
病棟（ハイケア・救急病室）	26	0.2%
病棟（一般）	124	0.8%
救急外来	122	0.8%
外来（一般）	399	2.5%
管理（検査関連）	287	1.8%
透析センター	36	0.2%
内視鏡センター	103	0.6%
心カテ室	405	2.6%
事務系（医事・診療情報）	39	0.2%
地域連携室	5	0.0%
広報	15	0.1%
情報・システム	55	0.3%
医療安全推進室	52	0.3%
治験・臨床研究	61	0.4%
健診・検診センター	1,396	8.8%
検査センター	922	5.8%
研究所（民間）	27	0.2%
研究所（大学）	19	0.1%
教育機関（専門学校）	78	0.5%
教育機関（大学・大学院）	212	1.3%
企業（製薬）	7	0.0%
企業（試薬）	26	0.2%
企業（医療機器）	20	0.1%
介護施設・在宅	6	0.0%
営業・販売	10	0.1%
血液・献血センター	39	0.2%
保健所・検疫所	64	0.4%
認知症疾患医療センター	11	0.1%
その他	284	1.8%
回答人数	15,875	

配属場所は中央検査部・検査室が最も多く、次いで採血室、健診・検診センターとなっている。保健所・検疫所は0.4%、認知症疾患医療センターにも0.1%の技師が配属されている。

<複数選択回答パターン1>

選択肢コード	回答数	回答率
[01]	9641	60.7%
[01][02]	1923	12.1%
[01][02][03]	46	0.3%
[01][02][03][04][05][06][07][08]	1	0.0%
[01][02][03][04][05][06][07][08][10][12]	1	0.0%
[01][02][03][04][05][06][10][12][15]	1	0.0%
[01][02][03][04][05][07][08][15]	1	0.0%
[01][02][03][04][06][07]	1	0.0%
[01][02][03][04][19]	1	0.0%
[01][02][03][06][07][08][09][33]	1	0.0%
[01][02][03][06][08][19]	1	0.0%
[01][02][03][07]	3	0.0%
[01][02][03][07][08][09][19]	1	0.0%
[01][02][03][07][08][19]	1	0.0%
[01][02][03][07][12]	1	0.0%
[01][02][03][08][12]	1	0.0%
[01][02][03][08][19]	2	0.0%
[01][02][03][09][12]	1	0.0%
[01][02][03][12]	13	0.1%
[01][02][03][12][16]	1	0.0%
[01][02][03][12][19]	4	0.0%
[01][02][03][19]	6	0.0%
[01][02][03][22][24]	1	0.0%
[01][02][04][05][06]	1	0.0%
[01][02][04][05][06][07][12]	2	0.0%
[01][02][04][05][06][12]	1	0.0%
[01][02][04][05][12]	1	0.0%
[01][02][04][06]	1	0.0%
[01][02][04][06][07][08][09][19]	1	0.0%
[01][02][04][06][07][08][10][12]	1	0.0%
[01][02][05]	1	0.0%
[01][02][05][06][07][19]	1	0.0%
[01][02][05][06][12][19]	1	0.0%
[01][02][06]	15	0.1%
[01][02][06][07]	3	0.0%
[01][02][06][07][08]	1	0.0%
[01][02][06][07][08][11][12]	1	0.0%
[01][02][06][07][09]	1	0.0%
[01][02][06][07][12][19][33]	1	0.0%
[01][02][06][08]	9	0.1%
[01][02][06][08][16]	2	0.0%
[01][02][06][08][16][19]	1	0.0%
[01][02][06][08][18]	1	0.0%
[01][02][06][09][32]	1	0.0%
[01][02][06][19]	1	0.0%
[01][02][07]	24	0.2%
[01][02][07][08]	4	0.0%
[01][02][07][08][12]	1	0.0%
[01][02][07][08][19]	1	0.0%
[01][02][07][09][12]	1	0.0%
[01][02][07][11]	1	0.0%
[01][02][07][12]	2	0.0%
[01][02][07][12][19]	1	0.0%
[01][02][07][18][19]	1	0.0%
[01][02][07][19]	2	0.0%
[01][02][07][23]	1	0.0%
[01][02][08]	38	0.2%
[01][02][08][09]	3	0.0%
[01][02][08][09][17]	1	0.0%
[01][02][08][09][19]	1	0.0%
[01][02][08][10]	1	0.0%

選択肢コード	回答数	回答率
[01][02][08][10][19][30]	1	0.0%
[01][02][08][11]	3	0.0%
[01][02][08][12]	1	0.0%
[01][02][08][13][33]	1	0.0%
[01][02][08][19]	5	0.0%
[01][02][08][24]	1	0.0%
[01][02][08][33]	1	0.0%
[01][02][09]	46	0.3%
[01][02][09][11][19]	2	0.0%
[01][02][09][12][33]	1	0.0%
[01][02][09][15]	1	0.0%
[01][02][09][15][16][17]	1	0.0%
[01][02][09][16]	1	0.0%
[01][02][09][17]	1	0.0%
[01][02][09][17][23]	1	0.0%
[01][02][09][18]	2	0.0%
[01][02][09][19]	3	0.0%
[01][02][09][24]	1	0.0%
[01][02][09][33]	1	0.0%
[01][02][10][12]	1	0.0%
[01][02][11]	20	0.1%
[01][02][11][12]	4	0.0%
[01][02][11][17][19]	1	0.0%
[01][02][11][19]	2	0.0%
[01][02][12]	99	0.6%
[01][02][12][16][19]	1	0.0%
[01][02][12][19]	22	0.1%
[01][02][14]	1	0.0%
[01][02][15][19]	1	0.0%
[01][02][16]	6	0.0%
[01][02][16][19]	1	0.0%
[01][02][17]	3	0.0%
[01][02][17][19]	2	0.0%
[01][02][18]	16	0.1%
[01][02][19]	180	1.1%
[01][02][21]	2	0.0%
[01][02][22]	2	0.0%
[01][02][23]	1	0.0%
[01][02][24]	4	0.0%
[01][02][30]	2	0.0%
[01][02][32]	1	0.0%
[01][02][33]	3	0.0%
[01][03]	33	0.2%
[01][03][04][05][06][07]	3	0.0%
[01][03][04][05][06][07][12]	1	0.0%
[01][03][04][06][07][08][19]	1	0.0%
[01][03][04][06][07][12]	1	0.0%
[01][03][06]	2	0.0%
[01][03][06][08]	1	0.0%
[01][03][06][12][17]	1	0.0%
[01][03][07]	1	0.0%
[01][03][07][12]	1	0.0%
[01][03][07][17]	1	0.0%
[01][03][08]	4	0.0%
[01][03][08][12]	1	0.0%
[01][03][09]	3	0.0%
[01][03][11]	1	0.0%
[01][03][11][19]	1	0.0%
[01][03][12]	13	0.1%
[01][03][12][16]	1	0.0%
[01][03][12][19]	3	0.0%

⇒ 次頁へ続く

<複数選択回答パターン2>

選択肢コード	回答数	回答率
[01][03][12][33]	1	0.0%
[01][03][16]	1	0.0%
[01][03][19]	1	0.0%
[01][04][05][06][07][08]	3	0.0%
[01][04][05][08]	1	0.0%
[01][04][06][07][08][12]	1	0.0%
[01][04][08]	1	0.0%
[01][05]	1	0.0%
[01][06]	12	0.1%
[01][06][07]	2	0.0%
[01][06][07][08]	2	0.0%
[01][06][07][08][09][16]	1	0.0%
[01][06][07][08][10]	1	0.0%
[01][06][07][12]	1	0.0%
[01][06][08]	9	0.1%
[01][06][08][19]	4	0.0%
[01][06][09]	1	0.0%
[01][07]	14	0.1%
[01][07][08]	2	0.0%
[01][07][08][09][12][19]	1	0.0%
[01][07][08][19]	1	0.0%
[01][07][09][17]	1	0.0%
[01][07][12]	6	0.0%
[01][07][17]	1	0.0%
[01][07][18]	1	0.0%
[01][07][19]	1	0.0%
[01][08]	70	0.4%
[01][08][09][10]	1	0.0%
[01][08][09][13][15][16]	1	0.0%
[01][08][09][15][16][17][19]	1	0.0%
[01][08][10]	2	0.0%
[01][08][10][15][17]	1	0.0%
[01][08][10][19]	1	0.0%
[01][08][11]	4	0.0%
[01][08][12]	4	0.0%
[01][08][17]	1	0.0%
[01][08][19]	10	0.1%
[01][08][24]	1	0.0%
[01][08][32]	1	0.0%
[01][08][33]	1	0.0%
[01][09]	93	0.6%
[01][09][10][13][14][16][17][18]	1	0.0%
[01][09][12]	1	0.0%
[01][09][12][16]	1	0.0%
[01][09][13]	2	0.0%
[01][09][13][16]	1	0.0%
[01][09][13][16][19]	1	0.0%
[01][09][15]	1	0.0%
[01][09][16]	4	0.0%
[01][09][16][17]	1	0.0%
[01][09][16][24]	1	0.0%
[01][09][16][28][29]	1	0.0%
[01][09][17]	3	0.0%
[01][09][17][19]	2	0.0%
[01][09][17][21]	1	0.0%
[01][09][19]	6	0.0%
[01][09][19][33]	1	0.0%
[01][09][20]	5	0.0%
[01][09][20][23][24]	1	0.0%
[01][09][24]	4	0.0%
[01][09][33]	1	0.0%

選択肢コード	回答数	回答率
[01][10]	2	0.0%
[01][10][33]	1	0.0%
[01][11]	32	0.2%
[01][11][12]	1	0.0%
[01][11][15]	1	0.0%
[01][11][19]	3	0.0%
[01][12]	157	1.0%
[01][12][19]	26	0.2%
[01][12][24]	1	0.0%
[01][12][33]	2	0.0%
[01][13]	2	0.0%
[01][13][19]	1	0.0%
[01][13][23]	1	0.0%
[01][13][33]	1	0.0%
[01][16]	13	0.1%
[01][16][19]	1	0.0%
[01][17]	15	0.1%
[01][17][19]	1	0.0%
[01][17][24]	1	0.0%
[01][18]	8	0.1%
[01][19]	283	1.8%
[01][19][20]	6	0.0%
[01][20]	74	0.5%
[01][21]	1	0.0%
[01][23]	3	0.0%
[01][23][24]	2	0.0%
[01][24]	10	0.1%
[01][28]	1	0.0%
[01][32]	7	0.0%
[01][33]	34	0.2%
[02]	45	0.3%
[02][03][04][05][09][10][12]	1	0.0%
[02][03][04][06][07][08][09][10][12]	1	0.0%
[02][06][08]	1	0.0%
[02][07][08]	2	0.0%
[02][08]	6	0.0%
[02][08][11]	2	0.0%
[02][08][12]	3	0.0%
[02][08][19]	3	0.0%
[02][08][33]	1	0.0%
[02][09]	5	0.0%
[02][09][19]	2	0.0%
[02][11]	3	0.0%
[02][11][19]	1	0.0%
[02][12]	1	0.0%
[02][19]	6	0.0%
[02][19][20]	1	0.0%
[02][20]	2	0.0%
[02][33]	3	0.0%
[03]	1	0.0%
[03][04][05][06][07][08]	1	0.0%
[03][04][06][07][08]	1	0.0%
[04][05][07]	1	0.0%
[04][05][07][10]	1	0.0%
[04][07][08]	1	0.0%
[05][07][12]	1	0.0%
[06]	7	0.0%
[06][07]	1	0.0%
[06][08]	7	0.0%
[06][08][09]	1	0.0%
[06][08][10][11]	1	0.0%

⇒ 次頁へ続く

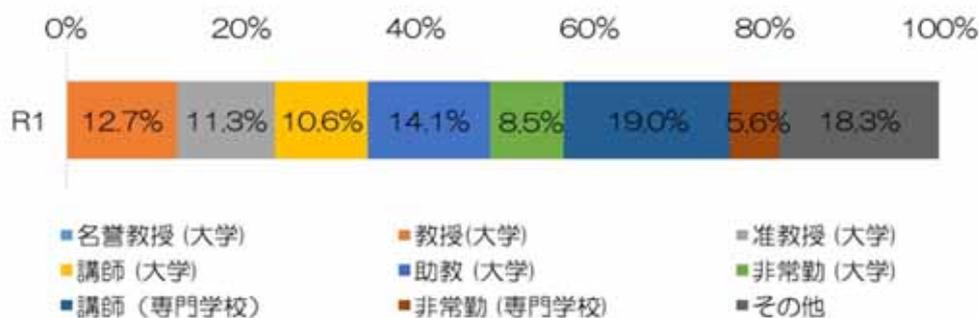
<複数選択回答パターン3>

選択肢コード	回答数	回答率
[06][08][16]	1	0.0%
[06][08][19]	2	0.0%
[06][19]	1	0.0%
[07]	1	0.0%
[07][08]	1	0.0%
[08]	116	0.7%
[08][09]	1	0.0%
[08][09][19]	1	0.0%
[08][10]	5	0.0%
[08][11][12]	1	0.0%
[08][12]	2	0.0%
[08][12][24]	1	0.0%
[08][13][16][19]	1	0.0%
[08][18]	1	0.0%
[08][19]	11	0.1%
[08][24]	1	0.0%
[09]	40	0.3%
[09][13][15][20]	1	0.0%
[09][13][16]	1	0.0%
[09][13][19]	1	0.0%
[09][14][17]	1	0.0%
[09][16][17][33]	1	0.0%
[09][19]	4	0.0%
[09][19][20]	1	0.0%
[09][19][33]	1	0.0%
[09][20]	5	0.0%
[09][20][33]	1	0.0%
[09][33]	3	0.0%
[10]	9	0.1%
[10][12][19][33]	1	0.0%
[10][33]	1	0.0%
[11]	17	0.1%
[11][12]	1	0.0%
[12]	2	0.0%
[13]	14	0.1%
[13][14][15][28][33]	1	0.0%
[13][16][18]	2	0.0%
[13][17]	1	0.0%
[13][19]	2	0.0%
[13][19][29]	1	0.0%
[13][33]	2	0.0%
[14]	1	0.0%
[15]	1	0.0%
[15][20]	1	0.0%
[15][33]	1	0.0%
[16]	2	0.0%
[16][24]	1	0.0%
[16][29]	2	0.0%
[17]	6	0.0%
[17][19][20]	1	0.0%
[18]	23	0.1%
[18][20]	1	0.0%
[18][21]	1	0.0%
[18][22]	1	0.0%
[18][24]	1	0.0%
[18][33]	1	0.0%
[19]	703	4.4%
[19][20]	39	0.2%
[19][21]	2	0.0%
[19][23]	1	0.0%
[19][29]	1	0.0%

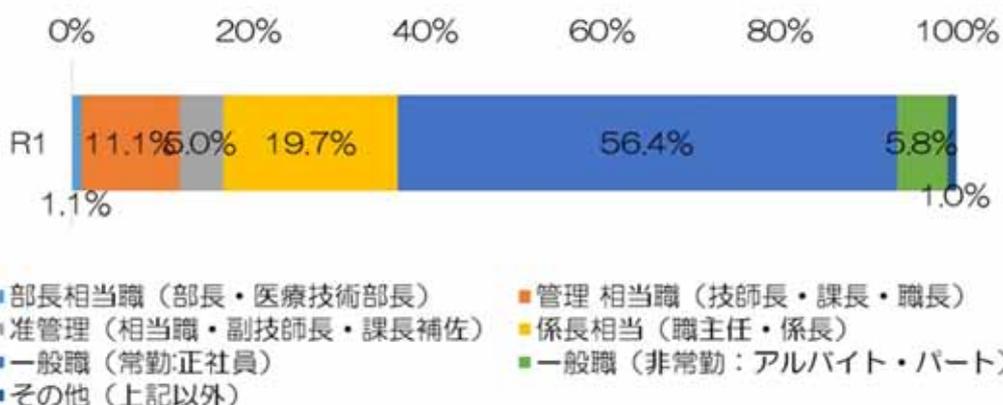
選択肢コード	回答数	回答率
[19][33]	4	0.0%
[20]	777	4.9%
[20][21]	2	0.0%
[20][24]	4	0.0%
[21]	14	0.1%
[21][24][26]	1	0.0%
[21][25]	1	0.0%
[21][25][26]	1	0.0%
[21][26]	1	0.0%
[22]	10	0.1%
[22][23][24]	1	0.0%
[22][24]	4	0.0%
[23]	65	0.4%
[23][33]	1	0.0%
[24]	169	1.1%
[24][33]	1	0.0%
[25]	4	0.0%
[25][30]	1	0.0%
[26]	17	0.1%
[26][27]	5	0.0%
[26][29]	1	0.0%
[27]	15	0.1%
[28]	1	0.0%
[28][33]	2	0.0%
[29]	4	0.0%
[30]	35	0.2%
[31]	62	0.4%
[31][33]	2	0.0%
[32]	1	0.0%
[33]	206	1.3%

H 役職

教育機関
(大学・専門学校)
の方のみ



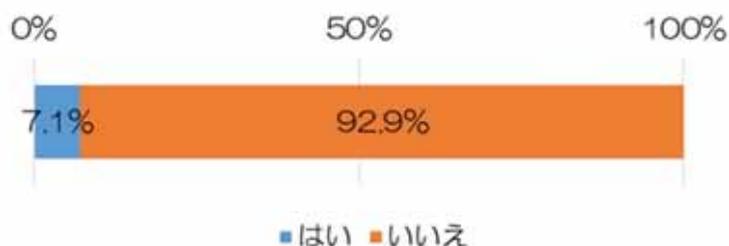
	件数	割合
01：名誉教授 (大学)	0	0.0%
02：教授 (大学)	36	12.7%
03：准教授 (大学)	32	11.3%
04：講師 (大学)	30	10.6%
05：助教 (大学)	40	14.1%
06：非常勤 (大学)	24	8.5%
07：講師 (専門学校)	54	19.0%
08：非常勤 (専門学校)	16	5.6%
09：その他	52	18.3%
合計	284	100.0%



	件数	割合
01：部長相当職 (部長・医療技術部長)	175	1.1%
02：管理 相当職 (技師長・課長・職長)	1,725	11.1%
03：准管理 (相当職・副技師長・課長補佐)	779	5.0%
04：係長相当 (職主任・係長)	3,080	19.7%
05：一般職 (常勤:正社員)	8,795	56.4%
06：一般職 (非常勤:アルバイト・パート)	898	5.8%
07：その他 (上記以外)	153	1.0%
合計	15,605	100.0%

教育の現場では教授職から非常勤講師まで均等に配属されている。一方、医療機関では一般職が最も多く管理職に従事する者は全体の1割程度である。

J 臨床検査技師以外の資格取得状況



	件数	割合
①はい	1,105	7.1%
②いいえ	14,503	92.9%
合計	15,608	100.0%



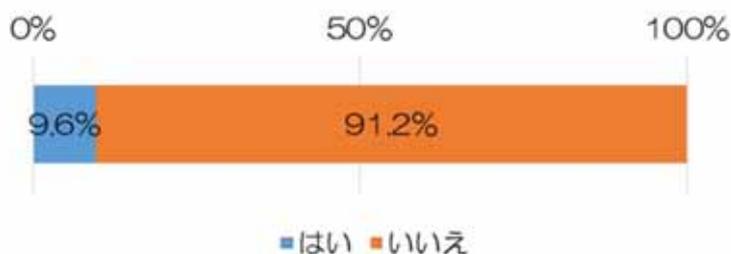
	件数	割合
01：薬剤師	27	2.4%
02：看護師	4	0.4%
03：臨床工学士	225	20.4%
04：救急救命士	3	0.3%
05：診療放射線技師	4	0.4%
06：理学療法士	2	0.2%
07：作業療法士	1	0.1%
08：視能訓練士	1	0.1%
09：言語聴覚士	4	0.4%
10：介護福祉士	21	1.9%
11：社会福祉士	6	0.5%
12：精神保健福祉士	0	0.0%
13：管理栄養士	46	4.2%
14：准看護師	20	1.8%
15：栄養士	68	6.2%
16：その他	719	65.1%
合計	1105	100.0%

臨床検査技師以外の保持資格としては臨床工学技士が19.5%、次いで栄養士、管理栄養士となっている。

<複数選択回答パターン>

選択肢コード	回答数	回答率
[01]	24	2.2%
[01][02][03][04][05][06][07][08][09][10][13][14][15][16]	1	0.1%
[01][03]	2	0.2%
[02]	3	0.3%
[03]	219	19.8%
[03][04][14]	1	0.1%
[03][09]	1	0.1%
[03][16]	1	0.1%
[04]	1	0.1%
[05]	2	0.2%
[05][16]	1	0.1%
[06]	1	0.1%
[09]	2	0.2%
[10]	17	1.5%
[10][11]	1	0.1%
[10][16]	2	0.2%
[11]	4	0.4%
[11][16]	1	0.1%
[13]	27	2.4%
[13][15]	18	1.6%
[14]	16	1.4%
[14][16]	2	0.2%
[15]	47	4.3%
[15][16]	2	0.2%
[16]	709	64.2%

J 臨床検査技師以外の資格取得状況（日臨技認定資格取得状況）



	件数	割合
①はい	1,371	9.6%
②いいえ	14,237	91.2%
合計	15,608	100.0%



	件数	割合
01：認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師	147	10.7%
02：認定一般検査技師	222	16.2%
03：認定心電検査技師	352	25.7%
04：認定臨床染色体遺伝子検査師（染色体分野）	9	0.7%
05：認定臨床染色体遺伝子検査師（遺伝子分野）	18	1.3%
06：認定管理検査技師	41	3.0%
07：認定医療技術部門管理者（旧名：総合監理検査技師）	4	0.3%
08：認定病理検査技師	305	22.2%
09：認定認知症領域検査技師	144	10.5%
10：認定救急検査技師	222	16.2%
11：医療安全管理者	49	3.6%
回答人数	1,371	

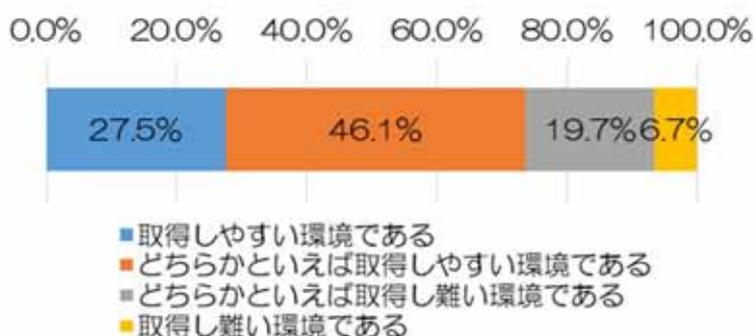
日臨技の認定資格を保持しているものは9.6%であり、最も多い資格は心電図、次いで病理となっている。5つの資格を保持している会員も見受けられた。

<複数選択回答パターン>

選択肢コード	回答数	回答率
[01]	118	8.6%
[01][02]	5	0.4%
[01][02][10]	1	0.1%
[01][03]	1	0.1%
[01][06][09][10]	1	0.1%
[01][09]	2	0.1%
[01][09][10]	1	0.1%
[01][10]	15	1.1%
[01][10][11]	1	0.1%
[01][11]	2	0.1%
[02]	194	14.2%
[02][03]	3	0.2%
[02][03][10]	1	0.1%
[02][06]	2	0.1%
[02][08]	3	0.2%
[02][08][10]	1	0.1%
[02][09]	4	0.3%
[02][10]	7	0.5%
[02][11]	1	0.1%
[03]	314	22.9%
[03][06]	1	0.1%
[03][06][09]	1	0.1%
[03][06][09][10][11]	1	0.1%
[03][09]	10	0.7%
[03][09][10]	2	0.1%
[03][09][10][11]	1	0.1%
[03][10]	12	0.9%
[03][11]	5	0.4%
[04]	8	0.6%
[04][05][08]	1	0.1%
[05]	11	0.8%
[05][08]	5	0.4%
[05][10]	1	0.1%
[06]	24	1.8%
[06][07]	1	0.1%
[06][08]	1	0.1%
[06][08][09]	1	0.1%
[06][08][11]	1	0.1%
[06][09]	3	0.2%
[06][10]	2	0.1%
[06][11]	2	0.1%
[07]	2	0.1%
[07][11]	1	0.1%
[08]	283	20.6%
[08][09]	2	0.1%
[08][10]	1	0.1%
[08][11]	6	0.4%
[09]	107	7.8%
[09][10]	5	0.4%
[09][11]	3	0.2%
[10]	165	12.0%
[10][11]	4	0.3%
[11]	21	1.5%

I 臨床検査技師の労働環境について

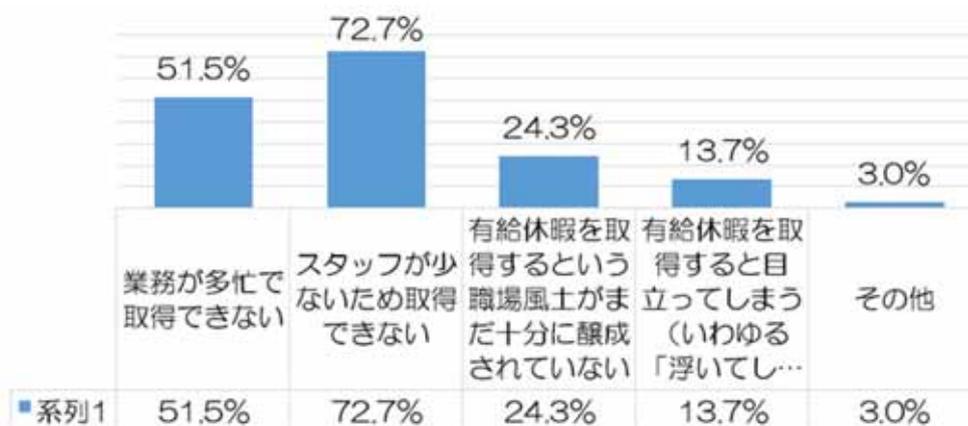
【問1】 あなた部署では“有給休暇”は取得しやすい環境ですか。（単一回答）



	件数	割合
①取得しやすい環境である	4,323	27.5%
②どちらかといえば取得しやすい環境である	7,257	46.1%
③どちらかといえば取得し難い環境である	3,097	19.7%
④取得し難い環境である	1,057	6.7%
合計	15,734	100.0%

7割を超える会員が取得しやすいと回答している。

【問1-2】問1で「3.どちらかといえば取得し難い環境である」「4.どちらかといえば取得し難い環境である」と回答した方に質問
取得し難い理由を選んでください（複数回答可）



複数選択回答パターン

	件数	割合
①業務が多忙で取得できない	2,137	51.5%
②スタッフが少ないため取得できない	3,019	72.7%
③有給休暇を取得するという職場風土がまだ十分に醸成されていない	1,010	24.3%
④有給休暇を取得すると目立ってしまう (いわゆる「浮いてしまう」)	569	13.7%
⑤その他	124	3.0%
合計	4,153	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	473	11.4%
[1][2]	1088	26.2%
[1][2][3]	146	3.5%
[1][2][3][4]	163	3.9%
[1][2][3][4][5]	1	0.0%
[1][2][3][5]	1	0.0%
[1][2][4]	63	1.5%
[1][2][5]	13	0.3%
[1][3]	103	2.5%
[1][3][4]	40	1.0%
[1][3][4][5]	1	0.0%
[1][3][5]	1	0.0%
[1][4]	29	0.7%
[1][4][5]	1	0.0%
[1][5]	14	0.3%
[2]	1254	30.2%
[2][3]	156	3.8%
[2][3][4]	71	1.7%
[2][4]	51	1.2%
[2][4][5]	1	0.0%
[2][5]	11	0.3%
[3]	248	6.0%
[3][4]	72	1.7%
[3][4][5]	3	0.1%
[3][5]	4	0.1%
[4]	72	1.7%
[4][5]	1	0.0%
[5]	72	1.7%

取得しづらい理由はスタッフが少ないためが多岐にわたる回答であり、複数回答では業務が多忙であり、スタッフが少ないために取得できないと回答している。

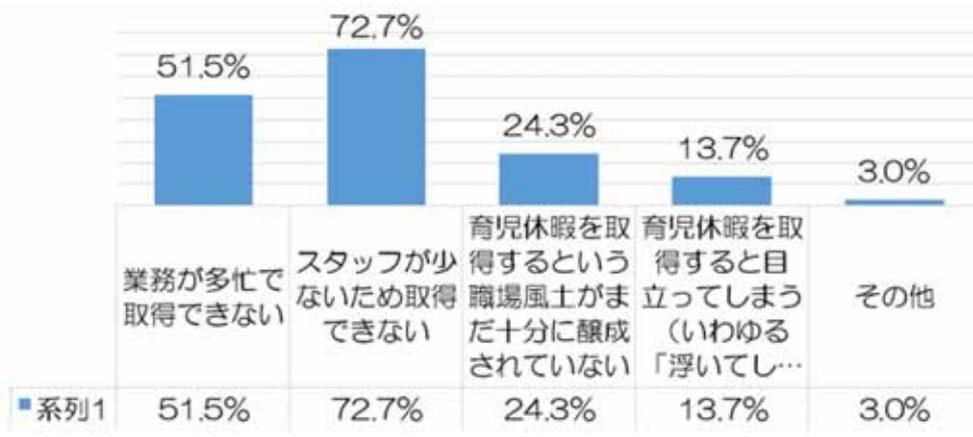
【問2】 “育児休暇” は取得しやすい環境ですか？（単一回答）



	件数	割合
①取得しやすい環境である	5,918	37.7%
②どちらかといえば取得しやすい環境である	7,327	46.6%
③どちらかといえば取得し難い環境である	1,644	10.5%
④取得し難い環境である	823	5.2%
合計	15,712	100.0%

8割を超える会員が取得しやすい環境にあると回答している。

【問2-2】問2で「3.どちらかといえば取得し難い環境である」「4.どちらかといえば取得し難い環境である」と回答した方に質問
 取得し難い理由を選んでください（複数回答可）



複数選択回答パターン

	件数	割合	選択肢コード	回答数	回答率
①業務が多忙で取得できない	678	18.2%	[1]	92	3.7%
			[1][2]	322	13.1%
			[1][2][3]	81	3.3%
			[1][2][3][4]	101	4.1%
			[1][2][3][4][5]	3	0.1%
②スタッフが少ないため取得できない	1,726	46.4%	[1][2][3][5]	2	0.1%
			[1][2][4]	16	0.6%
③育児休暇を取得するという職場風土がまだ十分に醸成されていない	797	21.4%	[1][2][5]	5	0.2%
			[1][3]	33	1.3%
④育児休暇を取得すると目立ってしまう(いわゆる「浮いてしまう」)	383	10.3%	[1][3][4]	16	0.6%
			[1][4]	7	0.3%
⑤その他	133	3.6%	[2]	1003	40.7%
			[2][3]	110	4.5%
			[2][3][4]	54	2.2%
			[2][3][4][5]	1	0.0%
			[2][4]	23	0.9%
			[2][4][5]	1	0.0%
			[2][5]	4	0.2%
			[3]	317	12.9%
			[3][4]	73	3.0%
			[3][4][5]	1	0.0%
[3][5]	5	0.2%			
回答人数	2,466		[4]	85	3.4%
			[4][5]	2	0.1%
			[5]	109	4.4%

取得しづらい理由はスタッフが少ないことであり、複数回答でも業務が多忙であり、スタッフが少ないためと回答している。

【問3】 “育児休暇” 取得について該当するものを全て選んでください。（複数回答可）



複数選択回答パターン

	件数	割合
①産後休業(8週間)中に取得した	63	1.2%
②育児休業中に取得した	43	0.8%
③育児休業を交代で取得した	12	0.2%
④取得したことはない	5,059	96.4%
⑤その他	93	1.8%
回答人数	5,248	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	55	1.0%
[1][2]	6	0.1%
[1][2][3]	1	0.0%
[1][3]	1	0.0%
[2]	35	0.7%
[2][4]	1	0.0%
[3]	10	0.2%
[4]	5046	96.2%
[4][5]	12	0.2%
[5]	81	1.5%

ほとんどの男性会員が育児休暇を取得していない。

問3で「1.産後休業(8週間)中に取得した」日数

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	回答数	最小	最大	平均	合計
20歳以下	0	—	—	—	—
21～25歳	0	—	—	—	—
26～30歳	3	8	365	12	36
31～35歳	12	1	365	6	66
36～40歳	6	1	10	17	103
41～45歳	7	2	56	65	457
46～50歳	8	3	515	19	150
51～55歳	7	24	365	67	472
56～60歳	11	1	300	149	1,637
61～65歳	6	1	30	28	168
66～70歳	2	1	5	4	7
71歳以上	0	—	—	—	—
全体	62	1	515	50	3,096

問3で「2.育児休業中に取得した」日数

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	回答数	最小	最大	平均	合計
20歳以下	0	—	—	—	—
21～25歳	0	—	—	—	—
26～30歳	3	2	30	12	37
31～35歳	10	3	31	17	172
36～40歳	4	1	240	63	250
41～45歳	3	2	180	62	185
46～50歳	5	3	300	77	384
51～55歳	7	1	365	178	1,249
56～60歳	7	1	365	113	791
61～65歳	3	1	200	127	381
66～70歳	1	4	4	4	4
71歳以上	0	—	—	—	—
全体	43	1	365	80	3,453

問3で「3. 育児休業を交代で取得した」日数

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	回答数	最小	最大	平均	合計
20歳以下	0	—	—	—	—
21～25歳	0	—	—	—	—
26～30歳	0	—	—	—	—
31～35歳	0	—	—	—	—
36～40歳	2	10	60	35	70
41～45歳	2	3	180	91.5	183
46～50歳	3	2	60	30.7	92
51～55歳	2	1	90	45.5	91
56～60歳	1	60	60	60	60
61～65歳	0	—	—	—	—
66～70歳	1	5	5	5	5
71歳以上	0	—	—	—	—
全体	11	1	180	45.5	501

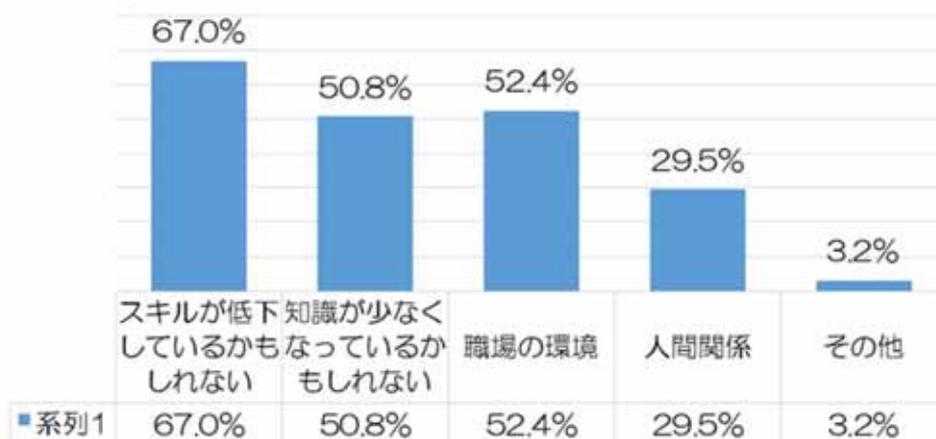
【問4】 今後“育児休暇”を取得する場合、復職に際し、不安はありますか。（単一回答）



	件数	割合
①大いにある	2,439	15.6%
②どちらかといえばある	6,645	42.5%
③あまり不安はない	5,274	33.8%
④全く不安はない	1,260	8.1%
合計	15,618	100.0%

復職に関して何らかの不安を感じているとの回答であった。

【問4-2】 問3で「1.大いに不安があった」「2.どちらかといえば不安があった」と回答した場合、復職に際し、何が不安でしたか。（複数回答可）



複数選択回答パターン

不安の原因	件数	割合
①スキルが低下しているかもしれない	6,087	67.0%
②知識が少なくなっているかもしれない	4,617	50.8%
③職場の環境	4,755	52.4%
④人間関係	2,678	29.5%
⑤その他	288	3.2%
回答人数	9,081	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	1346	14.8%
[1][2]	1692	18.6%
[1][2][3]	750	8.3%
[1][2][3][4]	1117	12.3%
[1][2][3][4][5]	23	0.3%
[1][2][3][5]	9	0.1%
[1][2][4]	203	2.2%
[1][2][5]	26	0.3%
[1][3]	477	5.3%
[1][3][4]	281	3.1%
[1][3][4][5]	2	0.0%
[1][3][5]	7	0.1%
[1][4]	134	1.5%
[1][4][5]	2	0.0%
[1][5]	18	0.2%
[2]	493	5.4%
[2][3]	162	1.8%
[2][3][4]	97	1.1%
[2][3][4][5]	1	0.0%
[2][3][5]	3	0.0%
[2][4]	38	0.4%
[2][5]	3	0.0%
[3]	1233	13.6%
[3][4]	568	6.3%
[3][4][5]	9	0.1%
[3][5]	16	0.2%
[4]	202	2.2%
[4][5]	1	0.0%
[5]	168	1.9%

スキルの低下を危惧する会員が最も多く、次いで職場の環境、知識低下となっていた。複数回答ではスキルと知識の低下を危惧すると回答いただいた方が18.6%との結果であった。

【問5】 子育てをしながら働くうえで、どのようなことが不安ですか。（単一回答）



	件数	割合
① 残業・夜勤が出来ない（またはしにくい）	3,480	22.4%
② 育児休暇を取得したことによる同僚との遅れやハンデ	962	6.2%
③ 子供の病気等で休みを取得する機会が増える	7,381	47.6%
④ 職場スタッフの理解の欠如	930	6.0%
⑤ 復職者に対する教育・トレーニング	524	3.4%
⑥ 特になし	1,956	12.6%
⑦ その他	271	1.7%
合計	15,504	100.0%

子供の病気による休暇の機会が増えることが一番の不安との結果であった。

【問6】 勤務施設においてどのような育児支援を望みますか。（複数回答可）



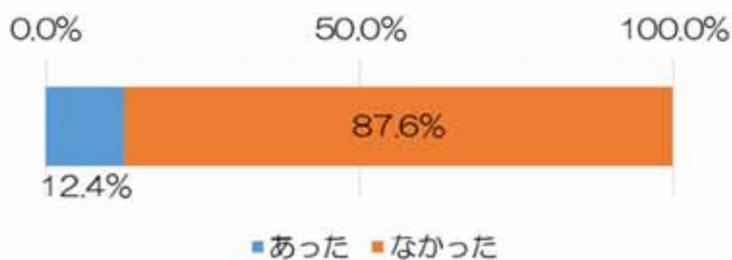
複数選択回答パターン

	件数	割合
①施設内に育児施設	5,714	36.9%
②外部育児施設の斡旋	2,199	14.2%
③当直などの勤務時間の配慮	7,416	47.8%
④育児手当などの経済的援助	4,892	31.6%
⑤特になし	2,043	13.2%
⑥その他	335	2.2%
回答人数	15,504	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	2417	15.6%
[1][2]	257	1.7%
[1][2][3]	215	1.4%
[1][2][3][4]	470	3.0%
[1][2][3][4][6]	5	0.0%
[1][2][3][6]	2	0.0%
[1][2][4]	143	0.9%
[1][2][4][6]	1	0.0%
[1][2][6]	3	0.0%
[1][3]	1061	6.8%
[1][3][4]	607	3.9%
[1][3][4][6]	4	0.0%
[1][3][6]	10	0.1%
[1][4]	496	3.2%
[1][4][6]	4	0.0%
[1][5]	10	0.1%
[1][6]	9	0.1%
[2]	519	3.3%
[2][3]	229	1.5%
[2][3][4]	176	1.1%
[2][3][4][6]	2	0.0%
[2][3][6]	2	0.0%
[2][4]	172	1.1%
[2][5]	1	0.0%
[2][6]	2	0.0%
[3]	3591	23.2%
[3][4]	986	6.4%
[3][4][6]	17	0.1%
[3][5]	13	0.1%
[3][6]	26	0.2%
[4]	1791	11.6%
[4][5]	5	0.0%
[4][6]	13	0.1%
[5]	2010	13.0%
[5][6]	4	0.0%
[6]	231	1.5%

育児支援として望む処置は当直への配慮が一番であり次いで施設内の育児施設の設置、育児手当などの経済的援助との結果であった。

【問7】 今までに介護を行った経験はありましたか。（単一回答）



	件数	割合
①あった	1,925	12.4%
②なかった	13,551	87.6%
合計	15,476	100.0%

介護を行った経験がある方は、1割強であった。

【問7-2】 問7で「1. あった」と回答した場合、今までに“介護休暇”は取得したことがありましたか。（単一回答）



	件数	割合
①あった	229	11.9%
②なかった	1,696	88.1%
合計	1,925	100.0%

介護休暇を取得された方は1割強であった。

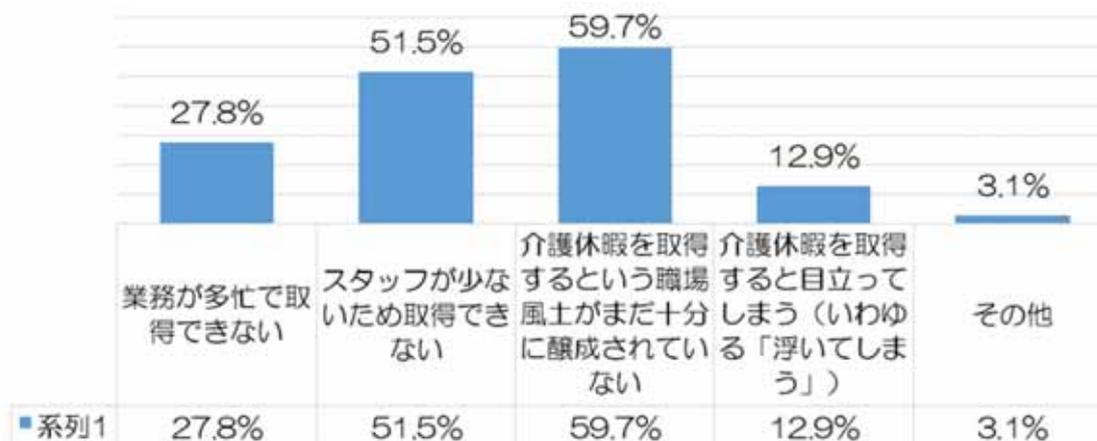
【問8】 “介護休暇” は取得しやすい環境ですか。（単一回答）



	件数	割合
①取得しやすい	931	6.6%
②どちらかといえば取得しやすい	6,058	42.9%
③どちらかといえば取得し難い	4,974	35.3%
④取得し難い	2,146	15.2%
合計	14,109	100.0%

取得しやすい環境かどうかの意見としては、ほぼ半数に分かれた結果であった。

【問8-2】 問8で「3.どちらかといえば取得し難い環境である」「4. 取得し難い環境である」と回答した場合、“介護休暇”が取得し難い理由を選んでください。（複数回答可）



複数選択回答パターン

	件数	割合	選択肢コード	回答数	回答率
①業務が多忙で取得できない	2,213	27.8%	[1]	411	5.2%
			[1][2]	623	7.8%
			[1][2][3]	514	6.5%
			[1][2][3][4]	319	4.0%
			[1][2][3][4][5]	4	0.1%
②スタッフが少ないため取得できない	4,092	51.5%	[1][2][3][5]	2	0.0%
			[1][2][4]	21	0.3%
			[1][2][5]	5	0.1%
			[1][3]	225	2.8%
			[1][3][4]	67	0.8%
③介護休暇を取得するという職場風土がまだ十分に醸成されていない	4,746	59.7%	[1][3][4][5]	1	0.0%
			[1][3][5]	2	0.0%
			[1][4]	15	0.2%
			[1][5]	4	0.1%
			[2]	1698	21.4%
④介護休暇を取得すると目立ってしまう(いわゆる「浮いてしまう」)	1,025	12.9%	[2][3]	694	8.7%
			[2][3][4]	157	2.0%
			[2][3][4][5]	1	0.0%
			[2][3][5]	4	0.1%
			[2][4]	40	0.5%
⑤その他	246	3.1%	[2][5]	10	0.1%
			[3]	2521	31.7%
			[3][4]	227	2.9%
			[3][4][5]	1	0.0%
			[3][5]	7	0.1%
回答人数	7,949		[4]	171	2.2%
			[4][5]	1	0.0%
			[5]	204	2.6%

介護休暇を取得する職場風土がまだ醸成されていないとの意見が1番であり、次いでスタッフ不足とのことであった。

【問9】 日臨技の無料職業紹介制度を知っていて利用（登録）したことがありますか。（単一回答）



	件数	割合
①知っていて利用（登録）したことがある	544	3.5%
②知っているが、利用（登録）したことはない	9,124	59.0%
③同制度を知らなかった	5,805	37.5%
合計	15,473	100.0%

利用したことがある方は3.5%、この制度を知らなかった方は37.5%であった。

<現在の年齢と問9のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問9】日臨技の無料職業紹介制度を知っていて利用（登録）したことがありますか。（単一回答）			
	知っていて利用 (登録)したこ とがある	知っているが、 利用（登録）し たことはない	同制度を知らな かった	合計
20歳以下	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
21～25歳	件数 10 割合 0.6%	件数 260 割合 16.2%	件数 1337 割合 83.2%	件数 1607 割合 100.0%
26～30歳	件数 37 割合 1.8%	件数 593 割合 28.3%	件数 1462 割合 69.9%	件数 2092 割合 100.0%
31～35歳	件数 27 割合 1.5%	件数 827 割合 46.5%	件数 923 割合 51.9%	件数 1777 割合 100.0%
36～40歳	件数 71 割合 4.1%	件数 1062 割合 60.9%	件数 610 割合 35.0%	件数 1743 割合 100.0%
41～45歳	件数 113 割合 6.0%	件数 1286 割合 67.9%	件数 495 割合 26.1%	件数 1894 割合 100.0%
46～50歳	件数 103 割合 5.2%	件数 1499 割合 75.6%	件数 380 割合 19.2%	件数 1982 割合 100.0%
51～55歳	件数 83 割合 4.0%	件数 1650 割合 80.4%	件数 320 割合 15.6%	件数 2053 割合 100.0%
56～60歳	件数 74 割合 4.3%	件数 1444 割合 83.4%	件数 213 割合 12.3%	件数 1731 割合 100.0%
61～65歳	件数 20 割合 3.8%	件数 452 割合 85.3%	件数 58 割合 10.9%	件数 530 割合 100.0%
66～70歳	件数 4 割合 7.5%	件数 45 割合 84.9%	件数 4 割合 7.5%	件数 53 割合 100.0%
71歳以上	件数 2 割合 66.7%	件数 1 割合 33.3%	件数 0 割合 0.0%	件数 3 割合 100.0%
未回答	件数 0 割合 0.0%	件数 5 割合 62.5%	件数 3 割合 37.5%	件数 8 割合 100.0%
合計	件数 544 割合 3.5%	件数 9124 割合 59.0%	件数 5805 割合 37.5%	件数 15473 割合 100.0%

＜主たる都道府県技師会と問9のクロス表 その1＞

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)	【問9】日臨技の無料職業紹介制度を知っていて利用(登録)したことがありますか。(単一回答)				
	知っていて利用 (登録)したことがある	知っているが、 利用(登録)したことはない	同制度を知らなかった	合計	
北海道	件数 割合	35 77.8%	401 891.1%	262 582.2%	45 100.0%
青森県	件数 割合	6 2.7%	142 63.4%	76 33.9%	224 100.0%
岩手県	件数 割合	1 0.8%	82 67.8%	38 31.4%	121 100.0%
宮城県	件数 割合	4 1.5%	192 73.3%	66 25.2%	262 100.0%
秋田県	件数 割合	4 1.7%	143 61.6%	85 36.6%	232 100.0%
山形県	件数 割合	1 0.7%	95 67.4%	45 31.9%	141 100.0%
福島県	件数 割合	6 1.5%	266 66.0%	131 32.5%	403 100.0%
茨城県	件数 割合	12 3.8%	195 62.5%	105 33.7%	312 100.0%
栃木県	件数 割合	5 1.6%	175 56.5%	130 41.9%	310 100.0%
群馬県	件数 割合	10 2.5%	206 50.6%	191 46.9%	407 100.0%
埼玉県	件数 割合	24 3.5%	378 54.6%	290 41.9%	692 100.0%
千葉県	件数 割合	28 5.9%	284 60.0%	161 34.0%	473 100.0%
東京都	件数 割合	53 7.7%	429 62.6%	203 29.6%	685 100.0%
神奈川県	件数 割合	39 8.1%	304 62.9%	140 29.0%	483 100.0%
新潟県	件数 割合	8 2.4%	194 58.4%	130 39.2%	332 100.0%
富山県	件数 割合	5 2.4%	107 50.5%	100 47.2%	212 100.0%
石川県	件数 割合	5 1.7%	166 56.8%	121 41.4%	292 100.0%
福井県	件数 割合	2 2.0%	47 47.5%	50 50.5%	99 100.0%
山梨県	件数 割合	8 3.7%	121 55.3%	90 41.1%	219 100.0%
長野県	件数 割合	9 2.0%	277 60.2%	174 37.8%	460 100.0%
岐阜県	件数 割合	5 2.1%	130 53.9%	106 44.0%	241 100.0%
静岡県	件数 割合	23 3.6%	356 55.8%	259 40.6%	638 100.0%
愛知県	件数 割合	34 3.6%	576 61.0%	334 35.4%	944 100.0%
三重県	件数 割合	15 4.9%	164 53.2%	129 41.9%	308 100.0%

⇒次頁へ続く

＜主たる都道府県技師会と問9のクロス表 その2＞

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)	【問9】日臨技の無料職業紹介制度を知っていて利用(登録)したことがありますか。(単一回答)			
	知っていて利用(登録)したことがある	知っているが、利用(登録)したことはない	同制度を知らなかった	合計
滋賀県	件数 5 割合 3.7%	92 68.7%	37 27.6%	134 100.0%
京都府	件数 4 割合 2.4%	94 57.3%	66 40.2%	164 100.0%
大阪府	件数 27 割合 6.2%	261 59.6%	150 34.2%	438 100.0%
兵庫県	件数 22 割合 5.5%	228 57.3%	148 37.2%	398 100.0%
奈良県	件数 6 割合 3.6%	105 63.6%	54 32.7%	165 100.0%
和歌山県	件数 5 割合 2.7%	114 60.6%	69 36.7%	188 100.0%
鳥取県	件数 5 割合 3.1%	99 60.7%	59 36.2%	163 100.0%
島根県	件数 12 割合 4.9%	140 57.4%	92 37.7%	244 100.0%
岡山県	件数 7 割合 1.9%	205 54.5%	164 43.6%	376 100.0%
広島県	件数 26 割合 5.1%	339 66.1%	148 28.8%	513 100.0%
山口県	件数 9 割合 2.5%	234 65.9%	112 31.5%	355 100.0%
徳島県	件数 2 割合 2.0%	47 46.5%	52 51.5%	101 100.0%
香川県	件数 2 割合 0.8%	152 57.1%	112 42.1%	266 100.0%
愛媛県	件数 6 割合 2.6%	144 62.3%	81 35.1%	231 100.0%
高知県	件数 6 割合 2.7%	156 69.6%	62 27.7%	224 100.0%
福岡県	件数 26 割合 3.6%	404 55.5%	298 40.9%	728 100.0%
佐賀県	件数 0 割合 0.0%	56 69.1%	25 30.9%	81 100.0%
長崎県	件数 5 割合 1.6%	199 62.6%	114 35.8%	318 100.0%
熊本県	件数 5 割合 1.6%	164 52.9%	141 45.5%	310 100.0%
大分県	件数 2 割合 1.0%	115 59.3%	77 39.7%	194 100.0%
宮崎県	件数 2 割合 1.2%	98 57.3%	71 41.5%	171 100.0%
鹿児島県	件数 3 割合 2.0%	80 54.1%	65 43.9%	148 100.0%
沖縄県	件数 2 割合 1.1%	70 40.2%	102 58.6%	174 100.0%
なし(日臨技のみ)	件数 13 割合 6.5%	98 48.8%	90 44.8%	201 100.0%
合計	件数 544 割合 3.5%	9124 59.0%	5805 37.5%	15473 100.0%

【問9-2】 問9で「1. 知っていて利用（登録）したことがある」と回答した場合、日臨技の無料職業紹介制度を利用（登録）した転職経験はありますか。（単一回答）



	件数	割合
①同制度を利用（登録）した転職経験がある	128	23.5%
②同制度を利用（登録）したが、転職経験はない	267	49.1%
③同制度の利用（登録）ではない別の方法で転職経験がある	149	27.4%
合計	544	100.0%

この制度に登録したが転職経験はないとの回答が49.1%であった。

<現在の年齢と問9-2のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問9-2】 問9で「1. 知っていて利用（登録）したことがある」と回答した場合、日臨技の無料職業紹介制度を利用（登録）した転職経験はありますか。（単一回答） ※ 【問9】 日臨技の無料職業紹介制度を知っていて利用（登録）したことがありますか。（単一回答）			
	1：同制度を利用 (登録)した 転職経験がある	2：同制度を利用 (登録)したが、 転職経験はない	3：同制度の利用 (登録)ではない 別の方法で 転職経験がある	合計
20歳以下	0	0	0	0
21～25歳	1 10.0%	7 70.0%	2 20.0%	10 100.0%
26～30歳	3 8.1%	27 73.0%	7 18.9%	37 100.0%
31～35歳	4 14.8%	11 40.7%	12 44.4%	27 100.0%
36～40歳	8 11.3%	38 53.5%	25 35.2%	71 100.0%
41～45歳	25 22.1%	54 47.8%	34 30.1%	113 100.0%
46～50歳	37 35.9%	40 38.8%	26 25.2%	103 100.0%
51～55歳	26 31.3%	38 45.8%	19 22.9%	83 100.0%
56～60歳	17 23.0%	40 54.1%	17 23.0%	74 100.0%
61～65歳	7 35.0%	7 35.0%	6 30.0%	20 100.0%
66～70歳	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	4 100.0%
71歳以上	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
未回答	0	0	0	0
合計	128 23.5%	267 49.1%	149 27.4%	544 100.0%

<主たる都道府県技師会と問9-2のクロス表 その1>

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)		【問9-2】問9で「1. 知っていて利用（登録）したことがある」と回答した場合、日臨技の無料職業紹介制度を利用（登録）した転職経験はありますか。（単一回答） ※ 【問9】日臨技の無料職業紹介制度を知っていて利用（登録）したことがありますか。（単一回答）			
		1：同制度を利用（登録）した転職経験がある	2：同制度を利用（登録）したが、転職経験はない	3：同制度の利用（登録）ではない別の方法で転職経験がある	合計
北海道	件数	13	14	8	35
	割合	37.1%	40.0%	22.9%	100.0%
青森県	件数	2	2	2	6
	割合	33.3%	33.3%	33.3%	100.0%
岩手県	件数	0	0	1	1
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
宮城県	件数	0	2	2	4
	割合	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%
秋田県	件数	1	3	0	4
	割合	25.0%	75.0%	0.0%	100.0%
山形県	件数	0	1	0	1
	割合	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
福島県	件数	3	2	1	6
	割合	50.0%	33.3%	16.7%	100.0%
茨城県	件数	0	5	7	12
	割合	0.0%	41.7%	58.3%	100.0%
栃木県	件数	1	2	2	5
	割合	20.0%	40.0%	40.0%	100.0%
群馬県	件数	3	3	4	10
	割合	30.0%	30.0%	40.0%	100.0%
埼玉県	件数	7	11	6	24
	割合	29.2%	45.8%	25.0%	100.0%
千葉県	件数	7	17	4	28
	割合	25.0%	60.7%	14.3%	100.0%
東京都	件数	12	27	14	53
	割合	22.6%	50.9%	26.4%	100.0%
神奈川県	件数	6	23	10	39
	割合	15.4%	59.0%	25.6%	100.0%
新潟県	件数	2	2	4	8
	割合	25.0%	25.0%	50.0%	100.0%
富山県	件数	3	2	0	5
	割合	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%
石川県	件数	1	2	2	5
	割合	20.0%	40.0%	40.0%	100.0%
福井県	件数	1	0	1	2
	割合	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%
山梨県	件数	2	5	1	8
	割合	25.0%	62.5%	12.5%	100.0%
長野県	件数	2	5	2	9
	割合	22.2%	55.6%	22.2%	100.0%
岐阜県	件数	1	4	0	5
	割合	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
静岡県	件数	7	13	3	23
	割合	30.4%	56.5%	13.0%	100.0%
愛知県	件数	9	15	10	34
	割合	26.5%	44.1%	29.4%	100.0%
三重県	件数	3	5	7	15
	割合	20.0%	33.3%	46.7%	100.0%

⇒次頁へ続く

＜主たる都道府県技師会と問9-2のクロス表 その2＞

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)		【問9-2】問9で「1. 知っている利用(登録)したことがある」と回答した場合、日臨技の無料職業紹介制度を利用(登録)した転職経験はありますか。(単一回答) ※ 【問9】日臨技の無料職業紹介制度を知っている利用(登録)したことがありますか。(単一回答)			
		1: 同制度を利用 (登録)した 転職経験がある	2: 同制度を利用 (登録)したが、 転職経験はない	3: 同制度の利用 (登録)ではない 別の方法で 転職経験がある	合計
滋賀県	件数	1	2	2	5
	割合	20.0%	40.0%	40.0%	100.0%
京都府	件数	2	1	1	4
	割合	50.0%	25.0%	25.0%	100.0%
大阪府	件数	3	14	10	27
	割合	11.1%	51.9%	37.0%	100.0%
兵庫県	件数	5	15	2	22
	割合	22.7%	68.2%	9.1%	100.0%
奈良県	件数	0	5	1	6
	割合	0.0%	83.3%	16.7%	100.0%
和歌山県	件数	3	0	2	5
	割合	60.0%	0.0%	40.0%	100.0%
鳥取県	件数	0	4	1	5
	割合	0.0%	80.0%	20.0%	100.0%
島根県	件数	5	6	1	12
	割合	41.7%	50.0%	8.3%	100.0%
岡山県	件数	2	3	2	7
	割合	28.6%	42.9%	28.6%	100.0%
広島県	件数	3	12	11	26
	割合	11.5%	46.2%	42.3%	100.0%
山口県	件数	2	4	3	9
	割合	22.2%	44.4%	33.3%	100.0%
徳島県	件数	0	1	1	2
	割合	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%
香川県	件数	1	1	0	2
	割合	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
愛媛県	件数	0	2	4	6
	割合	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%
高知県	件数	3	2	1	6
	割合	50.0%	33.3%	16.7%	100.0%
福岡県	件数	7	12	7	26
	割合	26.9%	46.2%	26.9%	100.0%
佐賀県	件数	0	0	0	0
	割合				
長崎県	件数	1	3	1	5
	割合	20.0%	60.0%	20.0%	100.0%
熊本県	件数	0	2	3	5
	割合	0.0%	40.0%	60.0%	100.0%
大分県	件数	0	1	1	2
	割合	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%
宮崎県	件数	0	2	0	2
	割合	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
鹿児島県	件数	0	1	2	3
	割合	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%
沖縄県	件数	0	2	0	2
	割合	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
なし(日臨技のみ)	件数	4	7	2	13
	割合	30.8%	53.8%	15.4%	100.0%
合計	件数	128	267	149	544
	割合	23.5%	49.1%	27.4%	100.0%

【問9-2-1】 問9-2で「3. 同制度の利用（登録）ではない別の方法で転職経験がある」と回答した場合、同制度を利用していない転職になった理由を選んでください。（複数回答可）



複数選択回答パターン

	件数	割合
①利用しにくい	22	14.8%
②登録施設情報が少ない	42	28.2%
③条件にあう施設情報が少ない	92	61.7%
④その他	20	13.4%
回答人数	149	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	11	7.4%
[1][2]	2	1.3%
[1][2][3]	9	6.0%
[2]	24	16.1%
[2][3]	7	4.7%
[3]	76	51.0%
[4]	20	13.4%

この制度を利用せずに転職した方は、本制度は条件に合う施設情報が少ないと回答している。

<現在の年齢と問9-2-1のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)		【問9-2-1】 問9-2で「3. 同制度の利用（登録）ではない別の方法で転職経験がある」と回答した場合、同制度を利用していない転職になった理由を選んでください。（複数回答可） ※ 【問9-2】 問9で「1. 知っていて利用（登録）したことがある」と回答した場合、日臨技の無料職業紹介制度を利用（登録）した転職経験はありますか。（単一回答） ※ 【問9】 日臨技の無料職業紹介制度を知っていて利用（登録）したことがありますか。（単一回答）				
		利用しにくい	登録施設情報が少ない	条件にあう施設情報が少ない	その他	合計 (回答件数)
20歳以下	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
21～25歳	件数 割合	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
26～30歳	件数 割合	1 10.0%	3 30.0%	6 60.0%	0 0.0%	10 100.0%
31～35歳	件数 割合	4 28.6%	5 35.7%	4 28.6%	1 7.1%	14 100.0%
36～40歳	件数 割合	4 12.5%	6 18.8%	18 56.3%	4 12.5%	32 100.0%
41～45歳	件数 割合	4 10.5%	10 26.3%	19 50.0%	5 13.2%	38 100.0%
46～50歳	件数 割合	2 7.1%	6 21.4%	13 46.4%	7 25.0%	28 100.0%
51～55歳	件数 割合	2 8.7%	5 21.7%	16 69.6%	0 0.0%	23 100.0%
56～60歳	件数 割合	3 16.7%	3 16.7%	10 55.6%	2 11.1%	18 100.0%
61～65歳	件数 割合	1 12.5%	2 25.0%	4 50.0%	1 12.5%	8 100.0%
66～70歳	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
71歳以上	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
未回答	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
合計（回答件数）	件数 割合	22 12.5%	42 23.9%	92 52.3%	20 11.4%	176 100.0%

<主たる都道府県技師会と問9-2-1のクロス表 その1>

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)		【問9-2-1】問9-2で「3. 同制度の利用（登録）ではない別の方法で転職経験がある」と回答した場合、同制度を利用していない転職になった理由を選んでください。（複数回答可） ※ 【問9-2】問9で「1. 知っていて利用（登録）したことがある」と回答した場合、日臨技の無料職業紹介制度を利用（登録）した転職経験はありますか。（単一回答） ※ 【問9】日臨技の無料職業紹介制度を知っていて利用（登録）したことがありますか。（単一回答）				
		利用しにくい	登録施設情報が少ない	条件にあう施設情報が少ない	その他	合計 (回答件数)
北海道	件数 割合	1 12.5%	0 0.0%	4 50.0%	3 37.5%	8 100.0%
青森県	件数 割合	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
岩手県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
宮城県	件数 割合	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
秋田県	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
山形県	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
福島県	件数 割合	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
茨城県	件数 割合	1 14.3%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	7 100.0%
栃木県	件数 割合	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
群馬県	件数 割合	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	6 100.0%
埼玉県	件数 割合	3 37.5%	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	8 100.0%
千葉県	件数 割合	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	4 100.0%
東京都	件数 割合	0 0.0%	1 7.1%	10 71.4%	3 21.4%	14 100.0%
神奈川県	件数 割合	2 16.7%	4 33.3%	6 50.0%	0 0.0%	12 100.0%
新潟県	件数 割合	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	6 100.0%
富山県	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
石川県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
福井県	件数 割合	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
山梨県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
長野県	件数 割合	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
岐阜県	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
静岡県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	3 100.0%
愛知県	件数 割合	2 15.4%	3 23.1%	6 46.2%	2 15.4%	13 100.0%
三重県	件数 割合	1 14.3%	1 14.3%	5 71.4%	0 0.0%	7 100.0%

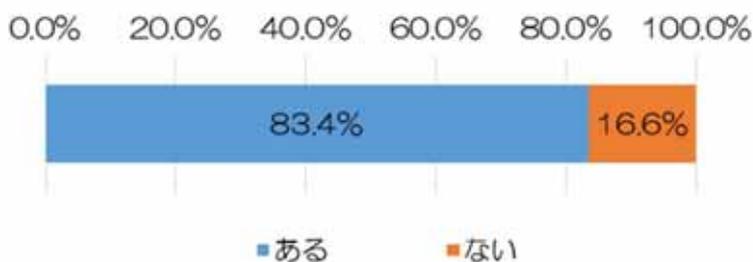
⇒ 次頁へ続く

<主たる都道府県技師会と問9-2-1のクロス表 その2>

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)		【問9-2-1】問9-2で「3. 同制度の利用（登録）ではない別の方法で転職経験がある」と回答した場合、同制度を利用していない転職になった理由を選んでください。（複数回答可） ※ 【問9-2】問9で「1. 知っていて利用（登録）したことがある」と回答した場合、日臨技の無料職業紹介制度を利用（登録）した転職経験はありますか。（単一回答） ※ 【問9】日臨技の無料職業紹介制度を知っていて利用（登録）したことがありますか。（単一回答）				
		利用しにくい	登録施設情報が少ない	条件にあう施設情報が少ない	その他	合計 (回答件数)
滋賀県	件数 割合	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
京都府	件数 割合	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
大阪府	件数 割合	1 10.0%	0 0.0%	7 70.0%	2 20.0%	10 100.0%
兵庫県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
奈良県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
和歌山県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
鳥取県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
島根県	件数 割合	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
岡山県	件数 割合	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%
広島県	件数 割合	0 0.0%	3 23.1%	9 69.2%	1 7.7%	13 100.0%
山口県	件数 割合	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
徳島県	件数 割合	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
香川県	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
愛媛県	件数 割合	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	5 100.0%
高知県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
福岡県	件数 割合	2 18.2%	2 18.2%	6 54.5%	1 9.1%	11 100.0%
佐賀県	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
長崎県	件数 割合	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
熊本県	件数 割合	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
大分県	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
宮崎県	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
鹿児島県	件数 割合	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
沖縄県	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
なし（日臨技のみ）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計（回答件数）	件数 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	176 100.0%

Ⅱ 他団体学会・研修会（国内・海外）参加について

【問10】日臨技主催の学会（全国・支部）に参加したことがありますか？



	件数	割合
①ある	12,895	83.4%
②ない	2,568	16.6%
合計	15,463	100.0%

日臨技主催の学会（全国・支部）に参加した会員は8割強である。

<現在の年齢と問10のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問10】日臨技主催の学会（全国・支部）に参加したことがありますか？		
	ある	ない	合計
20歳以下	0	0	0
件数	—	—	—
割合	—	—	—
21～25歳	1027	578	1605
件数	64.0%	36.0%	100.0%
割合	—	—	—
26～30歳	1676	412	2088
件数	80.3%	19.7%	100.0%
割合	—	—	—
31～35歳	1520	256	1776
件数	85.6%	14.4%	100.0%
割合	—	—	—
36～40歳	1435	308	1743
件数	82.3%	17.7%	100.0%
割合	—	—	—
41～45歳	1563	331	1894
件数	82.5%	17.5%	100.0%
割合	—	—	—
46～50歳	1697	284	1981
件数	85.7%	14.3%	100.0%
割合	—	—	—
51～55歳	1828	225	2053
件数	89.0%	11.0%	100.0%
割合	—	—	—
56～60歳	1602	128	1730
件数	92.6%	7.4%	100.0%
割合	—	—	—
61～65歳	490	40	530
件数	92.5%	7.5%	100.0%
割合	—	—	—
66～70歳	48	4	52
件数	92.3%	7.7%	100.0%
割合	—	—	—
71歳以上	3	0	3
件数	100.0%	0.0%	100.0%
割合	—	—	—
未回答	6	2	8
件数	75.0%	25.0%	100.0%
割合	—	—	—
合計	12895	2568	15463
件数	83.4%	16.6%	100.0%
割合	—	—	—

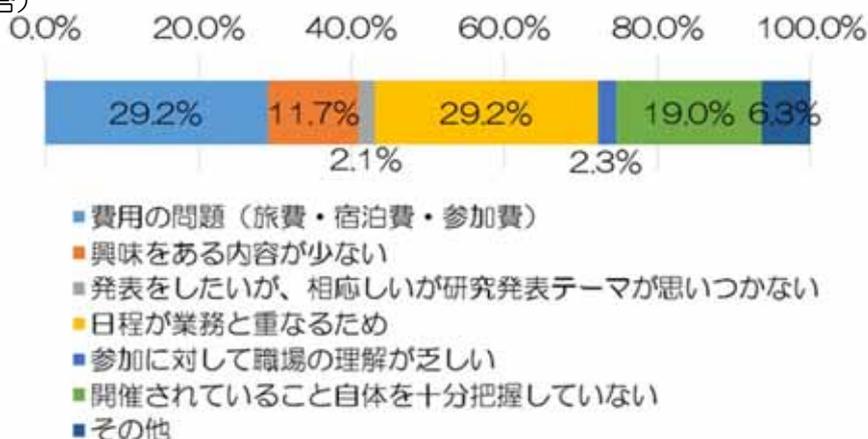
<主たる都道府県技師会と問10のクロス表>

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)	【問10】日臨技主催の学会(全国・支部)に参加したことがありますか?		
	ある	ない	合計
北海道	532	164	696
件数			
割合	76.4%	23.6%	100.0%
青森県	194	30	224
件数			
割合	86.6%	13.4%	100.0%
岩手県	109	12	121
件数			
割合	90.1%	9.9%	100.0%
宮城県	218	44	262
件数			
割合	83.2%	16.8%	100.0%
秋田県	203	29	232
件数			
割合	87.5%	12.5%	100.0%
山形県	129	12	141
件数			
割合	91.5%	8.5%	100.0%
福島県	370	33	403
件数			
割合	91.8%	8.2%	100.0%
茨城県	264	48	312
件数			
割合	84.6%	15.4%	100.0%
栃木県	261	49	310
件数			
割合	84.2%	15.8%	100.0%
群馬県	332	75	407
件数			
割合	81.6%	18.4%	100.0%
埼玉県	570	122	692
件数			
割合	82.4%	17.6%	100.0%
千葉県	365	106	471
件数			
割合	77.5%	22.5%	100.0%
東京都	558	127	685
件数			
割合	81.5%	18.5%	100.0%
神奈川県	370	113	483
件数			
割合	76.6%	23.4%	100.0%
新潟県	292	40	332
件数			
割合	88.0%	12.0%	100.0%
富山県	176	36	212
件数			
割合	83.0%	17.0%	100.0%
石川県	243	48	291
件数			
割合	83.5%	16.5%	100.0%
福井県	88	11	99
件数			
割合	88.9%	11.1%	100.0%
山梨県	162	57	219
件数			
割合	74.0%	26.0%	100.0%
長野県	390	70	460
件数			
割合	84.8%	15.2%	100.0%
岐阜県	197	44	241
件数			
割合	81.7%	18.3%	100.0%
静岡県	521	116	637
件数			
割合	81.8%	18.2%	100.0%
愛知県	796	147	943
件数			
割合	84.4%	15.6%	100.0%
三重県	274	34	308
件数			
割合	89.0%	11.0%	100.0%

⇒ 右の表に続く

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)	【問10】日臨技主催の学会(全国・支部)に参加したことがありますか?		
	ある	ない	合計
滋賀県	120	14	134
件数			
割合	89.6%	10.4%	100.0%
京都府	141	23	164
件数			
割合	86.0%	14.0%	100.0%
大阪府	343	95	438
件数			
割合	78.3%	21.7%	100.0%
兵庫県	323	75	398
件数			
割合	81.2%	18.8%	100.0%
奈良県	157	8	165
件数			
割合	95.2%	4.8%	100.0%
和歌山県	168	20	188
件数			
割合	89.4%	10.6%	100.0%
鳥取県	151	12	163
件数			
割合	92.6%	7.4%	100.0%
島根県	223	21	244
件数			
割合	91.4%	8.6%	100.0%
岡山県	314	62	376
件数			
割合	83.5%	16.5%	100.0%
広島県	425	86	511
件数			
割合	83.2%	16.8%	100.0%
山口県	323	32	355
件数			
割合	91.0%	9.0%	100.0%
徳島県	84	17	101
件数			
割合	83.2%	16.8%	100.0%
香川県	225	40	265
件数			
割合	84.9%	15.1%	100.0%
愛媛県	192	39	231
件数			
割合	83.1%	16.9%	100.0%
高知県	171	53	224
件数			
割合	76.3%	23.7%	100.0%
福岡県	618	110	728
件数			
割合	84.9%	15.1%	100.0%
佐賀県	72	9	81
件数			
割合	88.9%	11.1%	100.0%
長崎県	277	41	318
件数			
割合	87.1%	12.9%	100.0%
熊本県	272	38	310
件数			
割合	87.7%	12.3%	100.0%
大分県	166	28	194
件数			
割合	85.6%	14.4%	100.0%
宮崎県	143	28	171
件数			
割合	83.6%	16.4%	100.0%
鹿児島県	126	22	148
件数			
割合	85.1%	14.9%	100.0%
沖縄県	145	29	174
件数			
割合	83.3%	16.7%	100.0%
なし(日臨技のみ)	102	99	201
件数			
割合	50.7%	49.3%	100.0%
合計	12895	2568	15463
件数			
割合	83.4%	16.6%	100.0%

【問10-2】 問10で「2.ない」と回答した場合、日臨技主催の学会（全国・支部）に参加しない理由を選んでください。（単一回答）



	件数	割合
①費用の問題（旅費・宿泊費・参加費）	749	29.2%
②興味のある内容が少ない	301	11.7%
③発表をしたいが、相応しいが研究発表テーマが思いつかない	55	2.1%
④日程が業務と重なるため	751	29.2%
⑤参加に対して職場の理解が乏しい	60	2.3%
⑥開催されていること自体を十分把握していない	489	19.0%
⑦その他	163	6.3%
合計	2,568	100.0%

日臨技主催の学会に参加しない会員は費用の問題と、日程が業務と重なるためとの回答が多かった。また回答に年齢差は見られなかった。

<現在の年齢と問10-2のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問10-2】 問10で「2.ない」と回答した場合、日臨技主催の学会（全国・支部）に参加しない理由を選んでください。 (単一回答) ※ 【問10】 日臨技主催の学会（全国・支部）に参加したことがありますか？							
	費用の問題（旅費・宿泊費・参加費）	興味のある内容が少ない	発表をしたいが、相応しいが研究発表テーマが思いつかない	日程が業務と重なるため	参加に対して職場の理解が乏しい	開催されていること自体を十分把握していない	その他	合計
20歳以下	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
21～25歳	件数 142 割合 24.6%	件数 43 割合 7.4%	件数 17 割合 2.9%	件数 150 割合 26.0%	件数 7 割合 1.2%	件数 201 割合 34.8%	件数 18 割合 3.1%	件数 578 割合 100.0%
26～30歳	件数 115 割合 27.9%	件数 53 割合 12.9%	件数 12 割合 2.9%	件数 122 割合 29.6%	件数 9 割合 2.2%	件数 90 割合 21.8%	件数 11 割合 2.7%	件数 412 割合 100.0%
31～35歳	件数 89 割合 34.8%	件数 29 割合 11.3%	件数 4 割合 1.6%	件数 66 割合 25.8%	件数 5 割合 2.0%	件数 46 割合 18.0%	件数 17 割合 6.6%	件数 256 割合 100.0%
36～40歳	件数 96 割合 31.2%	件数 45 割合 14.6%	件数 7 割合 2.3%	件数 74 割合 24.0%	件数 8 割合 2.6%	件数 37 割合 12.0%	件数 41 割合 13.3%	件数 308 割合 100.0%
41～45歳	件数 110 割合 33.2%	件数 43 割合 13.0%	件数 5 割合 1.5%	件数 98 割合 29.6%	件数 8 割合 2.4%	件数 41 割合 12.4%	件数 26 割合 7.9%	件数 331 割合 100.0%
46～50歳	件数 94 割合 33.1%	件数 39 割合 13.7%	件数 0 割合 0.0%	件数 97 割合 34.2%	件数 8 割合 2.8%	件数 28 割合 9.9%	件数 18 割合 6.3%	件数 284 割合 100.0%
51～55歳	件数 58 割合 25.8%	件数 32 割合 14.2%	件数 5 割合 2.2%	件数 82 割合 36.4%	件数 8 割合 3.6%	件数 23 割合 10.2%	件数 17 割合 7.6%	件数 225 割合 100.0%
56～60歳	件数 34 割合 26.6%	件数 11 割合 8.6%	件数 3 割合 2.3%	件数 49 割合 38.3%	件数 5 割合 3.9%	件数 16 割合 12.5%	件数 10 割合 7.8%	件数 128 割合 100.0%
61～65歳	件数 10 割合 25.0%	件数 6 割合 15.0%	件数 2 割合 5.0%	件数 12 割合 30.0%	件数 2 割合 5.0%	件数 5 割合 12.5%	件数 3 割合 7.5%	件数 40 割合 100.0%
66～70歳	件数 1 割合 25.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 25.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 2 割合 50.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 4 割合 100.0%
71歳以上	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
未回答	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 2 割合 100.0%	件数 2 割合 100.0%
合計	件数 749 割合 29.2%	件数 301 割合 11.7%	件数 55 割合 2.1%	件数 751 割合 29.2%	件数 60 割合 2.3%	件数 489 割合 19.0%	件数 163 割合 6.3%	件数 2,568 割合 100.0%

<主たる都道府県技師会と問10-2のクロス表 その1>

【A】主たる都道府県 技師会 (単一回答)		【問10-2】問10で「2.ない」と回答した場合、日臨技主催の学会（全国・支部）に参加しない理由を選んでください。 (単一回答) ※ 【問10】日臨技主催の学会（全国・支部）に参加したことがありますか？							合計
		費用の問題（旅 費・宿泊費・参 加費）	興味のある内容 が少ない	発表をしたい が、相応しいが 研究発表テーマ が思いつかない	日程が業務と重 なるため	参加に対して職 場の理解が乏し い	開催されている こと自体を十分 把握していない	その他	
北海道	件数 割合	42 25.6%	22 13.4%	6 3.7%	56 34.1%	4 2.4%	20 12.2%	14 8.5%	164 100.0%
青森県	件数 割合	10 33.3%	0 0.0%	2 6.7%	11 36.7%	1 3.3%	5 16.7%	1 3.3%	30 100.0%
岩手県	件数 割合	5 41.7%	3 25.0%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	12 100.0%
宮城県	件数 割合	15 34.1%	5 11.4%	1 2.3%	13 29.5%	2 4.5%	4 9.1%	4 9.1%	44 100.0%
秋田県	件数 割合	9 31.0%	3 10.3%	0 0.0%	11 37.9%	1 3.4%	2 6.9%	3 10.3%	29 100.0%
山形県	件数 割合	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	0 0.0%	3 25.0%	1 8.3%	12 100.0%
福島県	件数 割合	9 27.3%	5 15.2%	1 3.0%	11 33.3%	1 3.0%	3 9.1%	3 9.1%	33 100.0%
茨城県	件数 割合	12 25.0%	5 10.4%	0 0.0%	21 43.8%	1 2.1%	6 12.5%	3 6.3%	48 100.0%
栃木県	件数 割合	8 16.3%	7 14.3%	2 4.1%	21 42.9%	1 2.0%	6 12.2%	4 8.2%	49 100.0%
群馬県	件数 割合	21 28.0%	9 12.0%	2 2.7%	19 25.3%	3 4.0%	16 21.3%	5 6.7%	75 100.0%
埼玉県	件数 割合	23 18.9%	17 13.9%	4 3.3%	36 29.5%	4 3.3%	29 23.8%	9 7.4%	122 100.0%
千葉県	件数 割合	17 16.0%	13 12.3%	3 2.8%	37 34.9%	2 1.9%	30 28.3%	4 3.8%	106 100.0%
東京都	件数 割合	30 23.6%	17 13.4%	5 3.9%	33 26.0%	1 0.8%	34 26.8%	7 5.5%	127 100.0%
神奈川県	件数 割合	21 18.6%	16 14.2%	4 3.5%	31 27.4%	2 1.8%	33 29.2%	6 5.3%	113 100.0%
新潟県	件数 割合	16 40.0%	2 5.0%	1 2.5%	11 27.5%	2 5.0%	4 10.0%	4 10.0%	40 100.0%
富山県	件数 割合	10 27.8%	3 8.3%	1 2.8%	11 30.6%	1 2.8%	7 19.4%	3 8.3%	36 100.0%
石川県	件数 割合	19 39.6%	6 12.5%	1 2.1%	9 18.8%	1 2.1%	10 20.8%	2 4.2%	48 100.0%
福井県	件数 割合	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	5 45.5%	0 0.0%	11 100.0%
山梨県	件数 割合	21 36.8%	4 7.0%	2 3.5%	12 21.1%	0 0.0%	13 22.8%	5 8.8%	57 100.0%
長野県	件数 割合	15 21.4%	10 14.3%	0 0.0%	28 40.0%	3 4.3%	11 15.7%	3 4.3%	70 100.0%
岐阜県	件数 割合	10 22.7%	3 6.8%	0 0.0%	16 36.4%	2 4.5%	11 25.0%	2 4.5%	44 100.0%
静岡県	件数 割合	32 27.6%	17 14.7%	0 0.0%	31 26.7%	3 2.6%	26 22.4%	7 6.0%	116 100.0%
愛知県	件数 割合	50 34.0%	12 8.2%	2 1.4%	39 26.5%	4 2.7%	26 17.7%	14 9.5%	147 100.0%
三重県	件数 割合	7 20.6%	5 14.7%	0 0.0%	6 17.6%	0 0.0%	13 38.2%	3 8.8%	34 100.0%

⇒次頁へ続く

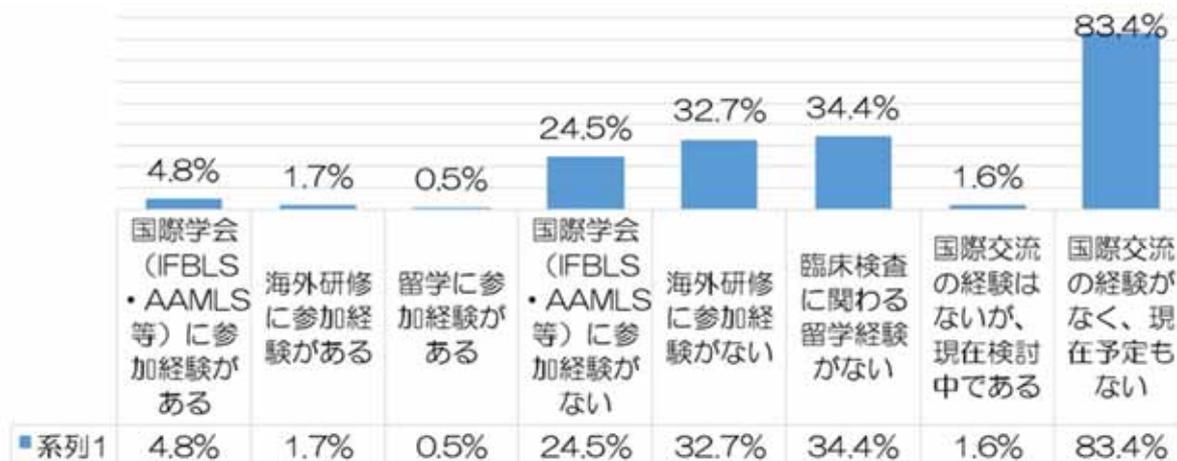
<主たる都道府県技師会と問10-2のクロス表 その2>

【A】主たる都道府県 技師会 (単一回答)	【問10-2】問10で「2.ない」と回答した場合、日臨技主催の学会(全国・支部)に参加しない理由を選んでください。 (単一回答) ※ 【問10】日臨技主催の学会(全国・支部)に参加したことがありますか？							
	費用の問題(旅 費・宿泊費・参 加費)	興味をある内容 が少ない	発表をしたい が、相応しいが 研究発表テーマ が思いつかない	日程が業務と重 なるため	参加に対して職 場の理解が乏し い	開催されている こと自体を十分 把握していない	その他	合計
滋賀県	件数 3 割合 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	6 42.9%	0 0.0%	3 21.4%	2 14.3%	14 100.0%
京都府	件数 4 割合 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	11 47.8%	0 0.0%	5 21.7%	1 4.3%	23 100.0%
大阪府	件数 20 割合 21.1%	21 22.1%	4 4.2%	33 34.7%	2 2.1%	9 9.5%	6 6.3%	95 100.0%
兵庫県	件数 25 割合 33.3%	12 16.0%	3 4.0%	17 22.7%	3 4.0%	9 12.0%	6 8.0%	75 100.0%
奈良県	件数 2 割合 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	8 100.0%
和歌山県	件数 7 割合 35.0%	2 10.0%	0 0.0%	3 15.0%	1 5.0%	3 15.0%	4 20.0%	20 100.0%
鳥取県	件数 3 割合 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	3 25.0%	0 0.0%	2 16.7%	2 16.7%	12 100.0%
島根県	件数 13 割合 61.9%	2 9.5%	0 0.0%	3 14.3%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	21 100.0%
岡山県	件数 23 割合 37.1%	5 8.1%	2 3.2%	16 25.8%	1 1.6%	11 17.7%	4 6.5%	62 100.0%
広島県	件数 25 割合 29.1%	11 12.8%	0 0.0%	20 23.3%	2 2.3%	24 27.9%	4 4.7%	86 100.0%
山口県	件数 7 割合 21.9%	6 18.8%	1 3.1%	9 28.1%	0 0.0%	6 18.8%	3 9.4%	32 100.0%
徳島県	件数 7 割合 41.2%	1 5.9%	0 0.0%	4 23.5%	0 0.0%	5 29.4%	0 0.0%	17 100.0%
香川県	件数 15 割合 37.5%	2 5.0%	0 0.0%	12 30.0%	1 2.5%	6 15.0%	4 10.0%	40 100.0%
愛媛県	件数 13 割合 33.3%	2 5.1%	1 2.6%	13 33.3%	1 2.6%	8 20.5%	1 2.6%	39 100.0%
高知県	件数 18 割合 34.0%	4 7.5%	1 1.9%	19 35.8%	2 3.8%	8 15.1%	1 1.9%	53 100.0%
福岡県	件数 48 割合 43.6%	9 8.2%	2 1.8%	29 26.4%	1 0.9%	14 12.7%	7 6.4%	110 100.0%
佐賀県	件数 0 割合 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	9 100.0%
長崎県	件数 13 割合 31.7%	5 12.2%	1 2.4%	16 39.0%	1 2.4%	5 12.2%	0 0.0%	41 100.0%
熊本県	件数 14 割合 36.8%	6 15.8%	0 0.0%	5 13.2%	1 2.6%	9 23.7%	3 7.9%	38 100.0%
大分県	件数 13 割合 46.4%	1 3.6%	0 0.0%	10 35.7%	1 3.6%	1 3.6%	2 7.1%	28 100.0%
宮崎県	件数 11 割合 39.3%	2 7.1%	2 7.1%	8 28.6%	0 0.0%	5 17.9%	0 0.0%	28 100.0%
鹿児島県	件数 10 割合 45.5%	1 4.5%	0 0.0%	7 31.8%	0 0.0%	2 9.1%	2 9.1%	22 100.0%
沖縄県	件数 15 割合 51.7%	1 3.4%	1 3.4%	4 13.8%	0 0.0%	8 27.6%	0 0.0%	29 100.0%
なし(日臨技のみ)	件数 33 割合 33.3%	16 16.2%	0 0.0%	22 22.2%	3 3.0%	22 22.2%	3 3.0%	99 100.0%
合計	件数 749 割合 29.2%	301 11.7%	55 2.1%	751 29.2%	60 2.3%	489 19.0%	163 6.3%	2568 100.0%

【問11】 日臨技以外のどのような学会に入会されていますか。下記に記入してください。（複数回答可）

主な学会入会としては日本超音波検査学会、日本臨床細胞学会、日本輸血・細胞治療学会、日本臨床検査自動化学会、日本臨床微生物学会、日本臨床検査医学会、日本検査血液学会、日本静脈経腸栄養学会、日本環境感染学会、日本認知症予防学会などの学会に入会されていることが報告された。

【問12】 国際交流（国際学会参加・海外研修・留学）について、該当する項目を全て選んでください。（複数回答可）



	件数	割合
①国際学会（IFBLS・AAMLS等）に参加経験がある	737	4.8%
②海外研修に参加経験がある	266	1.7%
③留学に参加経験がある	75	0.5%
④国際学会（IFBLS・AAMLS等）に参加経験がない	3,775	24.5%
⑤海外研修に参加経験がない	5,036	32.7%
⑥臨床検査に関わる留学経験がない	5,292	34.4%
⑦国際交流の経験はないが、現在検討中である	254	1.6%
⑧国際交流の経験がなく、現在予定もない	12,843	83.4%
回答人数	15,404	

国際交流に関しては経験もなく、予定もないとの回答が83.4%であった。

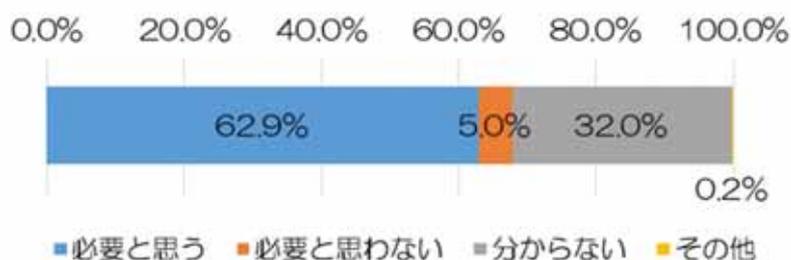
<複数選択回答パターン>

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	464	3.0%
[1][2]	61	0.4%
[1][2][3]	5	0.0%
[1][2][3][4][5][6][7][8]	3	0.0%
[1][2][6]	7	0.0%
[1][3]	10	0.1%
[1][3][5]	1	0.0%
[1][4][5][6]	1	0.0%
[1][4][5][6][8]	3	0.0%
[1][5]	11	0.1%
[1][5][6]	68	0.4%
[1][5][6][7]	7	0.0%
[1][5][6][8]	50	0.3%
[1][5][7]	1	0.0%
[1][5][8]	1	0.0%
[1][6]	29	0.2%
[1][6][7]	3	0.0%
[1][6][8]	1	0.0%
[1][7]	5	0.0%
[1][8]	6	0.0%
[2]	149	1.0%
[2][3]	4	0.0%
[2][3][4]	1	0.0%
[2][4]	4	0.0%
[2][4][5][6][8]	1	0.0%
[2][4][6]	13	0.1%
[2][4][6][8]	3	0.0%
[2][5][6][7]	1	0.0%
[2][6]	13	0.1%
[2][6][8]	1	0.0%
[3]	26	0.2%
[3][4]	2	0.0%

選択肢コード	回答数	回答率
[3][4][5][6]	2	0.0%
[3][4][5][6][8]	15	0.1%
[3][4][8]	1	0.0%
[3][5][6]	1	0.0%
[3][5][7][8]	1	0.0%
[3][8]	3	0.0%
[4]	107	0.7%
[4][5]	33	0.2%
[4][5][6]	406	2.6%
[4][5][6][7]	55	0.4%
[4][5][6][7][8]	51	0.3%
[4][5][6][8]	2875	18.7%
[4][5][7]	3	0.0%
[4][5][7][8]	1	0.0%
[4][5][8]	49	0.3%
[4][6]	20	0.1%
[4][6][7]	2	0.0%
[4][6][8]	73	0.5%
[4][7]	4	0.0%
[4][8]	47	0.3%
[5]	280	1.8%
[5][6]	256	1.7%
[5][6][7]	21	0.1%
[5][6][7][8]	5	0.0%
[5][6][8]	663	4.3%
[5][7]	5	0.0%
[5][8]	166	1.1%
[6]	394	2.6%
[6][7]	5	0.0%
[6][8]	244	1.6%
[7]	81	0.5%
[8]	8580	55.7%

Ⅲ 日臨技の生涯教育研修制度について

【問13】 “生涯教育研修制度” は、臨床検査技師にとって必要だと思いますか。（単一回答）



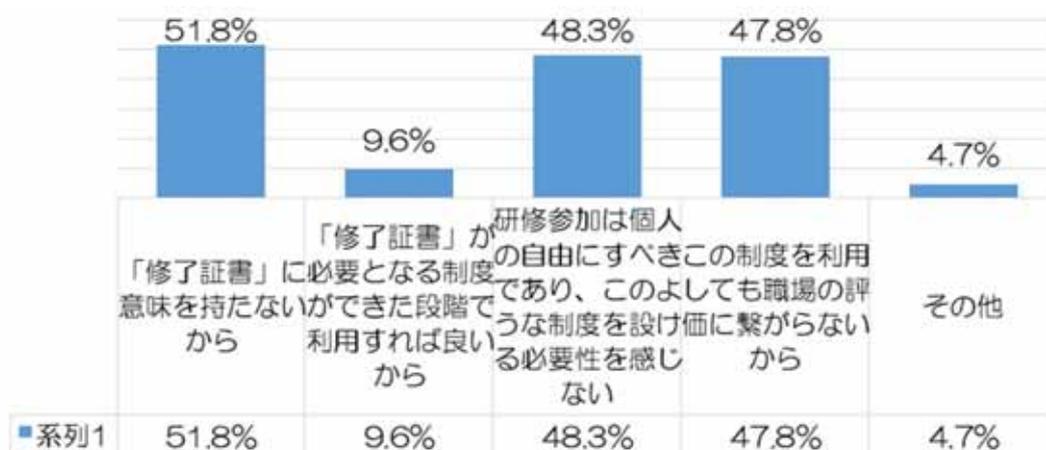
	件数	割合
①必要と思う	9,664	62.9%
②必要と思わない	764	5.0%
③分からない	4,916	32.0%
④その他	31	0.2%
合計	15,375	100.0%

必要と思っている会員が62.9%であった。

<現在の年齢と問13のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)		【問13】 “日臨技生涯教育研修制度” は、臨床検査技師にとって必要だと思いますか。 (単一回答)				合計
		必要と思う	必要と思わない	分からない	その他	
20歳以下	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
21～25歳	件数 割合	917 57.4%	23 1.4%	655 41.0%	2 0.1%	1597 100.0%
26～30歳	件数 割合	1126 54.2%	117 5.6%	831 40.0%	5 0.2%	2079 100.0%
31～35歳	件数 割合	968 54.9%	140 7.9%	651 36.9%	4 0.2%	1763 100.0%
36～40歳	件数 割合	1010 58.2%	113 6.5%	608 35.1%	3 0.2%	1734 100.0%
41～45歳	件数 割合	1145 60.9%	93 4.9%	636 33.8%	6 0.3%	1880 100.0%
46～50歳	件数 割合	1295 65.9%	107 5.4%	557 28.4%	5 0.3%	1964 100.0%
51～55歳	件数 割合	1412 69.0%	86 4.2%	544 26.6%	3 0.1%	2045 100.0%
56～60歳	件数 割合	1306 75.8%	67 3.9%	349 20.2%	2 0.1%	1724 100.0%
61～65歳	件数 割合	431 81.9%	17 3.2%	77 14.6%	1 0.2%	526 100.0%
66～70歳	件数 割合	45 86.5%	0 0.0%	7 13.5%	0 0.0%	52 100.0%
71歳以上	件数 割合	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	件数 割合	6 75.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	8 100.0%
合計	件数 割合	9664 62.9%	764 5.0%	4916 32.0%	31 0.2%	15375 100.0%

【問13-2】 問13で「2.必要と思わない」と回答した場合、「日臨技生涯教育研修制度」が必要と思わない理由を教えてください。（複数回答可）



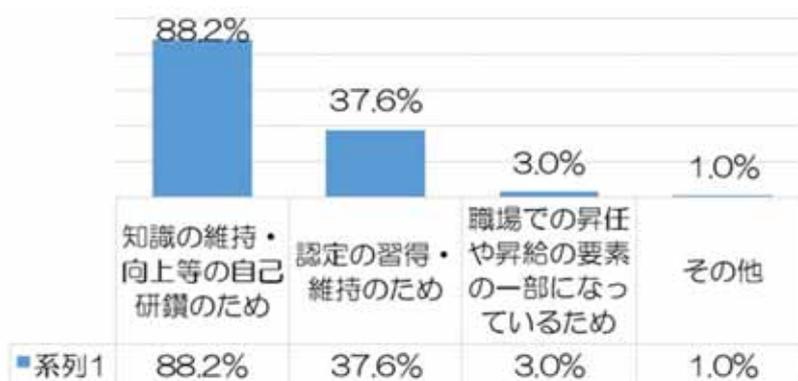
	件数	割合
①「修了証書」に意味を持たないから	396	51.8%
②「修了証書」が必要となる制度ができた段階で利用すれば良いから	73	9.6%
③研修参加は個人の自由にすべきであり、このような制度を設ける必要性を感じない	369	48.3%
④この制度を利用しても職場の評価に繋がらないから	365	47.8%
⑤その他	36	4.7%
回答人数	764	

複数選択回答パターン

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	153	20.0%
[1][2]	6	0.8%
[1][2][3]	1	0.1%
[1][2][3][4]	12	1.6%
[1][2][3][4][5]	1	0.1%
[1][2][4]	15	2.0%
[1][3]	40	5.2%
[1][3][4]	68	8.9%
[1][3][4][5]	4	0.5%
[1][4]	87	11.4%
[1][4][5]	4	0.5%
[1][5]	5	0.7%
[2]	19	2.5%
[2][3]	8	1.0%
[2][3][4]	5	0.7%
[2][3][4][5]	1	0.1%
[2][4]	5	0.7%
[3]	150	19.6%
[3][4]	74	9.7%
[3][4][5]	3	0.4%
[3][5]	2	0.3%
[4]	85	11.1%
[4][5]	1	0.1%
[5]	15	2.0%

必要と思わない理由としては、修了証書が無意味であること、研修は個人のもの、職場の評価につながらないと答えた方が多かった。複数回答では修了証書が無意味であり職場の評価につながらないと回答していた。

【問14】 生涯教育制度の目的をどのように考えていますか。（複数回答可）



複数選択回答パターン

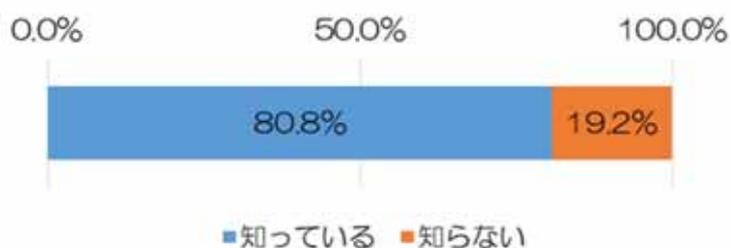
	件数	割合	選択肢コード	回答数	回答率
①知識の維持・向上等の自己研鑽のため	13,559	88.2%	[1]	9257	60.2%
②認定の習得・維持のため	5,778	37.6%	[1][2]	3955	25.7%
③職場での昇任や昇給の要素の一部になっているため	463	3.0%	[1][2][3]	238	1.5%
④その他	150	1.0%	[1][2][4]	7	0.0%
			[1][3]	89	0.6%
			[1][4]	13	0.1%
			[2]	1550	10.1%
			[2][3]	27	0.2%
			[2][4]	1	0.0%
			[3]	108	0.7%
			[3][4]	1	0.0%
			[4]	128	0.8%
回答人数	15,374				

自己研鑽のためと答えた方が9割弱であった。年齢別の回答パターンでの差は見られなかった。

<現在の年齢と問14のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問14】生涯教育制度の目的をどのように考えていますか。(複数回答可)				
	知識の維持・向上等の自己研鑽のため	認定の習得・維持のため	職場での昇任や昇給の要素の一部になっているため	その他	合計 (回答件数)
20歳以下	件数 0	0	0	0	0
	割合 —	—	—	—	—
21～25歳	件数 1344	562	76	5	1987
	割合 67.6%	28.3%	3.8%	0.3%	100.0%
26～30歳	件数 1745	817	83	16	2661
	割合 65.6%	30.7%	3.1%	0.6%	100.0%
31～35歳	件数 1490	719	59	17	2285
	割合 65.2%	31.5%	2.6%	0.7%	100.0%
36～40歳	件数 1467	731	41	19	2258
	割合 65.0%	32.4%	1.8%	0.8%	100.0%
41～45歳	件数 1659	715	46	23	2443
	割合 67.9%	29.3%	1.9%	0.9%	100.0%
46～50歳	件数 1770	715	48	26	2559
	割合 69.2%	27.9%	1.9%	1.0%	100.0%
51～55歳	件数 1900	716	42	21	2679
	割合 70.9%	26.7%	1.6%	0.8%	100.0%
56～60歳	件数 1616	601	48	16	2281
	割合 70.8%	26.3%	2.1%	0.7%	100.0%
61～65歳	件数 506	183	17	6	712
	割合 71.1%	25.7%	2.4%	0.8%	100.0%
66～70歳	件数 52	15	1	0	68
	割合 76.5%	22.1%	1.5%	0.0%	100.0%
71歳以上	件数 3	2	1	0	6
	割合 50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	100.0%
未回答	件数 7	2	1	1	11
	割合 63.6%	18.2%	9.1%	9.1%	100.0%
合計(回答件数)	件数 13559	5778	463	150	19950
	割合 68.0%	29.0%	2.3%	0.8%	100.0%

【問15】 “日臨技eラーニング” 知っていますか。（単一回答）



	件数	割合
①知っている	12,419	80.8%
②知らない	2,956	19.2%
合計	15,375	100.0%

認識している方が8割を超えた。

<現在の年齢と問15のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)		【問15】 “日臨技eラーニング” 知っていますか。（単一回答）		
		知っている	知らない	合計
20歳以下	件数 割合	0 —	0 —	0 —
21～25歳	件数 割合	898 56.2%	700 43.8%	1598 100.0%
26～30歳	件数 割合	1535 73.8%	544 26.2%	2079 100.0%
31～35歳	件数 割合	1396 79.1%	368 20.9%	1764 100.0%
36～40歳	件数 割合	1431 82.6%	302 17.4%	1733 100.0%
41～45歳	件数 割合	1598 85.0%	283 15.0%	1881 100.0%
46～50歳	件数 割合	1725 87.8%	239 12.2%	1964 100.0%
51～55歳	件数 割合	1808 88.4%	237 11.6%	2045 100.0%
56～60歳	件数 割合	1535 89.1%	187 10.9%	1722 100.0%
61～65歳	件数 割合	442 84.0%	84 16.0%	526 100.0%
66～70歳	件数 割合	43 82.7%	9 17.3%	52 100.0%
71歳以上	件数 割合	2 66.7%	1 33.3%	3 100.0%
未回答	件数 割合	6 75.0%	2 25.0%	8 100.0%
合計	件数 割合	12419 80.8%	2956 19.2%	15375 100.0%

<主たる都道府県技師会と問15のクロス表>

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)	【問15】“日臨技eラーニング” 知っていますか。(単一回答)		
	知っている	知らない	合計
北海道	件数 539 割合 77.7%	155 22.3%	694 100.0%
青森県	件数 196 割合 87.9%	27 12.1%	223 100.0%
岩手県	件数 108 割合 90.0%	12 10.0%	120 100.0%
宮城県	件数 223 割合 86.4%	35 13.6%	258 100.0%
秋田県	件数 203 割合 87.5%	29 12.5%	232 100.0%
山形県	件数 112 割合 80.6%	27 19.4%	139 100.0%
福島県	件数 359 割合 89.5%	42 10.5%	401 100.0%
茨城県	件数 257 割合 83.2%	52 16.8%	309 100.0%
栃木県	件数 236 割合 76.9%	71 23.1%	307 100.0%
群馬県	件数 340 割合 84.0%	65 16.0%	405 100.0%
埼玉県	件数 503 割合 73.3%	183 26.7%	686 100.0%
千葉県	件数 344 割合 73.2%	126 26.8%	470 100.0%
東京都	件数 554 割合 81.2%	128 18.8%	682 100.0%
神奈川県	件数 371 割合 77.1%	110 22.9%	481 100.0%
新潟県	件数 272 割合 82.7%	57 17.3%	329 100.0%
富山県	件数 180 割合 84.9%	32 15.1%	212 100.0%
石川県	件数 257 割合 88.3%	34 11.7%	291 100.0%
福井県	件数 75 割合 76.5%	23 23.5%	98 100.0%
山梨県	件数 183 割合 83.9%	35 16.1%	218 100.0%
長野県	件数 379 割合 82.9%	78 17.1%	457 100.0%
岐阜県	件数 184 割合 76.7%	56 23.3%	240 100.0%
静岡県	件数 514 割合 80.8%	122 19.2%	636 100.0%
愛知県	件数 747 割合 79.4%	194 20.6%	941 100.0%
三重県	件数 248 割合 80.8%	59 19.2%	307 100.0%

⇒ 右の表に続く

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)	【問15】“日臨技eラーニング” 知っていますか。(単一回答)		
	知っている	知らない	合計
滋賀県	件数 113 割合 85.0%	20 15.0%	133 100.0%
京都府	件数 128 割合 79.5%	33 20.5%	161 100.0%
大阪府	件数 343 割合 78.9%	92 21.1%	435 100.0%
兵庫県	件数 330 割合 84.2%	62 15.8%	392 100.0%
奈良県	件数 146 割合 89.0%	18 11.0%	164 100.0%
和歌山県	件数 154 割合 81.9%	34 18.1%	188 100.0%
鳥取県	件数 155 割合 95.7%	7 4.3%	162 100.0%
島根県	件数 207 割合 84.8%	37 15.2%	244 100.0%
岡山県	件数 286 割合 76.7%	87 23.3%	373 100.0%
広島県	件数 440 割合 86.1%	71 13.9%	511 100.0%
山口県	件数 293 割合 83.0%	60 17.0%	353 100.0%
徳島県	件数 80 割合 79.2%	21 20.8%	101 100.0%
香川県	件数 200 割合 76.0%	63 24.0%	263 100.0%
愛媛県	件数 188 割合 82.1%	41 17.9%	229 100.0%
高知県	件数 187 割合 84.6%	34 15.4%	221 100.0%
福岡県	件数 542 割合 75.0%	181 25.0%	723 100.0%
佐賀県	件数 67 割合 84.8%	12 15.2%	79 100.0%
長崎県	件数 266 割合 83.9%	51 16.1%	317 100.0%
熊本県	件数 223 割合 72.6%	84 27.4%	307 100.0%
大分県	件数 172 割合 89.1%	21 10.9%	193 100.0%
宮崎県	件数 144 割合 84.7%	26 15.3%	170 100.0%
鹿児島県	件数 106 割合 71.6%	42 28.4%	148 100.0%
沖縄県	件数 143 割合 82.2%	31 17.8%	174 100.0%
なし(日臨技のみ)	件数 122 割合 61.6%	76 38.4%	198 100.0%
合計	件数 12419 割合 80.8%	2956 19.2%	15375 100.0%

【問15-2】 問15で「1. 知っている」と回答した場合、現在の状況を選んでください。（単一回答）



	件数	割合
①現在受講中	1,154	9.3%
②受講していたが、現在は受講していない	742	6.0%
③受講していないが、興味がある	6,109	49.2%
④現在、受講の予定はない	4,414	35.5%
合計	12,419	100%

知っているが受講の予定のない方は35.5%であった。

【問15-2-1】 問15-2で「1. 現在受講中」と回答した場合、受講して良かったコンテンツを全て選んでください。（複数回答可）



	件数	割合
①精度管理責任者育成講習会	752	65.2%
②精度管理報告会	71	6.2%
③臨床検査技師の職能向上	223	19.3%
④医療人・職業人スキル	174	15.1%
⑤検査の品質の向上について	147	12.7%
⑥生体検査	137	11.9%
⑦日臨床認定用	203	17.6%
⑧指定講習会	62	5.4%
⑨その他	77	6.7%
回答人数	1,154	

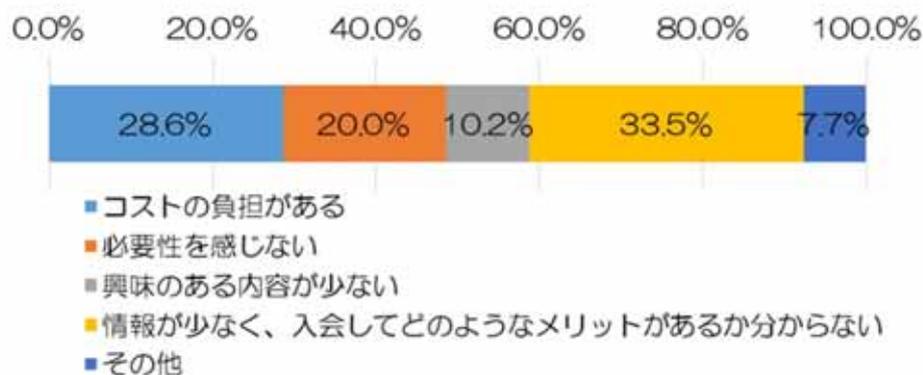
良かったコンテンツは精度管理責任者育成講習会であった。

<複数選択回答パターン>

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	474	41.1%
[1][2]	13	1.1%
[1][2][3]	2	0.2%
[1][2][3][4]	2	0.2%
[1][2][3][4][5]	7	0.6%
[1][2][3][4][5][6]	2	0.2%
[1][2][3][4][5][6][7][8]	2	0.2%
[1][2][3][4][5][6][7][8][9]	3	0.3%
[1][2][3][4][5][7]	2	0.2%
[1][2][3][4][5][7][8]	1	0.1%
[1][2][3][4][5][9]	1	0.1%
[1][2][3][5]	3	0.3%
[1][2][3][5][6]	1	0.1%
[1][2][3][5][6][8]	1	0.1%
[1][2][4][5][7][9]	1	0.1%
[1][2][4][7]	1	0.1%
[1][2][5]	1	0.1%
[1][2][6]	1	0.1%
[1][2][7]	2	0.2%
[1][2][7][8]	1	0.1%
[1][3]	27	2.3%
[1][3][4]	10	0.9%
[1][3][4][5]	15	1.3%
[1][3][4][5][6]	1	0.1%
[1][3][4][5][6][7][8]	1	0.1%
[1][3][4][5][6][7][8][9]	1	0.1%
[1][3][4][5][7]	5	0.4%
[1][3][4][5][7][8]	2	0.2%
[1][3][4][5][8]	1	0.1%
[1][3][4][5][9]	1	0.1%
[1][3][4][6]	1	0.1%
[1][3][4][6][7][8]	1	0.1%
[1][3][4][7]	1	0.1%
[1][3][5]	7	0.6%
[1][3][5][6]	1	0.1%
[1][3][6]	2	0.2%
[1][3][6][7]	1	0.1%
[1][3][6][9]	1	0.1%
[1][3][7]	7	0.6%
[1][3][8]	3	0.3%
[1][4]	17	1.5%
[1][4][5]	9	0.8%
[1][4][5][6]	2	0.2%
[1][4][5][7]	1	0.1%
[1][4][6]	1	0.1%
[1][4][6][7]	2	0.2%
[1][4][7]	2	0.2%
[1][4][9]	1	0.1%
[1][5]	30	2.6%
[1][5][6]	5	0.4%
[1][5][6][7][8]	1	0.1%
[1][5][7]	2	0.2%
[1][5][7][8]	2	0.2%
[1][6]	15	1.3%

選択肢コード	回答数	回答率
[1][6][7]	5	0.4%
[1][6][7][8]	1	0.1%
[1][6][8]	1	0.1%
[1][7]	32	2.8%
[1][7][8]	1	0.1%
[1][8]	7	0.6%
[1][9]	5	0.4%
[2]	11	1.0%
[2][3]	2	0.2%
[2][3][4]	1	0.1%
[2][3][4][7]	2	0.2%
[2][3][5][7]	1	0.1%
[2][6]	1	0.1%
[2][6][8]	1	0.1%
[2][7]	2	0.2%
[2][7][8]	1	0.1%
[2][8]	1	0.1%
[2][9]	1	0.1%
[3]	54	4.7%
[3][4]	8	0.7%
[3][4][5]	3	0.3%
[3][4][5][6]	2	0.2%
[3][4][5][6][7]	1	0.1%
[3][4][6]	1	0.1%
[3][4][6][7]	1	0.1%
[3][4][7]	6	0.5%
[3][4][7][8]	4	0.3%
[3][4][8]	1	0.1%
[3][5]	4	0.3%
[3][5][6][7]	1	0.1%
[3][5][7]	1	0.1%
[3][6]	4	0.3%
[3][6][7]	1	0.1%
[3][7]	7	0.6%
[3][7][8]	1	0.1%
[3][8]	1	0.1%
[4]	38	3.3%
[4][5]	1	0.1%
[4][6]	4	0.3%
[4][7]	1	0.1%
[4][7][8]	1	0.1%
[4][7][9]	1	0.1%
[4][8]	1	0.1%
[5]	19	1.6%
[5][7]	2	0.2%
[6]	52	4.5%
[6][7]	12	1.0%
[6][7][8]	2	0.2%
[6][7][9]	1	0.1%
[7]	65	5.6%
[7][8]	7	0.6%
[7][8][9]	1	0.1%
[8]	10	0.9%
[9]	59	5.1%

【問15-2-2】 問15-2で「4. 現在、受講の予定はない」と回答した場合、日臨技eラーニングの受講を考えていない理由を選んでください。（単一回答）



	件数	割合
①コストの負担がある	1,262	28.6%
②必要性を感じない	883	20.0%
③興味のある内容が少ない	450	10.2%
④情報が少なく、入会してどのようなメリットがあるか分からない	1,480	33.5%
⑤その他	339	7.7%
合計	4,414	100.0%

受講の予定がない方の理由はメリットが少ないとの回答が多かった。またその意見は若年者ほど顕著である。

＜現在の年齢と問15-2-2のクロス表＞

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問15-2-2】 問15-2で「4. 現在、受講の予定はない」と回答した場合、日臨技eラーニングの受講を考えていない理由を選んでください。（単一回答） ※ 【問15】 “日臨技eラーニング” 知っていますか。（単一回答） ※ 【問15-2】 問15で「1. 知っている」と回答した場合、現在の状況を選んでください。（単一回答）					
	コストの負担がある	必要性を感じない	興味のある内容が少ない	情報が少なく、入会してどのようなメリットがあるか分からない	その他	合計
20歳以下	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
21～25歳	件数 87 割合 26.9%	件数 35 割合 10.8%	件数 39 割合 12.0%	件数 156 割合 48.1%	件数 7 割合 2.2%	件数 324 割合 100.0%
26～30歳	件数 191 割合 31.0%	件数 98 割合 15.9%	件数 66 割合 10.7%	件数 247 割合 40.0%	件数 15 割合 2.4%	件数 617 割合 100.0%
31～35歳	件数 167 割合 29.9%	件数 93 割合 16.6%	件数 63 割合 11.3%	件数 204 割合 36.5%	件数 32 割合 5.7%	件数 559 割合 100.0%
36～40歳	件数 149 割合 32.7%	件数 68 割合 14.9%	件数 41 割合 9.0%	件数 165 割合 36.2%	件数 33 割合 7.2%	件数 456 割合 100.0%
41～45歳	件数 147 割合 29.4%	件数 95 割合 19.0%	件数 53 割合 10.6%	件数 163 割合 32.6%	件数 42 割合 8.4%	件数 500 割合 100.0%
46～50歳	件数 168 割合 30.2%	件数 128 割合 23.0%	件数 47 割合 8.5%	件数 160 割合 28.8%	件数 53 割合 9.5%	件数 556 割合 100.0%
51～55歳	件数 186 割合 31.2%	件数 135 割合 22.6%	件数 61 割合 10.2%	件数 170 割合 28.5%	件数 45 割合 7.5%	件数 597 割合 100.0%
56～60歳	件数 130 割合 22.9%	件数 148 割合 26.1%	件数 58 割合 10.2%	件数 156 割合 27.5%	件数 75 割合 13.2%	件数 567 割合 100.0%
61～65歳	件数 33 割合 15.4%	件数 75 割合 35.0%	件数 20 割合 9.3%	件数 51 割合 23.8%	件数 35 割合 16.4%	件数 214 割合 100.0%
66～70歳	件数 4 割合 20.0%	件数 8 割合 40.0%	件数 2 割合 10.0%	件数 5 割合 25.0%	件数 1 割合 5.0%	件数 20 割合 100.0%
71歳以上	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
未回答	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 3 割合 75.0%	件数 1 割合 25.0%	件数 4 割合 100.0%
合計	件数 1262 割合 28.6%	件数 883 割合 20.0%	件数 450 割合 10.2%	件数 1480 割合 33.5%	件数 339 割合 7.7%	件数 4414 割合 100.0%

<主たる都道府県技師会と問15-2-2のクロス表 その1>

【A】主たる都道府県技師会 (単一回答)		【問15-2-2】問15-2で「4. 現在、受講の予定はない」と回答した場合、日臨技eラーニングの受講を考えていない理由を選んでください。(単一回答) ※ 【問15】 “日臨技eラーニング” 知っていますか。(単一回答) ※ 【問15-2】 問15で「1. 知っている」と回答した場合、現在の状況を選んでください。(単一回答)					
		コストの負担がある	必要性を感じない	興味のある内容が少ない	情報が少なく、入会してどのようなメリットがあるか分からない	その他	合計
北海道	件数 割合	52 26.7%	47 24.1%	20 10.3%	62 31.8%	14 7.2%	195 100.0%
青森県	件数 割合	27 33.8%	10 12.5%	8 10.0%	26 32.5%	9 11.3%	80 100.0%
岩手県	件数 割合	7 24.1%	5 17.2%	3 10.3%	10 34.5%	4 13.8%	29 100.0%
宮城県	件数 割合	26 32.1%	20 24.7%	7 8.6%	23 28.4%	5 6.2%	81 100.0%
秋田県	件数 割合	15 21.4%	15 21.4%	11 15.7%	25 35.7%	4 5.7%	70 100.0%
山形県	件数 割合	7 21.9%	5 15.6%	2 6.3%	16 50.0%	2 6.3%	32 100.0%
福島県	件数 割合	37 30.8%	11 9.2%	10 8.3%	49 40.8%	13 10.8%	120 100.0%
茨城県	件数 割合	20 21.7%	31 33.7%	13 14.1%	25 27.2%	3 3.3%	92 100.0%
栃木県	件数 割合	21 26.3%	19 23.8%	11 13.8%	23 28.8%	6 7.5%	80 100.0%
群馬県	件数 割合	46 32.2%	17 11.9%	12 8.4%	53 37.1%	15 10.5%	143 100.0%
埼玉県	件数 割合	39 26.5%	28 19.0%	27 18.4%	42 28.6%	11 7.5%	147 100.0%
千葉県	件数 割合	33 25.4%	25 19.2%	8 6.2%	58 44.6%	6 4.6%	130 100.0%
東京都	件数 割合	49 29.0%	35 20.7%	18 10.7%	50 29.6%	17 10.1%	169 100.0%
神奈川県	件数 割合	26 22.4%	21 18.1%	18 15.5%	39 33.6%	12 10.3%	116 100.0%
新潟県	件数 割合	30 33.0%	15 16.5%	7 7.7%	29 31.9%	10 11.0%	91 100.0%
富山県	件数 割合	27 36.0%	16 21.3%	4 5.3%	23 30.7%	5 6.7%	75 100.0%
石川県	件数 割合	25 27.2%	15 16.3%	5 5.4%	38 41.3%	9 9.8%	92 100.0%
福井県	件数 割合	8 30.8%	7 26.9%	2 7.7%	9 34.6%	0 0.0%	26 100.0%
山梨県	件数 割合	23 29.9%	9 11.7%	6 7.8%	35 45.5%	4 5.2%	77 100.0%
長野県	件数 割合	42 30.0%	32 22.9%	13 9.3%	40 28.6%	13 9.3%	140 100.0%
岐阜県	件数 割合	28 35.4%	17 21.5%	7 8.9%	26 32.9%	1 1.3%	79 100.0%
静岡県	件数 割合	69 33.2%	35 16.8%	20 9.6%	69 33.2%	15 7.2%	208 100.0%
愛知県	件数 割合	81 26.0%	71 22.8%	25 8.0%	114 36.5%	21 6.7%	312 100.0%
三重県	件数 割合	32 32.0%	22 22.0%	8 8.0%	32 32.0%	6 6.0%	100 100.0%

⇒次頁へ続く

<主たる都道府県技師会と問15-2-2のクロス表 その2>

【A】主たる都道府県 技師会 (単一回答)	【問15-2-2】問15-2で「4. 現在、受講の予定はない」と回答した場合、日臨技eラーニングの受講を考えていない理由を選んでください。(単一回答) ※ 【問15】 “日臨技eラーニング” 知っていますか。(単一回答) ※ 【問15-2】 問15で「1. 知っている」と回答した場合、現在の状況を選んでください。(単一回答)					
	コストの負担がある	必要性を感じない	興味のある内容が少ない	情報が少なく、入会してどのようなメリットがあるか分からない	その他	合計
滋賀県	件数 10 割合 28.6%	5 14.3%	6 17.1%	7 20.0%	7 20.0%	35 100.0%
京都府	件数 15 割合 39.5%	4 10.5%	1 2.6%	14 36.8%	4 10.5%	38 100.0%
大阪府	件数 34 割合 30.1%	25 22.1%	10 8.8%	36 31.9%	8 7.1%	113 100.0%
兵庫県	件数 30 割合 27.5%	17 15.6%	12 11.0%	39 35.8%	11 10.1%	109 100.0%
奈良県	件数 14 割合 20.9%	13 19.4%	5 7.5%	30 44.8%	5 7.5%	67 100.0%
和歌山県	件数 13 割合 20.6%	14 22.2%	11 17.5%	17 27.0%	8 12.7%	63 100.0%
鳥取県	件数 25 割合 45.5%	10 18.2%	4 7.3%	12 21.8%	4 7.3%	55 100.0%
島根県	件数 15 割合 19.2%	15 19.2%	10 12.8%	33 42.3%	5 6.4%	78 100.0%
岡山県	件数 27 割合 25.0%	35 32.4%	12 11.1%	27 25.0%	7 6.5%	108 100.0%
広島県	件数 49 割合 33.6%	21 14.4%	15 10.3%	47 32.2%	14 9.6%	146 100.0%
山口県	件数 35 割合 31.5%	23 20.7%	13 11.7%	35 31.5%	5 4.5%	111 100.0%
徳島県	件数 3 割合 12.0%	3 12.0%	1 4.0%	16 64.0%	2 8.0%	25 100.0%
香川県	件数 18 割合 24.7%	19 26.0%	6 8.2%	25 34.2%	5 6.8%	73 100.0%
愛媛県	件数 22 割合 29.7%	20 27.0%	6 8.1%	21 28.4%	5 6.8%	74 100.0%
高知県	件数 18 割合 20.0%	22 24.4%	13 14.4%	27 30.0%	10 11.1%	90 100.0%
福岡県	件数 45 割合 25.0%	36 20.0%	23 12.8%	65 36.1%	11 6.1%	180 100.0%
佐賀県	件数 6 割合 37.5%	4 25.0%	2 12.5%	4 25.0%	0 0.0%	16 100.0%
長崎県	件数 30 割合 33.0%	16 17.6%	9 9.9%	29 31.9%	7 7.7%	91 100.0%
熊本県	件数 15 割合 22.7%	21 31.8%	8 12.1%	19 28.8%	3 4.5%	66 100.0%
大分県	件数 13 割合 31.7%	7 17.1%	6 14.6%	13 31.7%	2 4.9%	41 100.0%
宮崎県	件数 20 割合 51.3%	9 23.1%	0 0.0%	6 15.4%	4 10.3%	39 100.0%
鹿児島県	件数 11 割合 32.4%	5 14.7%	1 2.9%	15 44.1%	2 5.9%	34 100.0%
沖縄県	件数 9 割合 29.0%	3 9.7%	4 12.9%	12 38.7%	3 9.7%	31 100.0%
なし(日臨技のみ)	件数 15 割合 31.9%	8 17.0%	7 14.9%	15 31.9%	2 4.3%	47 100.0%
合計	件数 1262 割合 28.6%	883 20.0%	450 10.2%	1480 33.5%	339 7.7%	4414 100.0%

Ⅳ 臨地実習について

【問16】あなたが臨地実習を受けた施設はどこですか。（複数回答可）



複数選択回答パターン

	件数	割合
①病院（大学病院・特定機能病院）	3,262	88.8%
②回復期病院	52	1.4%
③精神病院	0	0.0%
④上の1～3以外の病院（超急性期・急性期）	446	12.1%
⑤衛生検査所（検査センター）	113	3.1%
⑥臨地実習を受けた経験がない	24	0.7%
⑦その他	11	0.3%
回答人数	3,675	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	3058	83.2%
[1][2]	15	0.4%
[1][2][4][5]	1	0.0%
[1][2][5]	3	0.1%
[1][4]	83	2.3%
[1][4][5]	10	0.3%
[1][4][7]	1	0.0%
[1][5]	85	2.3%
[1][6]	1	0.0%
[1][7]	5	0.1%
[2]	28	0.8%
[2][4]	4	0.1%
[2][5]	1	0.0%
[4]	339	9.2%
[4][5]	8	0.2%
[5]	5	0.1%
[6]	23	0.6%
[7]	5	0.1%

病院（大学病院・特定機能病院）が88.8%であった。

<臨床検査技師免許取得に係る最終学歴と問16のクロス表>

【I】 臨床検査技師免許取得に係る最終学歴 (単一回答)	【問16】 あなたが臨床実習を受けた施設はどこですか。(複数回答可)							
	病院(大学病院・特定機能病院)	回復期病院	精神病院	上の1~3以外の病院(超急性期・急性期)	衛生検査所(検査センター)	臨床実習を受けた経験がない	その他	合計(回答件数)
専門(専修)学校卒	件数 709 割合 79.3%	10 1.1%	0 0.0%	133 14.9%	35 3.9%	5 0.6%	2 0.2%	894 100.0%
短期大学卒	件数 224 割合 91.8%	1 0.4%	0 0.0%	14 5.7%	2 0.8%	3 1.2%	0 0.0%	244 100.0%
大学(4年制)	件数 2164 割合 83.7%	40 1.5%	0 0.0%	288 11.1%	69 2.7%	15 0.6%	9 0.3%	2585 100.0%
大学(6年制)	件数 2 割合 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
大学院(修士課程)	件数 157 割合 89.2%	1 0.6%	0 0.0%	11 6.3%	6 3.4%	1 0.6%	0 0.0%	176 100.0%
大学院(博士課程)	件数 3 割合 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
その他	件数 2 割合 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	件数 1 割合 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計(回答件数)	件数 3262 割合 83.5%	52 1.3%	0 0.0%	446 11.4%	113 2.9%	24 0.6%	11 0.3%	3908 100.0%

<現在の年齢と問16のクロス表>

【C】 現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問16】 あなたが臨床実習を受けた施設はどこですか。(複数回答可)							
	病院(大学病院・特定機能病院)	回復期病院	精神病院	上の1~3以外の病院(超急性期・急性期)	衛生検査所(検査センター)	臨床実習を受けた経験がない	その他	合計(回答件数)
20歳以下	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
21~25歳	件数 1395 割合 83.2%	21 1.3%	0 0.0%	213 12.7%	36 2.1%	7 0.4%	4 0.2%	1676 100.0%
26~30歳	件数 1867 割合 83.6%	31 1.4%	0 0.0%	233 10.4%	77 3.4%	17 0.8%	7 0.3%	2232 100.0%
31~35歳	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
36~40歳	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
41~45歳	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
46~50歳	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
51~55歳	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
56~60歳	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
61~65歳	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
66~70歳	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
71歳以上	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
未回答	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
合計(回答件数)	件数 3262 割合 83.5%	52 1.3%	0 0.0%	446 11.4%	113 2.9%	24 0.6%	11 0.3%	3908 100.0%

【問17】 問16で「6.臨地実習を受けた経験がない」と答えた人以外回答してください。臨地実習の経験期間を教えてください。（単一回答）



2ヶ月～3ヶ月と答えた方が29.1%次いで1ヶ月～2ヶ月が23.6%との回答であった。

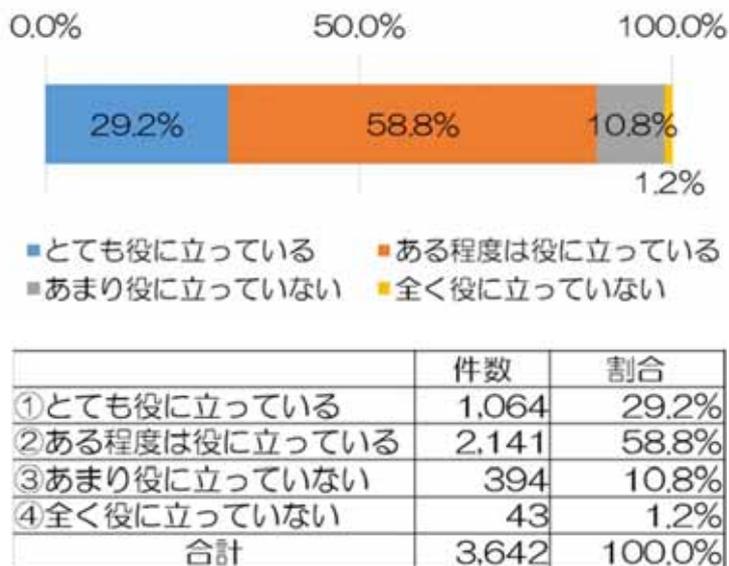
<臨床検査技師免許取得に係る最終学歴と問17のクロス表>

【1】 臨床検査技師免許取得に係る最終学歴 (単一回答)	【問17】 臨地実習の経験期間を教えてください。（単一回答）							
	1週間未満	1週間以上 ～2週間未満	2週間以上 ～1か月未満	1か月以上 ～2か月未満	2か月以上 ～3か月未満	3か月以上 ～4か月未満	4か月以上	合計
専門（専修）学校卒	件数 1 割合 0.1%	件数 2 割合 0.2%	件数 10 割合 1.2%	件数 41 割合 4.9%	件数 174 割合 20.7%	件数 301 割合 35.8%	件数 312 割合 37.1%	件数 841 割合 100.0%
短期大学卒	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 3 割合 1.3%	件数 3 割合 1.3%	件数 20 割合 8.4%	件数 57 割合 24.1%	件数 154 割合 65.0%	件数 237 割合 100.0%
大学（4年制）	件数 5 割合 0.2%	件数 10 割合 0.4%	件数 183 割合 7.6%	件数 771 割合 32.0%	件数 814 割合 33.8%	件数 426 割合 17.7%	件数 198 割合 8.2%	件数 2407 割合 100.0%
大学（6年制）	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 2 割合 100.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 2 割合 100.0%
大学院（修士課程）	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 8 割合 5.1%	件数 43 割合 27.2%	件数 56 割合 35.4%	件数 35 割合 22.2%	件数 16 割合 10.1%	件数 158 割合 100.0%
大学院（博士課程）	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 33.3%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 33.3%	件数 1 割合 33.3%	件数 3 割合 100.0%
その他	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 50.0%	件数 1 割合 50.0%	件数 2 割合 100.0%
未回答	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 100.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 100.0%
合計	件数 6 割合 0.2%	件数 12 割合 0.3%	件数 205 割合 5.6%	件数 861 割合 23.6%	件数 1064 割合 29.1%	件数 821 割合 22.5%	件数 682 割合 18.7%	件数 3651 割合 100.0%

<現在の年齢と問17のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問17】 臨地実習の経験期間を教えてください。(単一回答)							
	1週間未満	1週間以上 ~2週間未満	2週間以上 ~1か月未満	1か月以上 ~2か月未満	2か月以上 ~3か月未満	3か月以上 ~4か月未満	4か月以上	合計
20歳以下 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
21~25歳 件数 割合	4 0.3%	5 0.3%	72 4.5%	401 25.2%	469 29.5%	350 22.0%	289 18.2%	1590 100.0%
26~30歳 件数 割合	2 0.1%	7 0.3%	133 6.5%	460 22.3%	595 28.9%	471 22.9%	393 19.1%	2061 100.0%
31~35歳 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
36~40歳 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
41~45歳 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
46~50歳 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
51~55歳 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
56~60歳 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
61~65歳 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
66~70歳 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
71歳以上 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
未回答 件数 割合	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0
合計 件数 割合	6 0.2%	12 0.3%	205 5.6%	861 23.6%	1064 29.1%	821 22.5%	682 18.7%	3651 100.0%

【問18】 問16で「6.臨地実習を受けた経験がない」と答えた人以外回答してください。臨地実習の経験が就職後に役に立っていると思いますか。（単一回答）



主に役立っているとの回答が8割強であった。最終学歴別および年齢別においても差は見られなかった。

<臨床検査技師免許取得に係る最終学歴と問18のクロス表>

【I】 臨床検査技師免許取得に係る最終学歴 (単一回答)	【問18】 臨地実習の経験が就職後に役に立っていると思いますか。（単一回答）				
	とても役に立っている	ある程度は役に立っている	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	合計
専門（専修）学校卒	件数 316 割合 37.8%	件数 447 割合 53.5%	件数 67 割合 8.0%	件数 6 割合 0.7%	件数 836 割合 100.0%
短期大学卒	件数 102 割合 43.0%	件数 117 割合 49.4%	件数 16 割合 6.8%	件数 2 割合 0.8%	件数 237 割合 100.0%
大学（4年制）	件数 605 割合 25.2%	件数 1482 割合 61.7%	件数 285 割合 11.9%	件数 30 割合 1.2%	件数 2402 割合 100.0%
大学（6年制）	件数 1 割合 50.0%	件数 1 割合 50.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 2 割合 100.0%
大学院（修士課程）	件数 38 割合 23.9%	件数 90 割合 56.6%	件数 26 割合 16.4%	件数 5 割合 3.1%	件数 159 割合 100.0%
大学院（博士課程）	件数 0 割合 0.0%	件数 3 割合 100.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 3 割合 100.0%
その他	件数 2 割合 100.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 2 割合 100.0%
未回答	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 100.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 1 割合 100.0%
合計	件数 1064 割合 29.2%	件数 2141 割合 58.8%	件数 394 割合 10.8%	件数 43 割合 1.2%	件数 3642 割合 100.0%

<現在の年齢と問18のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)		【問18】 臨地実習の経験が就職後に役に立っていると思いますか。(単一回答)				
		とても役に立っている	ある程度は役に立っている	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	合計
20歳以下	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
21～25歳	件数 割合	524 33.1%	928 58.6%	126 8.0%	6 0.4%	1584 100.0%
26～30歳	件数 割合	540 26.2%	1213 58.9%	268 13.0%	37 1.8%	2058 100.0%
31～35歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
36～40歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
41～45歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
46～50歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
51～55歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
56～60歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
61～65歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
66～70歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
71歳以上	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
未回答	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
合計	件数 割合	1064 29.2%	2141 58.8%	394 10.8%	43 1.2%	3642 100.0%

【問18-2】 問18で「3.あまり役に立っていない」「4.全く役に立っていない」と回答した場合、臨地実習が役立たなかった理由を1つ選んでください。（単一回答）



	件数	割合
①臨地実習の内容と実際の現場に乖離がある	252	57.8%
②実習の量（日数・期間・時間）が不十分	59	13.5%
③実習の質（教え方・実習内容）が不十分	115	26.4%
④その他	10	2.3%
合計	436	100.0%

役立たないと答えた方は現場との乖離を理由としている意見が57.8%であった。

<臨床検査技師免許取得に係る最終学歴と問18-2のクロス表>

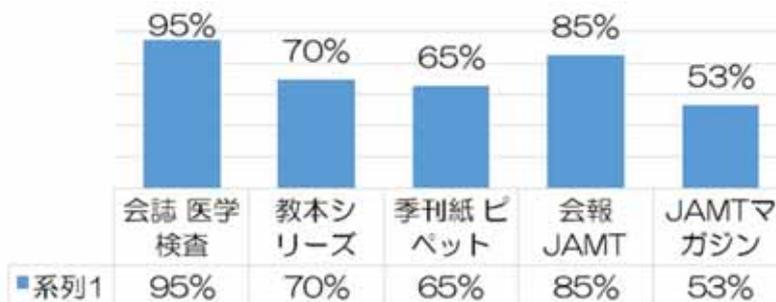
【I】 臨床検査技師免許取得に係る最終学歴 (単一回答)	【問18-2】 問18で「3.あまり役に立っていない」「4.全く役に立っていない」と回答した場合、臨地実習が役立たなかった理由を1つ選んでください。（単一回答） ※【問18】 臨地実習の経験が就職後に役に立っていると思いますか。（単一回答）				
	臨地実習の内容と実際の現場に乖離がある	実習の量（日数・期間・時間）が不十分	実習の質（教え方・実習内容）が不十分	その他	合計
専門（専修）学校卒	件数 49 割合 67.1%	2 2.7%	21 28.8%	1 1.4%	73 100.0%
短期大学卒	件数 12 割合 66.7%	0 0.0%	4 22.2%	2 11.1%	18 100.0%
大学（4年制）	件数 176 割合 55.9%	51 16.2%	82 26.0%	6 1.9%	315 100.0%
大学（6年制）	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —
大学院（修士課程）	件数 15 割合 50.0%	6 20.0%	8 26.7%	1 3.3%	30 100.0%
大学院（博士課程）	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —
未回答	件数 0 割合 —	0 —	0 —	0 —	0 —
合計	件数 252 割合 57.8%	59 13.5%	115 26.4%	10 2.3%	436 100.0%

<現在の年齢と問18-2のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問18-2】 問18で「3.あまり役に立っていない」「4.全く役に立っていない」と回答した場合、臨地実習が役立たなかった理由を1つ選んでください。(単一回答) ※【問18】 臨地実習の経験が就職後に役に立っていると思いますか。(単一回答)					
	臨地実習の内容 と実際の現場に 乖離がある	実習の量 (日数・期間・ 時間)が不十分	実習の質 (教え方・実習 内容)が不十分	その他	合計	
20歳以下	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
21～25歳	件数 割合	75 56.8%	22 16.7%	34 25.8%	1 0.8%	132 100.0%
26～30歳	件数 割合	177 58.2%	37 12.2%	81 26.6%	9 3.0%	304 100.0%
31～35歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
36～40歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
41～45歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
46～50歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
51～55歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
56～60歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
61～65歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
66～70歳	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
71歳以上	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
未回答	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
合計	件数 割合	252 57.8%	59 13.5%	115 26.4%	10 2.3%	436 100.0%

V 日臨技の広報関連について

【問19】 下記の日臨技の発行物で知っているものを選択してください。（複数回答可）



複数選択回答パターン

	件数	割合
①会誌 医学検査	14,533	94.6%
②教本シリーズ	10,696	69.6%
③季刊紙 ビペット	10,053	65.4%
④会報 JAMT	13,084	85.2%
⑤ JAMT マガジン	8,146	53.0%
回答人数	15,361	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	764	5.0%
[1][2]	300	2.0%
[1][2][3]	242	1.6%
[1][2][3][4]	2307	15.0%
[1][2][3][4][5]	5444	35.4%
[1][2][3][5]	108	0.7%
[1][2][4]	967	6.3%
[1][2][4][5]	918	6.0%
[1][2][5]	88	0.6%
[1][3]	238	1.5%
[1][3][4]	855	5.6%
[1][3][4][5]	506	3.3%
[1][3][5]	77	0.5%
[1][4]	989	6.4%
[1][4][5]	586	3.8%
[1][5]	144	0.9%
[2]	123	0.8%
[2][3]	17	0.1%
[2][3][4]	44	0.3%
[2][3][4][5]	28	0.2%
[2][3][5]	5	0.0%
[2][4]	52	0.3%
[2][4][5]	31	0.2%
[2][5]	22	0.1%
[3]	64	0.4%
[3][4]	76	0.5%
[3][4][5]	35	0.2%
[3][5]	7	0.0%
[4]	177	1.2%
[4][5]	69	0.4%
[5]	78	0.5%

JAMTマガジンの認知度が53.0%と最も低い傾向であった。複数回答ではすべての発行物を知っている会員が35.4%と最も多かった。

【問20】 あなたは会誌「医学検査」を読みますか。（単一回答）



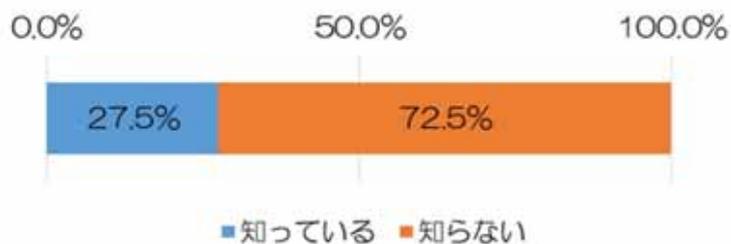
	件数	割合
①ほぼ必ず読む	2,109	13.7%
②ときどき読む	7,951	51.8%
③あまり読まない	4,354	28.4%
④全く読まない	932	6.1%
合計	15,346	100.0%

ほぼ読む、時々読むを含めると7割弱の方が回答していた。逆にあまり読まない、全く読まないを含めると3割強の会員が回答していた。この傾向は若年者ほど顕著に出ていた。

<現在の年齢と問20のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問20】 あなたは会誌「医学検査」を読みますか。（単一回答）				
	ほぼ必ず読む	ときどき読む	あまり読まない	全く読まない	合計
20歳以下	0	0	0	0	0
21～25歳	103 6.5%	709 44.6%	569 35.8%	209 13.1%	1590 100.0%
26～30歳	202 9.7%	1035 49.9%	615 29.6%	224 10.8%	2076 100.0%
31～35歳	226 12.8%	889 50.5%	509 28.9%	138 7.8%	1762 100.0%
36～40歳	258 14.9%	878 50.7%	497 28.7%	99 5.7%	1732 100.0%
41～45歳	266 14.2%	1034 55.1%	507 27.0%	71 3.8%	1878 100.0%
46～50歳	297 15.2%	1083 55.3%	501 25.6%	78 4.0%	1959 100.0%
51～55歳	359 17.6%	1082 53.0%	550 26.9%	51 2.5%	2042 100.0%
56～60歳	279 16.2%	934 54.3%	457 26.6%	49 2.9%	1719 100.0%
61～65歳	102 19.4%	278 52.9%	136 25.9%	10 1.9%	526 100.0%
66～70歳	12 23.5%	26 51.0%	11 21.6%	2 3.9%	51 100.0%
71歳以上	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	2 25.0%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	8 100.0%
合計	2109 13.7%	7951 51.8%	4354 28.4%	932 6.1%	15346 100.0%

【問21】 会誌「医学検査」がJ-STAGEに搭載されるようになったことは知っていますか。
 (単一回答)



	件数	割合
①知っている	4,219	27.5%
②知らない	11,127	72.5%
合計	15,346	100.0%

知っているが3割弱であった。

【問22】 あなたは会誌「医学検査」に投稿したことがありますか。(単一回答)



	件数	割合
①筆頭筆者で投稿した (論文の採用・不採用は問わない)	662	4.3%
②共著者で投稿した (論文の採用・不採用は問わない)	833	5.4%
③投稿したことがない	13,843	90.3%
合計	15,338	100.0%

9割を超える会員が投稿していないとの回答であった。

【問22-2】 問22で「3. 投稿したことがない」と回答した場合、会誌「医学検査」に投稿したことがない理由を教えてください。（複数回答可）



	件数	割合
①執筆するだけの實力（執筆するために必要なリテラシー）がない	7,506	54.2%
②執筆する余裕（時間・体力）がない	3,921	28.3%
③周囲に指導者がいない	2,434	17.6%
④執筆したいが職場環境がそのような風潮でないので、執筆を躊躇している	354	2.6%
⑤投稿する意思自体がない	5,347	38.6%
⑥その他	307	2.2%
回答人数	13,842	

執筆するだけの實力がないと答えた方が54.2%、投稿する意思がない方が38.6%であった。

<複数選択回答パターン>

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	3972	28.7%
[1][2]	885	6.4%
[1][2][3]	550	4.0%
[1][2][3][4]	62	0.4%
[1][2][3][4][5]	33	0.2%
[1][2][3][4][6]	1	0.0%
[1][2][3][5]	268	1.9%
[1][2][3][6]	2	0.0%
[1][2][4]	10	0.1%
[1][2][4][5]	1	0.0%
[1][2][5]	302	2.2%
[1][2][6]	1	0.0%
[1][3]	553	4.0%
[1][3][4]	45	0.3%
[1][3][4][5]	1	0.0%
[1][3][5]	190	1.4%
[1][3][6]	2	0.0%
[1][4]	10	0.1%
[1][4][5]	3	0.0%
[1][5]	609	4.4%
[1][5][6]	1	0.0%
[1][6]	5	0.0%
[2]	1400	10.1%
[2][3]	179	1.3%
[2][3][4]	31	0.2%
[2][3][4][5]	1	0.0%
[2][3][5]	29	0.2%
[2][3][6]	2	0.0%
[2][4]	18	0.1%
[2][4][5]	2	0.0%
[2][5]	133	1.0%
[2][5][6]	2	0.0%
[2][6]	9	0.1%
[3]	360	2.6%
[3][4]	50	0.4%
[3][4][5]	4	0.0%
[3][5]	67	0.5%
[3][6]	4	0.0%
[4]	71	0.5%
[4][5]	11	0.1%
[5]	3685	26.6%
[5][6]	5	0.0%
[6]	273	2.0%

【問23】 “会報JAMT” を読んでいますか。（単一回答）



	件数	割合
①ほぼ必ず読む	2,265	14.8%
②ときどき読む	7,107	46.4%
③あまり読まない	4,064	26.5%
④全く読まない	1,877	12.3%
合計	15,313	100.0%

会報JAMTを主に読まれる方は7割強、ほとんど読まない方は3割強との結果であった。この傾向は若年者ほど顕著である。

＜現在の年齢と問23のクロス表＞

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問23】 “会報JAMT” を読んでいますか。（単一回答）				
	ほぼ必ず読む	ときどき読む	あまり読まない	全く読まない	合計
20歳以下	0	0	0	0	0
21～25歳	53 3.3%	417 26.3%	607 38.2%	511 32.2%	1588 100.0%
26～30歳	138 6.7%	751 36.2%	736 35.5%	448 21.6%	2073 100.0%
31～35歳	192 10.9%	792 45.1%	514 29.2%	260 14.8%	1758 100.0%
36～40歳	260 15.0%	829 48.0%	462 26.7%	177 10.2%	1728 100.0%
41～45歳	282 15.0%	999 53.3%	460 24.5%	134 7.1%	1875 100.0%
46～50歳	366 18.7%	1036 53.0%	415 21.2%	137 7.0%	1954 100.0%
51～55歳	447 22.0%	1057 51.9%	439 21.6%	93 4.6%	2036 100.0%
56～60歳	375 21.9%	924 53.9%	330 19.2%	86 5.0%	1715 100.0%
61～65歳	134 25.5%	268 51.0%	97 18.5%	26 5.0%	525 100.0%
66～70歳	13 26.0%	31 62.0%	3 6.0%	3 6.0%	50 100.0%
71歳以上	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	2 25.0%	3 37.5%	1 12.5%	2 25.0%	8 100.0%
合計	2265 14.8%	7107 46.4%	4064 26.5%	1877 12.3%	15313 100.0%

【問24】 “会報JAMT” に取り上げて欲しい内容を選択してください。（複数回答可）



複数選択回答パターン

	件数	割合
①新しい検査に関する情報	9,958	65.0%
②医療政策・診療報酬関連	6,013	39.3%
③会員からの声 (質問・投稿コーナー)	3,494	22.8%
④求人情報	1,987	13.0%
⑤特にない	2,712	17.7%
⑥その他	87	0.6%
回答人数	15,313	

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	3802	24.8%
[1][2]	2963	19.3%
[1][2][3]	1052	6.9%
[1][2][3][4]	358	2.3%
[1][2][3][4][6]	2	0.0%
[1][2][3][6]	5	0.0%
[1][2][4]	293	1.9%
[1][2][4][6]	3	0.0%
[1][2][5]	2	0.0%
[1][2][6]	11	0.1%
[1][3]	841	5.5%
[1][3][4]	154	1.0%
[1][3][4][6]	2	0.0%
[1][4]	459	3.0%
[1][4][5]	1	0.0%
[1][5]	6	0.0%
[1][6]	4	0.0%
[2]	978	6.4%
[2][3]	229	1.5%
[2][3][4]	33	0.2%
[2][4]	72	0.5%
[2][5]	3	0.0%
[2][6]	9	0.1%
[3]	696	4.5%
[3][4]	118	0.8%
[3][5]	3	0.0%
[3][6]	1	0.0%
[4]	473	3.1%
[4][5]	17	0.1%
[4][6]	2	0.0%
[5]	2673	17.5%
[5][6]	7	0.0%
[6]	41	0.3%

取り上げてほしい内容は新しい検査法などとの回答が65.0%次いで医療政策・診療情報との回答が39.3%であった。

【問25】 JAMTマガジン” を読んでいますか。（単一回答）



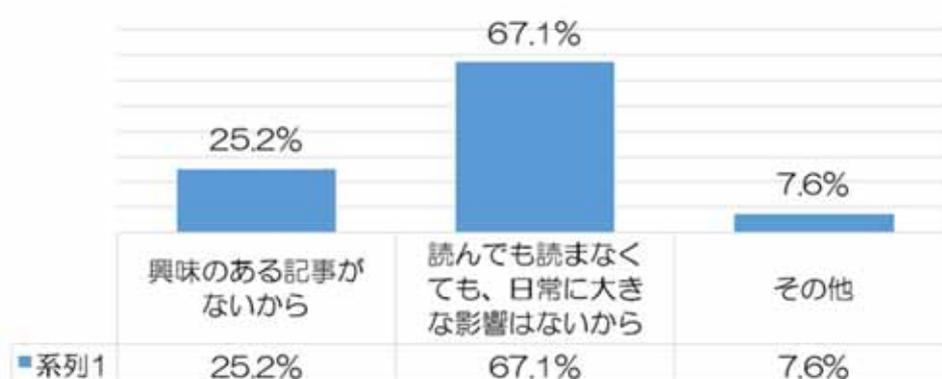
	件数	割合
①ほぼ必ず読む	1,582	10.3%
②ときどき読む	6,019	39.4%
③あまり読まない	4,490	29.4%
④全く読まない	3,199	20.9%
合計	15,290	100.0%

ほぼ、および時々読むが5割弱、あまり、全く読まないが5割強であった。読まないと答える傾向は若年者ほど顕著である。

<現在の年齢と問25のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問25】 “JAMTマガジン” を読んでいますか。（単一回答）				
	ほぼ必ず読む	ときどき読む	あまり読まない	全く読まない	合計
20歳以下	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
21～25歳	件数 35 割合 2.2%	件数 402 割合 25.3%	件数 572 割合 36.0%	件数 578 割合 36.4%	件数 1587 割合 100.0%
26～30歳	件数 117 割合 5.7%	件数 639 割合 30.9%	件数 684 割合 33.1%	件数 628 割合 30.4%	件数 2068 割合 100.0%
31～35歳	件数 141 割合 8.0%	件数 645 割合 36.7%	件数 556 割合 31.7%	件数 414 割合 23.6%	件数 1756 割合 100.0%
36～40歳	件数 204 割合 11.8%	件数 688 割合 39.9%	件数 506 割合 29.4%	件数 325 割合 18.9%	件数 1723 割合 100.0%
41～45歳	件数 196 割合 10.5%	件数 839 割合 44.8%	件数 512 割合 27.3%	件数 326 割合 17.4%	件数 1873 割合 100.0%
46～50歳	件数 254 割合 13.0%	件数 877 割合 45.0%	件数 500 割合 25.6%	件数 320 割合 16.4%	件数 1951 割合 100.0%
51～55歳	件数 294 割合 14.5%	件数 893 割合 43.9%	件数 560 割合 27.6%	件数 285 割合 14.0%	件数 2032 割合 100.0%
56～60歳	件数 248 割合 14.5%	件数 775 割合 45.2%	件数 448 割合 26.2%	件数 242 割合 14.1%	件数 1713 割合 100.0%
61～65歳	件数 83 割合 15.8%	件数 240 割合 45.6%	件数 136 割合 25.9%	件数 67 割合 12.7%	件数 526 割合 100.0%
66～70歳	件数 9 割合 18.0%	件数 18 割合 36.0%	件数 14 割合 28.0%	件数 9 割合 18.0%	件数 50 割合 100.0%
71歳以上	件数 1 割合 33.3%	件数 1 割合 33.3%	件数 1 割合 33.3%	件数 0 割合 0.0%	件数 3 割合 100.0%
未回答	件数 0 割合 0.0%	件数 2 割合 25.0%	件数 1 割合 12.5%	件数 5 割合 62.5%	件数 8 割合 100.0%
合計	件数 1582 割合 10.3%	件数 6019 割合 39.4%	件数 4490 割合 29.4%	件数 3199 割合 20.9%	件数 15290 割合 100.0%

【問25-2】 問25で「3.あまり読まない」「4.全く読まない」と回答した場合、“JAMTマガジン”を読まない理由を教えてください。（単一回答）



	件数	割合
①興味のある記事がないから	1,940	25.2%
②読んでも読まなくても、日常に大きな影響はないから	5,162	67.1%
③その他	587	7.6%
回答人数	7,689	

読まない理由は、日常に影響がないと答えた方が67.1%、次いで興味のある記事がないと答えた方が25.2%となっていた。

【問26】 JAMTマガジンに取り上げて欲しい内容を選択してください。（複数回答可）



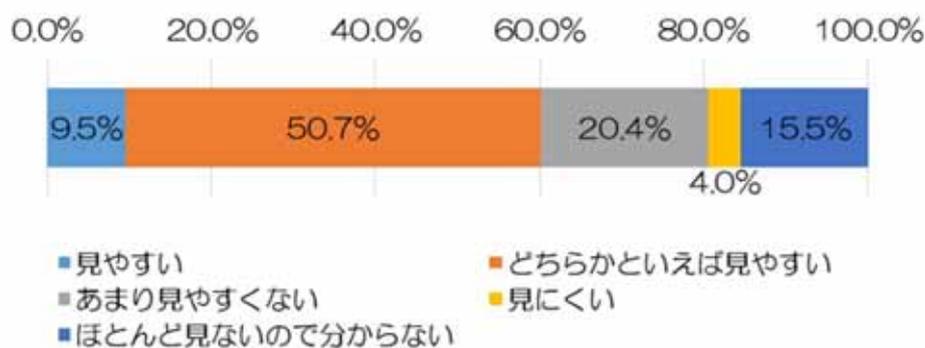
	件数	割合
①新しい検査に関する情報	9,150	59.8%
②医療政策・診療報酬関連	5,523	36.1%
③会員からの声 (質問・投稿コーナー)	3,592	23.5%
④求人情報	1,783	11.7%
⑤特にない	3,481	22.8%
⑥その他	53	0.3%
回答人数	15,290	

複数選択回答パターン

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	3582	23.4%
[1][2]	2597	17.0%
[1][2][3]	1080	7.1%
[1][2][3][4]	364	2.4%
[1][2][3][4][5]	1	0.0%
[1][2][3][6]	5	0.0%
[1][2][4]	261	1.7%
[1][2][4][5]	1	0.0%
[1][2][4][6]	1	0.0%
[1][2][5]	1	0.0%
[1][2][6]	5	0.0%
[1][3]	741	4.8%
[1][3][4]	142	0.9%
[1][4]	358	2.3%
[1][4][6]	1	0.0%
[1][5]	9	0.1%
[1][6]	1	0.0%
[2]	903	5.9%
[2][3]	220	1.4%
[2][3][4]	28	0.2%
[2][3][4][6]	1	0.0%
[2][4]	47	0.3%
[2][5]	4	0.0%
[2][6]	4	0.0%
[3]	870	5.7%
[3][4]	134	0.9%
[3][4][5]	1	0.0%
[3][5]	4	0.0%
[3][6]	1	0.0%
[4]	429	2.8%
[4][5]	13	0.1%
[4][6]	1	0.0%
[5]	3447	22.5%
[6]	33	0.2%

取り上げてほしい内容は新しい検査の情報が59.8%と最も多かった。

【問27】 日臨技のホームページ（会員専用ページ以外）は見やすいですか。（単一回答）



	件数	割合
見やすい	1,452	9.5%
どちらかといえば見やすい	7,750	50.7%
あまり見やすすくない	3,119	20.4%
見にくい	607	4.0%
ほとんど見ないので分からない	2,369	15.5%
合計	15,297	100.0%

見やすいと答えた方が6割強であった。

<現在の年齢と問27のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問27】 日臨技のホームページ（会員専用ページ以外）は見やすいですか。（単一回答）					合計
	見やすい	どちらかといえば見やすい	あまり見やすすくない	見にくい	ほとんど見ないので分からない	
20歳以下	0	0	0	0	0	0
21～25歳	180 11.3%	739 46.5%	281 17.7%	90 5.7%	298 18.8%	1588 100.0%
26～30歳	227 11.0%	1001 48.4%	377 18.2%	98 4.7%	366 17.7%	2069 100.0%
31～35歳	185 10.5%	855 48.7%	351 20.0%	77 4.4%	286 16.3%	1754 100.0%
36～40歳	158 9.2%	873 50.6%	346 20.1%	83 4.8%	265 15.4%	1725 100.0%
41～45歳	169 9.0%	973 51.9%	374 20.0%	74 3.9%	284 15.2%	1874 100.0%
46～50歳	190 9.7%	1018 52.1%	391 20.0%	66 3.4%	290 14.8%	1955 100.0%
51～55歳	176 8.6%	1071 52.6%	443 21.8%	70 3.4%	275 13.5%	2035 100.0%
56～60歳	126 7.4%	933 54.5%	412 24.1%	39 2.3%	203 11.9%	1713 100.0%
61～65歳	37 7.1%	251 48.0%	132 25.2%	10 1.9%	93 17.8%	523 100.0%
66～70歳	2 4.0%	32 64.0%	7 14.0%	0 0.0%	9 18.0%	50 100.0%
71歳以上	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	0 0.0%	3 37.5%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
合計	1452 9.5%	7750 50.7%	3119 20.4%	607 4.0%	2369 15.5%	15297 100.0%

【問28】 日臨技の会員専用サイト（会員ログイン後）は見やすいですか。（単一回答）



	件数	割合
見やすい	1,364	8.9%
どちらかといえば見やすい	7,382	48.3%
あまり見やすすくない	3,693	24.1%
見にくい	747	4.9%
ほとんど見ないので分からない	2,111	13.8%
合計	15,297	100.0%

見やすいと答えた方が6割弱であった。

<現在の年齢と問28のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問28】 日臨技の会員専用サイト（会員ログイン後）は見やすいですか。（単一回答）					
	見やすい	どちらかといえば見やすい	あまり見やすすくない	見にくい	ほとんど見ないので分からない	合計
20歳以下	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
21～25歳	件数 157 割合 9.9%	件数 719 割合 45.3%	件数 347 割合 21.9%	件数 99 割合 6.2%	件数 266 割合 16.8%	件数 1588 割合 100.0%
26～30歳	件数 212 割合 10.2%	件数 939 割合 45.4%	件数 465 割合 22.5%	件数 141 割合 6.8%	件数 312 割合 15.1%	件数 2069 割合 100.0%
31～35歳	件数 170 割合 9.7%	件数 775 割合 44.2%	件数 455 割合 25.9%	件数 92 割合 5.2%	件数 262 割合 14.9%	件数 1754 割合 100.0%
36～40歳	件数 149 割合 8.6%	件数 781 割合 45.3%	件数 433 割合 25.1%	件数 118 割合 6.8%	件数 244 割合 14.1%	件数 1725 割合 100.0%
41～45歳	件数 166 割合 8.9%	件数 906 割合 48.3%	件数 470 割合 25.1%	件数 78 割合 4.2%	件数 254 割合 13.6%	件数 1874 割合 100.0%
46～50歳	件数 174 割合 8.9%	件数 985 割合 50.4%	件数 463 割合 23.7%	件数 76 割合 3.9%	件数 257 割合 13.1%	件数 1955 割合 100.0%
51～55歳	件数 174 割合 8.6%	件数 1058 割合 52.0%	件数 484 割合 23.8%	件数 80 割合 3.9%	件数 239 割合 11.7%	件数 2035 割合 100.0%
56～60歳	件数 123 割合 7.2%	件数 922 割合 53.8%	件数 435 割合 25.4%	件数 52 割合 3.0%	件数 181 割合 10.6%	件数 1713 割合 100.0%
61～65歳	件数 34 割合 6.5%	件数 262 割合 50.1%	件数 127 割合 24.3%	件数 11 割合 2.1%	件数 89 割合 17.0%	件数 523 割合 100.0%
66～70歳	件数 3 割合 6.0%	件数 32 割合 64.0%	件数 8 割合 16.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 7 割合 14.0%	件数 50 割合 100.0%
71歳以上	件数 2 割合 66.7%	件数 1 割合 33.3%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 3 割合 100.0%
未回答	件数 0 割合 0.0%	件数 2 割合 25.0%	件数 6 割合 75.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 8 割合 100.0%
合計	件数 1364 割合 8.9%	件数 7382 割合 48.3%	件数 3693 割合 24.1%	件数 747 割合 4.9%	件数 2111 割合 13.8%	件数 15297 割合 100.0%

【問29】 日臨技のホームページで総会の議決権の行使ができるようになったことは知っていますか。
 (単一回答)



	件数	割合
知っている	13,305	87.0%
知らない	1,992	13.0%
合計	15,297	100.0%

知っている方が87.0%であった。

Ⅵ 日臨技の渉外関連について

【問30】 以下の事項について、該当するものを選んでください。（各設問で単一回答）

（1）法制度対策の推進 — 省令改正に関する厚労省・各種団体との折衝、次期の法改正に関する対応、診療報酬改定に向けての基礎的調査・研修、法改正に伴う普及・啓発、実態調査



	件数	割合
良く知っている	2,535	16.6%
何となく知っている	5,605	36.7%
あまり知らない	5,346	35.0%
全く知らない	1,768	11.6%
合計	15,254	100.0%

知っているという方が6割強であり、この傾向は年齢が上がることで割合が増えていた。

<現在の年齢と問30（1）のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問30】 法制度対策の推進1)				
	良く知っている	何となく知っている	あまり知らない	全く知らない	合計
20歳以下	0	0	0	0	0
21～25歳	159 10.0%	318 20.1%	737 46.5%	371 23.4%	1585 100.0%
26～30歳	252 12.2%	562 27.3%	872 42.4%	373 18.1%	2059 100.0%
31～35歳	230 13.1%	527 30.1%	725 41.4%	269 15.4%	1751 100.0%
36～40歳	220 12.8%	582 33.8%	661 38.4%	258 15.0%	1721 100.0%
41～45歳	252 13.5%	753 40.4%	695 37.2%	166 8.9%	1866 100.0%
46～50歳	363 18.6%	853 43.7%	606 31.1%	128 6.6%	1950 100.0%
51～55歳	461 22.7%	936 46.1%	535 26.4%	98 4.8%	2030 100.0%
56～60歳	460 26.9%	777 45.5%	394 23.1%	77 4.5%	1708 100.0%
61～65歳	119 22.8%	269 51.4%	110 21.0%	25 4.8%	523 100.0%
66～70歳	17 34.0%	22 44.0%	8 16.0%	3 6.0%	50 100.0%
71歳以上	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	0 0.0%	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%	8 100.0%
合計	2535 16.6%	5605 36.7%	5346 35.0%	1768 11.6%	15254 100.0%

< 役職：教育機関（大学・専門学校）と問30（1）のクロス表 >

【H】 役職：教育機関（大学・専門学校） （単一回答）	【問30】 法制度対策の推進1)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
名誉教授（大学）	件数 0	件数 0	件数 0	件数 0	件数 0
教授（大学）	件数 16 割合 47.1%	件数 11 割合 32.4%	件数 6 割合 17.6%	件数 1 割合 2.9%	件数 34 割合 100.0%
准教授（大学）	件数 10 割合 33.3%	件数 13 割合 43.3%	件数 7 割合 23.3%	件数 0 割合 0.0%	件数 30 割合 100.0%
講師（大学）	件数 9 割合 33.3%	件数 13 割合 48.1%	件数 3 割合 11.1%	件数 2 割合 7.4%	件数 27 割合 100.0%
助教（大学）	件数 8 割合 20.5%	件数 14 割合 35.9%	件数 14 割合 35.9%	件数 3 割合 7.7%	件数 39 割合 100.0%
非常勤（大学）	件数 13 割合 56.5%	件数 8 割合 34.8%	件数 2 割合 8.7%	件数 0 割合 0.0%	件数 23 割合 100.0%
講師（専門学校）	件数 13 割合 26.0%	件数 22 割合 44.0%	件数 13 割合 26.0%	件数 2 割合 4.0%	件数 50 割合 100.0%
非常勤（専門学校）	件数 6 割合 40.0%	件数 7 割合 46.7%	件数 2 割合 13.3%	件数 0 割合 0.0%	件数 15 割合 100.0%
その他	件数 11 割合 23.9%	件数 18 割合 39.1%	件数 11 割合 23.9%	件数 6 割合 13.0%	件数 46 割合 100.0%
未回答	件数 2449 割合 16.3%	件数 5499 割合 36.7%	件数 5288 割合 35.3%	件数 1754 割合 11.7%	件数 14990 割合 100.0%
合計	件数 2535 割合 16.6%	件数 5605 割合 36.7%	件数 5346 割合 35.0%	件数 1768 割合 11.6%	件数 15254 割合 100.0%

< 役職：役職：教育機関（大学・専門学校）以外と問30（1）のクロス表 >

【H】 役職：教育機関（大学・専門学校）以外 （単一回答）	【問30】 法制度対策の推進1)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
部長相当職（部長・医療技術部長）	件数 81 割合 48.2%	件数 59 割合 35.1%	件数 23 割合 13.7%	件数 5 割合 3.0%	件数 168 割合 100.0%
管理 相当職（技師長・課長・職長）	件数 576 割合 34.8%	件数 742 割合 44.8%	件数 290 割合 17.5%	件数 47 割合 2.8%	件数 1655 割合 100.0%
准管理（相当職・副技師長・課長補佐）	件数 177 割合 23.6%	件数 360 割合 48.1%	件数 186 割合 24.8%	件数 26 割合 3.5%	件数 749 割合 100.0%
係長相当（職主任・係長）	件数 542 割合 18.2%	件数 1354 割合 45.5%	件数 898 割合 30.1%	件数 185 割合 6.2%	件数 2979 割合 100.0%
一般職（常勤・正社員）	件数 975 割合 11.5%	件数 2648 割合 31.1%	件数 3533 割合 41.6%	件数 1346 割合 15.8%	件数 8502 割合 100.0%
一般職（非常勤：アルバイト・パート）	件数 95 割合 11.1%	件数 298 割合 34.9%	件数 323 割合 37.9%	件数 137 割合 16.1%	件数 853 割合 100.0%
その他	件数 26 割合 20.0%	件数 56 割合 43.1%	件数 36 割合 27.7%	件数 12 割合 9.2%	件数 130 割合 100.0%
未回答	件数 63 割合 28.9%	件数 88 割合 40.4%	件数 57 割合 26.1%	件数 10 割合 4.6%	件数 218 割合 100.0%
合計	件数 2535 割合 16.6%	件数 5605 割合 36.7%	件数 5346 割合 35.0%	件数 1768 割合 11.6%	件数 15254 割合 100.0%

(2) 職能教育の充実 — 日臨技認定センター事業の組織運営、各種日臨技認定試験の実施、認定制度に関わる研修会・講習会の実施、職能向上拡大事業



	件数	割合
良く知っている	2,555	16.7%
何となく知っている	5,120	33.6%
あまり知らない	5,803	38.0%
全く知らない	1,776	11.6%
合計	15,254	100.0%

知っているという方が6割弱であり、この傾向は年齢が上がることで割合が増えている。

<現在の年齢と問30(2)のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問30】 職能教育の充実2)				
	良く知っている	何となく知っている	あまり知らない	全く知らない	合計
20歳以下	0	0			0
21～25歳	183 11.5%	287 18.1%	788 49.7%	327 20.6%	1585 100.0%
26～30歳	282 13.7%	456 22.1%	948 46.0%	373 18.1%	2059 100.0%
31～35歳	231 13.2%	496 28.3%	731 41.7%	293 16.7%	1751 100.0%
36～40歳	231 13.4%	536 31.1%	693 40.3%	261 15.2%	1721 100.0%
41～45歳	257 13.8%	685 36.7%	749 40.1%	175 9.4%	1866 100.0%
46～50歳	360 18.5%	789 40.5%	665 34.1%	136 7.0%	1950 100.0%
51～55歳	412 20.3%	899 44.3%	622 30.6%	97 4.8%	2030 100.0%
56～60歳	446 26.1%	708 41.5%	470 27.5%	84 4.9%	1708 100.0%
61～65歳	131 25.0%	240 45.9%	124 23.7%	28 5.4%	523 100.0%
66～70歳	18 36.0%	20 40.0%	10 20.0%	2 4.0%	50 100.0%
71歳以上	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	2	4	2	0	8
合計	2555 16.7%	5120 33.6%	5803 38.0%	1776 11.6%	15254 100.0%

<役職：教育機関（大学・専門学校）と問30（2）のクロス表>

【H】役職：教育機関（大学・専門学校） （単一回答）	【問30】 職能教育の充実2)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
名誉教授（大学）	件数 0 割合 —				
教授（大学）	件数 18 割合 52.9%	件数 10 割合 29.4%	件数 6 割合 17.6%	件数 0 割合 0.0%	件数 34 割合 100.0%
准教授（大学）	件数 11 割合 36.7%	件数 13 割合 43.3%	件数 6 割合 20.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 30 割合 100.0%
講師（大学）	件数 7 割合 25.9%	件数 14 割合 51.9%	件数 6 割合 22.2%	件数 0 割合 0.0%	件数 27 割合 100.0%
助教（大学）	件数 8 割合 20.5%	件数 13 割合 33.3%	件数 16 割合 41.0%	件数 2 割合 5.1%	件数 39 割合 100.0%
非常勤（大学）	件数 9 割合 39.1%	件数 10 割合 43.5%	件数 4 割合 17.4%	件数 0 割合 0.0%	件数 23 割合 100.0%
講師（専門学校）	件数 18 割合 36.0%	件数 16 割合 32.0%	件数 15 割合 30.0%	件数 1 割合 2.0%	件数 50 割合 100.0%
非常勤（専門学校）	件数 4 割合 26.7%	件数 10 割合 66.7%	件数 1 割合 6.7%	件数 0 割合 0.0%	件数 15 割合 100.0%
その他	件数 11 割合 23.9%	件数 17 割合 37.0%	件数 13 割合 28.3%	件数 5 割合 10.9%	件数 46 割合 100.0%
未回答	件数 2469 割合 16.5%	件数 5017 割合 33.5%	件数 5736 割合 38.3%	件数 1768 割合 11.8%	件数 14990 割合 100.0%
合計	件数 2555 割合 16.7%	件数 5120 割合 33.6%	件数 5803 割合 38.0%	件数 1776 割合 11.6%	件数 15254 割合 100.0%

<役職：役職：教育機関（大学・専門学校）以外と問30（2）のクロス表>

【H】役職：教育機関（大学・専門学校）以外 （単一回答）	【問30】 職能教育の充実2)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
部長相当職（部長・医療技術部長）	件数 71 割合 42.3%	件数 65 割合 38.7%	件数 27 割合 16.1%	件数 5 割合 3.0%	件数 168 割合 100.0%
管理 相当職（技師長・課長・職長）	件数 518 割合 31.3%	件数 700 割合 42.3%	件数 389 割合 23.5%	件数 48 割合 2.9%	件数 1655 割合 100.0%
准管理（相当職・副技師長・課長補佐）	件数 168 割合 22.4%	件数 330 割合 44.1%	件数 219 割合 29.2%	件数 32 割合 4.3%	件数 749 割合 100.0%
係長相当（職主任・係長）	件数 521 割合 17.5%	件数 1239 割合 41.6%	件数 1008 割合 33.8%	件数 211 割合 7.1%	件数 2979 割合 100.0%
一般職（常勤:正社員）	件数 1057 割合 12.4%	件数 2386 割合 28.1%	件数 3719 割合 43.7%	件数 1340 割合 15.8%	件数 8502 割合 100.0%
一般職（非常勤：アルバイト・パート）	件数 122 割合 14.3%	件数 272 割合 31.9%	件数 335 割合 39.3%	件数 124 割合 14.5%	件数 853 割合 100.0%
その他	件数 30 割合 23.1%	件数 48 割合 36.9%	件数 41 割合 31.5%	件数 11 割合 8.5%	件数 130 割合 100.0%
未回答	件数 68 割合 31.2%	件数 80 割合 36.7%	件数 65 割合 29.8%	件数 5 割合 2.3%	件数 218 割合 100.0%
合計	件数 2555 割合 16.7%	件数 5120 割合 33.6%	件数 5803 割合 38.0%	件数 1776 割合 11.6%	件数 15254 割合 100.0%

(3) 公益事業の推進 — 日臨技臨床検査精度管理調査、臨床検査精度保証施設認証、臨床検査データ標準化の推進



	件数	割合
良く知っている	2,447	16.0%
何となく知っている	3,958	25.9%
あまり知らない	6,542	42.9%
全く知らない	2,307	15.1%
合計	15,254	100.0%

知っているという方が5割弱であり、この傾向は年齢が上がることで割合が増えている。

<現在の年齢と問30(3)のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問30】公益事業の推進3)				
	良く知っている	何となく知っている	あまり知らない	全く知らない	合計
20歳以下	0	0	0	0	0
21～25歳	193 12.2%	197 12.4%	795 50.2%	400 25.2%	1585 100.0%
26～30歳	270 13.1%	334 16.2%	975 47.4%	480 23.3%	2059 100.0%
31～35歳	221 12.6%	365 20.8%	799 45.6%	366 20.9%	1751 100.0%
36～40歳	222 12.9%	400 23.2%	761 44.2%	338 19.6%	1721 100.0%
41～45歳	244 13.1%	500 26.8%	878 47.1%	244 13.1%	1866 100.0%
46～50歳	324 16.6%	634 32.5%	793 40.7%	199 10.2%	1950 100.0%
51～55歳	406 20.0%	742 36.6%	747 36.8%	135 6.7%	2030 100.0%
56～60歳	415 24.3%	580 34.0%	602 35.2%	111 6.5%	1708 100.0%
61～65歳	130 24.9%	193 36.9%	170 32.5%	30 5.7%	523 100.0%
66～70歳	20 40.0%	11 22.0%	15 30.0%	4 8.0%	50 100.0%
71歳以上	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	0	2	6	0	8
合計	2447 16.0%	3958 25.9%	6542 42.9%	2307 15.1%	15254 100.0%

<役職：教育機関（大学・専門学校）と問30（3）のクロス表>

【H】役職：教育機関（大学・専門学校） （単一回答）	【問30】 公益事業の推進3)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
名誉教授(大学)	件数 0	0	0	0	0
教授(大学)	件数 12 割合 35.3%	9 26.5%	12 35.3%	1 2.9%	34 100.0%
准教授(大学)	件数 10 割合 33.3%	9 30.0%	7 23.3%	4 13.3%	30 100.0%
講師(大学)	件数 5 割合 18.5%	13 48.1%	8 29.6%	1 3.7%	27 100.0%
助教(大学)	件数 6 割合 15.4%	11 28.2%	18 46.2%	4 10.3%	39 100.0%
非常勤(大学)	件数 7 割合 30.4%	7 30.4%	9 39.1%	0 0.0%	23 100.0%
講師(専門学校)	件数 15 割合 30.0%	12 24.0%	18 36.0%	5 10.0%	50 100.0%
非常勤(専門学校)	件数 5 割合 33.3%	5 33.3%	4 26.7%	1 6.7%	15 100.0%
その他	件数 6 割合 13.0%	12 26.1%	20 43.5%	8 17.4%	46 100.0%
未回答	件数 2381 割合 15.9%	3880 25.9%	6446 43.0%	2283 15.2%	14990 100.0%
合計	件数 2447 割合 16.0%	3958 25.9%	6542 42.9%	2307 15.1%	15254 100.0%

<役職：役職：教育機関（大学・専門学校）以外と問30（3）のクロス表>

【H】役職：教育機関（大学・専門学校）以外 （単一回答）	【問30】 公益事業の推進3)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
部長相当職（部長・医療技術部長）	件数 69 割合 41.1%	54 32.1%	39 23.2%	6 3.6%	168 100.0%
管理 相当職（技師長・課長・職長）	件数 465 割合 28.1%	601 36.3%	507 30.6%	82 5.0%	1655 100.0%
准管理（相当職・副技師長・課長補佐）	件数 170 割合 22.7%	267 35.6%	268 35.8%	44 5.9%	749 100.0%
係長相当（職主任・係長）	件数 525 割合 17.6%	1007 33.8%	1165 39.1%	282 9.5%	2979 100.0%
一般職（常勤:正社員）	件数 1026 割合 12.1%	1738 20.4%	4023 47.3%	1715 20.2%	8502 100.0%
一般職（非常勤:アルバイト・パート）	件数 116 割合 13.6%	187 21.9%	400 46.9%	150 17.6%	853 100.0%
その他	件数 26 割合 20.0%	40 30.8%	54 41.5%	10 7.7%	130 100.0%
未回答	件数 50 割合 22.9%	64 29.4%	86 39.4%	18 8.3%	218 100.0%
合計	件数 2447 割合 16.0%	3958 25.9%	6542 42.9%	2307 15.1%	15254 100.0%

(4) チーム医療の推進 — ベッドサイド実践講習会事業、医療安全管理者講習会事業、医療安全推進事業、病棟業務推進実践事業、在宅医療推進事業、認知症医療推進事業



	件数	割合
良く知っている	3,480	22.8%
何となく知っている	6,281	41.2%
あまり知らない	4,197	27.5%
全く知らない	1,296	8.5%
合計	15,254	100.0%

知っているという方が6割強であり、この傾向は年齢が上がることで割合が増えていた。

<現在の年齢と問30(4)のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問30】 チーム医療の推進4)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
20歳以下	0	0	0	0	0
21～25歳	310 19.6%	553 34.9%	501 31.6%	221 13.9%	1585 100.0%
26～30歳	382 18.6%	738 35.8%	657 31.9%	282 13.7%	2059 100.0%
31～35歳	321 18.3%	649 37.1%	566 32.3%	215 12.3%	1751 100.0%
36～40歳	298 17.3%	678 39.4%	547 31.8%	198 11.5%	1721 100.0%
41～45歳	363 19.5%	851 45.6%	521 27.9%	131 7.0%	1866 100.0%
46～50歳	481 24.7%	873 44.8%	497 25.5%	99 5.1%	1950 100.0%
51～55歳	546 26.9%	935 46.1%	476 23.4%	73 3.6%	2030 100.0%
56～60歳	579 33.9%	749 43.9%	319 18.7%	61 3.6%	1708 100.0%
61～65歳	172 32.9%	238 45.5%	98 18.7%	15 2.9%	523 100.0%
66～70歳	23 46.0%	15 30.0%	11 22.0%	1 2.0%	50 100.0%
71歳以上	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	3 37.5%	1 12.5%	4 50.0%	0 0.0%	8 100.0%
合計	3480 22.8%	6281 41.2%	4197 27.5%	1296 8.5%	15254 100.0%

<役職：教育機関（大学・専門学校）と問30（4）のクロス表>

【H】 役職：教育機関（大学・専門学校） （単一回答）	【問30】 チーム医療の推進4)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
名誉教授（大学）	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —	件数 0 割合 —
教授（大学）	件数 18 割合 52.9%	件数 13 割合 38.2%	件数 3 割合 8.8%	件数 0 割合 0.0%	件数 34 割合 100.0%
准教授（大学）	件数 14 割合 46.7%	件数 12 割合 40.0%	件数 4 割合 13.3%	件数 0 割合 0.0%	件数 30 割合 100.0%
講師（大学）	件数 10 割合 37.0%	件数 15 割合 55.6%	件数 2 割合 7.4%	件数 0 割合 0.0%	件数 27 割合 100.0%
助教（大学）	件数 12 割合 30.8%	件数 15 割合 38.5%	件数 10 割合 25.6%	件数 2 割合 5.1%	件数 39 割合 100.0%
非常勤（大学）	件数 14 割合 60.9%	件数 7 割合 30.4%	件数 2 割合 8.7%	件数 0 割合 0.0%	件数 23 割合 100.0%
講師（専門学校）	件数 19 割合 38.0%	件数 22 割合 44.0%	件数 8 割合 16.0%	件数 1 割合 2.0%	件数 50 割合 100.0%
非常勤（専門学校）	件数 9 割合 60.0%	件数 5 割合 33.3%	件数 1 割合 6.7%	件数 0 割合 0.0%	件数 15 割合 100.0%
その他	件数 15 割合 32.6%	件数 16 割合 34.8%	件数 11 割合 23.9%	件数 4 割合 8.7%	件数 46 割合 100.0%
未回答	件数 3369 割合 22.5%	件数 6176 割合 41.2%	件数 4156 割合 27.7%	件数 1289 割合 8.6%	件数 14990 割合 100.0%
合計	件数 3480 割合 22.8%	件数 6281 割合 41.2%	件数 4197 割合 27.5%	件数 1296 割合 8.5%	件数 15254 割合 100.0%

<役職：役職：教育機関（大学・専門学校）以外と問30（4）のクロス表>

【H】 役職：教育機関（大学・専門学校）以外 （単一回答）	【問30】 チーム医療の推進4)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
部長相当職（部長・医療技術部長）	件数 86 割合 51.2%	件数 57 割合 33.9%	件数 22 割合 13.1%	件数 3 割合 1.8%	件数 168 割合 100.0%
管理 相当職（技師長・課長・職長）	件数 646 割合 39.0%	件数 715 割合 43.2%	件数 261 割合 15.8%	件数 33 割合 2.0%	件数 1655 割合 100.0%
准管理（相当職・副技師長・課長補佐）	件数 224 割合 29.9%	件数 341 割合 45.5%	件数 163 割合 21.8%	件数 21 割合 2.8%	件数 749 割合 100.0%
係長相当（職主任・係長）	件数 733 割合 24.6%	件数 1389 割合 46.6%	件数 709 割合 23.8%	件数 148 割合 5.0%	件数 2979 割合 100.0%
一般職（常勤:正社員）	件数 1507 割合 17.7%	件数 3299 割合 38.8%	件数 2717 割合 32.0%	件数 979 割合 11.5%	件数 8502 割合 100.0%
一般職（非常勤：アルバイト・パート）	件数 164 割合 19.2%	件数 338 割合 39.6%	件数 252 割合 29.5%	件数 99 割合 11.6%	件数 853 割合 100.0%
その他	件数 36 割合 27.7%	件数 54 割合 41.5%	件数 31 割合 23.8%	件数 9 割合 6.9%	件数 130 割合 100.0%
未回答	件数 84 割合 38.5%	件数 88 割合 40.4%	件数 42 割合 19.3%	件数 4 割合 1.8%	件数 218 割合 100.0%
合計	件数 3480 割合 22.8%	件数 6281 割合 41.2%	件数 4197 割合 27.5%	件数 1296 割合 8.5%	件数 15254 割合 100.0%

(5) 災害の対応 — 災害発災時の体制強化事業、災害対応力向上講習会事業（支援・受援）



	件数	割合
良く知っている	2,728	17.9%
何となく知っている	5,209	34.1%
あまり知らない	5,665	37.1%
全く知らない	1,652	10.8%
合計	15,254	100.0%

知っているという方が5割強であり、この傾向は年齢が上がることで割合が増えていた。

<現在の年齢と問30（5）のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問30】 災害の対応5)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
20歳以下	0	0	0	0	0
21～25歳	230 14.5%	441 27.8%	655 41.3%	259 16.3%	1585 100.0%
26～30歳	318 15.4%	564 27.4%	826 40.1%	351 17.0%	2059 100.0%
31～35歳	261 14.9%	507 29.0%	712 40.7%	271 15.5%	1751 100.0%
36～40歳	231 13.4%	526 30.6%	723 42.0%	241 14.0%	1721 100.0%
41～45歳	289 15.5%	687 36.8%	718 38.5%	172 9.2%	1866 100.0%
46～50歳	371 19.0%	755 38.7%	682 35.0%	142 7.3%	1950 100.0%
51～55歳	442 21.8%	813 40.0%	683 33.6%	92 4.5%	2030 100.0%
56～60歳	428 25.1%	697 40.8%	489 28.6%	94 5.5%	1708 100.0%
61～65歳	141 27.0%	194 37.1%	160 30.6%	28 5.4%	523 100.0%
66～70歳	14 28.0%	19 38.0%	15 30.0%	2 4.0%	50 100.0%
71歳以上	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	1 12.5%	6 75.0%	1 12.5%	0 0.0%	8 100.0%
合計	2728 17.9%	5209 34.1%	5665 37.1%	1652 10.8%	15254 100.0%

<役職：教育機関（大学・専門学校）と問30（5）のクロス表>

【H】役職：教育機関（大学・専門学校） （単一回答）	【問30】 災害の対応5)				
	良く知っている	何となく知っている	あまり知らない	全く知らない	合計
名誉教授(大学)	件数 0 割合 —				
教授(大学)	件数 13 割合 38.2%	件数 12 割合 35.3%	件数 9 割合 26.5%	件数 0 割合 0.0%	件数 34 割合 100.0%
准教授(大学)	件数 11 割合 36.7%	件数 10 割合 33.3%	件数 9 割合 30.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 30 割合 100.0%
講師(大学)	件数 6 割合 22.2%	件数 13 割合 48.1%	件数 8 割合 29.6%	件数 0 割合 0.0%	件数 27 割合 100.0%
助教(大学)	件数 8 割合 20.5%	件数 16 割合 41.0%	件数 13 割合 33.3%	件数 2 割合 5.1%	件数 39 割合 100.0%
非常勤(大学)	件数 10 割合 43.5%	件数 8 割合 34.8%	件数 5 割合 21.7%	件数 0 割合 0.0%	件数 23 割合 100.0%
講師(専門学校)	件数 14 割合 28.0%	件数 17 割合 34.0%	件数 18 割合 36.0%	件数 1 割合 2.0%	件数 50 割合 100.0%
非常勤(専門学校)	件数 5 割合 33.3%	件数 7 割合 46.7%	件数 3 割合 20.0%	件数 0 割合 0.0%	件数 15 割合 100.0%
その他	件数 11 割合 23.9%	件数 15 割合 32.6%	件数 13 割合 28.3%	件数 7 割合 15.2%	件数 46 割合 100.0%
未回答	件数 2650 割合 17.7%	件数 5111 割合 34.1%	件数 5587 割合 37.3%	件数 1642 割合 11.0%	件数 14990 割合 100.0%
合計	件数 2728 割合 17.9%	件数 5209 割合 34.1%	件数 5665 割合 37.1%	件数 1652 割合 10.8%	件数 15254 割合 100.0%

<役職：役職：教育機関（大学・専門学校）以外と問30（5）のクロス表>

【H】役職：教育機関（大学・専門学校）以外 （単一回答）	【問30】 災害の対応5)				
	良く知っている	何となく知っている	あまり知らない	全く知らない	合計
部長相当職（部長・医療技術部長）	件数 66 割合 39.3%	件数 63 割合 37.5%	件数 36 割合 21.4%	件数 3 割合 1.8%	件数 168 割合 100.0%
管理 相当職（技師長・課長・職長）	件数 494 割合 29.8%	件数 668 割合 40.4%	件数 433 割合 26.2%	件数 60 割合 3.6%	件数 1655 割合 100.0%
准管理（相当職・副技師長・課長補佐）	件数 169 割合 22.6%	件数 314 割合 41.9%	件数 232 割合 31.0%	件数 34 割合 4.5%	件数 749 割合 100.0%
係長相当（職主任・係長）	件数 550 割合 18.5%	件数 1155 割合 38.8%	件数 1060 割合 35.6%	件数 214 割合 7.2%	件数 2979 割合 100.0%
一般職（常勤・正社員）	件数 1239 割合 14.6%	件数 2597 割合 30.5%	件数 3449 割合 40.6%	件数 1217 割合 14.3%	件数 8502 割合 100.0%
一般職（非常勤：アルバイト・パート）	件数 116 割合 13.6%	件数 292 割合 34.2%	件数 341 割合 40.0%	件数 104 割合 12.2%	件数 853 割合 100.0%
その他	件数 34 割合 26.2%	件数 40 割合 30.8%	件数 43 割合 33.1%	件数 13 割合 10.0%	件数 130 割合 100.0%
未回答	件数 60 割合 27.5%	件数 80 割合 36.7%	件数 71 割合 32.6%	件数 7 割合 3.2%	件数 218 割合 100.0%
合計	件数 2728 割合 17.9%	件数 5209 割合 34.1%	件数 5665 割合 37.1%	件数 1652 割合 10.8%	件数 15254 割合 100.0%

(6) 検査と健康展の展開 — 全国都道府県臨床（衛生）検査技師会主催による「検査と健康展」の開催



	件数	割合
良く知っている	4,064	26.6%
何となく知っている	5,752	37.7%
あまり知らない	4,016	26.3%
全く知らない	1,422	9.3%
合計	15,254	100.0%

知っているという方が6割強であり、この傾向は年齢が上がることで割合が増えていた。

<現在の年齢と問30（6）のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問30】 検査と健康展の展開6)				
	良く知っている	何となく知っ ている	あまり知らない	全く知らない	合計
20歳以下	0	0	0	0	0
21～25歳	321 20.3%	408 25.7%	579 36.5%	277 17.5%	1585 100.0%
26～30歳	479 23.3%	693 33.7%	592 28.8%	295 14.3%	2059 100.0%
31～35歳	400 22.8%	638 36.4%	502 28.7%	211 12.1%	1751 100.0%
36～40歳	398 23.1%	632 36.7%	494 28.7%	197 11.4%	1721 100.0%
41～45歳	430 23.0%	792 42.4%	502 26.9%	142 7.6%	1866 100.0%
46～50歳	536 27.5%	805 41.3%	492 25.2%	117 6.0%	1950 100.0%
51～55歳	637 31.4%	851 41.9%	455 22.4%	87 4.3%	2030 100.0%
56～60歳	637 37.3%	701 41.0%	296 17.3%	74 4.3%	1708 100.0%
61～65歳	195 37.3%	212 40.5%	96 18.4%	20 3.8%	523 100.0%
66～70歳	26 52.0%	17 34.0%	6 12.0%	1 2.0%	50 100.0%
71歳以上	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
未回答	3 37.5%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	8 100.0%
合計	4064 26.6%	5752 37.7%	4016 26.3%	1422 9.3%	15254 100.0%

<役職：教育機関（大学・専門学校）と問30（6）のクロス表>

【H】 役職：教育機関（大学・専門学校） （単一回答）	【問30】 検査と健康展の展開6)				
	良く知っている	何となく知っている	あまり知らない	全く知らない	合計
名誉教授（大学）	件数 0	0	0	0	0
教授（大学）	件数 18 割合 52.9%	9 26.5%	5 14.7%	2 5.9%	34 100.0%
准教授（大学）	件数 18 割合 60.0%	9 30.0%	3 10.0%	0 0.0%	30 100.0%
講師（大学）	件数 13 割合 48.1%	8 29.6%	6 22.2%	0 0.0%	27 100.0%
助教（大学）	件数 11 割合 28.2%	15 38.5%	10 25.6%	3 7.7%	39 100.0%
非常勤（大学）	件数 10 割合 43.5%	8 34.8%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
講師（専門学校）	件数 28 割合 56.0%	16 32.0%	5 10.0%	1 2.0%	50 100.0%
非常勤（専門学校）	件数 9 割合 60.0%	5 33.3%	1 6.7%	0 0.0%	15 100.0%
その他	件数 15 割合 32.6%	16 34.8%	11 23.9%	4 8.7%	46 100.0%
未回答	件数 3942 割合 26.3%	5666 37.8%	3971 26.5%	1411 9.4%	14990 100.0%
合計	件数 4064 割合 26.6%	5752 37.7%	4016 26.3%	1422 9.3%	15254 100.0%

<役職：役職：教育機関（大学・専門学校）以外と問30（6）のクロス表>

【H】 役職：教育機関（大学・専門学校）以外 （単一回答）	【問30】 検査と健康展の展開6)				
	良く知っている	何となく知っている	あまり知らない	全く知らない	合計
部長相当職（部長・医療技術部長）	件数 84 割合 50.0%	60 35.7%	19 11.3%	5 3.0%	168 100.0%
管理相当職（技師長・課長・職長）	件数 656 割合 39.6%	659 39.8%	286 17.3%	54 3.3%	1655 100.0%
准管理（相当職・副技師長・課長補佐）	件数 260 割合 34.7%	292 39.0%	159 21.2%	38 5.1%	749 100.0%
係長相当（職主任・係長）	件数 878 割合 29.5%	1264 42.4%	663 22.3%	174 5.8%	2979 100.0%
一般職（常勤：正社員）	件数 1833 割合 21.6%	3040 35.8%	2584 30.4%	1045 12.3%	8502 100.0%
一般職（非常勤：アルバイト・パート）	件数 209 割合 24.5%	318 37.3%	237 27.8%	89 10.4%	853 100.0%
その他	件数 45 割合 34.6%	48 36.9%	28 21.5%	9 6.9%	130 100.0%
未回答	件数 99 割合 45.4%	71 32.6%	40 18.3%	8 3.7%	218 100.0%
合計	件数 4064 割合 26.6%	5752 37.7%	4016 26.3%	1422 9.3%	15254 100.0%

【問31】 医療政策に関する情報は普段、どのように入手していますか。（複数選択）



	件数	割合
日臨技からの発信情報	9,020	59.2%
厚生労働省のHP	2,583	17.0%
厚生労働省の会議の傍聴	76	0.5%
製薬・試薬製造企業からの情報	4,302	28.3%
医療関連情報提供サイトからの情報	3,003	19.7%
日臨技政治連盟	221	1.5%
あまり関係ないので入手していない	3,309	21.7%
その他	575	3.8%
回答人数	15,225	

日臨技からの発信が59.2%、次いで企業からの情報28.3%となっていた。

<複数選択回答パターン>

選択肢コード	回答数	回答率
[1]	4377	28.7%
[1][2]	588	3.9%
[1][2][3]	8	0.1%
[1][2][3][4]	5	0.0%
[1][2][3][4][5]	10	0.1%
[1][2][3][4][5][6]	6	0.0%
[1][2][3][5]	3	0.0%
[1][2][3][6]	2	0.0%
[1][2][4]	371	2.4%
[1][2][4][5]	318	2.1%
[1][2][4][5][6]	13	0.1%
[1][2][4][5][8]	3	0.0%
[1][2][4][6]	8	0.1%
[1][2][4][8]	3	0.0%
[1][2][5]	224	1.5%
[1][2][5][6]	5	0.0%
[1][2][5][8]	1	0.0%
[1][2][6]	18	0.1%
[1][2][6][8]	2	0.0%
[1][2][7]	1	0.0%
[1][2][8]	14	0.1%
[1][3]	9	0.1%
[1][3][4]	4	0.0%
[1][4]	1513	9.9%
[1][4][5]	499	3.3%
[1][4][5][6]	12	0.1%
[1][4][5][7]	1	0.0%
[1][4][5][8]	9	0.1%
[1][4][6]	22	0.1%
[1][4][6][8]	3	0.0%
[1][4][7]	9	0.1%
[1][4][8]	30	0.2%
[1][5]	624	4.1%
[1][5][6]	16	0.1%
[1][5][7]	2	0.0%
[1][5][8]	8	0.1%
[1][6]	68	0.4%
[1][6][8]	2	0.0%

選択肢コード	回答数	回答率
[1][7]	103	0.7%
[1][8]	106	0.7%
[2]	416	2.7%
[2][3]	6	0.0%
[2][3][4]	3	0.0%
[2][3][4][5]	1	0.0%
[2][3][5]	3	0.0%
[2][3][5][8]	1	0.0%
[2][4]	187	1.2%
[2][4][5]	144	0.9%
[2][4][5][8]	2	0.0%
[2][4][7]	2	0.0%
[2][4][8]	6	0.0%
[2][5]	169	1.1%
[2][5][6]	1	0.0%
[2][5][8]	9	0.1%
[2][6]	3	0.0%
[2][7]	6	0.0%
[2][8]	21	0.1%
[3]	12	0.1%
[3][4]	3	0.0%
[4]	750	4.9%
[4][5]	287	1.9%
[4][5][6]	1	0.0%
[4][5][7]	5	0.0%
[4][5][8]	2	0.0%
[4][6]	3	0.0%
[4][7]	32	0.2%
[4][8]	35	0.2%
[5]	600	3.9%
[5][6]	3	0.0%
[5][7]	15	0.1%
[5][8]	6	0.0%
[6]	32	0.2%
[6][8]	1	0.0%
[7]	3127	20.5%
[7][8]	6	0.0%
[8]	305	2.0%

<現状の年齢と問31のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問31】医療政策に関する情報は普段、どのように入手していますか。(複数選択可)									
	日臨技からの発信情報	厚生労働省のHP	厚生労働省の会議の傍聴	製薬・試薬製造企業からの情報	医療関連情報提供サイトからの情報	日臨技政治連盟	あまり関係ないので入手していない	その他	合計(回答件数)	
20歳以下	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
21~25歳	件数 割合	730 40.3%	110 6.1%	4 0.2%	145 8.0%	157 8.7%	3 0.2%	620 34.2%	42 2.3%	1811 100.0%
26~30歳	件数 割合	1066 40.2%	232 8.7%	4 0.2%	352 13.3%	256 9.6%	11 0.4%	669 25.2%	63 2.4%	2653 100.0%
31~35歳	件数 割合	989 39.4%	258 10.3%	6 0.2%	468 18.6%	282 11.2%	10 0.4%	440 17.5%	60 2.4%	2513 100.0%
36~40歳	件数 割合	973 38.3%	274 10.8%	7 0.3%	491 19.3%	313 12.3%	16 0.6%	393 15.5%	73 2.9%	2540 100.0%
41~45歳	件数 割合	1113 38.6%	296 10.3%	14 0.5%	601 20.9%	403 14.0%	21 0.7%	363 12.6%	69 2.4%	2880 100.0%
46~50歳	件数 割合	1266 40.7%	353 11.4%	10 0.3%	637 20.5%	430 13.8%	38 1.2%	299 9.6%	77 2.5%	3110 100.0%
51~55歳	件数 割合	1349 38.5%	478 13.6%	16 0.5%	753 21.5%	499 14.2%	49 1.4%	272 7.8%	92 2.6%	3508 100.0%
56~60歳	件数 割合	1146 37.3%	436 14.2%	10 0.3%	661 21.5%	512 16.7%	47 1.5%	182 5.9%	79 2.6%	3073 100.0%
61~65歳	件数 割合	347 38.5%	131 14.5%	5 0.6%	179 19.8%	136 15.1%	23 2.5%	62 6.9%	19 2.1%	902 100.0%
66~70歳	件数 割合	33 41.8%	11 13.9%	0 0.0%	12 15.2%	12 15.2%	2 2.5%	8 10.1%	1 1.3%	79 100.0%
71歳以上	件数 割合	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
未回答	件数 割合	6 50.0%	1 8.3%	0 0.0%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	12 100.0%
合計(回答件数)	件数 割合	9020 39.1%	2583 11.2%	76 0.3%	4302 18.6%	3003 13.0%	221 1.0%	3309 14.3%	575 2.5%	23089 100.0%

<役職：教育機関（大学・専門学校）と問31のクロス表>

【H】 役職：教育機関（大学・専門学校） （単一回答）		【問31】 医療政策に関する情報は普段、どのように入手していますか。（複数選択可）								合計（回答件数）
		日臨技からの発信情報	厚生労働省のHP	厚生労働省の会議の傍聴	製薬・試薬製造企業からの情報	医療関連情報提供サイトからの情報	日臨技政治連盟	あまり関係ないので入手していない	その他	
名誉教授（大学）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
教授（大学）	件数 割合	20 32.3%	15 24.2%	0 0.0%	7 11.3%	14 22.6%	1 1.6%	4 6.5%	1 1.6%	62 100.0%
准教授（大学）	件数 割合	20 42.6%	8 17.0%	0 0.0%	5 10.6%	7 14.9%	2 4.3%	2 4.3%	3 6.4%	47 100.0%
講師（大学）	件数 割合	19 35.2%	14 25.9%	0 0.0%	5 9.3%	12 22.2%	2 3.7%	1 1.9%	1 1.9%	54 100.0%
助教（大学）	件数 割合	22 41.5%	6 11.3%	1 1.9%	3 5.7%	14 26.4%	0 0.0%	5 9.4%	2 3.8%	53 100.0%
非常勤（大学）	件数 割合	17 32.7%	7 13.5%	2 3.8%	10 19.2%	13 25.0%	2 3.8%	1 1.9%	0 0.0%	52 100.0%
講師（専門学校）	件数 割合	35 42.2%	18 21.7%	1 1.2%	4 4.8%	12 14.5%	5 6.0%	8 9.6%	0 0.0%	83 100.0%
非常勤（専門学校）	件数 割合	13 39.4%	5 15.2%	1 3.0%	5 15.2%	7 21.2%	0 0.0%	1 3.0%	1 3.0%	33 100.0%
その他	件数 割合	24 34.3%	14 20.0%	1 1.4%	4 5.7%	10 14.3%	2 2.9%	10 14.3%	5 7.1%	70 100.0%
未回答	件数 割合	8850 39.1%	2496 11.0%	70 0.3%	4259 18.8%	2914 12.9%	207 0.9%	3277 14.5%	562 2.5%	22635 100.0%
合計（回答件数）	件数 割合	9020 39.1%	2583 11.2%	76 0.3%	4302 18.6%	3003 13.0%	221 1.0%	3309 14.3%	575 2.5%	23089 100.0%

<役職：教育機関（大学・専門学校）以外と問31のクロス表>

【H】 役職：教育機関（大学・専門学校）以外 （単一回答）		【問31】 医療政策に関する情報は普段、どのように入手していますか。（複数選択可）								合計（回答件数）
		日臨技からの発信情報	厚生労働省のHP	厚生労働省の会議の傍聴	製薬・試薬製造企業からの情報	医療関連情報提供サイトからの情報	日臨技政治連盟	あまり関係ないので入手していない	その他	
部長相当職（部長・医療技術部長）	件数 割合	105 27.6%	91 23.9%	8 2.1%	77 20.2%	73 19.2%	10 2.6%	6 1.6%	11 2.9%	381 100.0%
管理 相当職（技師長・課長・職長）	件数 割合	1199 35.5%	562 16.6%	15 0.4%	809 23.9%	576 17.1%	63 1.9%	71 2.1%	83 2.5%	3378 100.0%
准管理（相当職・副技師長・課長補佐）	件数 割合	491 37.8%	190 14.6%	7 0.5%	306 23.6%	191 14.7%	19 1.5%	72 5.5%	23 1.8%	1299 100.0%
係長相当（職主任・係長）	件数 割合	1931 39.9%	575 11.9%	15 0.3%	1049 21.7%	679 14.0%	50 1.0%	426 8.8%	117 2.4%	4842 100.0%
一般職（常勤正社員）	件数 割合	4636 40.3%	982 8.5%	29 0.3%	1854 16.1%	1251 10.9%	58 0.5%	2403 20.9%	298 2.6%	11511 100.0%
一般職（非常勤：アルバイト・パート）	件数 割合	448 39.9%	84 7.5%	0 0.0%	146 13.0%	132 11.8%	6 0.5%	279 24.8%	28 2.5%	1123 100.0%
その他	件数 割合	69 33.3%	34 16.4%	0 0.0%	37 17.9%	33 15.9%	3 1.4%	26 12.6%	5 2.4%	207 100.0%
未回答	件数 割合	141 40.5%	65 18.7%	2 0.6%	24 6.9%	68 19.5%	12 3.4%	26 7.5%	10 2.9%	348 100.0%
合計（回答件数）	件数 割合	9020 39.1%	2583 11.2%	76 0.3%	4302 18.6%	3003 13.0%	221 1.0%	3309 14.3%	575 2.5%	23089 100.0%

【問32】 医療政策関連の情報を会員にフィードバックする際に、どのような方法が望ましいか一つ選んでください。（単一回答）



	件数	割合
ホームページに掲載	4,668	30.7%
メールマガジンに掲載	1,447	9.5%
JAMTマガジンに掲載	912	6.0%
会報JMATに掲載	2,070	13.6%
日臨技 医学検査学会での報告	580	3.8%
日臨技 支部学会での報告	453	3.0%
都道府県単位の学会で報告	1,427	9.4%
日臨技政治連盟	26	0.2%
研修会	856	5.6%
職場単位	2,693	17.7%
その他	90	0.6%
合計	15,222	100.0%

情報のフィードバックはホームページ掲載が30.7%次いで職場単位17.7%となっていた。

<現状の年齢と問32のクロス表>

【C】現在の年齢 (満年齢) (単一回答)	【問32】 医療政策関連の情報を会員にフィードバックする際に、どのような方法が望ましいか一つ選んでください。（単一回答）											
	ホーム ページに 掲載	メールマ ガジンに 掲載	JAMTマ ガジンに 掲載	会報 JMATに 掲載	日臨技医 学検査 学会での 報告	日臨技支 部学会 での報告	都道府県 単位の 学会で報 告	臨技政治連	研修会	職場単位	その他	合計
20歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21~25歳	538 34.0%	204 12.9%	55 3.5%	94 5.9%	61 3.9%	30 1.9%	96 6.1%	1 0.1%	112 7.1%	386 24.4%	4 0.3%	1581 100.0%
26~30歳	621 30.2%	259 12.6%	127 6.2%	150 7.3%	78 3.8%	66 3.2%	141 6.9%	3 0.1%	141 6.9%	463 22.5%	7 0.3%	2056 100.0%
31~35歳	486 27.8%	194 11.1%	84 4.8%	171 9.8%	68 3.9%	54 3.1%	183 10.5%	1 0.1%	104 6.0%	393 22.5%	8 0.5%	1746 100.0%
36~40歳	461 26.8%	183 10.7%	102 5.9%	246 14.3%	63 3.7%	53 3.1%	163 9.5%	0 0.0%	75 4.4%	356 20.7%	15 0.9%	1717 100.0%
41~45歳	532 28.6%	153 8.2%	120 6.4%	305 16.4%	65 3.5%	60 3.2%	185 9.9%	3 0.2%	90 4.8%	339 18.2%	11 0.6%	1863 100.0%
46~50歳	599 30.8%	156 8.0%	118 6.1%	327 16.8%	72 3.7%	54 2.8%	204 10.5%	1 0.1%	109 5.6%	293 15.1%	10 0.5%	1943 100.0%
51~55歳	674 33.3%	155 7.6%	141 7.0%	340 16.8%	75 3.7%	70 3.5%	202 10.0%	4 0.2%	101 5.0%	250 12.3%	15 0.7%	2027 100.0%
56~60歳	564 33.1%	113 6.6%	115 6.7%	324 19.0%	72 4.2%	52 3.0%	195 11.4%	10 0.6%	96 5.6%	147 8.6%	18 1.1%	1706 100.0%
61~65歳	176 33.7%	29 5.6%	45 8.6%	95 18.2%	25 4.8%	13 2.5%	51 9.8%	3 0.6%	27 5.2%	56 10.7%	2 0.4%	522 100.0%
66~70歳	15 30.0%	1 2.0%	4 8.0%	17 34.0%	1 2.0%	1 2.0%	3 6.0%	0 0.0%	1 2.0%	7 14.0%	0 0.0%	50 100.0%
71歳以上	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
未回答	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	8 100.0%
合計	4668 30.7%	1447 9.5%	912 6.0%	2070 13.6%	580 3.8%	453 3.0%	1427 9.4%	26 0.2%	856 5.6%	2693 17.7%	90 0.6%	15222 100.0%

< 役職：教育機関（大学・専門学校）と問32のクロス表 >

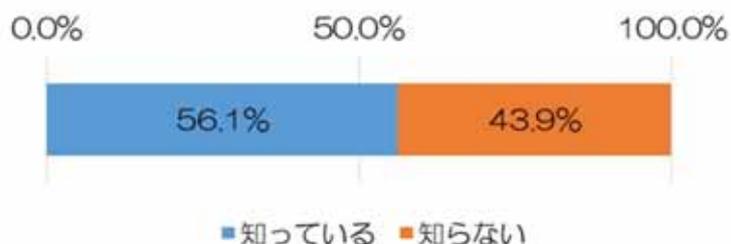
【H】 役職：教育機関（大学・専門学校） （単一回答）		【問32】 医療政策関連の情報を会員にフィードバックする際に、どのような方法が望ましいか一つ選んでください。（単一回答）											
		ホームページに掲載	メールマガジンに掲載	JAMTマガジンに掲載	会報JMATICに掲載	日臨技医学検査学会での報告	日臨技支部学会での報告	都道府県単位の学会で報告	日臨技政治連盟	研修会	職場単位	その他	合計
名誉教授（大学）	件数 割合	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
教授（大学）	件数 割合	13 38.2%	2 5.9%	2 5.9%	9 26.5%	3 8.8%	2 5.9%	2 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	34 100.0%
准教授（大学）	件数 割合	6 20.0%	4 13.3%	4 13.3%	7 23.3%	1 3.3%	1 3.3%	3 10.0%	1 3.3%	0 0.0%	3 10.0%	0 0.0%	30 100.0%
講師（大学）	件数 割合	5 18.5%	4 14.8%	2 7.4%	7 25.9%	1 3.7%	1 3.7%	4 14.8%	0 0.0%	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%	27 100.0%
助教（大学）	件数 割合	11 28.2%	7 17.9%	0 0.0%	1 2.6%	3 7.7%	3 7.7%	5 12.8%	0 0.0%	1 2.6%	8 20.5%	0 0.0%	39 100.0%
非常勤（大学）	件数 割合	10 43.5%	2 8.7%	1 4.3%	5 21.7%	1 4.3%	0 0.0%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	23 100.0%
講師（専門学校）	件数 割合	11 22.0%	6 12.0%	3 6.0%	7 14.0%	5 10.0%	2 4.0%	7 14.0%	0 0.0%	4 8.0%	5 10.0%	0 0.0%	50 100.0%
非常勤（専門学校）	件数 割合	4 26.7%	2 13.3%	2 13.3%	3 20.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	15 100.0%
その他	件数 割合	11 23.9%	9 19.6%	2 4.3%	6 13.0%	3 6.5%	4 8.7%	4 8.7%	0 0.0%	3 6.5%	3 6.5%	1 2.2%	46 100.0%
未回答	件数 割合	4597 30.7%	1411 9.4%	896 6.0%	2025 13.5%	562 3.8%	439 2.9%	1399 9.4%	25 0.2%	845 5.6%	2671 17.9%	88 0.6%	14958 100.0%
合計	件数 割合	4668 30.7%	1447 9.5%	912 6.0%	2070 13.6%	580 3.8%	453 3.0%	1427 9.4%	26 0.2%	856 5.6%	2693 17.7%	90 0.6%	15222 100.0%

< 役職：教育機関（大学・専門学校）以外と問32のクロス表 >

【H】 役職：教育機関（大学・専門学校）以外 （単一回答）		【問32】 医療政策関連の情報を会員にフィードバックする際に、どのような方法が望ましいか一つ選んでください。（単一回答）											
		ホームページに掲載	メールマガジンに掲載	JAMTマガジンに掲載	会報JMATICに掲載	日臨技医学検査学会での報告	日臨技支部学会での報告	都道府県単位の学会で報告	日臨技政治連盟	研修会	職場単位	その他	合計
部長相当職 （部長・医療技術部長）	件数 割合	49 29.3%	20 12.0%	12 7.2%	34 20.4%	7 4.2%	6 3.6%	12 7.2%	1 0.6%	10 6.0%	16 9.6%	0 0.0%	167 100.0%
管理相当職 （技師長・課長・職長）	件数 割合	592 35.9%	130 7.9%	108 6.5%	268 16.2%	57 3.5%	60 3.6%	186 11.3%	8 0.5%	85 5.2%	143 8.7%	13 0.8%	1650 100.0%
准管理 （相当職・副技師長・課長補佐）	件数 割合	244 32.7%	62 8.3%	51 6.8%	107 14.3%	37 5.0%	26 3.5%	87 11.6%	2 0.3%	37 5.0%	85 11.4%	9 1.2%	747 100.0%
係長相当 （職主任・係長）	件数 割合	849 28.6%	247 8.3%	191 6.4%	488 16.4%	118 4.0%	109 3.7%	360 12.1%	3 0.1%	171 5.8%	422 14.2%	15 0.5%	2973 100.0%
一般職 （常勤正社員）	件数 割合	2598 30.6%	879 10.4%	474 5.6%	978 11.5%	309 3.6%	220 2.6%	679 8.0%	7 0.1%	508 6.0%	1790 21.1%	42 0.5%	8484 100.0%
一般職 （非常勤：アルバイト・パート）	件数 割合	251 29.4%	67 7.9%	52 6.1%	132 15.5%	33 3.9%	14 1.6%	71 8.3%	3 0.4%	29 3.4%	195 22.9%	6 0.7%	853 100.0%
その他	件数 割合	27 20.8%	13 10.0%	11 8.5%	24 18.5%	4 3.1%	6 4.6%	11 8.5%	1 0.8%	6 4.6%	23 17.7%	4 3.1%	130 100.0%
未回答	件数 割合	58 26.6%	29 13.3%	13 6.0%	39 17.9%	15 6.9%	12 5.5%	21 9.6%	1 0.5%	10 4.6%	19 8.7%	1 0.5%	218 100.0%
合計	件数 割合	4668 30.7%	1447 9.5%	912 6.0%	2070 13.6%	580 3.8%	453 3.0%	1427 9.4%	26 0.2%	856 5.6%	2693 17.7%	90 0.6%	15222 100.0%

Ⅶ 日本臨床検査技師連盟について

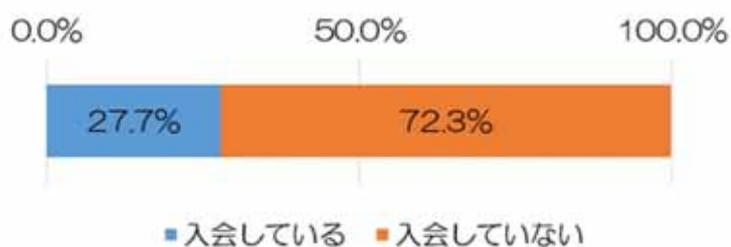
【問33】 日本臨床検査技師連盟を知っていますか。（単一回答）



	件数	割合
知っている	8,544	56.1%
知らない	6,675	43.9%
合計	15,219	100.0%

知っているが56.1%知らないが43.9%であった。

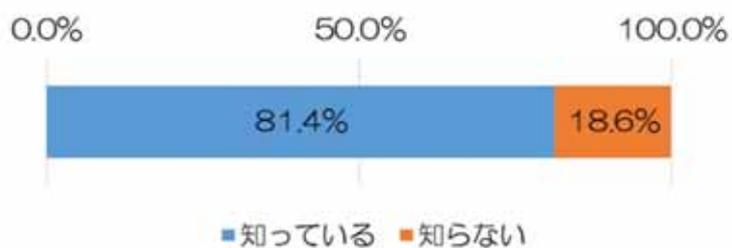
【問33-2】 問33で「1. 知っている」と回答した場合、日本臨床検査技師連盟に入会していますか。



	件数	割合
入会している	2,370	27.7%
入会していない	6,173	72.3%
合計	8,543	100.0%

入会しているが27.7%で入会していないが72.3%となっていた。

【問34】 臨床検査技師の国会議員を知っていますか。（単一回答）



	件数	割合
知っている	12,395	81.4%
知らない	2,824	18.6%
合計	15,219	100.0%

知っているが81.4%であった。

Ⅷ “臨床検査技師” という選択肢について

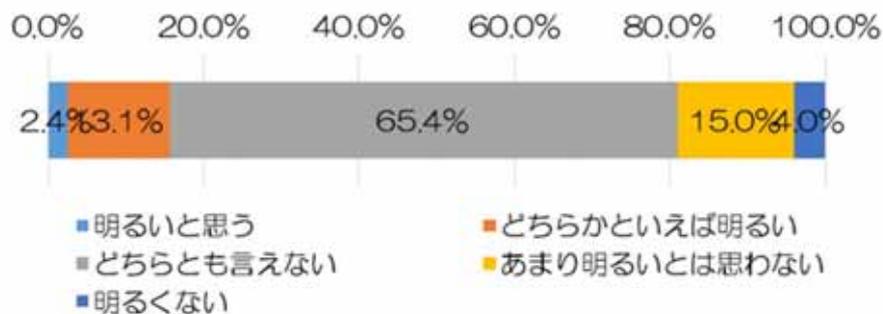
【問35】 臨床検査技師という職業に「誇り」を持っていますか。（単一回答）



	件数	割合
持っている	4,089	26.9%
どちらかといえば持っている	7,275	47.9%
どちらでもない	3,383	22.3%
どちらかといえば持っていない	275	1.8%
持っていない	166	1.1%
合計	15,188	100.0%

持っている、どちらかというのと持っているとの回答が8割弱であった。

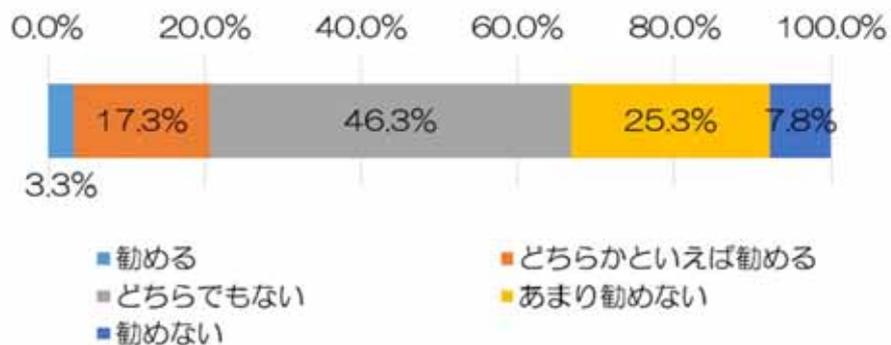
【問36】 臨床検査技師の「未来は明るい」と思えますか。（単一回答）



	件数	割合
明るいと思う	370	2.4%
どちらかといえば明るい	1,989	13.1%
どちらとも言えない	9,934	65.4%
あまり明るいとは思わない	2,285	15.0%
明るくない	610	4.0%
合計	15,188	100.0%

どちらともいえないが65.4%であった。あまり明るくない、明るくないを合わせると19.0%であり、明るい、どちらかというのと明るいを合わせると15.5%となった。

【問37】 あなたのまわりの人（これから社会人となる人）に対して、臨床検査技師という選択を勧めますか。
 (単一回答)



	件数	割合
勧める	498	3.3%
どちらかといえば勧める	2,628	17.3%
どちらでもない	7,035	46.3%
あまり勧めない	3,846	25.3%
勧めない	1,181	7.8%
合計	15,188	100.0%

どちらでもないが46.3%、あまり勧めない、勧めないを合わせると33.1%であり、勧める、どちらかとい
 うと勧めるを合わせると20.6%であった。



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会